

文学部

Faculty of Letters

◇ 第1部

- ◆ 哲学科
- ◆ 東洋思想文化学科
- ◆ 日本文学文化学科
- ◆ 英米文学科
- ◆ 史学科
- ◆ 教育学科人間発達専攻
- ◆ 教育学科初等教育専攻
- ◆ 国際文化コミュニケーション学科

◇ 第2部

- ◆ 東洋思想文化学科
- ◆ 日本文学文化学科
- ◆ 教育学科

目次

■学部長挨拶	2	第1部国際文化コミュニケーション学科 ...	119
■文学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） ...	3	外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件について ...	127
■文学部教育研究上の目的	3	第1部他学部他学科開放科目（専門開放科目） ...	128
■はじめに	5	履修についての全学科共通注意事項（第2部） ...	133
本書の見方	6	文学部第2部基盤教育教育課程表	134
掲示板案内	7	文学部第2部文学部基盤科目教育課程表 ...	137
ToyoNet-G / ToyoNet-ACE / ToyoNet メール ...	8	第2部東洋思想文化学科	139
		第2部日本文学文化学科	157
■各種手続	11	第2部教育学科	165
各種の相談や事務取扱窓口について	12	第2部他学部他学科開放科目	172
学籍情報	13		
休学および復学	16	■諸資格	175
退学	19	社会教育主事になるための資格及び「社会教育士（養成課程）」の呼称 ...	176
除籍	20	図書館司書	178
再入学	21	学校図書館司書教諭	180
その他の学籍異動	21	博物館学芸員〈第1部学生のみ対象〉 ...	182
各種証明書	23	社会福祉主事	184
納付金	25	日本語教員養成プログラム	186
		教育職員免許状	188
■学修にあたって	29		
カリキュラムの概要	30	■国際交流・国際教育プログラム	213
卒業・学位	32	Toyo Global Leader (TGL) プログラム	214
授業について	33	海外留学・研修プログラム	216
試験・レポート	42	本学を休学して外国の大学等へ留学した場合の単位認定について ...	220
成績	46	英語特別教育科目LEAPプログラム	221
その他	48		
■教育課程及び履修に際しての注意	49	■外部検定試験による単位認定制度	222
履修についての全学科共通注意事項（第1部） ...	50	■文学研究科先行履修について	224
文学部第1部基盤教育教育課程表	51	■東洋大学と東京外国語大学の単位互換制度について ...	225
文学部第1部文学部基盤科目教育課程表	54	■学則	226
第1部哲学科	58	■東洋大学文学部規程	228
第1部東洋思想文化学科	65		
第1部日本文学文化学科	83		
第1部英米文学科	91		
第1部史学科	99		
第1部教育学科	108		



学部長挨拶

文学部長 大豆生田 稔

東洋大学文学部に入学おめでとうございます。本学は1887（明治20）年に創立された哲学館を前身とし、1906年に東洋大学と改称しました。1928年には大学令による大学として認可されますが、このとき置かれた唯一の学部が文学部です。戦後、1949年には、新制制度のもとで再出発します。文学部は、本学の源流にもっとも近い学部といえます。

現在（2020年度）、文学部には哲学科、東洋思想文化学科、日本文学文化学科、英米文学科、史学科、教育学科、国際文化コミュニケーション学科の7学科があり、皆さんはそれぞれの学科で、哲学・思想・歴史・文学・文化・教育などについて学ぶことになります。

学部での一定の学修をへて所定の単位を取得すると、「学士」という学位が授与されます。この学位が明記された卒業証明書が「ディプロマ」です。卒業認定・学位授与の方針が「ディプロマ・ポリシー」であり、文学部としての「ディプロマ・ポリシー」は、次頁の冒頭に掲げられています。

さらに、文学部の方針をもとに、各学科にもそれぞれ、学科の特性をふまえた「ディプロマ・ポリシー」が設けられていますので、学科の欄を参照してください。「ディプロマ・ポリシー」のほか、教育課程編成・実施の方針、および入学者受入れの方針も、それぞれ、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」として掲載されています。各学科における学修の基本的な方針・目標になります。

この履修要覧は、皆さんが卒業して「ディプロマ」を獲得するまで、文学部での学修の案内役を果たします。卒業の要件や単位の取得、諸資格の取得などについて注意すべき事項、学修をすすめるにあたり重要な事柄が記されています。よく読んで理解し、一人ひとりが主体的に学修計画をたてて、実り多い学生生活を実現してください。

文学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

全学および文学部基盤科目を幅広く履修することを通じて、豊かな教養を身につけ、人格形成の基礎となる学力を養うとともに、哲学・思想・語学・文学文化・歴史等多方面にわたり、高度で緻密な専門的教育研究を通して、広く深い思索力・分析力・表現力・実行力と論理性とを備えた人材の育成を目指す。「演習」等専門科目の主体的履修と、4年間の学修の集大成としての卒業論文作成においてこれが図られ、所定の評価を得たものが学士（Bachelor）と認定される。

文学部教育研究上の目的

1. 人材の養成に関する目的
「ものの見方・考え方」についての基礎的な力と応用する力を教授して、自ら自己の思想・精神を練磨し、権威・権力にとらわれず、「独立自活」と「知徳兼全」とを実現した、社会にとって有為の人材を養成することを目的とする。
2. 学生に修得させるべき能力等の目標
「読む力・書く力・考える力」の養成を教育目標として掲げ、基盤教育（一般教養科目）・文学部基盤科目・専門科目からなるカリキュラムのもとに、広汎な教養と深い専門知識の涵養をはかる。
3. その他教育研究上の目的
上記人材養成の目的、学生に修得させるべき能力等の目標の具体的目的としては、日本・日本人を知り、外国語能力にもすぐれたグローバル人材の育成・学生のキャリア就職支援（教職も含む）・考える力を持ち社会を支える力となる人材を育成する等を挙げ得る。

はじめに

- ・履修要覧は学生生活を送るうえで、重要な事項を記載しています。
- ・履修要覧は、卒業時まで使用します。万一紛失した場合でも、再配付はしませんので、大切に保管してください。なお、履修要覧は本学ホームページからダウンロードできます。
- ・履修要覧の記載事項に修正が生じた場合は、学部掲示板・ToyoNet-G等でお知らせします。



はじめに 本書の見方

用語解説

本文内で記載された用語の解説、補足説明です。



はじめに 掲示板案内

◆◆掲示板◆◆

大学あるいは学部からの通達、連絡および学生に対する伝達はすべて掲示板または ToyoNet-G、ToyoNet-ACE、ToyoNet メールを通して行われます。
大学への登下校時に、毎回必ず確認する習慣をつけましょう。

●● 関連 HP <https://www.toyo.ac.jp/toyonet/top> ●●



掲示板については、掲示内容により掲示場所が異なりますので、注意してください。

○補講
授業を休講したことにより、定められた授業計画(週)を補うために行われる授業のこと。

●ToyoNet-Gの学生
トップページで、学生個人宛のお知らせや休講・補講情報を確認することができます。

- ToyoNet-G p.8
- ToyoNet-ACE p.8
- ToyoNet メール p.9
- 休講・補講 p.34
- 試験 p.42
- 緊急時の情報掲載について p.35

掲示内容	対象学部	掲示板設置場所	問い合わせ
大学公示	全学部	キャンパスプラザ	
授業・試験・補講 ・レポート	文・社会	5号館地下2階エレベーター前	所属学部教務課 担当窓口
	経済・経営 ・法・国際 ・国際観光	(第1部) 1号館1階エレベーターホール (第2部) 1号館1階1101教室前	
学部からの お知らせや 学生呼び出し など	文	5号館地下2階エレベーター横	
	経済	1号館2階エレベーターホール	
	経営	1号館2階1203教室前	
	法	1号館2階1203教室前	
	社会	5号館地下2階エレベーター横	
	国際	1号館3階1305教室前	
教職 (実習・授業関係)	全学部	1号館1階1102教室横 6号館地下1階6B12教室前 (掲示内容は同じです)	教職支援課
教職 (採用・ボランティア 関係)	全学部	3号館1階ナレジスクエア前	
キャリア形成支援・ 就職活動支援	全学部	1号館3階・4階 6号館地下1階・1階 各門入口 8号館2階・4階	就職・キャリア 支援課
ボランティア募集		雨水館1階	ボランティア支援室
遺失物			
セミナーハウス・ イベント情報			
保健管理室			
学生サポート室			
ピアサポートルーム		1号館1・5・6・7階 3号館ナレジスクエア入口脇 4号館1階 6号館1階 6号館地下1階	学生支援課

参照ページ案内

紹介項目に関連する参照ページを紹介します。

ToyoNet-G 活用例

ToyoNet-G (学務システム) で利用できる機能を紹介します。

注意事項

紹介項目のうち、特に注意すべきことを紹介します。

Column

具体的な説明やアドバイスなどを記載しています。

Notice

注意事項の補足説明などを記載しています。



はじめに 掲示板案内

◆◆ 掲示板 ◆◆

大学あるいは学部からの通達、連絡および学生に対する伝達はすべて掲示板または ToyoNet-G、ToyoNet-ACE、ToyoNet メールを通して行われます。

大学への登下校時に、毎回必ず確認する習慣をつけましょう。

●● 関連 HP <https://www.toyo.ac.jp/toyonet/top> ●●

！ 掲示板については、掲示内容により掲示場所が異なりますので、注意してください。

◎補講

授業を休講したことにより、定められた授業計画（週）を補うために行われる授業のこと。



ToyoNet-G の学生トップページで、学生個人宛のお知らせや休講・補講情報を確認することができます。

◎ ToyoNet-G p.8
◎ ToyoNet-ACE p.8
◎ ToyoNet メール p.9

◎ 休講・補講 p.34
◎ 試験 p.42

◎ 緊急時の情報掲載について p.35

掲示内容	対象学部	掲示板設置場所	問い合わせ
大学公示	全学部	キャンパスプラザ	
授業・試験・補講 ・レポート	文・社会	5号館地下2階エレベーター前	所属学部教務課 担当窓口
	経済・経営 ・法・国際 ・国際観光	(第1部) 1号館1階エレベーターホール (第2部) 1号館1階1101教室前	
学部からの お知らせや 学生呼び出し など	文	5号館地下2階エレベーター横	
	経済	1号館2階エレベーターホール	
	経営	1号館2階1203教室前	
	法	1号館2階1203教室前	
	社会	5号館地下2階エレベーター横	
	国際	1号館3階1305教室前	
教職 (実習・授業関係)	全学部	1号館1階1102教室横 6号館地下1階6B12教室前 (掲示内容は同じです)	教職支援課
	全学部	3号館1階ナレッジスクエア前	
教職 (採用・ボランティア 関係)	全学部	3号館1階ナレッジスクエア前	
キャリア形成支援・ 就職活動支援		1号館3階・4階 6号館地下1階・1階 各門入口 8号館2階・4階	就職・キャリア 支援課
ボランティア募集		雨水館1階	ボランティア支援室
遺失物			
セミナーハウス・ イベント情報			
保健管理室			
学生サポート室			
ピアサポートルーム			
留学生奨学金等			
奨学金・学生呼出			
運動部活動			

※掲示板の設置場所が変更された場合は別途お知らせします。



はじめに

ToyoNet-G / ToyoNet-ACE / ToyoNet メール

学生生活を過ごすにあたって、大学のさまざまな Web システムを使用する機会があります。

授業や各種手続、お知らせを確認するための主な Web システムについて紹介します。

◆◆ ToyoNet-G ◆◆

大学での生活・学修上で必要となる手続き・登録を行うシステムです。大学生活に関する情報の発信も行っています。

特に大学からのお知らせはこまめに確認してください。

< ToyoNet-G を使う一例 >

- ・各種登録（履修登録など）
- ・各種照会（成績、学期末試験時間割など）
- ・各種申請の手続（住所変更、成績調査など）
- ・各種書類の印刷（履修登録確認表、成績表など）
- ・アンケート回答・申込
- ・大学からのお知らせ確認（個人宛／休講・補講情報・授業に関するお知らせなど）
- ・シラバス／教員プロフィールの閲覧

詳しい利用方法については、ToyoNet-G の各種資料にある「ToyoNet-G 利用ガイドブック」を参照してください。

◎情報システム利用通知書

大学の Web システムを利用するにあたって、一人ひとりに付与された ID・パスワード・メールアドレスが記載された書類

自動証明書発行機で発行することも可能。

◎ログイン方法

東洋大学ホームページより、ToyoNet-G のバナーをクリックしてください。

ログインに必要な ID とパスワードは、入学時に配付する「情報システム利用通知書」に記載された内容です。

※バナーは東洋大学ホームページの下段あたりにあります。

●● 関連 HP <https://www.toyo.ac.jp/> ●●

◆◆ ToyoNet-ACE ◆◆

授業時間以外でも授業への理解を深めるため、講義内容の補完として使用されることがあります。

また授業時間内において、出席の管理や課題の提出などに使用されることもあります。

< ToyoNet-ACE を使った一例 >

- ・授業の出席
- ・配布資料の確認
- ・授業担当教員からのお知らせ
- ・小テスト、レポートの提出

詳しい利用方法については「東洋大学情報システム利用ガイドブック」を参照してください。

◆◆ ToyoNet メール ◆◆

本学の学生一人ひとりに付与されるメールアドレスです。無料で使用できます。メールアドレスを活用して、授業担当教員への連絡等が可能です。また、大学側から ToyoNet メールアドレスへ連絡することがありますので、定期的に確認するように心がけてください。

＜ToyoNet メールを使う一例＞

- ・ 授業担当教員との連絡
- ・ 就職活動での連絡先として

詳しい利用方法については「東洋大学情報システム利用ガイドブック」を参照してください。

◎ログイン方法

東洋大学ホームページより、ToyoNet 学内情報システムポータルのパナーをクリックしてください。

「ホーム／提供サービス」の「ToyoNet-ACE ログイン」または、「ToyoNet メール ログイン」をクリックしてください。

ログインに必要な ID とパスワードは、入学時に配付する「情報システム利用通知書」に記載された内容です。

※パナーは東洋大学ホームページの下段あたりにあります。

●● 関連 HP <https://www.toyo.ac.jp/toyonet/> ●●

Column

～学内の PC 教室・自習用 PC 教室について～
大学内には自由に使うことができる PC 教室があります。

＜学内の常設 PC 教室＞

- ・ 3 号館 1 階ナレジスクエア
- ・ 1 号館地下 1 階 ラーニング・コモンズ（図書館内）

また、自習用として開放されている教室もあります。自習用 PC 教室は、正規の授業などで使用できない時間帯もありますので、注意してください。

＜自習用 PC 教室＞

- ・ 3 号館 2 階

各種手続

学生生活を過ごすうえで重要な各種手続について説明します。
誤った判断をして、自らの学修活動に支障をきたすことがないよう、不明な点があれば各種相談窓口へ問い合わせるようにしてください。
履修要覧を熟読し、学生生活を実りあるものにしましょう。



各種手続

各種の相談や事務取扱窓口について

大学では、皆さんがいつでも学修や大学生活について相談できる体制が整えられています。
 授業に関することや学生生活に関すること、その他悩みごとなどの相談、休学などの学籍異動に関する手続等については、以下の窓口にて相談してください。
 窓口時間は学生の長期休暇期間、大学祭などにより変更となる場合があります。
 長期休暇期間、大学祭などの窓口時間は、掲示や大学ホームページなどでお知らせします。

◆各種相談窓口◆

相談内容	担当	場所	窓口時間	参照ページ
授業に関する相談	教員	研究室等	オフィスアワー	p.41 「教員との連絡」を参照してください。
履修登録 成績 休学/復学/退学/転部転科/再入学 各種証明書 その他教務全般	各学部教務課	6号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～20:00	
奨学金に関すること サークル等課外活動に関すること	学生支援課	6号館1階	土 9:30～12:45	
学生生活における悩みごとの相談	学生サポート室	6号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～19:45 土 9:30～12:45	
学習方法などに関する相談・支援	ラーニングサポートセンター	3号館1階 ナレッジスクエア	詳細はホームページ、 掲示板で確認してください。	p.45
教員採用に関する支援	教職支援室	3号館1階 ナレッジスクエア		p.211
教職課程全般に関わる支援	教職支援課	5号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～18:45 土 9:30～12:45	
病気・ケガなどの身体に関すること 健康診断等	保健管理室	6号館1階	月～金 9:30～19:45 土 9:30～12:45 ※医師診療時間については 「学生生活ハンドブック」 にて確認してください。	
就職に関する相談	就職・キャリア支援課	6号館1階	月 9:30～17:45 火～金 9:30～19:45	
障がい学生支援に関すること	ピアサポートルーム	6号館1階	月～金 10:00～13:00 14:00～18:30 土 9:30～12:45	
海外留学に関する相談	国際教育センター	8号館1階	月～金 9:30～18:00 土 9:30～13:00	p.216～
図書館資料に関すること	附属図書館	2号館1階	ホームページにて 確認してください。	
納付金に関すること	財務課	9号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～16:45 土 9:30～12:45	p.25



各種手続

学籍情報

◆学籍番号◆

学籍番号は、10桁の固有番号で構成されています。原則卒業まで変わりません。番号は、以下のとおり所属の学部・学科、入学年度などの意味があります。履修登録や試験の解答用紙の提出、各種届け出、証明書の申請にあたっては、学生本人を特定する番号となりますので正確に記入してください。

【学籍番号の例】

1	1	1	0	2	0	0	9	9	9
学部・学科コード				入学年度 (西暦下2桁)		学生 区分	番号(001～)		

【学部・学科コード】

1110	文学部第1部哲学科
1190	文学部第1部東洋思想文化学科
1140	文学部第1部日本文学文化学科
1150	文学部第1部英米文学学科
1160	文学部第1部史学科
1171	文学部第1部教育学科人間発達専攻
1172	文学部第1部教育学科初等教育専攻
11A0	文学部第1部国際文化コミュニケーション学科
2190	文学部第2部東洋思想文化学科
2140	文学部第2部日本文学文化学科
2170	文学部第2部教育学科

【学生区分】

0	通学課程
9	科目等履修生

◆学生証◆

◎学生証裏面シール
通学定期乗車券発行
用証明書のこと。現
住所等を記入し貼付
してください。

本学の就学手続が完了した学生に学生証を交付します。学生証は本学学生としての身分を証明するものですので、常に携帯してください。また学長印、学生本人の写真、裏面シールの貼付が無いものは無効となります。学生証は他人に貸与、または譲渡することはできません。

Point

～学生証の携帯義務～

学生証は本学学生としての身分を証明するものであるため、常に携帯し、次の場合これを提示しなければなりません。

- 1) 本学の教職員の請求がある場合
- 2) 試験を受験する場合
- 3) 各種証明書や学生旅客運賃割引証明書(学割)等の交付を受ける場合
- 4) 通学定期乗車券や学生割引乗車券を購入する際と、それを利用して乗車船した際に係員の請求があった場合、等

学生証がないと各種証明書の発行が受けられません。また、図書館の利用、試験の受験、通学定期券の購入等ができませんので、紛失・汚損・破損のないよう十分注意してください。

＜有効期限と更新手続＞

学生証の有効期限は4月1日から次年度の4月15日までの約1年間です。入学時に交付を受けた学生証は卒業するまで使用します。毎年4月初旬の進級手続期間内に、学生証の裏面シールを貼りかえ、学生証の有効期限の更新を受けなければなりません。

※進級手続の日時等は、ToyoNet-Gでお知らせします。

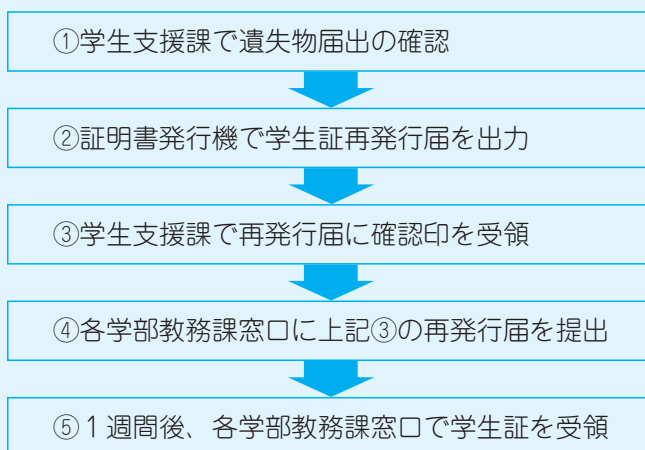
＜返還＞

卒業または退学・除籍等の理由で、本学に籍が無くなった場合は、学生証を本学に返還しなければなりません。

＜再発行＞

学生証を紛失もしくは破損・著しく汚損した場合は、直ちに本学へ届け出し、以下の手続に従って学生証の再発行をしなければなりません。

●手続きの流れ●



- ・ 学生証の再発行には1週間かかります。
- ・ 再発行手数料として2,000円がかかります。
- ・ 申込キャンセルによる手数料の返金はできません。

＜証明書発行機で使用する暗証番号＞

第三者に不正使用されないために、4桁の数字の暗証番号が登録されています。入学手続時に届け出た暗証番号は、証明書発行機で証明書を発行する際に必要です。メモなどを取り、必ず覚えておいてください。

◆◆学籍情報の変更◆◆

本学の入学手続き時に届出した情報に変更が発生した場合は、各学部教務課窓口で所定の用紙に変更箇所を記入し、すみやかに届け出てください。なお、変更内容によっては、「ToyoNet-G」の「学生メニュー」＞「個人情報管理」＞「学生情報申請」を利用しても変更が可能です。

変更内容	変更方法		注意事項 (提出書類など)
	教務課窓口	ToyoNet-G	
本人氏名変更 (改姓・改名)	○	×	戸籍抄本または住民票を提出してください。
本人住所、連絡先変更	○	日本国籍学生…○ 外国籍学生…住所変更は×	外国籍学生は在留カードの両面コピーを提出してください。
最寄駅変更	○	○	
保証人変更	○	×	変更届・誓約書(新しい保証人の署名・捺印が必要です。)
保証人住所、連絡先、勤務先変更	○	○	
緊急時連絡人変更	○	×	
緊急時連絡人住所、連絡先変更	○	○	
本籍地変更	○	×	住民票(ただし本籍の記載があるもの)、または戸籍抄本の提出が必要です。
在留資格・在留期間等変更(外国籍学生対象)	×	×	TUGS 社(8号館2階)にて所定の手続を行ってください。

◎在留期間の更新
在留期間の更新の際は、学生支援課でも手続きが必要です。住民票のコピーと在留カードを持参してください。

◆◆修業年限・在学年限・休学期間◆◆

<修業年限>

卒業するために最低限在学しなければならない期間を指します。その期間は4年間です。

<在学年限>

大学に在学できる期間のことを指します。その期間は8年間です。8年を超えての在学はできません。ただし、休学期間は在学年限に含まれません。

<休学期間>

休学期間は通算して8学期(4年間)を超えることができません。

通常の在学年限	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目	
	第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ	第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ	第9セメスタ	第10セメスタ	第11セメスタ	第12セメスタ	第13セメスタ	第14セメスタ	第15セメスタ	第16セメスタ

1年間休学した場合	1年目		2年目		1年休学	3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目	
	第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ		第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ	第9セメスタ	第10セメスタ	第11セメスタ	第12セメスタ	第13セメスタ	第14セメスタ	第15セメスタ	第16セメスタ

④ セメスタ p.33



各種手続

休学および復学

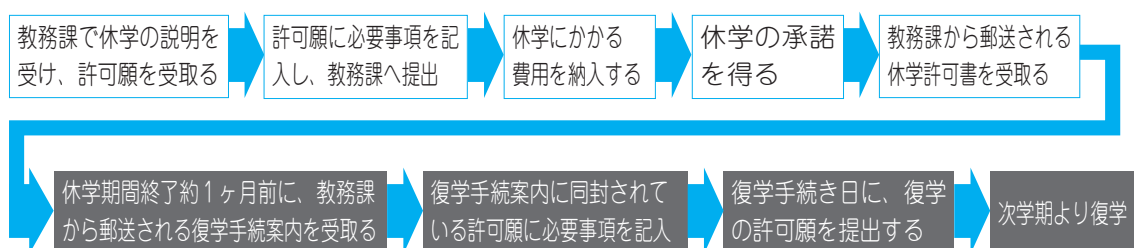
◆◆休学について◆◆

病気・家庭の事情・留学等の理由で3ヶ月以上本学に修学できない場合は、大学の許可を得て休学することができます。

休学希望者は、教務課で休学についての説明を受け、許可願用紙に必要事項を記入し、教務課に提出してください。なお、病気・怪我の場合には、医師の診断書も併せて提出が必要となります。

休学中に留学する場合の単位認定に係る手続については、P.220を確認してください。

◆◆休学および復学手続の流れ◆◆



手続きについては、学生本人が行ってください。やむを得ず本人が手続きできない場合は、事前に教務課へ相談してください。

◆◆休学の期間と許可願の提出期限◆◆

休学希望者は、定められた期限までに許可願を教務課に提出しなければなりません。

学期	休学期間	提出期限
春学期	4月1日～9月30日	春学期納付金納入期限まで
秋学期	10月1日～3月31日	秋学期納付金納入期限まで

原則として連続する2セメスタを超えて休学することはできません。ただし特別な事情がある場合は大学の許可を得て休学することができます。休学の期間は通算して、8セメスタを超えることはできません。



次セメスタの休学希望者は試験・補講調整期間を目安に教務課窓口にご相談してください。
2セメスタ連続休学を希望する場合は、各セメスタごとに手続が必要です。

◆◆各学期の休学にかかる費用◆◆

許可願提出後、各学期の納付金納入期限末日までに以下の納付金を納入することで、休学許可願申請が完了します。

学費	その他の費用	
各学期の一般施設設備資金 の1/2	+	雨水会費 学生課外活動 育成会費

※秋学期休学の場合、「その他の費用」については春学期に徴収済のため、納付の必要はありません。

納付金の詳細一覧が P.25 にありますので、確認してください。

④ 学籍異動に必要な納付金
p.25

！ 学期によって異なる部分があります。休学するためにかかる費用については教務課に必ず確認してください。

Notice

～学期途中の休学について～

春学期途中に休学する場合、春学期最終日3ヶ月前にあたる6月末日まで、秋学期途中に休学する場合、秋学期最終日3ヶ月前にあたる12月末日まで受付をします。ただし、学期途中での休学の場合、納付金の返還はできませんので注意してください。

◆◆休学（復学）許可願の書き方◆◆

東洋大学長 殿

以下の事由により 年 月 日をもって

休学（年 月 日まで）

（復学・退学・再入学）いたしたく、

（※該当する事項を○で囲むこと）

許可くださいますよう、保証人進署のうえお願いいたします。

【事由】

休学・退学事由（次から一つ選択し、○で囲むこと）

①就学意欲の低下 ②進路変更（他機関への入学・転学・編入学）
 ③進路変更（就職） ④進路再考 ⑤経済的困窮
 ⑥学力不足 ⑦身体疾患 ⑧精神的理由
 ⑨海外留学 ⑩その他
 （事由）

国外への留学等による休学・退学の場合は、以下に滞在先を記入すること。

国・地域および都市名：

留学等を行う施設名：

（注意）

1. 学年は西暦で記入すること。
 2. 退学者は学生証を添付すること。
 3. 病気・怪我による休学・退学の場合は医師の診断書を添付すること。
 4. 休学期間が終了し復学する場合は、後日郵送の手続き案内にない、指定された期間中に復学願を提出し手続きすること。

許可願

（提出日） 年 月 日

学籍番号	学部	第	部	学科	年	番
本	住	〒	—			
人	所	TEL () () () () () ()				
氏	名	年 月 日生 (満 歳)				
保	住	〒	—			
証	所	TEL () () () () () ()				
人	氏	名				
—大学所見欄—						
(記入日) 年 月 日 (記入者氏名) ()						
※大学所見欄には、学生は記入しないこと。						

事務局受付	学部教務会	学籍簿記入
学籍簿記入	承 ・ 否	学籍システム更新

春学期	休学 復学	●●年 4 月 1 日
秋学期	休学 復学	●●年 10 月 1 日

春学期	休学	●●年 9 月 30 日
秋学期	休学	●●年 3 月 31 日

復学の場合は復学を○で囲む

学生本人が自筆すること

印鑑は別々の物を使用すること
シャチハタ印鑑は不可

保証人本人が自筆すること

休学理由を詳しく記入すること

許可願は、原則教務課窓口で説明を受けた後、教務課にて受取ってください。直接教務課に行くことが困難な場合は、ToyoNet-G からダウンロードすることもできます。

◆◆許可書の発送について◆◆

大学から許可されると第1部学生は保証人宛に、第2部学生および外国人留学生は本人宛に休学許可書が郵送されます。

◆◆復学◆◆

休学期間を満了し、在学することを復学といいます。春学期休学の場合は10月1日付、秋学期休学の場合は次年度4月1日付で復学しなければなりません（授業開始日は学生ハンドブックで確認してください）。

◆◆復学手続の流れ◆◆

復学日約1ヶ月前に大学から郵送される**復学手続案内**を確認のうえ、同封の許可願に必要事項を記入し、指定の復学手続き日に大学で手続きを行ってください。その際、**許可願を必ず提出してください**。

ただし、外国籍の方は在留資格等の手続に日数がかかることから、通常の復学手続とは異なります。教務課から連絡しますので、その指示に従ってください。

復学手続（在留資格等）については本学 Web サイトで事前に必ず確認してください。

各種手続 退学

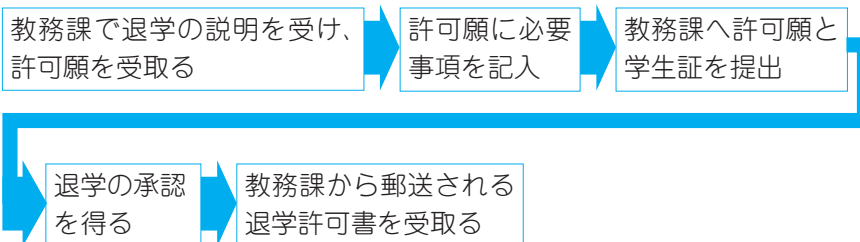
事情により本学での修学が困難な場合は、大学の許可を得て退学することができます。

退学希望者は、各学部教務課で退学についての説明を受け、必要事項を記入した許可願に学生証を添えて、各学部教務課窓口へ提出してください。なお、病気・怪我の場合には、医師の診断書も併わせて提出が必要となります。



許可願は、原則教務課窓口で説明を受けた後、教務課にて受取ってください。直接教務課に行くことが困難な場合は、ToyoNet-G からダウンロードすることもできます。

◆退学手続の流れ◆



手続については、学生本人が行ってください。やむを得ず本人が手続きできない場合は、事前に各学部教務課窓口へ相談してください。

◆退学許可願の書き方◆

東洋大学長 殿

以下の事由により 年 月 日をもって

(休学 (年 月 日まで) 復学・退学・再入学) いたしました。

(※該当する事項を○で囲むこと)

許可くださいますよう、保証人連署のうえお願いいたします。

【事由】

休学・退学事由 (次から一つ選択し、○で囲むこと)

①就学意欲の低下 ②進路変更(他機関への入学・転学・編入学)
 ③進路変更(就職) ④進路再考 ⑤経済的困難
 ⑥学力不足 ⑦身体疾患 ⑧精神的理由
 ⑨海外留学 ⑩その他 (事由)

国外への留学等による休学・退学の場合は、以下に滞在先を記入すること。

国・地域および都市名: _____

留学等を行う施設名: _____

(注書)
 1. 署名は西暦で記入すること。
 2. 退学者は学生証を添付すること。
 3. 病気・怪我による休学・退学の場合は医師の診断書を添付すること。
 4. 休学期間が終了し復学する場合、後日募集の手続き案内に従い、指定された期間中に復学願を提出し手続きすること。

許 可 願 (提出日) 年 月 日

本 人	住所	〒 _____	TEL () _____	氏名 _____	年 月 日生(満 歳)	◎
	住所	〒 _____	TEL () _____	氏名 _____	年 月 日生(満 歳)	◎
保 証 人	住所	〒 _____	TEL () _____	氏名 _____	年 月 日生(満 歳)	◎
	住所	〒 _____	TEL () _____	氏名 _____	年 月 日生(満 歳)	◎

一大学所見聞一

(記入日) 年 月 日 (記入者氏名) _____ ◎

※大学所見聞には、学生は記入しないこと。

事務局受付	学部教務会	学籍課記入
学費徴収	承 / 否	学籍システム更新

学期末日で退学する場合
 春学期：●●年 9 月 30 日
 秋学期：●●年 3 月 31 日

退学を○で囲む

学生本人が自筆すること

印鑑は別々の物を使用すること
 シャチハタ印鑑は不可

保証人本人が自筆すること

退学理由を詳しく記入すること

◆◆学費の取り扱い◆◆

①春学期途中で退学する場合

- ・春学期の途中で退学する場合は、第1期（春学期）分の納付金は払い戻しません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻します。

②秋学期途中で退学する場合

- ・秋学期の途中で退学する場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しません。

新学期の納付金納入期限末日までに退学許可願の提出手続が完了した場合、退学日を前学期の末日付として扱うため、当該学年・学期の納付金を納入する必要はありません。

◆◆許可書の発送◆◆

大学から許可されると第1部学生は保証人宛に、第2部学生および外国人留学生は本人宛に退学許可書が郵送されます。



各種手続 除籍

除籍とは、本学の学則およびその施行のために定められた規則に基づく権利の一切を失うことです。

次に該当する場合は、除籍の対象となります。

- ①指定された期間内に納付金を納入しなかった学生
- ②在学年限を超えた学生
- ③休学期間を超えた学生
- ④新入生で指定された期間内に履修登録をしなかった学生
- ⑤その他本学において修学の意思がないと認められる学生
- ⑥外国人留学生で「留学」の在留資格の発給を拒否された学生

◆◆除籍日◆◆

在校生の除籍日は原則として9月30日又は3月31日となり、新入生で指定された期間内に履修登録をしなかった学生の除籍日は4月30日となります。

◆◆除籍となった場合◆◆

除籍となった場合、速やかに学生証を返却しなければなりません。なお、除籍通知書は保証人宛に郵送します。



各種手続 再入学

本学を退学した者、または除籍となった者が、再入学を希望する場合、大学の許可を得て再入学することができます。

再入学を希望する者は、下記の日程までに在籍していた教務課窓口で再入学の説明を受け、許可願用紙に必要事項を記入し、保証人連署・捺印の上、教務課窓口へ提出してください。

許可願提出後、大学の許可を得て、再入学することができます。

	国籍	許可願提出期限	再入学日
春学期(4月)から再入学を希望する者	日本国籍	前年度 1 月末まで	翌年度 4 月 1 日付
	外国籍	前年度 10 月末まで	
秋学期(10月)から再入学を希望する者	日本国籍	当該年度 7 月末まで	当該年度 10 月 1 日付
	外国籍	当該年度 4 月末まで	

※再入学手続(在留資格等)についての詳細は教務課窓口にお問い合わせください。

※東洋大学に再入学するにあたっての再入学手続(在留資格等)については本学 WEB サイトで説明していますので、必ず事前に確認してください。その内容(許可願提出期限ほか)は変更する場合がありますので、必要に応じて本学 WEB サイトで必ず確認してください。



●● 関連 HP

<https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/request/certificate03/> ●●

下記の条件により退学・除籍した者は再入学を希望することはできません。

退学者：在学年限が満期となる学期に退学した者

懲戒により退学となった者

除籍者：在学年限を超えて除籍となった者

休学期間を超えて除籍となった者

Notice

再入学する学年およびセメスタは、本学での最終学籍状況によって異なります。単位の修得状況によっては学年を繰り下げ場合があります。また、学科教育課程表は入学年度のを適用しますが、学科教育課程表が大きく変わっている場合には、再入学する学年の学科教育課程表を適用することがあります。履修方法は、再入学手続き時に教務課窓口で説明をします。不明な点は、各学部教務課窓口へ問い合わせてください。



各種手続 その他の学籍異動

◆◆ 転部・転科 ◆◆

本学内で他の学部・学科への転部・転科を希望する学生に対し選考を実施します。転部・転科先の学年は 2 年次または 3 年次となります。

11 月配布予定の試験要項に基づいて手続をし、1 月実施予定の試験を受験してく

ださい。また、合格発表は翌年3月下旬に行う予定です。手続案内は学内に掲示されます。詳細は、各学部教務課窓口へ問い合わせてください。



スケジュール（予定）は、年度により時期が前後する場合があります。
当該年度の掲示案内で確認してください。

◆懲戒による退学◆

本学の規則に反し、または学生の本分に反する行為があった学生は、大学の決定を受けて懲戒による退学となる場合があります。

◆4年原級◆

●修業年限
在学年限
p.15・32

本学に学生として最低4年間在学し、所定の単位を修得しなければ卒業はできません。

4年次終了までに所定の単位数を修得できず、卒業できないことを4年原級といいます。卒業に必要な単位を修得するために通算して在学できる年数（在学年限）は、最長で8年間ですので、その年限までは4年生ということになります。



・卒業できなかった学生は、教務課より郵送される要領に従って、各学部教務課で手続きをしてください。

◆編入学◆

本学または他大学を卒業後に編入学を希望する者に対して、編入学試験を実施しています。試験要項は、9月頃入試情報サイトに掲載予定です。

編入学する学年は、原則として3年次となります。また、学科教育課程表も編入学する学年のものを適用します。既修単位の取り扱いについては試験要項を確認してください。履修方法については、編入学の手続時に教務課で説明をします。不明な点は、各学部教務課窓口へ問い合わせてください。



本学を卒業した者は卒業した学部・学科への編入学はできません。

◆科目等履修生◆

特定の授業科目を履修しようとする場合、科目等履修生として当該授業科目の履修をすることができます。

本学に在籍中は科目等履修生として授業科目を履修することはできません。

詳細は、各学部教務課窓口にお問い合わせください。

◆転入学◆

他の大学の学生が、その大学の許可を得て本学に転入学を願い出る場合、本学の実施する転入学試験を受験していただきます。試験要項は、9月頃入試情報サイトに掲載予定です。

転入学する学年は、原則として2年次または3年次となります。また、学科教育課程表も転入学する学年のものを適用します。既修単位の取り扱いについては試験要項を確認してください。履修方法については、転入学の手続時に教務課で説明をします。不明な点は、各学部教務課窓口へ問い合わせてください。



各種手続

各種証明書

◆在籍時に発行できる証明書の種類◆

以下の証明書が発行できます。

証明書の種類	金額	発行方法	発行期間	備考
・在学証明書 ・成績証明書 ・健康診断証明書 ・履修科目証明書 ・卒業見込証明書	100 円	証明書発行機から直接	即日	・健康診断証明書は大学が実施する定期健康診断を受診した学生のみ発行可能です ・卒業見込証明書は4年生になった4月1日以降に発行可能となります
・教育職員免許状取得見込証明書	100 円	窓口でお問い合わせください	窓口でお問い合わせください	・4年生になった10月1日以降に発行可能となります
・学割 ・情報システム利用通知書	無料	証明書発行機から直接	即日	・発行枚数に上限があります
・兄弟等の授業料減免に係わる証明書	200 円	証明書発行機で申込書を購入(学生支援課窓口へ提出)	1 週間	
・奨学金受給証明書 ・奨学生推薦書	300 円	証明書発行機で申込書を購入(学生支援課窓口へ提出)	1 週間	・英文を希望する場合は国際課へ提出してください
・人物証明書	200 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	窓口でお問い合わせください	・原則として大学所定用紙に卒業担当教員が必要事項を記入後、証明手続きを行います ・記入済み所定用紙を所属学部教務課窓口へ持参してください
・在籍証明書	300 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	即日	・休学者のみ発行可能です
・社会福祉士指定科目履修見込証明書	300 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	1 週間	
・英文在学証明書 ・英文卒業見込証明書 ・英文在籍証明書	500 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	1 週間	・英文卒業見込証明書は4年生になった4月1日以降に発行可能となります ・英文在籍証明書は休学者のみ発行可能です
・英文成績証明書 ・英文履修科目証明書	1,000 円	証明書発行機で申込書を購入(所属学部教務課窓口へ提出)	1 週間	
・学生証再発行 (通学定期乗車券発行用証明書含む)	2,000 円	証明書発行機で申込書を購入(学生支援課窓口→所属学部教務課窓口の順に提出)	1 週間	・申込キャンセルによる手数料の返金はいたしません
・本学書式以外の証明書 (指定書式での証明書発行を含む)	300 円	証明書発行機で申込書を購入	1 週間	・必要な証明書については所属学部教務課または学生支援課に相談してください

※休暇中の発行期間は変更になることがあります。

※余裕をもってお申し込みください。

◆卒業後に発行できる証明書の種類◆

以下の証明書が発行できます。証明書の申し込み方法は郵送と窓口受取のどちらでも受け付けています。電話・FAXでの申し込みはできません。
詳細は大学ホームページを確認してください。

●● 関連 HP <https://www.toyo.ac.jp/alumni/syoumeisyo/> ●●

証明書の種類	金額	発行方法	発行期間	備考
・卒業証明書 ・成績証明書	200 円	<窓口> 証明書発行機で申込書 を購入 (担当窓口へ提出) <郵送> ホームページで確認し てください。	即日	
・単位修得証明書 ・学力に関する証明書 ・学芸員単位修得証明書 ・司書単位修得証明書 ・司書教諭単位修得証明書 ・社会教育主事単位修得証明書 ・社会福祉主事単位修得証明書 ・社会福祉士指定科目履修証明書	300 円		1 週間	
・人物証明書	200 円		即日	・在籍時に人物調査書を提出した者のみ発行可能です ・卒業後3年以内まで発行可能です
・英文卒業証明書	500 円		1 週間	
・英文成績証明書 ・英文履修科目証明書	1,000 円		1 週間	
・本学書式以外の証明書 (指定書式での証明書発行を含む)	300 円		1 週間	・必要な証明書については各学部教務課または学生支援課に相談してください

※休暇中の発行期間は変更になることがあります。

④ 学生証の暗証番号
p.14

◆証明書発行機◆

在学証明書や成績証明書、学割など、一部の証明書は証明書発行機より直接発行することができます。証明書発行機を使用する際には、学生証と、予め登録した暗証番号が必要です。



- ・稼働時間は学生の長期休暇期間、大学祭などにより変更となる場合があります。
- ・長期休暇期間、大学祭期間などの稼働時間は掲示や大学ホームページなどでお知らせします。

証明書発行機設置場所	稼働時間
2号館1階 6号館1階 8号館4階	月～金 9:00～20:00 土 9:00～12:45



各種手続 納付金

定められた期間に納付金を納入しなければ、本学の学生として、在籍することはできません。納入期間がありますので、期日までに納入をすることを忘れないようにしてください。

◆◆納付金額◆◆

◎学費とその他の費用
「学費」とは授業料等の大学徴収分を指し、「その他の費用」とは各団体からの受託徴収分を指します。

「学費」と「その他の費用」を合わせて「納付金」と称します。2年次以降は、入学金を除く納付金の納入が毎年度必要になります。納付金の内訳は以下のとおりです。

【2020 年度入学生】

(単位：円)

学 部			第 1 部						第 2 部・ イブニングコース
			文・経済・経営・ 法・社会学部	文学部	社会学部			国際・ 国際観光 学部	全学部
			(右記学科を 除く)	教育学科 初等教育専攻	社会福祉学科	メディアコミュニ ケーション学科	社会心理学科		
納 付 金	学 費	入 学 金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	180,000
		授 業 料	710,000	820,000	710,000	710,000	710,000	780,000	430,000
		一 般 施 設 設 備 資 金	220,000	250,000	220,000	220,000	220,000	220,000	100,000
		教育充実料	—	—	25,000	10,000	15,000	—	—
	その他 の費用	雨水会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	—
		学生課外活動 育 成 会 費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
		合 計	1,190,000	1,330,000	1,215,000	1,200,000	1,205,000	1,260,000	715,000

◆◆納入期間◆◆

納付金は、第1期に1年間分を全額一括納入する方法と、授業料・一般施設設備資金・教育充実料を二期に分けて納入する方法を選択することができます。

第1期（春学期）納入期間 4月1日～4月25日

第2期（秋学期）納入期間 10月1日～10月15日



各年度の曜日の関係により、納入期間が短縮される場合があります。

㊦ 休学／復学／退学
除籍／再入学
p.16～p.22

◆◆学籍異動における納付金の取扱◆◆

【休学】

休学の意思がありながら学期始めに休学する場合は、納付金の納入期間内に休学許可願を教務課に提出してください。

＜第1期（春学期）の納入期限までに休学を願い出た場合＞

- ・休学日を4月1日付として扱い、納付金のうち、第1期（春学期）分の一般施設設備資金の半額とその他の費用を納入する必要があります。
- ・全額一括納入した場合は、第1期（春学期）分の授業料と一般施設設備資金の半額および第2期（秋学期）分の納付金を払い戻しいたします。

＜春学期中に休学する場合＞

- ・春学期の途中で休学する場合、第1期（春学期）の納付金は払い戻しをいたしません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金を払い戻しいたします。

＜第2期（秋学期）の納入期限までに休学を願い出た場合＞

- ・休学日を10月1日付として扱い、納付金のうち、第2期（秋学期）分の一般施設設備資金の半額を納入する必要があります。
- ・第2期（秋学期）分の納付金を納入した場合は、第2期（秋学期）分の授業料と一般施設設備資金の半額を払い戻しいたします。

＜秋学期中に休学する場合＞

秋学期の途中で休学する場合、第2期（秋学期）の納付金は払い戻しをいたしません。

＜2セメスタ連続して休学する場合＞

連続休学する場合、次学期分の納付金のうち、一般施設設備資金の半額とその他の費用は納入しなければなりません。

【復学】

- ・休学者が復学する場合の納付金は、入学年度の額が適用されます。
- ・第2期（秋学期）に復学する場合は、復学時に1セメスタ（半期）分の納付金を納入することになります。
- ・1セメスタ（半期）休学する場合、全額一括納入・分割納入の選択が可能な納入期は、第1期（春学期）とします。

④ 休学／復学 p.16

【除籍】

所定の納期までに納付金を納入しない学生は、学則第38条1項により、除籍となります。

【退学】

修学の意味がない場合は、納入期間内に退学許可願を教務課に提出してください。

＜新学期の納入期限の末日までに退学を願い出た場合＞

退学日を前学期の末日付として扱い、当該年度・学期の納付金を納入する必要はありません。

＜春学期中に退学する場合＞

- ・春学期の途中で退学する場合は、第1期（春学期）分の納付金は払い戻しをいたしません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しいたします。

＜秋学期中に退学する場合＞

秋学期の途中で退学する場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しをいたしません。

【再入学】

再入学する場合の納付金は、再入学する学年次の納付金を適用します。ただし、入学金は、再入学する年度の新生の半額となります。

④ 休退学・除籍／再入学 p.16～22

【原級】

4年次生で原級する場合の納付金は、当該年度正規4年次生の納付金を適用します。

【転部・転科】

納付金は転部・転科先の学年の納付金を適用します。ただし、入学金は、転部・転科先との不足分を納入することになります。

【編入学】

編入学する場合の納付金は、編入学する年度の新入生の納付金を適用します。ただし、本学出身者が編入学する場合、入学金は、編入学する年度の新入生の額の半額となります。

◆◆振込用紙の送付先◆◆

- ・ 振込用紙の送付先は、第1部学生…保証人宛て／第2部学生…入学時に選択した宛先／留学生…本人宛て、となります。
- ・ 振込用紙の送付先を変更したい場合は、財務課にて手続きをしてください。

④ 住所変更の手続窓口
p.15



振込用紙送付先の住所に変更があった場合は、所定の手続により、住所変更の手続を行ってください。

◆◆納入方法◆◆

- ・ 本学所定の納入方法で、国内の金融機関から振り込んでください。大学窓口での受付および海外からの送金はできません。
- ・ 振込用紙を紛失した場合は、至急、財務課で再発行の手続きをとってください。
- ・ 納付金に関する証明書の発行が必要な方は、財務課にて申請してください。
- ・ 納入された納付金は、超過納入が明らかな場合または学籍異動に伴い徴収の対象とならない場合を除き返還いたしません。

◆◆納入期間内に納入ができない場合◆◆

④ 学生支援課窓口
p.12

やむを得ない事情で納入期限までに納付金を納入できない場合は、**必ず納入期間内に学生支援課に相談してください。**

学修にあたって



学修にあたって

カリキュラムの概要

◆◆基盤教育「東洋大学スタンダード」◆◆

「諸学の基礎は哲学にあり」という建学の精神のもと、東洋大学は現在、地球規模の視点で物事をとらえ、自分の未来を切り開くことのできる「グローバル人財（人という財産）」の育成を目指しています。

「東洋大学スタンダード」は、教育目標である「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」の3つの柱をつなぐ「教養教育」を強化し、学部の特長を越えて学ぶ基盤教育カリキュラムです。総合大学の特色を生かした幅広い教養教育として次のような枠組みを設けて展開しています。

＜基盤教育による全学的な人財養成の目標＞

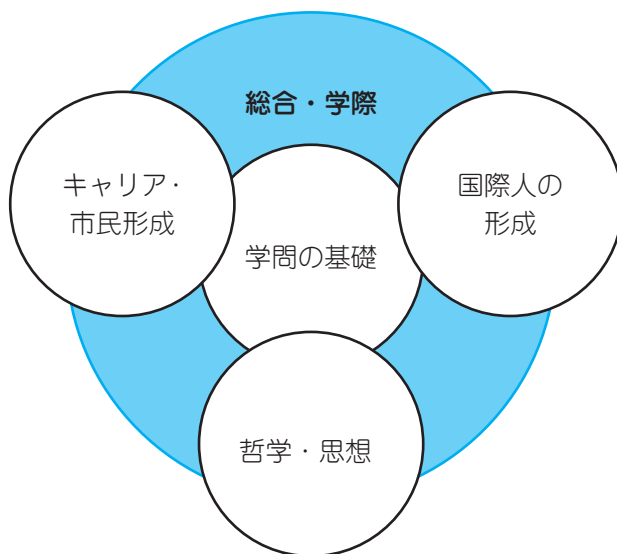
- 1) 哲学することを重んじ、自ら考え判断し行動する。
- 2) 知・徳・体の力を伸ばし、生命と自然を尊重する。
- 3) 学問を通じて、論理的思考力と生涯学習への礎を身につける。
- 4) 現代社会における諸課題を解決するための発想力・創造性を養う。
- 5) 自他の伝統と文化を相互に尊重するとともに、自らの個性を育む。
- 6) 21世紀のグローバル社会に貢献できる国際人・地球市民となる。
- 7) 総合的視野に立ち、他の分野の人々とも協働できるリーダーをめざす。

◎カリキュラム

大学の目的、学部学科の人材養成の目的を達成するために、開設する授業科目を配列し、どのような知識・能力を身につけることになるのかを体系的に示したものの、教育課程。

◎学士課程教育

学部教育に加え、国際的通用性のある大学教育の課程の修了に関わる知識・能力を修得した者に学位を与える教育課程（プログラム）。



～基盤教育カリキュラム体系図～

基盤教育「東洋大学スタンダード」を学び幅広い知識・教養を身につけ、学部共通科目及び学科専門科目を深く体系的に学ぶことができるよう、本学の学士課程教育が構成されています。

基盤教育 東洋大学スタンダード	
哲学・思想	「建学の精神と思考鍛練の基礎」 東洋大学の伝統と歴史、創立者の考えを学ぶとともに、東西の哲学を通じて、自ら考え、判断し、行動する能力を身につけることを目指す科目群。創立者・井上円了によれば、「哲学教育」とは、思想鍛練の方法として必要な学問であり、ものの見方や考え方の基礎を身につけることにあります。グローバル人材の育成にあたり必要な実践哲学、倫理観の醸成を重視し、総合的な視野に立って他分野の人々とも協働できるグローバルリーダーを育成します。
学問の基礎	「普遍的な学問教育と論理的思考力の育成」 人文・社会・自然科学の学問領域を追究する、一般教養やリベラル・アーツといわれる科目群。学問上の方法論を修得し、論理的思考力の育成を目指すとともに、多様性を尊重し、地球環境の持続可能性を追求する人材を育成します。また、生涯にわたり学び続ける学習者としての態度を養います。
国際人の形成	「グローバル化した地球社会で生きる」 国際人を育成することに直接的に関わる、言語や情報等のコミュニケーション関連科目に加え、異文化理解や日本人としてのアイデンティティ、国際関係、地域文化などの理解を深める科目群。また、語学力・コミュニケーション能力を高めることで、他国の文化を受容・尊重し、自国の文化を世界に発信し、グローバル社会に貢献できる国際人・地球市民の養成を目指します。
キャリア・市民形成	「キャリア教育と知・徳・体の成長を重視した人格教育」 知・徳・体のバランスの取れた全人的人間性の養成を目指す科目群。めまぐるしく変化する現代社会においては、市民社会における個人の自由や権利を主張する一方で、地域のコミュニティを育て、連携して課題解決を目指し、協働することを学ぶ必要があります。社会的・職業的な課題における問題解決力や発想力の育成と、総合的な視野を持ち、他分野と協働できる能力の育成を目指し、自ら考え行動することを身につけ、自己実現を図ります。
総合・学際	「先進的で総合的な教育内容・学習法の取り組み」 さまざまな問題や課題を前面に出した複合的、総合的、学際的なテーマを設定する科目群。授業では最新の研究成果を広く他領域の学生に紹介し、複数の教員によるオムニバス形式、複数の教員が協働する同時登壇形式といった形式で行います。また、演習や討論、対話を通じて、学生が課題を探究・解決するアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れています。ICTを活用したキャンパス間をつないだ同時双方向遠隔授業なども行います。
留学支援	LEAP（学術英語習得プログラム）をはじめとする、学生の留学準備及び英語強化を支援する準集中型英語プログラムが展開されています。この科目群により、教室外の学習機会を設けることで、学生の TOEFL のスコア及び全体的な英語スキルの向上を目指します。
学部共通科目・専門科目	
学部共通科目	本学部の学科共通で開設されている科目群です。 本学部に所属する学生であれば全学生が履修することが可能です。
学科専門科目	カリキュラムの中心となる最も多く履修・修得する必要がある学科専門科目群です。 必修・選択必修・選択科目等に分かれています。
教職科目	教育職員免許状を取得するために開設されています。

◆文学部基盤科目 / 専門科目◆

本学部、各学科の人材養成の目的その他教育研究上の目的を実現するために必要なカリキュラムが構成されています。

詳しくは、各学科の教育課程表のページを参照してください。



学修にあたって 卒業・学位

④ 修業年限 p.15

◆◆卒業要件、修業年限／在学年限◆◆

卒業するには、修業年限 4 年以上在学し、各学科が定めている卒業要件をすべて充足することが必要です。

在学できる年数は最長で 8 年（休学期間を除く）と定められています。

卒業要件

- 1) 修業年限を満たしていること。
- 2) 各学科の卒業要件を満たしていること。
- 3) 卒業要件に含まれる科目の修得単位数が 124 単位以上であること。

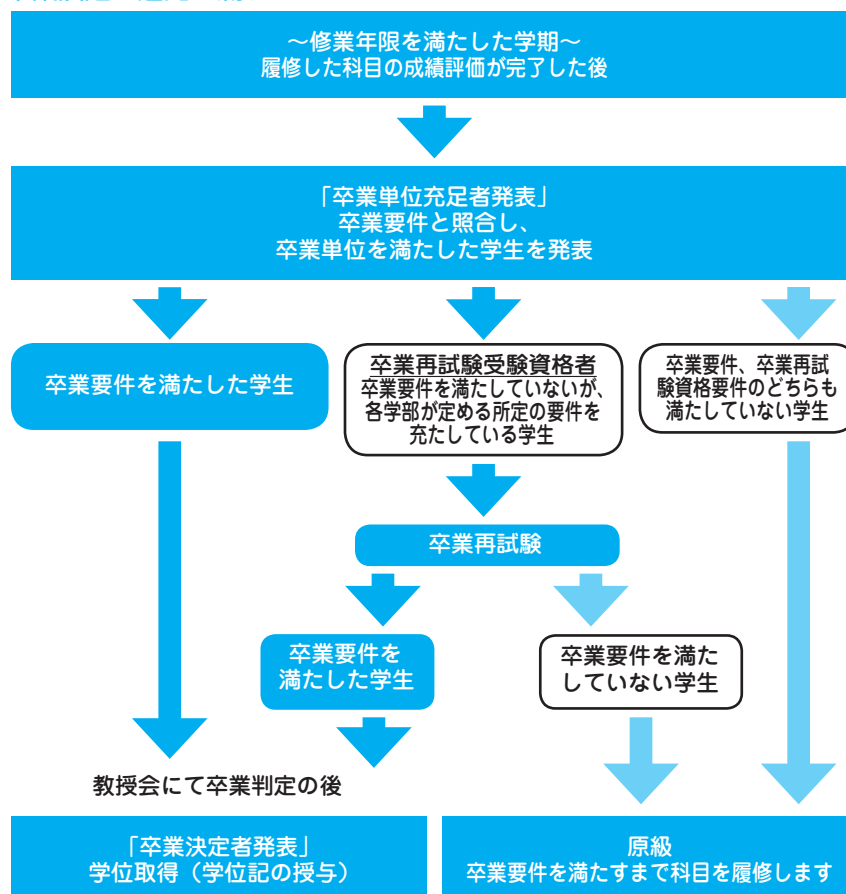
◆◆卒業決定の通知◆◆

教授会にて学部・学科の卒業要件と照合し、卒業可能かどうかを判定した後、卒業決定者が発表されます。

卒業単位充足者、卒業決定者の発表は、ToyoNet-G 等にて通知されます。

卒業決定の通知の流れ

④ 卒業再試験 p.44



学位の授与

修業年限を満たし、学科ごとに定められている卒業要件をすべて充足することで、学位が授与されます。

教育学科以外……学士（文学）／教育学科……学士（教育学）



学修にあたって 授業について

◎セメスタ制

セメスタ制とは、1年を2つの学期（セメスタ）に分け、4年間で8つのセメスタを段階的に積み上げて学修し、卒業する制度です。年に2回（4月・9月）履修登録を行います。学期単位で授業が完結し、試験やレポート等の成績評価に基づいて単位が認定されます。

◆◆授業の期間◆◆

本学で行われる授業には、1年間の春学期・秋学期の2学期（セメスタ）に分割し、15週間単位で授業を行うセメスタ授業と、各セメスタを2分割し、8週間単位で授業を行うクォーター授業があります。また、夏季・春季休暇期間に、集中講義や実習等の授業が行われる場合があります。これをセッション授業といいます。

春学期（4月1日～9月30日）						秋学期（10月1日～3月31日）					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春セメスタ授業期間				夏セッション		秋セメスタ授業期間				春セッション	
第1クォーター		第2クォーター				第3クォーター		第4クォーター			
				夏季休暇						春季休暇	

※学則上の学期日程と実際の学年暦（授業カレンダー）は異なることがあります。

学籍異動等の取り扱いは、学則上の学期日程（春：4月1日～9月30日、秋：10月1日～3月31日）で取り扱います。

※学年暦（授業カレンダー）の詳細は、年度ごとに発行される『学生生活ハンドブック』の「年度行事予定」で確認してください。

※各年度の授業時間割・開講形態・履修登録期間等は『履修登録のしおり』（4月初旬に配布）で確認してください。また、追加の周知事項がある場合、ToyoNet-Gや学内掲示板で随時お知らせします。

◆◆授業時間◆◆

白山キャンパス・総合スポーツセンター（板橋区清水町）の授業時間帯は以下のとおりです。授業時間は90分です。

なお、授業時間帯は変更することがあります。

時限		時間帯
第1部	1時限	9:00～10:30
	2時限	10:40～12:10
	3時限	13:00～14:30
	4時限	14:45～16:15
	5時限	16:30～18:00
第2部	6時限	18:15～19:45
	7時限	19:55～21:25

◆白山キャンパス・総合スポーツセンター(板橋区清水町)間をまたがり履修する場合◆

キャンパス間の移動に 30 分以上を要するため、昼休みを除き連続している時限では、白山キャンパスと総合スポーツセンター間をまたぐ履修はできません。

下表を参照のうえ、履修可能な時間割を作成し履修登録を行ってください。

1 時限	2 時限	昼休み	3 時限	4 時限	5 時限
●	履修不可				
履修不可	●				
			●	履修不可	
			履修不可	●	履修不可
				履修不可	●

●・・・総合スポーツセンター(板橋区清水町)で履修をする場合

◆休講・補講／授業の欠席◆

◎休講

授業科目の担当教員の都合や緊急事態等により、当日の授業を行わないこと。

休講の決定・お知らせ

担当教員のやむを得ない理由により、授業が休講になることがあります。

予め休講とする場合には、ToyoNet-G の「休講・補講情報」にて通知されます。

緊急の場合には、教職員が直接教室にて連絡することがあります。

※授業開始時刻から 30 分経っても教員が教室に来ない場合は、各学部教務課窓口まで連絡のうえ、職員の指示に従ってください。

休講の確認方法

・ToyoNet-G

ToyoNet-G ログイン後、トップページにて確認することができます。

休講情報はここで確認できます。

補講情報はここで確認できます。

◎緊急時の授業の取扱い

下記①～③の場合、授業の取扱いについて、本学のホームページ・ToyoNet-Gにてお知らせしますので、大学の指示に従ってください。

- ①台風の接近等により交通機関の混乱が予想される場合
- ②台風・地震の災害等により交通機関が運行停止となった場合（人身事故等一般的な運行停止を除く）
- ③大規模地震の警戒宣言が発令された場合

※授業中に上記①、③の状況となった場合は、学内掲示、学内緊急放送にてお知らせします。

※学内で実施される講演会・講座等についても、上記措置に準ずるものとしします。

※履修登録が完了するまでは、休講・補講の確認はできません。



補講実施のお知らせ

休講になった場合、補講実施情報は、学内掲示板、ToyoNet-Gの「休講・補講情報」にてお知らせします。

※補講は補講調整期間内に行う場合と、期間外に行う場合があります。

◎補講

授業を休講したことにより、定められた授業計画（週）を補うために行われる授業のこと。

授業の欠席について

やむを得ない理由により、授業を欠席する場合は、事前に担当教員に直接連絡をしてください。教員の連絡先は、ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」にて確認してください。

窓口・電話等での取り次ぎは一切行いません。

ただし、病気・ケガ等により長期欠席することが予想される場合には、教務課に相談してください。なお、教育実習、介護等体験、博物館実習により授業を欠席する場合には、指定用紙に記入し、検印を受けたうえで担当教員に予め届け出てください。

④ 教員への連絡 p.41

⑤ 休学 p.16

欠席の理由	提出書類	連絡方法	備考
体調不良ほか自己都合	教員の指示に従う	教員に直接連絡（次回授業出席時・メール）	忌引きの場合でも原則出席扱いにはなりません。
指定感染症による出席停止（インフルエンザ、はしか等）	感染症治療証明書	保健管理室に電話連絡の後、教員に直接連絡（次回授業出席時・メール）	出席停止の場合でも原則出席扱いにはなりません。
3ヶ月以上の欠席を要する病気・怪我	許可願（休学する場合）	教務課に連絡	病気・怪我等やむを得ない事情等の理由により、3ヶ月以上本学に修学できない場合は、大学の許可を得て、休学することができます。

※メールのみの連絡は一方的かつ行き違いの原因となります。必ず次回出席時に担当教員に申し出てください。
※交通機関の影響等による遅刻の場合は、遅延証明書を担当教員に提出してください。

◆単位のおくみ◆

授業科目には学修時間に応じた単位数が定められており、卒業要件等の基準は修得すべき単位数として規定されています。1単位は、授業や自習（予習・復習）を含めた45時間の学修に対応しており、45時間の学修のうち授業の占める時間は、講義・演習科目は15時間、外国語科目は30時間、実験・実技・実習科目は45時間と設定されています。

標準的な授業実施形態は、週1回1学期15週にわたって授業が実施されます。授業時間はどの科目も90分間です。

学修時間の考え方

$$\boxed{\text{単位}} = \boxed{\text{授業}} + \boxed{\text{自習（予習・復習）}}$$

授業科目の区分と1単位における学修時間

授業科目等	単位数	授業実施	学修時間		
			授業時間	予習・復習時間	合計
講義・演習	1単位	15週	15時間	30時間	45時間
外国語科目	1単位	15週	30時間	15時間	45時間
実験・実技・実習	1単位	15週	45時間	0時間	45時間

◆履修計画・履修登録◆

各学科の教育課程表に沿って、計画的な履修をするようにしてください。また履修計画を立てるにあたっては、教職員の履修指導を受けるほか、カリキュラムマップを参考にしてください。

なお、授業を受け、単位を修得するためには、事前に履修を希望する授業科目の登録が必要になります。これを「履修登録」といいます。

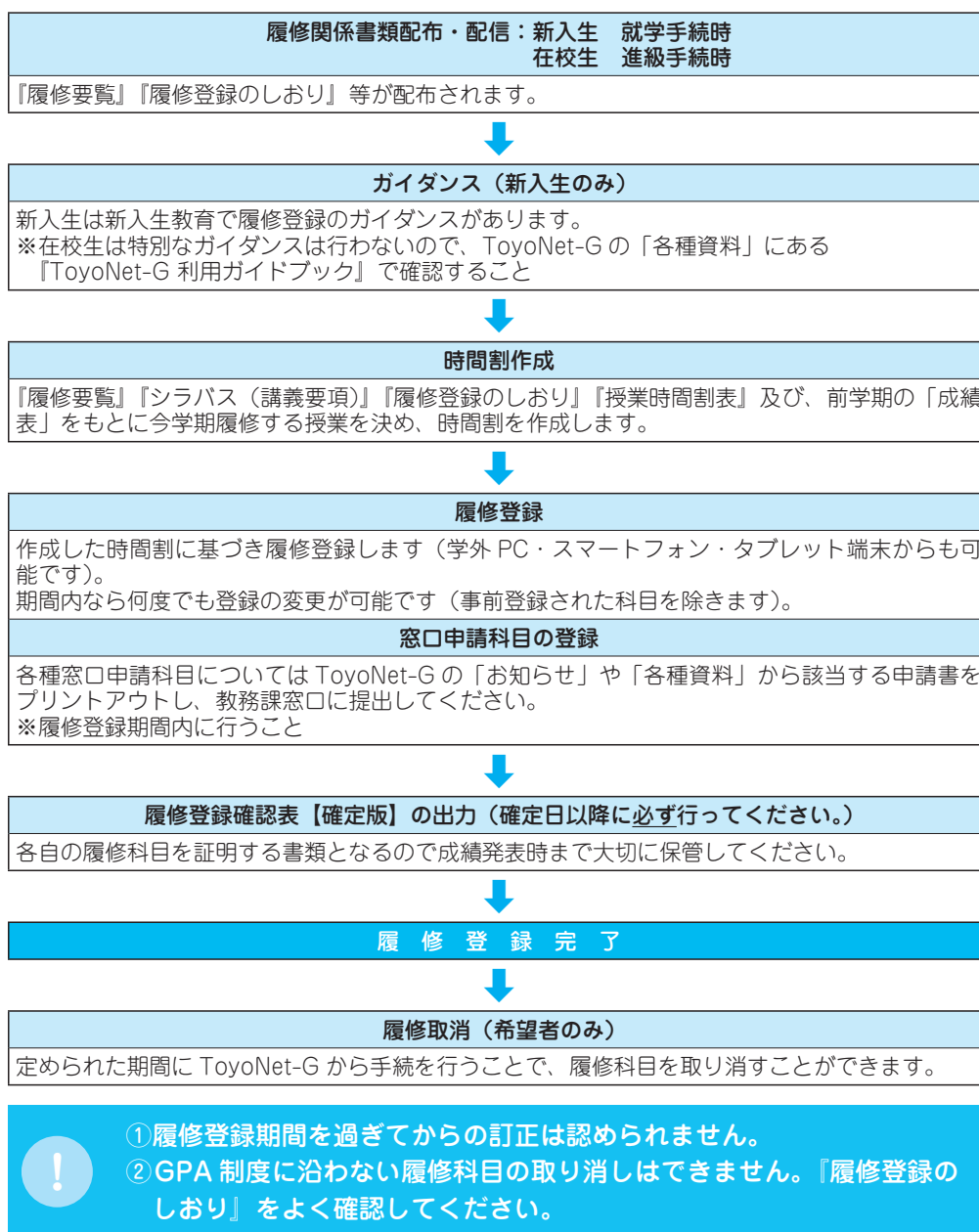
履修計画のポイント

- ①所属学科の卒業要件をよく理解すること。
- ②所属学部『履修登録のしおり・授業時間割表』を良く読み、当該年度の履修上のルールなどについて、きちんと把握すること。
- ③必修科目や選択必修科目など、卒業要件のうち優先度の高い科目については、配当学年（履修可能年次）において早めに履修すること。
- ④『履修登録のしおり・授業時間割表』を良く読み、履修希望する科目同士の時間割の重複（曜日・時限・開講学期）がないか確認すること。重複があった際には、上記③の優先度を考慮して履修すること。
- ⑤進級する際や成績発表後は、これまで履修し、単位修得した科目を振り返り、残りの必要単位数や修得が必要な科目を確認すること。
また各学科のページに記載されている『カリキュラムマップ』を参考に、これまで履修した科目やこれから履修する科目の関係性を理解するとともに、卒業までに必要な知識・能力などを踏まえ、選択科目などの必要な履修の参考にすること。
- ⑥必要に応じて、教員に相談するほか、履修ガイダンスに参加し、必要な科目をチェックすること。



定められた期間に「履修登録」をしないと、履修希望する科目の受講、試験の受験ができず、単位の修得もできなくなります。

◆履修登録の流れ◆



ToyoNet-G
p.8

GPA p.46

◆履修上限単位数（CAP 制）と履修科目の制限◆

各学期（セメスタ）に履修登録することのできる単位数に制限があります。

履修上限単位数

年次	春学期	秋学期
1～4	24 単位	24 単位

なお、履修上限単位数に含まれる科目は以下のとおりです。

履修上限単位数	区分	卒業要件
履修上限単位数に 含む	基盤教育	卒業要件に 含む
	文学部基盤科目	
	専門科目	
	他学部他学科開放科目	
履修上限単位数に 含まない	教職科目	卒業要件に 含まない
	自由科目	
	教職課程の教職に関する科目で、 所属の学科教育課程表にない科目	

履修科目の制限・注意

- (1) 既に修得した科目は履修できません（学科によっては重複履修可能な科目もあります）。
- (2) 上級学年に配当されている科目は履修できません。
- (3) キャンパス間をまたがる履修においては、履修ができない時限帯があります。（p.34 参照）
- (4) 科目によっては、隔年開講の科目、第 1・2 部いずれかでのみ開講する科目があります。
- (5) 同一科目を同一学期に 2 科目以上履修することは原則できません（学科によっては重複履修可能な科目もあります）。ただし、履修した科目を修得できなかった場合は、次学期以降に再度履修することができます。
- (6) 科目により学部・学科・学年・クラス等指定されている科目がありますので、『履修登録のしおり・授業時間割表』を確認の上、登録してください。
- (7) 自分の所属する学科の教育課程表にない科目を自由科目として履修する場合は、担当教員の許可を得て履修してください。
- (8) 科目によっては、定員制を設けている科目があります。第 1 回目の授業に出席し、担当教員の許可を得る必要があります。詳細は、『履修登録のしおり・授業時間割表』を確認してください。
- (9) 科目によっては、履修希望者が集中し、教室の収容定員を超えた場合は、抽選等により履修者を決定します。詳細は、『履修登録のしおり』を確認してください。
- (10) 履修登録期間終了後、授業教室が変更される場合があります。

◆シラバス◆

シラバス（講義要項）には、授業の内容（概要）や到達目標など、科目の履修を通じて身につけることのできる知識、能力、また各回の授業の進め方や内容、成績評価方法・基準、使用テキストや予習・復習の指示などが、予め学生に示されています。

履修する科目を決めるにあたって、シラバスを熟読することはもちろん、次回の授業の準備学習や復習の際の振り返りに用いるなど、シラバスを活用することによって学習効果を高めるよう努めてください。

シラバスは「ToyoNet-G」にて公開しています。

● ToyoNet-G p.8

シラバスの記載項目

主な記載項目	記載内容
科目名	履修要覧・時間割表に記載されている科目名が示されています。
担当者	担当教員名が示されています。
サブタイトル	科目のサブタイトル、サブテーマが示されています。
講義の目的・内容	科目の目的として、どのような内容を学ぶのか、またどのように教授していくかについて示されています。
学修到達目標	履修を通じて身につけることのできる知識・能力などが具体的に示されています。
講義スケジュール	各回の授業内容・テーマをもとにしたスケジュールが示されています。
指導方法	担当教員がどのように授業内容を進めていくのかについて示されています。
事前・事後学習	授業を受講するにあたって、必要な予習・復習の指示が示されています。
成績評価の方法・基準	どのような評価方法で成績評価をするのか、また評価方法ごとにどれくらいの割合で成績に反映するのかについて示されています。
受講要件	履修にあたって予め必要な条件について示されています。
テキスト	授業で使用する教科書やテキストについて示されています。
参考書	授業に関連する参考書が紹介されています。

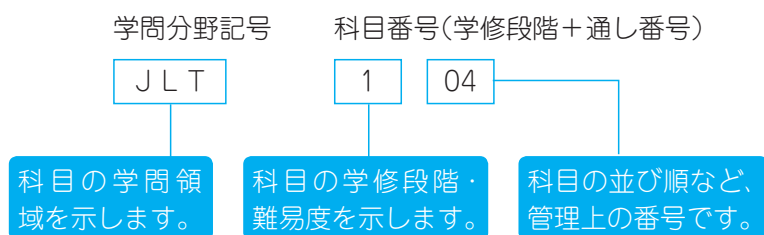
シラバスの検索方法

シラバスは ToyoNet-G にて検索することができます。

The screenshots illustrate the process of searching for a syllabus on the ToyoNet-G platform. The top left shows the user's profile and navigation menu. The top right shows the search results page with a table of courses. The bottom left shows the search criteria form with fields for course name, instructor, and semester. The bottom right shows the search results page with a table of courses.

調べたい科目名や教員名を入力

◆◆科目の記号と番号（科目ナンバリング）◆◆



各授業科目には、記号と番号が付いています（各学科教育課程表を参照）。
記号と番号の意味は以下のとおりです。

学問分野記号

教育課程表上の各科目に付されている学問分野記号は次のとおりです。

ABE	建築学	ENV	環境保全学	LIH	図書館情報学・人文社会情報学
ACC	会計学	EPS	環境政策・環境社会システム	LIN	言語学
AHS	応用健康科学	ESS	教科教育学	LIP	公認心理師
ARC	考古学	EUL	ヨーロッパ文学	MAN	経営学
ARL	芸術一般	EXP	実験心理学	MAT	数学
ARS	地域研究	FAH	美術史	MOF	金融・ファイナンス
ASA	美学・芸術諸学	FLE	外国語教育	MUD	マルチメディア・データベース
AST	天文学	FRA	語学(フランス語)	NDD	自然災害科学・防災学
BAB	基礎生物学	FUL	基礎法学	NFL	新領域法学
BSC	基礎化学	GBC	GBC セミナー	PFP	財政・公共経済
CAS	文化財科学・博物館学	GDE	ジェンダー	PHE	哲学・倫理学
CEE	土木環境システム	GER	語学(ドイツ語)	PHY	物理学
CEP	土木計画学・交通工学	GGR	地理学	POL	政治学
CHI	語学(中国語)	HAA	アジア史・アフリカ史	PSY	心理学
CHL	中国文学	HEA	ヨーロッパ史・アメリカ史	PUL	公法学
CIB	中国哲学・印度哲学・仏教学	HIS	史学	RES	宗教学
CIL	民事法学	HIT	思想史	SCE	科学教育
CIV	キャリア/インターシップ/ボランティア系組	HPH	衛生学・公衆衛生学	SEM	ゼミナール/基礎演習
CLI	臨床心理学	HSG	史学一般	SHS	科学社会学・科学技術史
CME	商学	HSS	健康・スポーツ科学	SNE	特別支援教育
COT	計算基盤	HUG	人文地理学	SOC	社会学
CRL	刑事法学	HYE	水工学	SOE	教育社会学
CUA	文化人類学・民俗学	IDN	語学(インドネシア語)	SOF	ソフトウェア
DEV	持続可能システム	IHR	国際人の形成	SOL	社会法学
EAP	地球惑星科学	ILA	国際法学	SOP	社会心理学
ECD	キャリア・市民形成	INN	情報ネットワーク	SPA	語学(スペイン語)
ECH	経済史	INR	国際関係論	SPS	スポーツ科学
ECO	経済学	ITS	総合・学際	SSS	社会・安全システム科学
ECP	経済政策	JLE	日本語教育	STS	統計科学
ECS	経済統計	JLN	日本語学	SUS	留学支援
ECT	理論経済学	JLT	日本文学	SWS	社会福祉学
EDE	経済学説・経済思想	JPH	日本史	THA	語学(タイ語)
EDP	教育心理学	JPN	語学(日本語)	THE	卒業論文/卒業制作
EDU	教育学	KOR	語学(韓国語)	THI	情報学基礎理論
ENE	エネルギー学	LAW	法学	TOS	観光学
ENG	語学(英語)	LIE	英米・英語圏文学	TPA	都市計画・建築計画
ENL	英語学	LIG	文学一般	TYS	自校教育科目
				WIS	ウェブ情報学・サービス情報学

科目番号（学修段階＋通し番号）

100 番台	主に大学1年生を対象とした授業(1年次レベル)
200 番台	主に大学2年生を対象とした授業(2年次レベル)
300 番台	主に大学3年生を対象とした授業(3年次レベル)
400 番台	主に大学4年生を対象とした授業(4年次レベル)
500 番台	大学院レベル

※上記の科目番号(○年次レベル)は授業の難易度を示すものとして付されています。教育課程表に記載されている配当学年(履修可能年次)と異なる場合があります。

※通し番号は以下のルールで付番されています。

01～99→a1～a9→b1～b9→c1～c9…(以降アルファベット順に従います。)

◆教員との連絡◆

教員と連絡を取りたい場合は、次のような方法があります。

研究室を訪ねる

専任教員(教授、准教授、講師、助教)にはそれぞれ研究室があります。学生からの相談や質問を受けるために「オフィスアワー」を設けています。

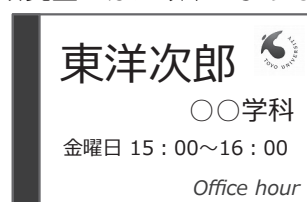
オフィスアワーでは、授業内容に関する質問や、学修の進め方、履修登録のプランなどの相談のほか、レポート指導なども行っています。その他、卒業後の進路や休学、転部・転科、留学、大学院進学などの進路に関する相談、学生生活全般の相談など、幅広い相談に対応しています。

非常勤講師の教員は、研究室を持たないため、オフィスアワーはありません。連絡を取りたい場合は、ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されている連絡先を参照してください。

◎オフィスアワー
正課の授業とは別に学生と教員のコミュニケーションを密接にする場として設けた時間帯のこと。

◆オフィスアワーの確認方法◆

- ① ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されている「オフィスアワー」の時間帯、研究室を確認し、訪問してください。予約が必要な場合がありますので、予め確認することをお勧めします。
- ② 研究室ドアに貼られている「オフィスアワー時間帯」を確認し訪問してください。研究室には、以下のような掲示がされています。



(オフィスアワーの掲示例)

メールを送る

ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されているメールアドレスを確認し、メールをしてください。



メールで連絡をする際には、必ず学籍番号・氏名を明記し、授業科目名を書くなど、何について質問・相談するか、簡潔にまとめること。



学修にあたって 試験・レポート

◆試験について◆

- 1) 履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の3分の2以上出席し、所定の試験に合格しなければなりません。
- 2) 試験には平常試験と学期末試験があります。科目によっては、レポートまたは平常点によって評価します。

試験には次の種類があります。

平常試験	各授業科目の担当教員が授業時間内で行うテスト等を指します。
学期末試験	各学期(春学期：7～8月、秋学期：1～2月)の試験・補講調整期間に行われる試験 ※試験実施の2週間前に学期末試験時間割表をToyoNet-Gで発表します。
レポート	試験のうち、担当教員の判断により筆記試験に代えて課す課題
卒業再試験	卒業単位充足者発表後、所定の要件を満たした卒業を希望する4年生を対象として行われる特別試験

※授業ごとの成績評価方法については、シラバスの「成績評価の方法・基準」を確認してください。
また授業中に担当教員から指示される場合があります。

平常・学期末試験受験上の注意

1. 履修登録確認表に記載されていない科目を受験しても無効です。
2. 学期末試験、平常試験ともに通常授業実施時間帯で試験が行われます。
3. 試験会場は平常授業時と異なる場合があるので、ToyoNet-Gの情報を確認してください。
4. 1科目で試験会場が2カ所以上になる場合、学籍番号で試験会場を指定するので、必ず指定された試験会場を受験してください。
5. 試験に際しては、すべて監督者の指示に従ってください。
6. 学期末試験では学生証がないと受験できないので必ず携帯し、試験会場では机上の指示された場所に提示してください（平常試験でも求められる場合がありますので、必ず携帯すること）。
7. 試験会場に持ち込みできるものは、筆記用具・時計機能だけの時計・持ち込みが許可されたもののみです。携帯電話、スマートフォン等の通信機能が付いた機器は机上に置けません。試験の妨げにならないよう電源を必ず切って、かばんにしまってください。なお、上記の機器、音楽プレーヤーを時計代わりに使用することはできません。
8. 筆記用具（ボールペン、鉛筆、消しゴム）を必ず持参してください。貸出は一切行いません。
9. 試験中の飲食は禁止します。
10. 答案用紙の、学部・学科・学年・学籍番号・氏名欄には必ず黒のペンまたはボールペンで記入してください（ただし、インクが消しゴム等で消せないものに限り）。
11. 学籍番号欄は学生証に記載されている学籍番号の10ケタすべてを記入してください。学籍番号、氏名のない答案用紙は無効です。
12. 学期末試験は試験開始後20分までに入室しないと受験資格を失います。また退出は開始後30分を経過し、監督者の指示があった後のみ許可します。途中退室した場合、再入場は認めません。
13. 天災、病気、その他やむを得ない理由によって、試験を受験できなかった場合は速やかに証明書または診断書（コピー可）等を添えて担当教員に届け出て、具体的な指示を受けてください。
14. 不正行為を行った場合は、学則（第57条）に基づき処分されます。不正行為についての規程と処分内容はP.43を参照してください。平常試験でも不正行為があった場合には処分されます。担当教員の指示・説明をよく確認してください。
15. 交通機関の運行や天候の乱れ等に留意し、試験会場へは時間に余裕をもって入場してください。

平常・学期末試験における不正行為

不正行為（本学の規則に反する行為、または学生の本分に反する行為）を平常・学期末試験において行った場合は、学則第 57 条に則り処分されます。

1. 処分の種類
処分は、譴責、停学又は無期停学とする。
2. 処分とその対象となる不正行為
 - (1) 譴責の対象となる行為
 - ア 持ち込みが認められているものの貸借。
 - イ 他人の答案の覗き見、答案を故意に他人に見せ又はそれを見る行為。
 - ウ 試験監督者又は監督補助者からの注意を無視した行為。
 - エ その他アからウに準ずる行為。
 - (2) 停学 1 ヶ月の対象となる行為
 - ア 解答用紙を交換する行為。
 - イ 許可されていないものの持込み。
 - ウ 書込みを許可されていない持込許可教材、机上、手掌等へ書込みをしておいた受験、又は、これに類似する行為。
 - エ 試験監督者又は監督補助者からの注意に対する暴言。
 - オ その他アからエに準ずる行為。
 - (3) 無期停学の対象となる行為
 - ア 替え玉受験。
 - イ 在学中における再度の不正行為。
 - ウ 試験監督者又は監督補助者からの注意に対する暴力行為。
 - エ その他、極めて悪質な行為。
3. 処分に伴う措置
 - (1) 処分の種別にかかわらず、不正行為のあった試験科目の単位は、当該年度（学期）において認定しない。また、上記「2. (2)」および「2. (3)」の停学の対象となる行為については、当該学期の試験期間において実施される全ての試験科目の単位を認定しない。
 - (2) 停学期間は当該学部教授会で処分に関する意見を決定した日から起算することを原則とする。
 - (3) 決定した処分内容については、不正行為者が所属する学部の学部長が、本人及び保証人と面接のうえ、通達する。
 - (4) 停学期間中は、不正行為者に対してその所属学部が教育的指導を行う。
「譴責の対象となる行為アおよびイ」、「停学 1 ヶ月の対象となる行為ア」、「無期停学の対象となる行為ア」の不正行為は、その当事者すべてが上記（1）～（4）の措置の対象となる。
4. 不服申立て
不正行為の指摘を受けた学生は、不服申立てをすることができる。

卒業再試験

4 年次生で卒業当該学期に卒業要件を満たしていない者について、以下の要領で「卒業再試験」を実施します。

（受験資格）

卒業再試験は 4 年次生で卒業を希望する者であり、卒業当該学期に卒業に必要な単位数で不足している単位数が 8 単位以内の者に対して所定の手続きを経て行なわれます。

（対象科目）

卒業再試験の対象となる科目は以下のすべてに該当する科目とします。

- （1）卒業当該学期に履修登録を行っている科目
- （2）卒業単位充足者発表時の評価で「D」の評価を得た科目

（対象除外科目）

以下の科目は卒業再試験対象科目から除外されます。

- （1）演習、実習、実験、実技、ゼミナール関係科目
- （2）卒業研究、卒業論文、卒業制作
- （3）教職科目の内、教職に関する科目
- （4）不正行為等により無効となった科目
- （5）通常の評価において「E」「*（評価対象外）」と判定された科目
- （6）科目の性質上、担当教員と開講責任学部の学部長が協議して卒業再試験にふさわしくないと判断した科目。ただし、その科目にあっては学生の履修登録以前に卒業再試験を実施しないことを学生に対して明示するものとします。

（再試験手続）

再試験は、卒業当該学期で発表される卒業単位充足者発表時に、定められた期間内に面接を受けた上で所定の手続を行うものとします。

- （1）再試験手続を行わなかった場合は、自動的に受験する権利は消滅します。
- （2）受験しようとする者は、卒業再試験対象科目であり、かつ卒業再試験を行う科目の中から、卒業に不足する単位数分の科目数のみ受験することができます。
- （3）代理人による手続きは認められません。

（再試験受験料）

再試験受験料は以下の通りです。

1 科目 5,000 円

（再試験の評価）

卒業再試験の成績評価は以下の通りです。

- （1）成績評価基準は、それぞれの科目において学期末試験または平常試験で実施した基準と同等とします。
- （2）再試験の結果、合格した者の成績評価は「C」評価とします。

◆レポートについて◆

レポート提出方法、日時、提出先を授業時及び掲示板で確認してください。



教務課窓口では、レポート郵送先・教員の連絡先の照会に応じることはできません。

レポートボックス設置場所

担当教員の指定するボックス番号、提出物の回収締め切り日時等を確認してください。

設置場所 2号館3階 3号館連絡通路脇 (No.1～50)
6号館2階 6210 教室横 (No.51～80)

Column

～ラーニングサポートセンターを活用しよう～

ラーニングサポートセンターでは、次のような学修相談・各種講座等の支援を行っています。大学での学修をより良くするためにも、ラーニングサポートセンターを利用しましょう。

- (1) 学習上の諸問題に係る相談
- (2) レポート・論文の書き方相談、文献・資料の調べ方相談
- (3) 高校までの基礎学力向上に係る支援
- (4) 資格等の学習に係る支援
- (5) 情報リテラシーに係る支援
- (6) 留学生を対象とした日本語ライティング支援、論文の書き方相談

～開室時間～

月～金 10:00～18:00 3号館1階 ナレッジスクエア内

※開室日時は変更になることがあります。利用の際は、ホームページにて確認してください。



学修にあたって 成績

◆ 単位の認定 ◆

単位の認定は、履修登録した科目に対して、出席状況、試験（レポート含む）等によって評価されます。

シラバス p.39



授業科目ごとの成績評価方法は、シラバスに記載された「成績評価の方法・基準」を確認してください。

◆ 成績評価基準 ◆

本学の成績評価基準は以下のとおりです。

合否	成績表示	評価点の範囲	基準
合格	S	100 ~ 90	到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。
	A	89 ~ 80	到達目標を十分に達成している。
	B	79 ~ 70	到達目標を達成している。
	C	69 ~ 60	到達目標を最低限達成している。
不合格	D	59 ~ 40	到達目標を達成していない項目があるが、学修行動を改めることにより達成する可能性がある。
	E	39 以下	到達目標の項目の全てまたはほとんどを達成していない。
	*	評価対象外	出席・試験・レポート提出等の評価要件を欠格。

※ 上記の到達目標とは授業科目のシラバスに明記された到達目標を指します。

※「評価対象外」とは、授業期間を通じ出席不良（3 分の 2 以上の出席をしていない）、またはレポート未提出、試験の不受験のために成績評価の判断ができないものを指します。

※上表のほかに、留学や他大学での学修成果などを単位認定する場合、「T（Transfer の略）」を合格の評価として使用します。



履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の 3 分の 2 以上出席し、所定の試験（レポート、平常試験等含む）に合格しなければなりません。

◆ GPA 制度 ◆

GPA（Grade Point Average）とは、授業科目ごとの成績に対して、4.3 ~ 0.0 のグレード・ポイントを付与し、この 1 単位あたりの平均を算出したもので、学生の学習到達度をはかる指標として、国内外の大学で広く使われています。

【GPA の算出方法】

$$\text{GPA} = \frac{(S \text{ の修得単位数} \times 4.3) + (A \text{ の修得単位数} \times 4.0) + (B \text{ の修得単位数} \times 3.0) + (C \text{ の修得単位数} \times 2.0) + (D \text{ の修得単位数} \times 1.0) + (E \text{ の修得単位数} \times 0.0) + (* \text{ の修得単位数} \times 0.0)}{\text{総履修登録単位数}}$$

※対象とする科目は、卒業要件の科目とし、卒業要件以外の資格科目・自由科目は対象となりません。

※対象とする評価は、「S、A、B、C、D、E、*」とし、認定の評価「T」は対象となりません。

※再履修で評価を受けた成績については、最新の成績が反映されます。

※GPA は計算結果の小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位までを表示します。文学部では、GPA2.0 以上を卒業時の成績の目安としています（卒業要件ではありません）。

◆◆成績の通知◆◆

- (1) 成績は学期ごとに ToyoNet-G で通知します。成績発表日については掲示等でお知らせします。
- (2) 成績表は毎学期、保証人へ送付します（留学生を除く）。



保証人への送付を希望しない学生は、定められた期間に教務課窓口で手続を行ってください。

◆◆成績調査◆◆

成績発表後、以下に該当する場合において、定められた日時に成績調査を行い、成績評価を確認することができます。

履修登録し、シラバスに記載された成績評価基準を満たしているが、自身の成績評価に誤りがある十分な理由があり、科目担当教員に成績評価に誤りがないか確認を求める場合。

ToyoNet-G で成績調査の申請および申請結果の確認ができます。



成績調査は成績の再考を求めたり、個別の得点の開示を求めたりするものではありません。成績調査の趣旨に沿わない調査申請については、申請を取り消されるので十分に注意してください。

◆◆単位僅少者に対する学修指導について◆◆

④ ラーニングサポートセンター
p.45

各セメスタもしくは学年の終了後、修得単位が僅少の学生に対しては、学修計画について見直すなどの学修指導（面談）を行う場合があります。学部・学科からの連絡・指示に従って、学修指導を受けてください。



学修にあたって その他

◆◆学生アンケートについて◆◆

本学では、教育の改革・改善を目的として、各授業の改善を図るために毎学期ごとに行う授業評価アンケートや、各学年のカリキュラムや教育方法、学習支援の検証を行うための学生アンケートを実施しています。

アンケートの実施は別途周知されますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

◆◆学外での学習活動について◆◆

学外実習・フィールドワーク等は、必ず担当教員の指示のもと実施するようにしてください。また周囲への配慮はもちろんのこと、本学学生として自覚をもった行動をするよう心がけてください。

またすべての学生は、「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」に加入しています。傷害を被った場合は、所定の手続きにより保険の請求をすることができます。

詳しくは、『学生生活ハンドブック』、もしくは学生支援課窓口まで問合せください。

◆◆4年間の主な流れ・スケジュール◆◆

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月	入学式 新入生オリエンテーション	進級手続		
5月 ～ 6月	春学期履修登録／春学期・第1クォーター授業開始			
	第1クォーター授業終了／第2クォーター授業開始			
	第1クォーター成績発表・成績調査			
7月 ～ 9月	春学期（第2クォーター）授業終了／春学期試験・補講調整期間			
	夏季休暇／夏セッション			
	春学期・第2クォーター成績発表・成績調査			
				※第8セメスタ以降学生対象 卒業単位充足者発表 卒業再試験表 卒業決定者発表 卒業式
	秋学期履修登録／秋学期・第3クォーター授業開始			
	大学祭			
10月 ～ 12月	第3クォーター授業終了／第4クォーター授業開始			
	第3クォーター成績発表・成績調査			
	冬季休暇			
1月	秋学期（第4クォーター）授業終了／秋学期試験・補講調整期間			
2月	春季休暇／春セッション			
	秋学期・第4クォーター成績発表・成績調査			
3月				卒業単位充足者発表 卒業再試験表 卒業決定者発表 卒業式

※年度によって変更されることもあるので、『学生生活ハンドブック』の「年度行事予定表」を参照すること。

教育課程及び履修に際しての注意

学科教育課程表には以下の内容が記載されています。

①カリキュラムマップ

1年次から4年次までの科目体系をモデル化した図です。必ずカリキュラムマップの通りに単位を修得しなければならないものではありません。将来の自分を見据えて、学びたい科目体系の指標としてください。

②教育課程表

教育課程表に記載されている科目の一覧表です。図表化されたものと、リスト化されたものとの、2種類あります。表記の形態は異なりますが、単位数、配当学年などは同じ内容です。

【教育課程表（リスト形式）の見方】

卒業要件	区分	必修／選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意／備考
基盤教育							
基盤教育 12単位以上	哲学・思想 2単位以上	選択	PHE101	哲学A	1～4	2	
		選択	PHE102	哲学B	1～4	2	
		選択	PHE103	哲学史A	1～4	2	
		選択	PHE104	哲学史B	1～4	2	
		選択	PHE105	倫理学基礎論A	1～4	2	
		選択	PHE106	倫理学基礎論B	1～4	2	
		選択	PHE107	応用倫理学A	1～4	2	
		選択	PHE108	応用倫理学B	1～4	2	
		選択	HIT101	科学思想史A	1～4	2	

- ・卒業要件 : 卒業に必要な要件を表しています。
- ・区分 : 科目の種類区分と卒業するために必要な条件を表しています。
- ・科目ナンバリング : 科目の科目ナンバリングを表しています。(p.40 参照)
- ・科目名 : 科目の名称です。
- ・配当学年 : その科目が履修することができる配当学年を表しています。
- ・単位数 : その科目を履修、修得した場合の単位数を表しています。
- ・履修上の注意／備考 : その科目を履修するうえでの注意事項や補足説明を表しています。

③卒業要件

各学科に定められている卒業要件を記載しています。各要件を満たし、学科教育課程を卒業することで、学位（学士）が授与されます。



教育課程及び履修に際しての注意

履修についての全学科共通注意事項（第1部）

基盤教育について

- スポーツ・健康科目の授業は、東洋大学総合スポーツセンター（板橋区清水町）で開講されます。
- 「自然科学演習A・B」は、2年次以上でかつ基盤教育「学問の基礎」内の「自然の数理A」以下の科目を合計8単位以上修得していなければ、履修することができません。

文学部基盤科目

セット履修科目

教育課程表に「セット」とある科目は、同一名称の科目Aと科目Bをセットで履修することを原則とします。

従って、春学期に科目Aを履修した場合は秋学期に同コースの科目Bを履修してください。

隔年開講科目

教育課程表に「隔年開講」とある科目は、隔年にて開講となります。

履修を希望する場合は、開講年度に注意してください。

第1部・第2部いずれかで開講する科目

教育課程表に「いずれか」とある科目は、第1部・第2部いずれかでの開講となります。

履修を希望する場合は、開講曜日時限を確認して履修してください。

第2部時間帯のみで開講する科目

教育課程表に「2部開講」とある科目は、第2部時間帯のみでの開講となります。履修を希望する場合は、第2部時間帯（6時限・7時限）の時間割を参照してください。

教職科目

教職科目は、各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）を超えて履修することができます。

他学部他学科開放科目（専門開放科目）

- 別（p.128）に定める他学部他学科開放科目（専門開放科目）を履修かつ修得した場合、その科目の単位数は、卒業単位として算入されます。
- 所属する学科の教育課程表にある科目と同一名称の科目は履修できません。

自由科目

所属学科教育課程表にない科目で、なおかつ、前項の他学部他学科開放科目（専門開放科目）として提示されていない科目の履修を希望する場合は、履修する学部学科の配当学年に従い、担当教員の許可を得て、卒業単位にならない自由科目として履修することができます。

ただし、以下の科目については、履修できないので注意してください。

1. カリキュラム年度の異なる科目
2. 第2部開講の科目（第1部の教育課程表に掲載されていない科目）
3. 所属する学部学科の科目と同一名称の科目



文学部第 1 部基盤教育 教育課程表

◆◆基盤教育について◆◆

基盤教育の卒業要件は下記のとおり学科によって異なります。詳細は各学科教育課程ページ（卒業要件および教育課程表）を各自で確認してください。

基盤教育 卒業要件単位数（抜粋）

学科名	要件	必要単位数
哲学科	「哲学・思想」から2単位、「キャリア・市民形成」から2単位修得すること。	12単位以上
東洋思想文化学科		16単位以上
日本文学文化学科		16単位以上
英米文学科		14単位以上
史学科		16単位以上
教育学科		16単位以上
国際文化コミュニケーション学科		12単位以上

区分	必修/ 選択	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/ 備考
基盤教育						
哲学・思想 2単位以上	選択	PHE101	哲学A	1～4	2	
	選択	PHE102	哲学B	1～4	2	
	選択	PHE103	哲学史A	1～4	2	
	選択	PHE104	哲学史B	1～4	2	
	選択	PHE105	倫理学基礎論A	1～4	2	
	選択	PHE106	倫理学基礎論B	1～4	2	
	選択	PHE107	応用倫理学A	1～4	2	
	選択	PHE108	応用倫理学B	1～4	2	
	選択	HIT101	科学思想史A	1～4	2	
	選択	HIT102	科学思想史B	1～4	2	
	選択	RES101	宗教学ⅠA	1～4	2	
	選択	RES102	宗教学ⅠB	1～4	2	
	選択	RES103	宗教学ⅡA	1～4	2	
	選択	RES104	宗教学ⅡB	1～4	2	
	選択	INR101	地球倫理A	1～4	2	
	選択	INR102	地球倫理B	1～4	2	
	選択	PHE109	論理学A	1～4	2	
	選択	PHE110	論理学B	1～4	2	
学問の基礎	選択	CIB101	東洋思想	1～4	2	
	選択	PHE111	ロジカルシンキング入門	1～4	2	
	選択	PHE112	クリティカルシンキング入門	1～4	2	
	選択	FAH101	美術史A	1～4	2	
	選択	FAH102	美術史B	1～4	2	
	選択	ASA101	音楽学A	1～4	2	
	選択	ASA102	音楽学B	1～4	2	
	選択	HSG101	歴史の諸問題A	1～4	2	
	選択	HSG102	歴史の諸問題B	1～4	2	
	選択	ECT101	経済学A	1～4	2	
	選択	ECT102	経済学B	1～4	2	
	選択	ECS101	統計学A	1～4	2	
	選択	ECS102	統計学B	1～4	2	
	選択	LAW101	法学A	1～4	2	
	選択	LAW102	法学B	1～4	2	
	選択	POL101	政治学A	1～4	2	
	選択	POL102	政治学B	1～4	2	
	選択	SOC201	社会学A	1～4	2	
	選択	SOC202	社会学B	1～4	2	
	選択	CUA101	人類学A	1～4	2	
	選択	CUA102	人類学B	1～4	2	
	選択	GGR101	地理学A	1～4	2	
	選択	GGR102	地理学B	1～4	2	
	選択	PSY101	心理学A	1～4	2	
	選択	PSY102	心理学B	1～4	2	
	選択	MAT101	自然の数理A	1～4	2	
	選択	MAT102	自然の数理B	1～4	2	
	選択	PHY101	生活と物理A	1～4	2	

区分	必修/ 選択	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/ 備考	
学問の基礎	選択	PHY102	生活と物理B	1～4	2		
	選択	ENE101	エネルギーの科学A	1～4	2		
	選択	ENE102	エネルギーの科学B	1～4	2		
	選択	BSC101	物質の科学A	1～4	2		
	選択	BSC102	物質の科学B	1～4	2		
	選択	ENV101	環境の科学A	1～4	2		
	選択	ENV102	環境の科学B	1～4	2		
	選択	EAP101	地球の科学A	1～4	2		
	選択	EAP102	地球の科学B	1～4	2		
	選択	BAB101	生物学A	1～4	2		
	選択	BAB102	生物学B	1～4	2		
	選択	AST101	天文学A	1～4	2		
	選択	AST102	天文学B	1～4	2		
	選択	SCE101	自然科学概論A	1～4	2		
	選択	SCE102	自然科学概論B	1～4	2		
	選択	CAS101	自然誌A	1～4	2		
	選択	CAS102	自然誌B	1～4	2		
	選択	PHY103	物理学実験講義A	1～4	2		
	選択	PHY104	物理学実験講義B	1～4	2		
	選択	BAB103	生物学実験講義A	1～4	2		
	選択	BAB104	生物学実験講義B	1～4	2		
	選択	BSC103	化学実験講義A	1～4	2		
	選択	BSC104	化学実験講義B	1～4	2		
	選択	EAP103	地球科学実験講義A	1～4	2		
	選択	EAP104	地球科学実験講義B	1～4	2		
	選択	SOF101	数理・情報実習講義A	1～4	2		
	選択	SOF102	数理・情報実習講義B	1～4	2		
	選択	AST103	天文学実習講義A	1～4	2		
	選択	AST104	天文学実習講義B	1～4	2		
	選択	SCE201	自然科学演習A	2～4	2		
	選択	SCE202	自然科学演習B	2～4	2		
国際人の形成	選択	ARS101	地域文化研究ⅠA	1～4	2		
	選択	ARS102	地域文化研究ⅠB	1～4	2		
	選択	ARS103	地域文化研究ⅡA	1～4	2		
	選択	ARS104	地域文化研究ⅡB	1～4	2		
	選択	ARS105	地域文化研究ⅢA	1～4	2		
	選択	ARS106	地域文化研究ⅢB	1～4	2		
	選択	INR103	国際教育論A	1～4	2		
	選択	INR104	国際教育論B	1～4	2		
	選択	INR105	多文化共生論A	1～4	2		
	選択	INR106	多文化共生論B	1～4	2		
	選択	JLT101	百人一首の文化史A	1～4	2		
	選択	JLT102	百人一首の文化史B	1～4	2		
	選択	JLT103	日本の昔話A	1～4	2		
	選択	JLT104	日本の昔話B	1～4	2		
	選択	JLT105	日本文学文化と風土A	1～4	2		
	選択	JLT106	日本文学文化と風土B	1～4	2		
	選択	JLT107	日本の詩歌A	1～4	2		
	選択	JLT108	日本の詩歌B	1～4	2		
	選択	EUL101	西欧文学A	1～4	2		
	選択	EUL102	西欧文学B	1～4	2		
	選択	JLT109	現代日本文学A	1～4	2		
	選択	JLT110	現代日本文学B	1～4	2		
	選択	JPH101	地域史(日本)A	1～4	2		
	選択	JPH102	地域史(日本)B	1～4	2		
	選択	HAA101	地域史(東洋)A	1～4	2		
	選択	HAA102	地域史(東洋)B	1～4	2		
	選択	HEA101	地域史(西洋)A	1～4	2		
	選択	HEA102	地域史(西洋)B	1～4	2		
	選択	GGR301	国際比較論A	1～4	2		
	選択	GGR302	国際比較論B	1～4	2		
	選択	LIG101	アジアの文学	1～4	2		
	選択	LIG102	アジアの古典	1～4	2		
	選択	INR107	国際関係入門	1～4	2		
	選択	TOS101	地域と生活	1～4	2		
	選択	IHR101	国際キャリア概論	1～4	2		
	選択	IHR102	留学のすすめ	1～4	2		
	選択	IHR103	海外研修Ⅰ	1～4	2		
	選択	IHR104	海外研修Ⅱ	1～4	2		
	選択	IHR105	海外実習Ⅰ	1～4	2		
	選択	IHR106	海外実習Ⅱ	1～4	2		
	選択	IHR107	短期海外研修Ⅰ	1～4	1		
	選択	IHR108	短期海外研修Ⅱ	1～4	1		

区分	必修/ 選択	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/ 備考
国際人の形成	選択	IHR109	短期海外研修Ⅲ	1～4	1	
	選択	IHR110	短期海外研修Ⅳ	1～4	1	
	選択	IHR111	短期海外実習Ⅰ	1～4	1	
	選択	IHR112	短期海外実習Ⅱ	1～4	1	
	選択	IHR113	短期海外実習Ⅲ	1～4	1	
	選択	IHR114	短期海外実習Ⅳ	1～4	1	
	選択	HUG101	日本事情ⅠA(留学生用)	1～4	2	
	選択	HUG102	日本事情ⅠB(留学生用)	1～4	2	
	選択	JLN101	日本事情ⅡA(留学生用)	1～4	2	
	選択	JLN102	日本事情ⅡB(留学生用)	1～4	2	
キャリア・市民形成 2単位以上	選択	JLE105	日本の文化と社会(留学生用)	1～4	2	
	選択	PUL101	日本国憲法	1～4	2	
	選択	CME101	ベーシック・マーケティング	1～4	2	
	選択	CME102	流通入門	1～4	2	
	選択	ACC101	基礎会計学	1～4	2	
	選択	ACC102	企業会計	1～4	2	
	選択	HSS101	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	
	選択	HSS102	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
	選択	HSS103	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
	選択	HSS104	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
	選択	HSS105	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
	選択	HSS106	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
	選択	HSS107	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
	選択	HSS108	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2	
	選択	HSS109	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2	
	選択	HSS110	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2	
	選択	THI101	情報化社会と人間	1～4	2	
	選択	THI102	情報倫理	1～4	2	
	選択	THI103	コンピュータ・リテラシー	1～4	2	
	選択	CIV101	社会人基礎力入門講義	1～4	2	
	選択	CIV102	社会人基礎力実践講義	1～4	2	
	選択	CIV103	キャリアデベロップメント論A	1～4	2	
	選択	CIV104	キャリアデベロップメント論B	1～4	2	
	選択	MAN101	企業のしくみ	1～4	2	
	選択	MAN102	企業家論	1～4	2	
	選択	SWS101	社会貢献活動入門	1～4	2	
	選択	CIV201	公務員論	1～4	2	
	選択	ECD101	テクニカルライティング	1～4	2	
	選択	ECD102	アカデミックライティング	1～4	2	
	選択	EPS101	地球環境論	1～4	2	
	選択	SOC101	日本事情ⅢA(留学生用)	1～4	2	
	選択	SOC102	日本事情ⅢB(留学生用)	1～4	2	
総合・学際	選択	ITS101	総合ⅠA	1～4	2	
	選択	ITS102	総合ⅠB	1～4	2	
	選択	ITS103	総合ⅡA	1～4	2	
	選択	ITS104	総合ⅡB	1～4	2	
	選択	ITS105	総合ⅢA	1～4	2	
	選択	ITS106	総合ⅢB	1～4	2	
	選択	ITS107	総合ⅣA	1～4	2	
	選択	ITS108	総合ⅣB	1～4	2	
	選択	ITS109	総合ⅤA	1～4	2	
	選択	ITS110	総合ⅤB	1～4	2	
	選択	ITS111	総合ⅥA	1～4	2	
	選択	ITS112	総合ⅥB	1～4	2	
	選択	ITS113	総合ⅦA	1～4	2	
	選択	ITS114	総合ⅦB	1～4	2	
	選択	ITS115	総合ⅧA	1～4	2	
	選択	ITS116	総合ⅧB	1～4	2	
	選択	ITS117	総合ⅨA	1～4	2	
	選択	ITS118	総合ⅨB	1～4	2	
	選択	ITS119	全学総合ⅠA	1～4	2	
	選択	ITS120	全学総合ⅠB	1～4	2	
	選択	ITS121	全学総合ⅡA	1～4	2	
	選択	ITS122	全学総合ⅡB	1～4	2	
	選択	ITS123	首都東京を学ぶ	1～4	2	
留学支援科目	選択	ENG101	English for Academic Purposes IA Listening/Speaking	1～4	2	
	選択	ENG102	English for Academic Purposes IB Reading/Writing	1～4	2	
	選択	ENG103	English for Academic Purposes IIA Listening/Speaking	1～4	2	
	選択	ENG104	English for Academic Purposes IIB Reading/Writing	1～4	2	
	選択	ENG201	Pre-Study Abroad College Study Skills	1～4	1	
	選択	ENG202	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1～4	1	
	選択	ENG203	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1～4	1	
	選択	SUS101	Business English Communication	1～4	2	



文学部第1部文学部基盤科目 教育課程表

◆文学部基盤科目について◆

文学部基盤科目の卒業要件は学科によって異なります。詳細は各学科教育課程ページ（卒業要件、教育課程表）を各自で確認してください。

相互聴講制度による第2部提供科目について、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。東洋思想文化学科、日本文学文化学科、教育学科の専門科目の相互聴講制度による単位数も30単位に含みます。

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意/備考
文学部教育	TYS103	東洋大学・井上円了研究	1～4	2		
	CUA103	伝統文化講座	1～4	2		
文学部基礎専門科目	PHE113	論理学概論A	1	2	哲学科は除く	
	PHE114	論理学概論B	1	2		
	PHE115	西洋哲学史基礎概説A	1	2		
	PHE116	西洋哲学史基礎概説B	1	2		
	PHE215	比較思想A	2～4	2		
	PHE216	比較思想B	2～4	2		
	PHE217	哲学と科学A	2～4	2		
	PHE218	哲学と科学B	2～4	2		
	PHE219	現代倫理学A	2～4	2		
	PHE220	現代倫理学B	2～4	2		
	PHE223	哲学とキリスト教A	1～4	2		
	PHE224	哲学とキリスト教B	1～4	2		
	PHE305	哲学概論A	3	2	哲学科、東洋思想文化学科は除く	
	PHE306	哲学概論B	3	2	哲学科は除く	
	PHE307	倫理学概論A	3～4	2		
	PHE308	倫理学概論B	3～4	2		
	CIB110	インド文化概論A	1～4	2	東洋思想文化学科は除く	
	CIB111	インド文化概論B	1～4	2		
	ASA103	インド・仏教の美術A	1～4	2		
	ASA104	インド・仏教の美術B	1～4	2		
	CIB203	インド仏教史A	2～4	2		
	CIB204	インド仏教史B	2～4	2		
	LIN107	サンスクリット語ⅠA	1～4	1		
	LIN108	サンスクリット語ⅠB	1～4	1		
	LIN109	ヒンディー語A	1～4	1		
	LIN110	ヒンディー語B	1～4	1		
	LIN205	サンスクリット語ⅡA	2～4	1		
	LIN206	サンスクリット語ⅡB	2～4	1		
	LIN207	パーリ語A	2～4	1		
	LIN208	パーリ語B	2～4	1		
	LIN209	チベット語A	2～4	1		
	LIN210	チベット語B	2～4	1		
	CIB118	インド現代思想	1～4	2		いずれか
	CIB119	現代のインド	1～4	2		
	CIB122	中国学概論A	1	2		
	CIB123	中国学概論B	1	2		
	CIB303	中国哲学史A	3～4	2		
	CIB304	中国哲学史B	3～4	2		
	CHL303	中国現代文学史A	3～4	2		いずれか
	CHL304	中国現代文学史B	3～4	2		
	JLT323	日本漢学A	3～4	2		
	JLT324	日本漢学B	3～4	2		
	CIB218	チベット仏教史	2～4	2		
	CHL301	中国文学史A	3～4	2	東洋思想文化学科、日本文学文化学科は除く	
	CHL302	中国文学史B	3～4	2		
	CIB215	中国仏教史A	2～4	2	東洋思想文化学科は除く	
	CIB216	中国仏教史B	2～4	2		

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目、相互聴講・・・第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意 / 備考
文学部 基礎専門 科目	CIB219	日本仏教史A	2～4	2	東洋思想文化学科、 日本文学文化学科は除く	
	CIB220	日本仏教史B	2～4	2		
	CIB231	海外文化研修Ⅰ	1～4	2	東洋思想文化学科 は除く	
	CIB232	海外文化研修Ⅱ	1～4	2		
	LIG109	比較文学Ⅰ	1～2	2	東洋思想文化学科、 日本文学文化学科 は除く	
	LIG110	比較文学Ⅱ	1～2	2		
	CHL209	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2		
	CHL210	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2		
	FAH107	日本美術の世界	1～4	2		
	ARS129	韓国の文化と社会	1～4	2		いずれか
	LIE225	世界の文学文化と日本Ⅰ	1～4	2	日本文学文化学科 は除く	
	LIE226	世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2		
	CUA122	伝統行事を学ぶ	1～4	2		
	JLT157	伝統芸能を学ぶ	1～4	2		いずれか
	JLT272	日本の児童文学	2～4	2		
	LIE213	英文学特講ⅠA	2～3	2	英米文学学科は除く	
	LIE214	英文学特講ⅠB	2～3	2		
	LIE215	英文学特講ⅡA	2～3	2		
	LIE216	英文学特講ⅡB	2～3	2		
	LIE217	英文学特講ⅢA	2～3	2		
	LIE218	英文学特講ⅢB	2～3	2		
	LIE219	米文学特講ⅠA	2～3	2		
	LIE220	米文学特講ⅠB	2～3	2		
	LIE221	米文学特講ⅡA	2～3	2		
	LIE222	米文学特講ⅡB	2～3	2		
	LIE111	英語圏の社会と文化ⅠA	1～2	2		
	LIE112	英語圏の社会と文化ⅠB	1～2	2		
	LIE113	英語圏の社会と文化ⅡA	1～2	2		
	LIE114	英語圏の社会と文化ⅡB	1～2	2		
	JPH105	日本史概説A	1	2	史学科は除く	
	JPH106	日本史概説B	1	2		
	HAA103	東洋史概説A	1	2		
	HAA104	東洋史概説B	1	2		
	HEA103	西洋史概説A	1	2		
	HEA104	西洋史概説B	1	2	教育学科は除く	
	EDU106	生涯学習概論Ⅰ	1～2	2		
	SNE101	特別支援教育概論Ⅰ	1～2	2		
	ESS104	家族心理学	1～4	2		
	EDU119	児童文化研究	1～4	2		
	SNE103	特別支援教育概論Ⅱ	1～4	2		
	PSY108	心理学の研究と理論	1～4	2		
	ESS104	小学英語特講	1～3	2		
	JLT158	日本文化表象ⅠA	1～4	2	国際文化コミュニ ケーション学科は 除く	
	JLT159	日本文化表象ⅠB	1～4	2		
	EUL105	ドイツ文化・文学研究A	1～4	2		
	EUL106	ドイツ文化・文学研究B	1～4	2		
	EUL107	フランス文化・文学研究A	1～4	2		
	EUL108	フランス文化・文学研究B	1～4	2		
	LIN121	認知と言語	1～4	2		
	LIG114	国際文化理解A	1～4	2		
	LIG115	国際文化理解B	1～4	2		
	LIG202	異文化交流論ⅠA	2～4	2		
	LIG203	異文化交流論ⅠB	2～4	2		
	JLN113	日本語概説	1～4	2		
	JLN114	日本語史	1～4	2		
	JLN112	現代日本語文法	1～4	2		
	LIN122	対照言語学	1～4	2		
国際コ ミュニ ケーシ ョン科 目	英語	ENG105	英語ⅠA A	1	国際文化コミュニ ケーション学科は 除く	
		ENG106	英語ⅠA B	1		
		ENG107	英語ⅠB A	1		
		ENG108	英語ⅠB B	1		
		ENG204	検定英語A	1～4		
		ENG205	検定英語B	1～4		
		ENG206	Practical Writing A	1～4		
		ENG207	Practical Writing B	1～4		
		ENG208	英語ⅡA A	2		
		ENG209	英語ⅡA B	2		
		ENG210	英語ⅡB A	2		
		ENG211	英語ⅡB B	2		

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目、相互聴講・・・第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意 / 備考
国際コミュニケーション科目	英語	ENG301 Business English A	3～4	1	国際文化コミュニケーション学科は除く	
		ENG302 Business English B	3～4	1		
		ENG303 Media English A	3～4	1		
		ENG304 Media English B	3～4	1		
		ENG164 Oral Communication AA	1	1	国際文化コミュニケーション学科のみ履修可	
		ENG165 Oral Communication AB	1	1		
		ENG166 Oral Communication BA	1	1		
		ENG167 Oral Communication BB	1	1		
		ENG264 Global Communication AA	2	1		
		ENG265 Global Communication AB	2	1		
		ENG266 Global Communication BA	2	1		
		ENG267 Global Communication BB	2	1		
		ENG327 Speech Communication A	3	1		
		ENG328 Speech Communication B	3	1		
	ドイツ語	GER101 ドイツ語ⅠA A	1	1		
		GER102 ドイツ語ⅠA B	1	1		
		GER103 ドイツ語ⅠB A	1	1		
		GER104 ドイツ語ⅠB B	1	1		
		GER201 ドイツ語ⅡA A	2	1		
		GER202 ドイツ語ⅡA B	2	1		
		GER203 ドイツ語ⅡB A	2	1		
		GER204 ドイツ語ⅡB B	2	1		
		GER301 ドイツ語講読と文化A	3～4	1		
		GER302 ドイツ語講読と文化B	3～4	1		
	フランス語	GER303 ドイツ語コミュニケーションと文化A	3～4	1		
		GER304 ドイツ語コミュニケーションと文化B	3～4	1		
		FRA101 フランス語ⅠA A	1	1		
		FRA102 フランス語ⅠA B	1	1		
		FRA103 フランス語ⅠB A	1	1		
		FRA104 フランス語ⅠB B	1	1		
		FRA201 フランス語ⅡA A	2	1		
		FRA202 フランス語ⅡA B	2	1		
		FRA203 フランス語ⅡB A	2	1		
		FRA204 フランス語ⅡB B	2	1		
	中国語	FRA301 フランス語講読と文化A	3～4	1		
		FRA302 フランス語講読と文化B	3～4	1		
		FRA303 フランス語コミュニケーションと文化A	3～4	1		
		FRA304 フランス語コミュニケーションと文化B	3～4	1		
		CHI101 中国語ⅠA A	1	1	哲学科、英米文学科は除く	
		CHI102 中国語ⅠA B	1	1		
		CHI103 中国語ⅠB A	1	1		
		CHI104 中国語ⅠB B	1	1		
		CHI201 中国語ⅡA A	2	1		
		CHI202 中国語ⅡA B	2	1		
		CHI203 中国語ⅡB A	2	1		
		CHI204 中国語ⅡB B	2	1		
		CHI301 中国語講読と文化A	3～4	1		
		CHI302 中国語講読と文化B	3～4	1		
	日本語(留学生用)	CHI303 中国語コミュニケーションと文化A	3～4	1	留学生は127ページ参照	
		CHI304 中国語コミュニケーションと文化B	3～4	1		
		JPN111 日本語ⅠA A	1	1		
		JPN112 日本語ⅠA B	1	1		
		JPN113 日本語ⅠB A	1	1		
		JPN114 日本語ⅠB B	1	1		
		JPN257 日本語ⅡA	2	1		
		JPN258 日本語ⅡB	2	1		
		JPN211 日本語と日本社会A	2	2		
		JPN212 日本語と日本社会B	2	2		
諸資格関連科目		JPN213 日本語と日本文化A	2	2	外国人留学生のみ履修可	
		JPN214 日本語と日本文化B	2	2		
		JPN301 ビジネス日本語Ⅰ	1～4	1		
		JPN302 ビジネス日本語Ⅱ	1～4	1		
		EDU110 生涯学習概論Ⅱ	1～4	2	教育学科は除く	相互聴講
		EDU205 生涯学習支援論Ⅰ	1～4	2		
		EDU206 生涯学習支援論Ⅱ	1～4	2		
		EDU201 社会教育経営論Ⅰ	1～4	2		
		EDU202 社会教育経営論Ⅱ	1～4	2		
		EDU111 女性問題と学習	1～4	2		

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目、相互聴講・・・第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目

区分	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意 / 備考
諸資格 関連科目	EDU114	グローバル化と学習	1～4	2	教育学科は除く	相互聴講
	EDU115	家庭教育論	1～4	2		
	EDU116	視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)	1～4	2		
	EDU207	社会教育実習	2～4	2		
	EDU112	社会教育課題研究Ⅰ	1～4	2		
	EDU113	社会教育課題研究Ⅱ	1～4	2		
	EDU101	教育基礎論	1	2		
	EDU102	教育制度論	1	2		
	CAS203	博物館経営論	2	2		
	CAS301	博物館資料保存論	3～4	2		
	CAS204	博物館教育論	2～4	2		
	CAS104	博物館情報・メディア論	1～4	2		
	CAS103	博物館概論	1～2	2	史学科は除く	
	CAS201	博物館資料論	2～4	2		
	CAS202	博物館展示論	2	2		
	CAS302	博物館実習ⅠA	3	1		
	CAS303	博物館実習ⅠB	3	1		
	CAS401	博物館実習Ⅱ	4	1		
	LIH101	図書館概論	1～4	2		相互聴講
	LIH102	情報サービス論	1～4	2		
	LIH103	児童サービス論	1～4	2		
	LIH104	図書・図書館史	1～4	2		
	LIH105	図書館制度・経営論	1～4	2		
	LIH106	図書館サービス概論	1～4	2		
	LIH201	情報サービス演習A	1～4	1		
	LIH202	情報サービス演習B	1～4	1		
	LIH107	図書館情報資源概論	1～4	2		
	LIH108	図書館情報資源特論	1～4	2		
	LIH109	情報資源組織論	1～4	2		
	LIH203	情報資源組織演習A	1～4	1		
	LIH204	情報資源組織演習B	1～4	1		
	LIH110	図書館情報技術論	1～4	2		
	LIH113	学校経営と学校図書館	1～4	2		
LIH112	読書と豊かな人間性	1～4	2			
LIH111	学習指導と学校図書館	1～4	2			
LIH114	情報メディアの活用	1～4	2			
LIH115	学校図書館メディアの構成	1～4	2			
JLE108	日本語教育論A	1～4	2	国際文化コミュニ ケーション学科は 除く		
JLE109	日本語教育論B	1～4	2			
JLE201	日本語教授法A	2～4	2			
JLE202	日本語教授法B	2～4	2			
JLE301	日本語教育実習	3～4	2			
キャリア 教育	CIV110	キャリア支援Ⅰ	1～4	2		
	CIV109	キャリア支援Ⅱ	1～4	2		
	CIV111	教員養成講座Ⅰ	1～4	2		
	CIV112	教員養成講座Ⅱ	1～4	2		
	THI104	情報処理演習A	1～4	1		
	THI105	情報処理演習B	1～4	1		
	CIV107	インターンシップ	1～4	2		
	CIV108	ボランティア活動	1～4	2		

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目、相互聴講・・・第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目



第1部 哲学科

◆◆ 哲学科における勉強の指針 ◆◆

- I. 明治という時代は短期間の内に西欧近代の諸思想が姿を見せた時代であり、それらの実証主義的、合理主義的な諸思想と日本伝統の多元的な思想とが激しく衝突しながら、日本の近代化に向けて苦悶した時代でもある。その明治半ば、東洋大学は「哲学館」として設立された（明治20年）。西欧の思想を日本の伝統的思想にも触れながら、諸学の基礎である哲学に正面から取り組んで来たところに、東洋大学哲学科の特色がある。しかし、21世紀を迎えた現在、日本の置かれている状況は大きく変わり、我々はいまやパラダイムなしに、世界と共時的に、あるいは世界に先んじて、進まなければならぬところにいるといえる。このような状況にあって、我々は新たな仕方では哲学を学ぼうとするのである。「哲学」が諸学の基礎にあるということは、哲学は諸学から独立しているということではない。諸学から切りはなされて学ぶというような哲学は「机上の空論」でしかない。多様に変化・発展する諸学に学びつつ、諸学と対話することによって、哲学は自身自身を反省し、自ら変わりつつ、諸学を基礎づけ直すのでなければならないだろう。
- II. 哲学科には、古代から現代までの哲学をカバーできるように教員が配置されているが、さらに特殊な研究分野に関しては他から講師を招いて、欠けるところがないように努力している。しかし何れにしても、哲学は客観的な知識の習得に終わるのではなく、主体的に哲学し、学ぶ主体そのものの変様を要求するところが大きい。教師と学生という枠組みの中でだけでなく、人格と人格の出会いと互いに切磋琢磨することにおいて、哲学は学ばなければならないだろう。

◆◆ 哲学科教育研究上の目的 ◆◆

1. 人材の養成に関する目的

哲学科における人材養成は、諸科学の成果を踏まえながら社会の中で総合的な展望を開く能力とともに、人間存在としてよりよく生きる道を自律的に希求するための能力を培うことに存する。こうした能力は、1. 諸学の基層的知識を哲学的に学ぶ 2. 自然や人間や歴史や文化や芸術や宗教など幅広い視野を摂取する 3. 合理的かつ自律的思考を訓練する 4. 情操を陶冶して価値や尊厳をめぐる受容性を高め人間形成に配慮することで養われる。また、5. 西欧の学問伝統を踏まえて教育をおこなうが、日本文化についても配慮する。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

- (1) 人文領域の基層的原理的知識と総合科学としての哲学の基礎知識を、伝統的側面と現代的側面から教授し、幅広いジェネラリストとして指導的役割を果たす社会人を養成する。
- (2) 英語・ドイツ語・フランス語のうち2カ国語の論文読解能力を涵養し、国際的教養人を養成する。

◆◆ 哲学科 3つのポリシー ◆◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

哲学科における人材養成は、諸科学の成果を踏まえながら社会の中で総合的な展望を開く能力とともに、人間存在としてよりよく生きる道を自律的に希求するための能力を培うことに存する。こうした能力は、諸学の基層的知識を哲学的に学ぶこと、合理的かつ自律的思考を訓練すること、情操を陶冶して価値や尊厳をめぐる受容性を高め人間形成に配慮することで養われる。以上の要件にしたがってカリキュラム・ポリシーに準拠して所定の単位を修得した者に対して、学士（文学）を授与する。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

伝統ある文学部の気風を踏まえつつ、哲学を専門的に深く広く、基本的知識や能力の育成を主眼と

しながら、創造的な思考能力を養い、文化的諸事象を総合的観点から考察させ、人間としての教養を身につけさせつつ、人間・歴史・社会・文化を体系的に学べるようにカリキュラム配置する。より詳細には、人文領域の基層的原理的知識と総合科学としての哲学の基礎知識を、伝統的側面と現代的側面から教授し、幅広いジェネラリストとして指導的役割を果たす社会人を養成する。また、英語・ドイツ語・フランス語のうち2カ国語の論文読解能力を涵養し、国際的教養人を養成する。哲学に関する一般教育を土台として重視しつつ、専門教育を高度かつ濃密に学べるように工夫する。すなわち1・2年次において語学、および諸学の成果を一般教育として深く学ぶことが不可欠であり、学ぶことの奥深さと楽しさを見いだせるようにカリキュラムを配置する。専門教育も1・2年次から本格的に始められ、3・4年次で深められていく。哲学演習と概説・特殊講義という2つの形態でカリキュラムは構成され、それぞれの専門領域ごとに、またそれぞれの専門領域を貫く仕方で、教育がおこなわれる。こうしたインテンシブ教育の成果が、4年次に全員に課せられる卒業論文執筆として結実する。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

人間とは何か、自己とは何か、思想・文化・芸術伝統文化・歴史等にも謙虚に学ぶとともに、基本的には、語学を楽しみ、読書等に親しみ、吸収した知識をもとにそれらを活用すべく深く考えてみたい人を望む。言い換えれば、広く旺盛な好奇心を抱いて、基礎学力や専門知識とその応用を学ぼうという意欲のある人を望む。さらに、堅実に日々学問の研鑽に励み、21世紀の日本社会の礎となる自律的な人間となるよう克己と人格的自己研鑽に努め、来たるべき世界に積極的に貢献しようとする人を望む。要するに、人間の心情や思考・社会・文化・言語・文学・芸術・宗教について論理的思考の基礎を身につけたい人を望む。入学までに、とりわけ真善美をめぐる教養書を丹念に読書して、自分の考えや意見や感想をノートなどに書き出して、自ら思索する習慣を身につけていることを望む。

◆第1部 哲学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。

各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は合計124単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類	必要単位
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際	12単位以上 「哲学・思想」から2単位、「キャリア・市民形成」から2単位を修得すること。
	留学支援科目 英語特別教育科目	
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育	16単位以上 国際コミュニケーション科目は、「ドイツ語Ⅰ AA」～「ドイツ語Ⅱ BB」、「フランス語Ⅰ AA」～「フランス語Ⅱ BB」、「英語Ⅰ AA」～「英語Ⅱ BB」の3カ国語のうち 2カ国語16単位選択必修 。
専門科目	必修科目	34単位
	選択必修科目	34単位以上 選択必修科目の34単位のうち、「思想史群」から2科目以上、「哲学演習Ⅱ（独）A」～「哲学演習Ⅱ（仏）B」から2科目以上、「問題群演習Ⅰ A」～「問題群演習Ⅳ B」を2科目以上、「哲学演習群」から6科目以上、「哲学特殊講義群」から4科目以上いずれもセット履修で修得すること。
	選択科目	20単位以上
教職科目		卒業単位に含めない科目
他学部他学科開放科目		
卒業必要単位数合計		上記要件を満たし、 合計124単位以上

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については127ページを必ず確認してください。

◆◆ 2020 年度第 1 部哲学科教育課程表 ◆◆

第 1 部 哲学科

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 88 単位以上	必修科目 34 単位	必修	PHE113	論理学概論 A	1	2	
		必修	PHE114	論理学概論 B	1	2	
		必修	PHE115	西洋哲学史基礎概説 A	1	2	
		必修	PHE116	西洋哲学史基礎概説 B	1	2	
		必修	PHE117	哲学演習 I A	1	1	
		必修	PHE118	哲学演習 I B	1	1	
		必修	PHE119	古代中世哲学史概説 A	1	2	
		必修	PHE120	古代中世哲学史概説 B	1	2	
		必修	PHE201	近世近代哲学史概説 A	2	2	
		必修	PHE202	近世近代哲学史概説 B	2	2	
		必修	PHE305	哲学概論 A	3	2	
		必修	PHE306	哲学概論 B	3	2	
		必修	PHE307	倫理学概論 A	3～4	2	
		必修	PHE308	倫理学概論 B	3～4	2	
		必修	THE401	卒論指導 I	4	2	
		必修	THE402	卒論指導 II	4	2	
		必修	THE403	卒業論文	4	4	
	選択必修科目 34 単位以上	選択	HIT105	日本思想史基礎概説 A	1	2	6 科目のうち 2 科目 選択必修
		選択	HIT106	日本思想史基礎概説 B	1	2	
		選択	PHE138	倫理思想史 A	1	2	
		選択	PHE139	倫理思想史 B	1	2	
		選択	HIT107	社会思想史 A	1	2	
		選択	HIT108	社会思想史 B	1	2	4 科目のうち 2 科目 選択必修
		選択	PHE203	哲学演習 II (独)A	2	1	
		選択	PHE204	哲学演習 II (独)B	2	1	
		選択	PHE205	哲学演習 II (仏)A	2	1	
		選択	PHE206	哲学演習 II (仏)B	2	1	
		選択	PHE207	問題群演習 I A	2	1	セット 8 科目のうち 2 科目 選択必修
		選択	PHE208	問題群演習 I B	2	1	
		選択	PHE209	問題群演習 II A	2	1	
		選択	PHE210	問題群演習 II B	2	1	
		選択	PHE211	問題群演習 III A	2	1	
		選択	PHE212	問題群演習 III B	2	1	
		選択	PHE225	問題群演習 IV A	2	1	
		選択	PHE226	問題群演習 IV B	2	1	
		選択	PHE309	古代哲学演習 A	3～4	1	18 科目のうち 6 科目 以上 選択必修
		選択	PHE310	古代哲学演習 B	3～4	1	
		選択	PHE311	中世哲学演習 A	3～4	1	
		選択	PHE312	中世哲学演習 B	3～4	1	
		選択	PHE313	近世哲学演習 I A	3～4	1	
		選択	PHE314	近世哲学演習 I B	3～4	1	
		選択	PHE315	近世哲学演習 II A	3～4	1	
		選択	PHE316	近世哲学演習 II B	3～4	1	
		選択	PHE317	現代哲学演習 I A	3～4	1	
		選択	PHE318	現代哲学演習 I B	3～4	1	
		選択	PHE319	現代哲学演習 II A	3～4	1	
		選択	PHE320	現代哲学演習 II B	3～4	1	
		選択	PHE321	現代哲学演習 III A	3～4	1	
		選択	PHE322	現代哲学演習 III B	3～4	1	
		選択	PHE323	現代思想演習 A	3～4	1	
		選択	PHE324	現代思想演習 B	3～4	1	
		選択	FAH301	美学美術史演習 A	3～4	1	18 科目のうち 4 科目 以上 選択必修
		選択	FAH302	美学美術史演習 B	3～4	1	
		選択	PHE325	古代哲学特講 A	3～4	2	
		選択	PHE326	古代哲学特講 B	3～4	2	
		選択	PHE337	中世哲学特講 A	3～4	2	
		選択	PHE338	中世哲学特講 B	3～4	2	
		選択	PHE327	近世哲学特講 I A	3～4	2	18 科目のうち 4 科目 以上 選択必修
		選択	PHE328	近世哲学特講 I B	3～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目
2 部開講・・・第 2 部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考				
専門科目 88単位以上	選択必修科目 34 単位以上	選択	PHE329	近世哲学特講Ⅱ A	3～4	2	セット	18科目のうち 4科目以上 選択必修			
		選択	PHE330	近世哲学特講Ⅱ B	3～4	2					
		選択	PHE331	現代哲学特講Ⅰ A	3～4	2					
		選択	PHE332	現代哲学特講Ⅰ B	3～4	2					
		選択	PHE333	現代哲学特講Ⅱ A	3～4	2					
		選択	PHE334	現代哲学特講Ⅱ B	3～4	2					
		選択	PHE335	日本哲学特講 A	3～4	2					
		選択	PHE336	日本哲学特講 B	3～4	2					
		選択	RES302	宗教哲学特講 A	3～4	2					
		選択	RES303	宗教哲学特講 B	3～4	2					
	選択	PHE339	心の哲学特講 A	3～4	2						
	選択	PHE340	心の哲学特講 B	3～4	2						
	選択科目 20 単位以上	選択	PHE140	哲学とキリスト教 A	1～4	2	セット				
		選択	PHE141	哲学とキリスト教 B	1～4	2					
		選択	POL106	政治哲学概論	1～4	2					
		選択	LAW111	法哲学概論	1～4	2					
		選択	LIN201	ラテン語 A	2～4	1					
		選択	LIN202	ラテン語 B	2～4	1					
		選択	LIN203	ギリシア語 A	2～4	1					
		選択	LIN204	ギリシア語 B	2～4	1					
		選択	PHE213	現代思想論 A	2～4	2					
		選択	PHE214	現代思想論 B	2～4	2					
		選択	PHE215	比較思想 A	2～4	2					
		選択	PHE216	比較思想 B	2～4	2					
		選択	PHE217	哲学と科学 A	2～4	2					
		選択	PHE218	哲学と科学 B	2～4	2					
		選択	PHE219	現代倫理学 A	2～4	2					
		選択	PHE220	現代倫理学 B	2～4	2					
		選択	PHE221	精神病理学 A	2～4	2					
		選択	PHE222	精神病理学 B	2～4	2					
		選択	ASA201	芸術論 A	2～4	2					
		選択	ASA202	芸術論 B	2～4	2					
		選択	PHE227	英米哲学 A	2～4	2					
		選択	PHE228	英米哲学 B	2～4	2					
		選択	PHE229	生の哲学 A	2～4	2					
		選択	PHE230	生の哲学 B	2～4	2					
		選択	PHE401	哲学特別研究 A	4	1					
		選択	PHE402	哲学特別研究 B	4	1					
教職科目											
教職科目		選択	GGR103	自然地理学 A	1～2	2			卒業単位に 含めない科目		
	選択	GGR104	自然地理学 B	1～2	2						
	選択	HUG201	人文地理学 A	1～2	2						
	選択	HUG202	人文地理学 B	1～2	2						
	選択	HUG203	地誌学 A	1～2	2						
	選択	HUG204	地誌学 B	1～2	2						
	選択	ESS308	社会・地歴指導法Ⅰ	3	2						
	選択	ESS309	社会・地歴指導法Ⅱ	3	2						
	選択	ESS310	社会・公民指導法Ⅰ	3	2						
	選択	ESS311	社会・公民指導法Ⅱ	3	2						
	選択	ESS401	教職実践演習(中・高)	4	2						

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

2020年度第1部哲学科 教育課程表

[illegible]

区 分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 34単位	倫理学概論A(2) 倫理学概論B(2) 西洋哲学史・基礎概説A(2) 西洋哲学史・基礎概説B(2) 古代中世哲学史概説A(2) 古代中世哲学史概説B(2) 哲学演習ⅠA(1) 哲学演習ⅠB(1) ＜思想史群＞ 日本思想史基礎概説A(2) 日本思想史基礎概説B(2) 倫理思想史A(1) 倫理思想史B(2) 社会思想史A(2) 社会思想史B(2)	近世近代哲学史概説A(2) 近世近代哲学史概説B(2) ＜哲学演習Ⅱ群＞ 哲学演習Ⅱ(英)A(1) 哲学演習Ⅱ(英)B(1) 哲学演習Ⅱ(仏)A(1) 哲学演習Ⅱ(仏)B(1) 哲学演習Ⅱ(独)A(1) 哲学演習Ⅱ(独)B(1) 現代哲学演習ⅠA(1) 現代哲学演習ⅠB(1) 現代哲学演習ⅡA(1) 現代哲学演習ⅡB(1) 現代哲学演習ⅢA(1) 現代哲学演習ⅢB(1) 美学・美術史演習A(1) 美学・美術史演習B(1) ＜問題群演習群＞ 問題群演習ⅠA(1) 問題群演習ⅠB(1) 問題群演習ⅡA(1) 問題群演習ⅡB(1) 問題群演習ⅢA(1) 問題群演習ⅢB(1) 問題群演習ⅣA(1) 問題群演習ⅣB(1)	哲学概論A(2) 哲学概論B(2) ＜哲学演習Ⅲ群＞ 古代哲学演習A(1) 古代哲学演習B(1) 近世哲学演習ⅠA(1) 近世哲学演習ⅠB(1) 現代哲学演習ⅠA(1) 現代哲学演習ⅠB(1) 現代哲学演習ⅡA(1) 現代哲学演習ⅡB(1) 現代哲学演習ⅢA(1) 現代哲学演習ⅢB(1) 現代思想演習A(1) 現代思想演習B(1) 美学・美術史演習A(1) 美学・美術史演習B(1) ＜哲学特殊演習群＞ 古代哲学特講A(2) 古代哲学特講B(2) 近世哲学特講ⅠA(2) 近世哲学特講ⅠB(2) 現代哲学特講ⅠA(2) 現代哲学特講ⅠB(2) 現代哲学特講ⅡA(2) 現代哲学特講ⅡB(2) 宗教哲学特講A(2) 宗教哲学特講B(2) 心の哲学特講A(2) 心の哲学特講B(2)	空論指導Ⅰ(2) 空論指導Ⅱ(2) 卒業論文(4) 倫理学概論A(2) 倫理学概論B(2) 18科目のうち5科目以上選択必修 中世哲学特講A(2) 中世哲学特講B(2) 近世哲学特講ⅠA(2) 近世哲学特講ⅠB(2) 現代哲学特講ⅠA(2) 現代哲学特講ⅠB(2) 宗教哲学特講A(2) 宗教哲学特講B(2)
専門科目88単位以上	6科目のうち2科目以上 選択必修 選択必修 科目 34単位 以上	8科目のうち2科目以上 選択必修	18科目のうち4科目以上選択必修	18科目のうち4科目以上選択必修
選択科目 20単位 以上	哲学とキリスト教A(2) 哲学とキリスト教B(2) ラテノ語A(1) ラテノ語B(1) ギリシア語A(1) ギリシア語B(1) 現代思想論A(2) 現代思想論B(2) 比較思想A(2) 比較思想B(2)	哲学とキリスト教B(2) ラテノ語A(1) ラテノ語B(1) ギリシア語A(1) ギリシア語B(1) 現代思想論A(2) 現代思想論B(2) 比較思想A(2) 比較思想B(2)	政治哲学概論(2) 哲学と科学A(2) 哲学と科学B(2) 芸術論A(2) 芸術論B(2) 精神病理学A(2) 精神病理学B(2) 現代倫理学A(2) 現代倫理学B(2) 現代倫理学A(2) 現代倫理学B(2)	法哲学概論(2) 英米哲学A(2) 英米哲学B(2) 生の哲学A(2) 生の哲学B(2)
教 職 科 目	自然地理学A(2) 自然地理学B(2) 人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 地誌学A(2) 地誌学B(2)	社会・地歴指導法Ⅰ(2) 社会・地歴指導法Ⅱ(2) 社会・公民指導法Ⅰ(2) 社会・公民指導法Ⅱ(2)	社会・地歴指導法Ⅰ(2) 社会・地歴指導法Ⅱ(2) 社会・公民指導法Ⅰ(2) 社会・公民指導法Ⅱ(2)	哲学特別研究A(1) 哲学特別研究B(1) 教職実践演習(中・高)(2)
他学部他学科 開講科目 (専門開講科目)	科目は別表に記載	科目は別表に記載		※Aはすべてセット履修科目

(注)教職科目は、卒業単位には含まれません。

※ABはすべてセット履修科目

◆◆科目の履修上の注意◆◆

国際コミュニケーション科目（セット履修）

同一名称の科目Aと科目Bを同一年度にセットで履修することを原則とします。

ドイツ語、フランス語、英語の3カ国語から2カ国語を選択し、16単位以上を履修かつ修得してください。

必修科目（セット履修）

同一名称の科目Aと科目Bを同一年度にセットで履修することを原則とします。

選択必修科目（セット履修）

同一名称の科目Aと科目Bを同一年度にセットで履修することを原則とします。

3・4年配当の「哲学演習群」、「哲学特殊講義群」については、同一科目を2回まで履修可能。また、2回目に修得した同一科目の単位数も卒業単位として認定します。

卒業論文

必修科目の卒業論文を履修登録することができるのは、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限ります。**

哲学特別研究

科目の性格： 本学大学院文学研究科哲学専攻（博士前期課程）に設置されている科目と同一科目であり、主として大学院進学を希望する4年生や高度な専門性のある教育を望む4年生が対象です。

聴講許可制： 大学院進学後の単位取得を前提とした聴講が許可されるのは、専任教員担当の科目であり、学部生は、当該専任教員に申し出て、聴講許可書類を提出してください。

科目の範囲： 学部生が大学院進学後の単位取得を前提に聴講希望できる大学院科目は、専任教員担当の博士前期課程の演習科目・講義科目であり、同一名称の科目Aと科目Bを1セットでかつ1回のみ聴講可とします。

付 帯 条 件： 聴講を希望しても、状況によっては履修できない場合もあります。

◆◆学習指導について◆◆

I. 哲学科では、下記の通り、コース制による学習指導を行っています。

1	哲学基礎専門コース	4	芸術哲学コース
2	自然環境哲学コース	5	宗教・歴史哲学コース
3	身体表現哲学コース	6	死生学コース

1. 上記6コースは専任教員を中心に配置されており、1年次から4年次まで一貫してきめ細かく学習指導を行って、最終的には卒業論文に結実します。
2. 詳細は1年次のガイダンスで説明します。

II. 学習の記録ノートについて

学習の記録ノートを通して、下記の通り指導を行います。

1. 学習の記録ノートは学科学生全員に配付されます。これに基づいて自己評価・履修状況・中間点検等を自ら行って、学習に役立ててください。
2. 専任教員の指導の下、TAの補助を通して、個別に学習指導を行っています。そのために、定期的に学習の記録ノートを提出してもらいます。初年度に配付される学習の記録ノートは4年間使用しますので、**決して紛失等をしないでください。**

◆第1部哲学科 カリキュラムマップ◆

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
論理学概論A B 西洋哲学史基礎概説A B 古代中世哲学史概説I A B 哲学演習I A B 日本思想史基礎概説A B 倫理思想史A B 社会経済思想史A B	近世近代哲学史概説A B 哲学演習II(独)A B 哲学演習II(仏)A B 問題群演習I A B 問題群演習II A B 問題群演習III A B 問題群演習IV A B	哲学概論A B 倫理学概論A B 古代哲学演習A B 中世近世哲学演習A B 近世哲学演習I A B 近世哲学演習II A B 現代哲学演習I A B 現代哲学演習II A B 現代哲学演習III A B 現代思想演習A B 美学美術史演習A B 古代哲学特講A B 中世哲学特講A B 近世哲学特講I A B 近世哲学特講II A B 現代哲学特講I A B 現代哲学特講II A B 日本哲学特講A B 宗教哲学特講A B 心の哲学特講A B ギリシア語A B ラテン語A B 精神病理学A B 芸術論A B 哲学と科学A B 比較思想A B 現代倫理学A B 現代思想論A B 英米哲学A B 生の哲学A B 政治哲学概論 法哲学概論 哲学とキリスト教A B 卒業論文 卒論指導I 卒論指導II	哲学特別研究A B 創造性と社会的貢献の4年次 伝統的・現代的側面から広く深い教養に裏打ちされた想像的な思考によって、既存の枠組みにとらわれない自らの着想や構想を適切な方法で表現し、他の人々に広く発信し、成熟した人間として社会に貢献していくことができるようになる。
語学科目目：英語・ドイツ語・フランス語から二カ国語選択 語学教養中心の1年次 英語・フランス語・ドイツ語等の複数の外国語を学習することで、異なる歴史・文化に属する諸思想を深く理解する能力を身に付け、宗教・歴史・科学・芸術などの諸思想の基層に遡底する広範な知的領域に関心をもつことができるようになる。	合理的・自律的・総合的思想を育む2年次 自らを取り巻く諸問題を分析・解明する合理的な思考力、自らが生きる世界に対して問いを發し、それを深く追求する自律的思考力、さらには、国際的教養人になふさわしい広く深い観点からの総合的な思考力を身に付け、哲学的知恵を生きている現場において使いこなすことができるようになる。	情操を陶冶する3年次 豊かな教養を身に付けることによって自らの情操を陶冶し、日々自己を研鑽する姿勢を身に付け、成熟した人格を形成するのみならず、日常の他者に対する配慮、気遣いに始まり、価値や尊厳の領域に深く思いを至らせ、絶えず自己の生きる意味を自ら問いだすことができるようになる。	創造性と社会的貢献の4年次 伝統的・現代的側面から広く深い教養に裏打ちされた想像的な思考によって、既存の枠組みにとらわれない自らの着想や構想を適切な方法で表現し、他の人々に広く発信し、成熟した人間として社会に貢献していくことができるようになる。

教育課程及び履修に際しての注意

第1部 東洋思想文化学科

◆◆東洋思想文化の深い理解と、現代への確かな視点を◆◆

明治20年、哲学者井上円了は東洋大学の前身となる「哲学館」を創設した。明治維新後間もない当時の日本は、西洋文明を必死で追いかけていた。しかし円了はただ西洋化に踊らされる日本を憂い、日本人として東洋の精神を重んじるべきと考え、実践に基づいた哲学教育を行った。東洋思想文化学科は、このような創立者の教育精神を受け継ぐ学科である。

21世紀のいま、中国やインドを中心とするアジア世界は大きく変革した。政治、経済、社会など、あらゆる分野でのアジア地域の成長は著しく、またアジアの伝統思想や文化が、西洋社会にはないある種の力を持って現代人に受け入れられつつある。東洋思想文化学科は、このようなアジア社会の底流にある「東洋の叡智の心髄」である思想や文化を広く、そして深く理解し、その理解を基礎に現代社会において、自身で考え行動する人材を育てることを教育目標とする。本学科に入学した学生の皆さんは、このような目標を見据えて学習に取り組んでもらいたい。

<東洋思想文化学科の教育内容>

東洋思想文化学科は中国、インドを中心にアジアの思想、文化を広く学ぶカリキュラムを設置している。

漢文やサンスクリット語などで記された文献を読み、そこにある思想、文化をじっくりと考える科目がある一方、国際社会に不可欠な中国語やヒンディー語や文化事情についての授業も重視しており、古典をバックグラウンドとしながら現代にも即応したカリキュラムとなっている。また、体験型の実技講義科目も本学科の特色である。

本学科の学生は、まず1年次において、必修外国語としての英語・中国語や一般的な教養科目を学習する。あわせて、専門科目として、「レポート・論文制作の技法」を、大学での初年度教育として学習する。また、2年次に選択する4コースの学習内容を知ることができる「概論」科目が、コース毎に用意されている。コース選択の判断材料として、また、専門への入り口として、有効に学習してほしい。

2年次から、学生は本学科に設置されている4つのコース、すなわち「インド思想コース」「中国語・中国哲学文学コース」「仏教思想コース」「東洋芸術文化コース」のうち一つを選択する。これらのコースは学生の皆さんの2年次以降の学習の柱となり、また卒業論文とも深く関わるものなので、1年次から十分に考えて選択してほしい。

2年次から3年次にかけては、コース共通の必修科目「東洋思想文化演習Ⅰ」（2年次）、「東洋思想文化演習Ⅱ」（3年次）を履修するとともに、コース別必修科目や選択必修科目を合わせて履修する。これらの科目はコースごとに決められているので、詳しくは教育課程表を参照してほしい。4年次には、演習科目「卒論指導」を履修しながら卒業論文に取り組む。卒業論文は4年間の学習の集大成である。就職活動などと並行しての卒論作成はあわただしく、また苦勞もあるが、論文が出来上がった時の達成感は格別のものがある。

学生の皆さんには、本学科において以上のような4年間の学びで得た思想や文化の理解を通じ、アジア世界について深く考え、また国際社会において他文化と協調しながら、自らの人生を切り開いていく十分な力を養っていただきたい。

◆◆東洋思想文化学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の養成に関する目的

本学の創立者井上円了は、東洋の哲学・思想の中に普遍的意義を見出し、これを教育によって広く当時の社会に普及しようとした。同時に、彼は単なる知識としてではなく、人々が生きる

ための知恵として活用しうる哲学＝実践哲学を構想した。東洋思想文化学科では、このような創立者の精神を受け継ぎ、中国やインドを中心とする東洋の思想・文化を広く教授することで、人間や社会の本質を見据えるとともに、東洋に特有の価値観や思考方法に基づき、現代社会が直面する諸問題に対し的確に対応できる人材の養成を目指す。また異文化や異なる価値観への深い理解を持ち、世界の人々と協調して未来を切り開こうとする姿勢に富む有為な人材の育成を目的とする。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

- (1)「講義科目」「語学科目」等により東洋の思想と文化、ならびにそれを理解するのに役立つ語学、文学、哲学、宗教学等に関する豊富な知識を修得させる。
- (2)「演習科目」「実技講義科目」「海外文化研修」等により、東洋に特有の価値観や思考方法を身につけさせる。
- (3)多様な科目を通じて東洋思想・文化を総合的に学習することにより、自らが直面するさまざまな問題に対し、独自の視点から分析と考察を行う能力を身につける。さらに自身の見解を論理的に表現し、それに基づいて実践することのできる能力を養成する。

◆東洋思想文化学科 3つのポリシー◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

1. 東洋思想文化学科の教育目標に沿って設定された授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することが、学位授与の必要要件です。修得すべき授業科目の中には、講義だけでなく、演習や卒業論文等のさまざまな形態の科目が含まれています。
2. 東洋思想文化学科の教育目標で明示されている、(1) 東洋の思想と文化、ならびにそれを理解するのに役立つ語学、宗教等に関する豊富な知識、(2) 東洋に特有の価値観や思考法への理解、(3) 自らが直面する様々な問題に対して、独自の視点から分析と考察を行い、自分の見解を論理的に表現し、また、それに基づいて実践することのできる能力、の三つが学習成果として実現されているかどうか、さらには、グローバル化の進む現代社会に貢献できる人材となっているかどうか、課程修了の目安になります。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

東洋思想文化学科では、教育上の理念と目的を達成するために、次の方針のもとに教育課程を編成し、また実施します。

1. 東洋思想文化学科の学生は、1年次・2年次を中心に、幅広い学問分野に触れ、全人的な教養を身につけるために、人文・自然などの「基盤教育」や「文学部基盤科目」を履修します。「文学部基盤科目」では、英語と中国語を必修外国語とするなど語学を重視しています。
2. 東洋思想文化学科の学生は、2年次以降の学習の基礎として、1年次にスタディースキル（読み、書き、発信する能力）を身につけるための科目、ならびに学科が教授する各分野の概要を知るための科目を履修します。
3. 東洋思想文化学科の学生は、2年次以降、専門分野に関する知識を深めるために、次の4つのコースのいずれか1つに属し、それぞれに定められた課程表に基づいて履修します。
 - (1) インド思想コース：長い歴史を持つインド（より広くは「南アジア」）の思想、歴史、文化などを体系的に学べるように多彩な科目群を提供します。それらをより本質的に理解するために、サンスクリット語やヒンディー語といった語学も学びます。
 - (2) 中国語・中国哲学文学コース：中国の哲学・文学・語学を三位一体のものとして学び、文献や資料に基づきながら中国文化について総合的な見識を養います。とりわけ中国語に関しては、検定試験の中級レベルに合格する実力を養成するプログラムを準備しています。
 - (3) 仏教思想コース：アジアの広範な地域に伝播定着した仏教とその文化を学ぶ横断的なコースです。仏教成立の背景から、アジア各地の仏教、そして現代日本の仏教にいたるまでを総合的に学びます。また、アジア各地の古典語（古典漢語、サンスクリット語、パーリ語、チベット語など）を体系的に学習します。
 - (4) 東洋芸術文化コース：インドや中国を中心にアジアに広がる美術などの芸術や多様な文化

を幅広く学ぶコースです。基礎的教養としてはインド、中国などの歴史や思想・文学を学びつつ、東洋の芸術や文化をより柔軟な視点から理解するための科目を設けています。

4. 東洋思想文化学科の学生は、卒業年次に卒業論文の作成が課されます。学科の教育目標の達成度を測るものですので、学生生活の総決算として論文を完成させてください。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

東洋思想文化学科では、次のような学生を求めます。

1. 東洋思想文化学科が求める学生像
 - (1) 東洋の思想や文化に対して強い関心を持つ学生を求めます。
東洋の思想や文化は、それぞれの長い伝統に培われた個性的なものです。異文化への関心や異なる価値観への理解は、東洋思想文化学科で勉学を続けていく上で絶対に不可欠です。
 - (2) 外国語の学習に意欲を持つ学生を求めます。
東洋の思想や文化を学ぶ場合、サンスクリット語・中国語をはじめとする、古典および現代のアジア諸言語で書かれた文献が基礎資料となります。また、分野によっては、英語文献を参照することが不可欠です。
 - (3) 物事を判断・主張するにあたって明確な根拠に基づいて筋道だった説明をすることのできる論理的能力を持つ学生を求めます。論理的能力は日本社会においても大切な能力ですが、文化的背景を異にする人たちに自分を理解してもらうためにはますます重要となります。
2. 入学までに習得しておくべき知識内容とその水準
 - (1) 国語
東洋思想文化学科での学びの基礎は文献読解です。何語で書かれた文献であれ、その内容を正しく理解し、それに対する自分の考えをまとめて主張するためには、国語能力は不可欠です。普段から文学や思想文化に関する著作に触れ、文章読解能力や論理的表現力、文章構成力等を養っておいてください。また、漢文はコースによっては、勉学上不可欠なものですし、文献資料を正確に読む練習にもなりますので、必ず基礎的な知識は身につけておいてください。
 - (2) 英語
東洋思想文化学科では、様々な外国語が学べますが、その基礎は英語です。サンスクリット語などを学習する場合、どうしても英語の辞書を使わなくてはなりません。また、卒論などでも、テーマによっては、英語以外の参考文献がほとんどないという場合も稀ではありません。辞書を使えば英語の本の内容がおおよそ理解できる程度の英語力は不可欠といえます。入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。
 - (3) 地理・歴史
東洋の思想や文化をよく理解するためには、その前提として、それらの国々が置かれた地理的環境や歴史に関する知識が不可欠なことは言うまでもありません。特に歴史については入学後にも関連する科目が多数ありますので、普段から関連する書籍に触れ、また、ニュースなどを通して現代の状況などにも注意を払うよう努めてください。

◆第1部 東洋思想文化学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位		
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		16 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を修得すること。		
	留学支援科目	英語特別教育科目			
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		16 単位以上 国際コミュニケーション科目は 1 年次配当の英語・中国語と 2 年次配当の英語・中国語の 16 科目 16 単位必修。		
インド思想コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 20 単位	必修科目合計 34 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 実技講義科目 海外研修	12 単位以上		
中国語・ 中国哲学文学コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 32 単位	必修科目合計 46 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 実技講義科目 海外研修	6 単位以上		
仏教思想コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 22 単位	必修科目合計 36 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 実技講義科目 海外研修	12 単位以上		
東洋芸術文化コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 16 単位	必修科目合計 30 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	講義科目 実技講義科目 海外研修	12 単位以上		
教職科目			※仏教思想コースのみ。卒業単位に含めない科目。		
他学部他学科開放科目					
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上		

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については 127 ページを必ず確認してください。

◆◆ 2020 年度第 1 部東洋思想文化学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
東洋思想文化学科 インド思想コース								
専門科目								
専門科目 74単位以上	必修科目 34単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM107	レポート・論文制作の技法	1	2	相互聴講
			必修	CIB201	東洋思想文化演習Ⅰ A	2	1	
			必修	CIB202	東洋思想文化演習Ⅰ B	2	1	
			必修	CIB301	東洋思想文化演習Ⅱ A	3	1	
			必修	CIB302	東洋思想文化演習Ⅱ B	3	1	
			必修	THE437	卒論指導 A	4	1	
			必修	THE405	卒論指導 B	4	1	
			必修	THE403	卒業論文	4	6	
		コース別必修 20単位	必修	CIB108	インド思想史 A	1～4	2	
			必修	CIB109	インド思想史 B	1～4	2	
			必修	CIB110	インド文化概論 A	1～4	2	
			必修	CIB111	インド文化概論 B	1～4	2	
			必修	CIB112	仏教思想概論 A	1～4	2	
			必修	CIB113	仏教思想概論 B	1～4	2	
			必修	ASA103	インド・仏教の美術 A	1～4	2	
			必修	ASA104	インド・仏教の美術 B	1～4	2	
			必修	CIB203	インド仏教史 A	2～4	2	
			必修	CIB204	インド仏教史 B	2～4	2	
	選択必修科目Ⅰ 12単位以上	語学科目 4単位以上	選択	LIN107	サンスクリット語Ⅰ A	1～4	1	いずれか
			選択	LIN108	サンスクリット語Ⅰ B	1～4	1	
			選択	LIN109	ヒンディー語 A	1～4	1	
			選択	LIN110	ヒンディー語 B	1～4	1	
			選択	LIN207	パーリ語 A	2～4	1	
			選択	LIN208	パーリ語 B	2～4	1	
		講義科目 8単位以上	選択	LIN205	サンスクリット語Ⅱ A	2～4	1	
			選択	LIN206	サンスクリット語Ⅱ B	2～4	1	
			選択	CIB207	インド思想特講Ⅰ A	2～4	2	
			選択	CIB208	インド思想特講Ⅰ B	2～4	2	
			選択	CIB209	インド思想特講Ⅱ A	2～4	2	
			選択	CIB210	インド思想特講Ⅱ B	2～4	2	
	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	語学科目	選択	CIB118	インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択	CIB119	現代のインド	1～4	2	
			選択	CHI105	基礎中国語 A	1	1	
			選択	CHI106	基礎中国語 B	1	1	
			選択	CHI305	中国語学演習 A	3～4	1	
			選択	CHI306	中国語学演習 B	3～4	1	
			選択	LIN209	チベット語 A	2～4	1	
			選択	LIN210	チベット語 B	2～4	1	
			選択	CHI237	中級中国語 A	2～4	1	
			選択	CHI238	中級中国語 B	2～4	1	
選択			CHI239	上級中国語 A	2～4	1		
選択			CHI240	上級中国語 B	2～4	1		
講義科目		選択	CHL101	仏教漢文 A	1～4	1	いずれか	
		選択	CHL102	仏教漢文 B	1～4	1		
		選択	KOR101	韓国語 A	1～4	1		
		選択	KOR102	韓国語 B	1～4	1		
		選択	RES107	宗教学概論 A	1～4	2		
		選択	RES108	宗教学概論 B	1～4	2		
		選択	CIB115	東洋の身体論	1～4	2		
		選択	CIB116	近代化と東洋	1～4	2		
		選択	ARS129	韓国の文化と社会	1～4	2		
		選択	CHL209	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2		
		選択	CHL210	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2		
		選択	LIG109	比較文学Ⅰ	1～4	2		
		選択	LIG110	比較文学Ⅱ	1～4	2		
		選択	JLT111	日本文学文化概説 A	1～4	2		
		選択	JLT112	日本文学文化概説 B	1～4	2		

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目
 2 部開講・・・第 2 部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第 1 部・第 2 部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 74単位以上	選択 必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択 CIB117	イスラーム概論	1～4	2	
			選択 SOC163	現代社会に生きる仏教 A	1～4	2	
			選択 SOC164	現代社会に生きる仏教 B	1～4	2	
			選択 RES109	キリスト教概論	1～4	2	
			選択 ASA105	中国の美術 A	1～4	2	相互聴講
			選択 ASA106	中国の美術 B	1～4	2	
			選択 FAH107	日本美術の世界	1～4	2	
			選択 CIB122	中国学概論 A	1	2	
			選択 CIB123	中国学概論 B	1	2	
			選択 CIB124	中国史概説 A	1～2	2	相互聴講
			選択 CIB125	中国史概説 B	1～2	2	
			選択 CIB128	中国学研究法 A	1	2	
			選択 CIB129	中国学研究法 B	1	2	
			選択 CHL107	漢文訓読法	1	2	
			選択 CIB303	中国哲学史 A	3～4	2	
			選択 CIB304	中国哲学史 B	3～4	2	
			選択 CHL301	中国文学史 A	3～4	2	
			選択 CHL302	中国文学史 B	3～4	2	
			選択 CHL303	中国現代文学史 A	3～4	2	いずれか
			選択 CHL304	中国現代文学史 B	3～4	2	
			選択 JLT323	日本漢学 A	3～4	2	
			選択 JLT324	日本漢学 B	3～4	2	相互聴講
			選択 CIB305	中国哲学特講 A	3～4	2	
			選択 CIB306	中国哲学特講 B	3～4	2	
			選択 CHL305	中国文学特講 A	3～4	2	
			選択 CHL306	中国文学特講 B	3～4	2	
			選択 RES205	宗教社会学 A	2～4	2	
			選択 RES206	宗教社会学 B	2～4	2	
			選択 HSG201	東西交渉史 A	2～4	2	
			選択 HSG202	東西交渉史 B	2～4	2	
			選択 CIB215	中国仏教史 A	2～4	2	相互聴講
			選択 CIB216	中国仏教史 B	2～4	2	
			選択 CIB217	韓国仏教史	2～4	2	いずれか
			選択 CIB218	チベット仏教史	2～4	2	相互聴講
			選択 CUA210	日本民俗学の諸問題	2～4	2	いずれか
			選択 HIT207	日本思想史概説 A	2～4	2	
			選択 HIT208	日本思想史概説 B	2～4	2	
			選択 CIB219	日本仏教史 A	2～4	2	相互聴講
			選択 CIB220	日本仏教史 B	2～4	2	
			選択 CIB221	仏教思想特講Ⅰ A	2～4	2	いずれか
			選択 CIB222	仏教思想特講Ⅰ B	2～4	2	
			選択 CIB223	仏教思想特講Ⅱ A	2～4	2	
			選択 CIB224	仏教思想特講Ⅱ B	2～4	2	
			選択 CIB225	仏教思想特講Ⅲ A	2～4	2	
			選択 CIB226	仏教思想特講Ⅲ B	2～4	2	
			選択 ASA203	東洋芸術文化特講Ⅰ A	2～4	2	
			選択 ASA204	東洋芸術文化特講Ⅰ B	2～4	2	
			選択 ASA205	東洋芸術文化特講Ⅱ A	2～4	2	
	選択 ASA206	東洋芸術文化特講Ⅱ B	2～4	2			
	選択 CIB229	中国哲学講読 A	2～4	1	相互聴講		
選択 CIB230	中国哲学講読 B	2～4	1				
選択 CHL203	中国文学講読 A	2～4	1				
選択 CHL204	中国文学講読 B	2～4	1				
			選択 PHE305	哲学概論 A	3～4	2	
			選択 PHE306	哲学概論 B	3～4	2	
	実技講義科目	選択 CIB130	写経	1～4	2	2 部開講	
		選択 CIB131	ヨーガ	1～4	2		
		選択 CIB132	坐禅	1～4	2		
		選択 CIB133	仏教の芸能	1～4	2		
		選択 ASA107	インド舞踊	1～4	2		
	研 海 修 外	選択 CIB231	海外文化研修Ⅰ	1～4	2		
		選択 CIB232	海外文化研修Ⅱ	1～4	2		

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考			
東洋思想文化学科 中国語・中国哲学文学コース										
専門科目										
専門科目 74単位以上	必修科目 46単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM107	レポート・論文制作の技法	1	2			
			必修	CIB201	東洋思想文化演習Ⅰ A	2	1			
			必修	CIB202	東洋思想文化演習Ⅰ B	2	1			
			必修	CIB301	東洋思想文化演習Ⅱ A	3	1			
			必修	CIB302	東洋思想文化演習Ⅱ B	3	1			
			必修	THE404	卒論指導 A	4	1			
			必修	THE405	卒論指導 B	4	1			
		必修	THE437	卒業論文	4	6				
		コース別必修 32単位	必修	CHI105	基礎中国語 A	1	1			
			必修	CHI106	基礎中国語 B	1	1			
			必修	CIB229	中国哲学講読 A	2～4	1	相互聴講		
			必修	CIB230	中国哲学講読 B	2～4	1			
			必修	CHL203	中国文学講読 A	2～4	1			
			必修	CHL204	中国文学講読 B	2～4	1			
			必修	CHL107	漢文訓読法	1	2			
			必修	CIB128	中国学研究法 A	1	2			
			必修	CIB129	中国学研究法 B	1	2			
			必修	CIB122	中国学概論 A	1	2			
			必修	CIB123	中国学概論 B	1	2			
			必修	CIB303	中国哲学史 A	3～4	2			
			必修	CIB304	中国哲学史 B	3～4	2			
			必修	CHL301	中国文学史 A	3～4	2			
			必修	CHL302	中国文学史 B	3～4	2			
			必修	CIB305	中国哲学特講 A	3～4	2	相互聴講		
			必修	CIB306	中国哲学特講 B	3～4	2			
			必修	CHL305	中国文学特講 A	3～4	2			
			必修	CHL306	中国文学特講 B	3～4	2			
	選択必修科目Ⅰ 12単位以上	4単位以上 語学科目	選択	CHI237	中級中国語 A	2～4	1			
			選択	CHI238	中級中国語 B	2～4	1			
			選択	CHI239	上級中国語 A	2～4	1			
			選択	CHI240	上級中国語 B	2～4	1			
			選択	CHI305	中国語学演習 A	3～4	1	いずれか		
			選択	CHI306	中国語学演習 B	3～4	1			
		8単位以上 講義科目	選択	CIB124	中国史概説 A	1～2	2	相互聴講		
			選択	CIB125	中国史概説 B	1～2	2			
			選択	CHL303	中国現代文学史 A	3～4	2	いずれか		
			選択	CHL304	中国現代文学史 B	3～4	2			
			選択	JLT323	日本漢学 A	3～4	2	相互聴講		
			選択	JLT324	日本漢学 B	3～4	2			
			選択必修科目Ⅱ 6単位以上	語学科目	選択	LIN107	サンスクリット語Ⅰ A	1～4	1	
					選択	LIN108	サンスクリット語Ⅰ B	1～4	1	
		選択			LIN109	ヒンディー語 A	1～4	1		
		選択			LIN110	ヒンディー語 B	1～4	1		
		選択			CHL101	仏教漢文 A	1～4	1		
		選択			CHL102	仏教漢文 B	1～4	1		
		選択			KOR101	韓国語 A	1～4	1		
選択		KOR102			韓国語 B	1～4	1			
選択		LIN205			サンスクリット語Ⅱ A	2～4	1			
選択		LIN206			サンスクリット語Ⅱ B	2～4	1			
選択		LIN207			パーリ語 A	2～4	1			
選択		LIN208			パーリ語 B	2～4	1			
選択		LIN209			チベット語 A	2～4	1			
選択		LIN210			チベット語 B	2～4	1			
講義科目		選択		RES107	宗教学概論 A	1～4	2			
		選択		RES108	宗教学概論 B	1～4	2			
		選択		CIB115	東洋の身体論	1～4	2	いずれか		
	選択	CIB116		近代化と東洋	1～4	2				
	選択	ARS129		韓国の文化と社会	1～4	2				
	選択	CHL209		世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2				
	選択	CHL210	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2					

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 6単位以上	講義科目	選択 LIG109	比較文学Ⅰ	1～4	2	
			選択 LIG110	比較文学Ⅱ	1～4	2	
			選択 JLT111	日本文学文化概説A	1～4	2	
			選択 JLT112	日本文学文化概説B	1～4	2	
			選択 CIB117	イスラーム概論	1～4	2	
			選択 RES109	キリスト教概論	1～4	2	
			選択 SOC163	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択 SOC164	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択 CIB110	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講
			選択 CIB111	インド文化概論B	1～4	2	
			選択 CIB108	インド思想史A	1～4	2	
			選択 CIB109	インド思想史B	1～4	2	
			選択 CIB112	仏教思想概論A	1～4	2	
			選択 CIB113	仏教思想概論B	1～4	2	
			選択 ASA103	インド・仏教の美術A	1～4	2	
			選択 ASA104	インド・仏教の美術B	1～4	2	
			選択 ASA105	中国の美術A	1～4	2	
			選択 ASA106	中国の美術B	1～4	2	
			選択 FAH107	日本美術の世界	1～4	2	
			選択 CIB118	インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択 CIB119	現代のインド	1～4	2	
			選択 RES205	宗教社会学A	2～4	2	2部開講
			選択 RES206	宗教社会学B	2～4	2	
			選択 HSG201	東西交渉史A	2～4	2	
			選択 HSG202	東西交渉史B	2～4	2	
			選択 CIB203	インド仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択 CIB204	インド仏教史B	2～4	2	
			選択 CIB218	チベット仏教史	2～4	2	
			選択 CIB217	韓国仏教史	2～4	2	いずれか
			選択 CUA210	日本民俗学の諸問題	2～4	2	
			選択 CIB215	中国仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択 CIB216	中国仏教史B	2～4	2	
			選択 HIT207	日本思想史概説A	2～4	2	
			選択 HIT208	日本思想史概説B	2～4	2	
			選択 CIB219	日本仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択 CIB220	日本仏教史B	2～4	2	
			選択 CIB207	インド思想特講ⅠA	2～4	2	いずれか
			選択 CIB208	インド思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択 CIB209	インド思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択 CIB210	インド思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択 CIB221	仏教思想特講ⅠA	2～4	2	
			選択 CIB222	仏教思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択 CIB223	仏教思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択 CIB224	仏教思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択 CIB225	仏教思想特講ⅢA	2～4	2	
			選択 CIB226	仏教思想特講ⅢB	2～4	2	
			選択 ASA203	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	
			選択 ASA204	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択 ASA205	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
			選択 ASA206	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	
			選択 PHE305	哲学概論A	3～4	2	
			選択 PHE306	哲学概論B	3～4	2	
		実技講義科目	選択 CIB130	写経	1～4	2	2部開講
			選択 CIB131	ヨーガ	1～4	2	
			選択 CIB132	坐禅	1～4	2	
			選択 CIB133	仏教の芸能	1～4	2	
			選択 ASA107	インド舞踊	1～4	2	
		研海外	選択 CIB231	海外文化研修Ⅰ	1～4	2	
			選択 CIB232	海外文化研修Ⅱ	1～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考				
東洋思想文化学科 仏教思想コース											
専門科目											
専門科目 74単位以上	必修科目 36単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM107	レポート・論文制作の技法	1	2	相互聴講			
			必修	CIB201	東洋思想文化演習Ⅰ A	2	1				
			必修	CIB202	東洋思想文化演習Ⅰ B	2	1				
			必修	CIB301	東洋思想文化演習Ⅱ A	3	1				
			必修	CIB302	東洋思想文化演習Ⅱ B	3	1				
			必修	THE404	卒論指導 A	4	1				
			必修	THE405	卒論指導 B	4	1				
			必修	THE437	卒業論文	4	6				
		コース別必修 22単位	必修	CIB108	インド思想史 A	1～4	2				
			必修	CIB109	インド思想史 B	1～4	2				
			必修	CIB112	仏教思想概論 A	1～4	2				
			必修	CIB113	仏教思想概論 B	1～4	2				
			必修	CIB203	インド仏教史 A	2～4	2				
			必修	CIB204	インド仏教史 B	2～4	2				
			必修	CIB215	中国仏教史 A	2～4	2				
			必修	CIB216	中国仏教史 B	2～4	2				
			必修	CIB219	日本仏教史 A	2～4	2				
			必修	CIB220	日本仏教史 B	2～4	2				
			必修	CIB218	チベット仏教史	2～4	2				
			選択必修科目Ⅰ 12単位以上	語学科目 4単位以上	選択	LIN107	サンスクリット語Ⅰ A		1～4	1	いずれか
					選択	LIN108	サンスクリット語Ⅰ B		1～4	1	
					選択	CHL101	仏教漢文 A		1～4	1	
	選択	CHL102			仏教漢文 B	1～4	1				
	選択	LIN205			サンスクリット語Ⅱ A	2～4	1				
	選択	LIN206			サンスクリット語Ⅱ B	2～4	1				
	選択	LIN207			パーリ語 A	2～4	1				
	選択	LIN208			パーリ語 B	2～4	1				
	選択	LIN209			チベット語 A	2～4	1				
	選択	LIN210			チベット語 B	2～4	1				
	講義科目 8単位以上	選択		CIB221	仏教思想特講Ⅰ A	2～4	2				
		選択		CIB222	仏教思想特講Ⅰ B	2～4	2				
		選択		CIB223	仏教思想特講Ⅱ A	2～4	2				
		選択		CIB224	仏教思想特講Ⅱ B	2～4	2				
		選択		CIB225	仏教思想特講Ⅲ A	2～4	2				
		選択		CIB226	仏教思想特講Ⅲ B	2～4	2				
		選択		HSG201	東西交渉史 A	2～4	2				
		選択		HSG202	東西交渉史 B	2～4	2				
	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	語学科目	選択	CHI105	基礎中国語 A	1	1	いずれか			
			選択	CHI106	基礎中国語 B	1	1				
			選択	CHI237	中級中国語 A	2～4	1				
選択			CHI238	中級中国語 B	2～4	1					
選択			CHI239	上級中国語 A	2～4	1					
選択			CHI240	上級中国語 B	2～4	1					
選択			LIN109	ヒンディー語 A	1～4	1					
選択			LIN110	ヒンディー語 B	1～4	1					
選択			KOR101	韓国語 A	1～4	1					
選択			KOR102	韓国語 B	1～4	1					
講義科目		選択	CHI305	中国語学演習 A	3～4	1	いずれか				
		選択	CHI306	中国語学演習 B	3～4	1					
		選択	RES107	宗教学概論 A	1～4	2	いずれか				
		選択	RES108	宗教学概論 B	1～4	2					
		選択	CIB115	東洋の身体論	1～4	2					
		選択	CIB116	近代化と東洋	1～4	2					
		選択	CHL209	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2					
		選択	CHL210	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2					
		選択	LIG109	比較文学Ⅰ	1～4	2					
		選択	LIG110	比較文学Ⅱ	1～4	2					
選択	JLT111	日本文学文化概説 A	1～4	2							
選択	JLT112	日本文学文化概説 B	1～4	2							

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択 ARS129	韓国の文化と社会	1～4	2	いずれか
			選択 CIB117	イスラーム概論	1～4	2	
			選択 CIB118	インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択 RES109	キリスト教概論	1～4	2	
			選択 CIB119	現代のインド	1～4	2	いずれか
			選択 SOC163	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択 SOC164	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択 CIB110	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講
			選択 CIB111	インド文化概論B	1～4	2	
			選択 ASA103	インド・仏教の美術A	1～4	2	
			選択 ASA104	インド・仏教の美術B	1～4	2	
			選択 ASA105	中国の美術A	1～4	2	
			選択 ASA106	中国の美術B	1～4	2	
			選択 FAH107	日本美術の世界	1～4	2	
			選択 RES205	宗教社会学A	2～4	2	2部開講
			選択 RES206	宗教社会学B	2～4	2	
			選択 CIB217	韓国仏教史	2～4	2	いずれか
			選択 CUA210	日本民俗学の諸問題	2～4	2	
			選択 HIT207	日本思想史概説A	2～4	2	
			選択 HIT208	日本思想史概説B	2～4	2	
			選択 CIB207	インド思想特講ⅠA	2～4	2	いずれか
			選択 CIB208	インド思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択 CIB209	インド思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択 CIB210	インド思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択 ASA203	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	
			選択 ASA204	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択 ASA205	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
			選択 ASA206	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	
			選択 CIB229	中国哲学講読A	2～4	1	相互聴講
			選択 CIB230	中国哲学講読B	2～4	1	
			選択 CHL203	中国文学講読A	2～4	1	
			選択 CHL204	中国文学講読B	2～4	1	
			選択 CIB122	中国学概論A	1	2	
			選択 CIB123	中国学概論B	1	2	
			選択 CIB124	中国史概説A	1～2	2	相互聴講
			選択 CIB125	中国史概説B	1～2	2	
			選択 CIB128	中国学研究法A	1	2	
			選択 CIB129	中国学研究法B	1	2	
			選択 CHL107	漢文訓読法	1	2	
			選択 CIB303	中国哲学史A	3～4	2	
			選択 CIB304	中国哲学史B	3～4	2	
			選択 CHL301	中国文学史A	3～4	2	
			選択 CHL302	中国文学史B	3～4	2	
			選択 CHL303	中国現代文学史A	3～4	2	いずれか
			選択 CHL304	中国現代文学史B	3～4	2	
			選択 JLT323	日本漢学A	3～4	2	相互聴講
			選択 JLT324	日本漢学B	3～4	2	
			選択 CIB305	中国哲学特講A	3～4	2	
			選択 CIB306	中国哲学特講B	3～4	2	
			選択 CHL305	中国文学特講A	3～4	2	
			選択 CHL306	中国文学特講B	3～4	2	
			選択 PHE305	哲学概論A	3～4	2	
			選択 PHE306	哲学概論B	3～4	2	
		実技講義科目	選択 CIB130	写経	1～4	2	2部開講
			選択 CIB131	ヨーガ	1～4	2	
			選択 CIB132	坐禅	1～4	2	
			選択 CIB133	仏教の芸能	1～4	2	
			選択 ASA107	インド舞踊	1～4	2	
		研海 修外	選択 CIB231	海外文化研修Ⅰ	1～4	2	
			選択 CIB232	海外文化研修Ⅱ	1～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
教職科目								
教職科目		選択	HUG203	地誌学A	1～4	2	卒業単位に含めない科目	
		選択	HUG204	地誌学B	1～4	2		
		選択	GGR103	自然地理学A	1～4	2		
		選択	GGR104	自然地理学B	1～4	2		
		選択	HUG201	人文地理学A	1～4	2		
		選択	HUG202	人文地理学B	1～4	2		
		選択	ILA201	国際法ⅠA	2	2		
		選択	ILA202	国際法ⅠB	2	2		
		選択	POL201	政治学原論A	2	2		
		選択	POL202	政治学原論B	2	2		
		選択	ESS308	社会・地歴指導法Ⅰ	3	2		
		選択	ESS309	社会・地歴指導法Ⅱ	3	2		
		選択	ESS310	社会・公民指導法Ⅰ	3	2		
		選択	ESS311	社会・公民指導法Ⅱ	3	2		
	選択	ESS401	教職実践演習(中・高)	4	2			
東洋思想文化学科 東洋芸術文化コース								
専門科目								
専門科目 74単位以上	必修科目 30単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM107	レポート・論文制作の技法	1	2	相互聴講
			必修	CIB201	東洋思想文化演習ⅠA	2	1	
			必修	CIB202	東洋思想文化演習ⅠB	2	1	
			必修	CIB301	東洋思想文化演習ⅡA	3	1	
			必修	CIB302	東洋思想文化演習ⅡB	3	1	
			必修	THE404	卒論指導A	4	1	
			必修	THE405	卒論指導B	4	1	
			必修	THE437	卒業論文	4	6	
		コース別必修 16単位	必修	ASA103	インド・仏教の美術A	1～4	2	
			必修	ASA104	インド・仏教の美術B	1～4	2	
			必修	ASA105	中国の美術A	1～4	2	
			必修	ASA106	中国の美術B	1～4	2	
			必修	CIB108	インド思想史A	1～4	2	
			必修	CIB109	インド思想史B	1～4	2	
			必修	CIB112	仏教思想概論A	1～4	2	
			必修	CIB113	仏教思想概論B	1～4	2	
	選択必修科目Ⅰ 12単位以上	語学科目 4単位以上	選択	CHI105	基礎中国語A	1	1	いずれか
			選択	CHI106	基礎中国語B	1	1	
			選択	CHI305	中国語学演習A	3～4	1	
			選択	CHI306	中国語学演習B	3～4	1	
			選択	LIN107	サンスクリット語ⅠA	1～4	1	相互聴講
			選択	LIN108	サンスクリット語ⅠB	1～4	1	
			選択	LIN109	ヒンディー語A	1～4	1	
			選択	LIN110	ヒンディー語B	1～4	1	
			選択	CHL101	仏教漢文A	1～4	1	
			選択	CHL102	仏教漢文B	1～4	1	
			選択	KOR101	韓国語A	1～4	1	
			選択	KOR102	韓国語B	1～4	1	
			選択	LIN205	サンスクリット語ⅡA	2～4	1	
			選択	LIN206	サンスクリット語ⅡB	2～4	1	
			選択	LIN207	パーリ語A	2～4	1	
			選択	LIN208	パーリ語B	2～4	1	
			選択	LIN209	チベット語A	2～4	1	
			選択	LIN210	チベット語B	2～4	1	
			選択	CHI237	中級中国語A	2～4	1	
			選択	CHI238	中級中国語B	2～4	1	
		選択	CHI239	上級中国語A	2～4	1		
		選択	CHI240	上級中国語B	2～4	1		
		講義科目 8単位以上	選択	CIB110	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講
			選択	CIB111	インド文化概論B	1～4	2	
			選択	ASA203	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	いずれか
			選択	ASA204	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択	ASA205	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
			選択	ASA206	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考
専門科目 74単位以上	12科目以上 選択必修	8単位以上 講義科目	選択	CIB218 チベット仏教史	2～4	2	相互聴講
			選択	CIB303 中国哲学史A	3～4	2	
			選択	CIB304 中国哲学史B	3～4	2	
			選択	RES107 宗教学概論A	1～4	2	
			選択	RES108 宗教学概論B	1～4	2	
	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	CIB115 東洋の身体論	1～4	2	いずれか
			選択	CIB116 近代化と東洋	1～4	2	
			選択	CHL209 世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2	
			選択	CHL210 世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2	
			選択	LIG109 比較文学Ⅰ	1～4	2	
			選択	LIG110 比較文学Ⅱ	1～4	2	
			選択	JLT111 日本文学文化概説A	1～4	2	
			選択	JLT112 日本文学文化概説B	1～4	2	
			選択	ARS129 韓国の文化と社会	1～4	2	いずれか
			選択	CIB117 イスラーム概論	1～4	2	
			選択	CIB118 インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択	CIB119 現代のインド	1～4	2	
			選択	SOC163 現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択	SOC164 現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択	RES109 キリスト教概論	1～4	2	
			選択	FAH107 日本美術の世界	1～4	2	
			選択	RES205 宗教社会学A	2～4	2	2部開講
			選択	RES206 宗教社会学B	2～4	2	
			選択	HSG201 東西交渉史A	2～4	2	
			選択	HSG202 東西交渉史B	2～4	2	
			選択	CIB203 インド仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択	CIB204 インド仏教史B	2～4	2	
			選択	CIB215 中国仏教史A	2～4	2	
			選択	CIB216 中国仏教史B	2～4	2	
			選択	CIB217 韓国仏教史	2～4	2	いずれか
			選択	CUA210 日本民俗学の諸問題	2～4	2	
			選択	HIT207 日本思想史概説A	2～4	2	
			選択	HIT208 日本思想史概説B	2～4	2	
			選択	CIB219 日本仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択	CIB220 日本仏教史B	2～4	2	
			選択	CIB207 インド思想特講ⅠA	2～4	2	
			選択	CIB208 インド思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB209 インド思想特講ⅡA	2～4	2	いずれか
			選択	CIB210 インド思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択	CIB221 仏教思想特講ⅠA	2～4	2	
			選択	CIB222 仏教思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB223 仏教思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択	CIB224 仏教思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択	CIB225 仏教思想特講ⅢA	2～4	2	
			選択	CIB226 仏教思想特講ⅢB	2～4	2	
			選択	CIB229 中国哲学講読A	2～4	1	
			選択	CIB230 中国哲学講読B	2～4	1	相互聴講
			選択	CHL203 中国文学講読A	2～4	1	
			選択	CHL204 中国文学講読B	2～4	1	
			選択	CIB122 中国学概論A	1	2	
			選択	CIB123 中国学概論B	1	2	相互聴講
			選択	CIB124 中国史概説A	1～2	2	
			選択	CIB125 中国史概説B	1～2	2	
			選択	CIB128 中国学研究法A	1	2	
			選択	CIB129 中国学研究法B	1	2	
			選択	CHL107 漢文訓読法	1	2	
			選択	CHL301 中国文学史A	3～4	2	
			選択	CHL302 中国文学史B	3～4	2	
			選択	CHL303 中国現代文学史A	3～4	2	いずれか
			選択	CHL304 中国現代文学史B	3～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	JLT323 日本漢学A	3～4	2	相互聴講
			選択	JLT324 日本漢学B	3～4	2	
			選択	CIB305 中国哲学特講A	3～4	2	
			選択	CIB306 中国哲学特講B	3～4	2	
			選択	CHL305 中国文学特講A	3～4	2	
			選択	CHL306 中国文学特講B	3～4	2	
			選択	PHE305 哲学概論 A	3～4	2	
			選択	PHE306 哲学概論 B	3～4	2	
		実技講義科目	選択	CIB130 写経	1～4	2	2部開講
			選択	CIB131 ヨーガ	1～4	2	
			選択	CIB132 坐禅	1～4	2	
			選択	CIB133 仏教の芸能	1～4	2	
			選択	ASA107 インド舞踊	1～4	2	
		研 海 修 外	選択	CIB231 海外文化研修Ⅰ	1～4	2	
			選択	CIB232 海外文化研修Ⅱ	1～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

インド思想コース

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 各コース共通 必修14単位	レポート・論文制作の技法 (2)	東洋思想文化演習 I A (1) 東洋思想文化演習 I B (1)	東洋思想文化演習 II A (1) 東洋思想文化演習 II B (1)	交換指導 A (1) 交換指導 B (1) 卒業論文 (6)
選択科目 コース別 必修20単位	インド思想史 A (2) インド思想史 B (2) インド仏教史 A (2) インド仏教史 B (2)	インド文化概論 A (2) インド文化概論 B (2) インド仏教史 A (2) インド仏教史 B (2)	仏教思想概論 A (2) 仏教思想概論 B (2) インド・仏教の美術 A (2) インド・仏教の美術 B (2)	
選択必修科目 12単位以上	サンスクリット語 I A (1) ヒンディー語 A (1) サンスクリット語 I B (1) ヒンディー語 B (1)	サンスクリット語 II A (1) パーリ語 A (1) サンスクリット語 II B (1) パーリ語 B (1)		
講義科目 8単位以上	インド現代思想 (2)	現代のインド (2) インド思想特講 I A (2) インド思想特講 I B (2)	インド思想特講 II A (2) インド思想特講 II B (2)	
選択必修科目 12単位以上	語学科目	基礎中国語 A (1) 基礎中国語 B (1)	中国語学演習 A (1) 中国語学演習 B (1)	中国語学 A (1) 中国語学 B (1) 上級中国語 A (1) 上級中国語 B (1)
		仏教漢文 A (1) 仏教漢文 B (1)	韓国語 A (1) 韓国語 B (1)	
	語学科目	宗教学概論 A (2) 宗教学概論 B (2) 日本文学文化概論 A (2) 日本文学文化概論 B (2)	現代社会に生きる仏教 A (2) 近代化と東洋 (2) 世界の文学文化と日本Ⅰ (2) 世界の文学文化と日本Ⅱ (2)	イスラーム概論 (2) キリスト教概論 (2) 中国の美術 A (2) 中国の美術 B (2)
		中国史概論 A (2) 中国史概論 B (2)	中国哲学史 A (2) 中国哲学史 B (2)	中国文学史 A (2) 中国文学史 B (2)
		中国文学概論 A (2) 中国文学概論 B (2)	中国現代文学史 A (2) 中国現代文学史 B (2)	日本漢学 A (2) 日本漢学 B (2)
		中国文学特講 A (2) 中国文学特講 B (2)	中国文学特講 A (2) 中国文学特講 B (2)	中国哲学特講 A (2) 中国哲学特講 B (2)
	講義科目	中国文学概論 A (2) 中国文学概論 B (2)	東西交渉史 A (2) 東西交渉史 B (2)	中国仏教史 A (2) 中国仏教史 B (2)
		中国文学特講 A (2) 中国文学特講 B (2)	宗教社会学 A (2) 宗教社会学 B (2)	日本思想史概論 A (2) 日本思想史概論 B (2)
		中国文学特講 A (2) 中国文学特講 B (2)	仏教思想特講 I A (2) 仏教思想特講 I B (2)	仏教思想特講 II A (2) 仏教思想特講 II B (2)
		中国文学特講 A (2) 中国文学特講 B (2)	東洋芸術文化特講 I A (2) 東洋芸術文化特講 I B (2)	東洋芸術文化特講 II A (2) 東洋芸術文化特講 II B (2)
実技選択科目 海外研修 海外文化研修Ⅰ (2) 海外文化研修Ⅱ (2)	写経 (2) インド舞踊 (2)	ヨーガ (2)	坐禅 (2)	仏教の芸能 (2)
	海外研修 海外文化研修Ⅰ (2) 海外文化研修Ⅱ (2)			
	他学部他学科開放科目 (専門開放科目)	科目は別表に記載		

2020年度第1部東洋思想文化学科 教育課程表

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
文学部教育	東洋大学・井上田子研究 (2) 西洋哲学史基礎概論 A (2) 倫理学概論 A (2) 倫理学概論 B (2) 倫理学特講 I A (2) 倫理学特講 I B (2) 倫理学特講 II A (2) 倫理学特講 II B (2) 倫理学特講 III A (2) 倫理学特講 III B (2) 東洋中概論 A (2) 東洋中概論 B (2) 東洋中概論 C (2) 東洋中概論 D (2)	仏教文化概論 I A (2) 仏教文化概論 I B (2) 仏教文化概論 II A (2) 仏教文化概論 II B (2) 仏教文化概論 III A (2) 仏教文化概論 III B (2) 仏教文化概論 III C (2) 仏教文化概論 III D (2) 仏教文化概論 III E (2) 仏教文化概論 III F (2) 仏教文化概論 III G (2) 仏教文化概論 III H (2) 仏教文化概論 III I (2) 仏教文化概論 III J (2) 仏教文化概論 III K (2) 仏教文化概論 III L (2) 仏教文化概論 III M (2) 仏教文化概論 III N (2) 仏教文化概論 III O (2) 仏教文化概論 III P (2) 仏教文化概論 III Q (2) 仏教文化概論 III R (2) 仏教文化概論 III S (2) 仏教文化概論 III T (2) 仏教文化概論 III U (2) 仏教文化概論 III V (2) 仏教文化概論 III W (2) 仏教文化概論 III X (2) 仏教文化概論 III Y (2) 仏教文化概論 III Z (2)	米文学特講 I A (2) 米文学特講 I B (2) 米文学特講 II A (2) 米文学特講 II B (2) 米文学特講 III A (2) 米文学特講 III B (2) 米文学特講 III C (2) 米文学特講 III D (2) 米文学特講 III E (2) 米文学特講 III F (2) 米文学特講 III G (2) 米文学特講 III H (2) 米文学特講 III I (2) 米文学特講 III J (2) 米文学特講 III K (2) 米文学特講 III L (2) 米文学特講 III M (2) 米文学特講 III N (2) 米文学特講 III O (2) 米文学特講 III P (2) 米文学特講 III Q (2) 米文学特講 III R (2) 米文学特講 III S (2) 米文学特講 III T (2) 米文学特講 III U (2) 米文学特講 III V (2) 米文学特講 III W (2) 米文学特講 III X (2) 米文学特講 III Y (2) 米文学特講 III Z (2)	交換指導 A (1) 交換指導 B (1) 卒業論文 (6)
文学部基礎専門科目	現代倫理学 A (2) 現代倫理学 B (2) 日本の児童文学 (2) 現代倫理学 C (2) 現代倫理学 D (2) 現代倫理学 E (2) 現代倫理学 F (2) 現代倫理学 G (2) 現代倫理学 H (2) 現代倫理学 I (2) 現代倫理学 J (2) 現代倫理学 K (2) 現代倫理学 L (2) 現代倫理学 M (2) 現代倫理学 N (2) 現代倫理学 O (2) 現代倫理学 P (2) 現代倫理学 Q (2) 現代倫理学 R (2) 現代倫理学 S (2) 現代倫理学 T (2) 現代倫理学 U (2) 現代倫理学 V (2) 現代倫理学 W (2) 現代倫理学 X (2) 現代倫理学 Y (2) 現代倫理学 Z (2)	仏教文化概論 I A (2) 仏教文化概論 I B (2) 仏教文化概論 II A (2) 仏教文化概論 II B (2) 仏教文化概論 III A (2) 仏教文化概論 III B (2) 仏教文化概論 III C (2) 仏教文化概論 III D (2) 仏教文化概論 III E (2) 仏教文化概論 III F (2) 仏教文化概論 III G (2) 仏教文化概論 III H (2) 仏教文化概論 III I (2) 仏教文化概論 III J (2) 仏教文化概論 III K (2) 仏教文化概論 III L (2) 仏教文化概論 III M (2) 仏教文化概論 III N (2) 仏教文化概論 III O (2) 仏教文化概論 III P (2) 仏教文化概論 III Q (2) 仏教文化概論 III R (2) 仏教文化概論 III S (2) 仏教文化概論 III T (2) 仏教文化概論 III U (2) 仏教文化概論 III V (2) 仏教文化概論 III W (2) 仏教文化概論 III X (2) 仏教文化概論 III Y (2) 仏教文化概論 III Z (2)	仏教文化概論 I A (2) 仏教文化概論 I B (2) 仏教文化概論 II A (2) 仏教文化概論 II B (2) 仏教文化概論 III A (2) 仏教文化概論 III B (2) 仏教文化概論 III C (2) 仏教文化概論 III D (2) 仏教文化概論 III E (2) 仏教文化概論 III F (2) 仏教文化概論 III G (2) 仏教文化概論 III H (2) 仏教文化概論 III I (2) 仏教文化概論 III J (2) 仏教文化概論 III K (2) 仏教文化概論 III L (2) 仏教文化概論 III M (2) 仏教文化概論 III N (2) 仏教文化概論 III O (2) 仏教文化概論 III P (2) 仏教文化概論 III Q (2) 仏教文化概論 III R (2) 仏教文化概論 III S (2) 仏教文化概論 III T (2) 仏教文化概論 III U (2) 仏教文化概論 III V (2) 仏教文化概論 III W (2) 仏教文化概論 III X (2) 仏教文化概論 III Y (2) 仏教文化概論 III Z (2)	比較思想 A (2) 比較思想 B (2)
キャリア教育	キャリア支援Ⅰ (2) キャリア支援Ⅱ (2)	キャリア支援Ⅲ (2) キャリア支援Ⅳ (2)	キャリア支援Ⅴ (2) キャリア支援Ⅵ (2)	キャリア支援Ⅶ (2) キャリア支援Ⅷ (2)

中国語・中国哲学文学コース

区分		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修 各コース共通 必修14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅡA(1) 空論指導A(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1) 空論指導B(1) 卒業論文(6)			
		基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)	中国哲学講義A(1) 中国哲学講義B(1)	中国哲学講義A(1) 中国哲学講義B(1)	中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2)
		中国文学概論A(2) 中国文学概論B(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2)	中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2)
		中国学研究法A(2) 中国学研究法B(2)	漢文訓詁法(2)		
選択必修 各コース別 必修22単位	語学科目 4単位以上	中級中国語A(1) 中級中国語B(1)	上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)
		中国史概説A(2) 中国史概説B(2)		中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)	日本漢学A(2) 日本漢学B(2)
		サンスクリット語ⅠA(1) ヒンディー語A(1) サンスクリット語ⅠB(1) ヒンディー語B(1)	サンスクリット語ⅡA(1) パーリ語A(1) サンスクリット語ⅡB(1) パーリ語B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1)	仏教漢文A(1) 仏教漢文B(1)
		宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	イスマーラム概論(2) キリスト教概論(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) インド文化概説A(2) インド文化概説B(2) 現代のインド(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 韓国の文化と社会(2)	イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)
選択必修 各コース別 必修12単位以上	講義科目 8単位以上	宗教社会学A(2) 宗教社会学B(2) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) 仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2)	東西交渉史A(2) 東西交渉史B(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2)	日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2) 韓国仏教史(2) チベット仏教史(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 仏教思想特講ⅢA(2) 仏教思想特講ⅢB(2) 日本民俗学の諸問題(2)	日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2) 韓国仏教史(2) チベット仏教史(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 仏教思想特講ⅢA(2) 仏教思想特講ⅢB(2) 日本民俗学の諸問題(2)
		写経(2) インド舞踊(2) 海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2)	ヨーガ(2)	坐禅(2)	仏教の芸能(2)
		海外研修			
		科目は別表に記載			
他学部他学科開放科目 (専門開放科目)	科目は別表に記載				

仏教思想コース

区分		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修 各コース共通 必修14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅡA(1) 空論指導A(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1) 空論指導B(1) 卒業論文(6)			
		仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2)	インド思想史A(2) インド思想史B(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2)	日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2)
		サンスクリット語ⅠA(1) 仏教漢文A(1) サンスクリット語ⅠB(1) 仏教漢文B(1)			
		サンスクリット語ⅡA(1) パーリ語A(1) サンスクリット語ⅡB(1) パーリ語B(1)	仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠB(2)	仏教思想特講ⅡA(2) 仏教思想特講ⅡB(2)	仏教思想特講ⅢA(2) 仏教思想特講ⅢB(2)
選択必修 各コース別 必修22単位	語学科目 4単位以上	基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)	中級中国語A(1) 中級中国語B(1)	上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	
		ヒンディー語A(1) ヒンディー語B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1)		
		宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2) インド現代思想(2) インド文化概説A(2) インド文化概説B(2) 現代のインド(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 韓国の文化と社会(2)	イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 中国の美術B(2) 日本の美術B(2) 日本美術の世界(2) 韓国の文化と社会(2)
		中国哲学概論A(2) 中国哲学概論B(2) 中国学研究法A(2) 中国学研究法B(2) 漢文訓詁法(2)	宗教社会学A(2) 宗教社会学B(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 韓国仏教史(2) 日本民俗学の諸問題(2)	日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2) 韓国仏教史(2) チベット仏教史(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 仏教思想特講ⅢA(2) 仏教思想特講ⅢB(2) 日本民俗学の諸問題(2)	日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2) 韓国仏教史(2) チベット仏教史(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 仏教思想特講ⅢA(2) 仏教思想特講ⅢB(2) 日本民俗学の諸問題(2)
選択必修 各コース別 必修12単位以上	講義科目 8単位以上	中国哲学概論A(2) 中国哲学概論B(2) 中国学研究法A(2) 中国学研究法B(2) 漢文訓詁法(2)	中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2) 中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2)	中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2) 中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2)	中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2)
		写経(2) インド舞踊(2) 海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2)	ヨーガ(2)	坐禅(2)	仏教の芸能(2)
		海外研修			
		科目は別表に記載			
他学部他学科開放科目 (専門開放科目)	科目は別表に記載				

東洋芸術文化コース

区分		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 30単位 ※コース特選 必修14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	卒業指導A(1) 卒業指導B(1) 卒業論文(6)	
		インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2)	中国の美術A(2) 中国の美術B(2)	インド思想史A(2) インド思想史B(2)	仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2)
		基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)		中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
		サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1)	ヒンディー語A(1) ヒンディー語B(1)	仏教漢文A(1) 仏教漢文B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1)
選択必修科目 12単位以上	語学科目 4単位以上	コース別		チベット語A(1) チベット語B(1)	
		サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1)	パーリ語A(1) パーリ語B(1)		
		中級中国語A(1) 中級中国語B(1)		上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	
		インド文化概論A(2) インド文化概論B(2)			
専門科目 14単位以上	講義科目 8単位以上	東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2)	東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2)	中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2)	
		宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2)	東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2)	イスラーム概論(2) キリスト教概論(2)
		インド現代思想(2) 現代のインド(2)	日本文学文化概説A(2) 日本文学文化概説B(2)	世界の文学文化と日本Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅳ(2)	比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2)
		中国学概論A(2) 中国学概論B(2)	宗教社会学A(2) 宗教社会学B(2)	東西交渉史A(2) 東西交渉史B(2)	インド仏教史A(2) インド仏教史B(2)
他学部他学科開放科目 (専門開設科目)	講義科目 12単位以上	中国学研究法A(2) 中国学研究法B(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2)	日本民俗学の諸問題(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2)	日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2)
		漢文訓読法(2)	日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2)	インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2)	仏教思想特講ⅢA(2) 仏教思想特講ⅢB(2)
			仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠB(2)	中国文学講義A(1) 中国文学講義B(1)	
			中国哲学講義A(1) 中国哲学講義B(1)	中国文学講義A(2) 中国文学講義B(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)
他学部他学科開放科目 (専門開設科目)	実技講義科目 インド舞踊(2)	中国史概説A(2) 中国史概説B(2)		中国文学史A(2) 中国文学史B(2)	中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2)
				日本漢学A(2) 日本漢学B(2)	中国哲学特講ⅢA(2) 中国哲学特講ⅢB(2)
				中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2)	哲学概論A(2) 哲学概論B(2)
			ヨーガ(2)	坐禅(2)	仏教の芸能(2)
他学部他学科開放科目 (専門開設科目)	海外研修 海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2)				

◆◆東洋思想文化学科のコース分けについて◆◆

1. 各コースの概要とコース分けの年次

東洋思想文化学科には主たる学習内容別に4つのコースが設置されています。4コースの概要は以下の通りです。

コース	概要
(1)インド思想コース	古代から現代までのインドの思想・宗教を中心に学ぶコースであり、文献講読に必要なインド古典語のサンスクリット語や現代語のヒンディー語なども合わせて学習する。
(2)中国語・中国哲学文学コース	中国の古典から現代までの思想・文学あるいは文化事象を学ぶコースである。合わせて文献講読に必要な漢文読解力や中国語の語学力を養成する。
(3)仏教思想コース	インド、中国、日本を中心とした仏教の歴史的展開や思想内容を詳しく学ぶコースであり、仏教の理解に必要なサンスクリット語、パーリ語、チベット語、仏教漢文などの語学も学習する。
(4)東洋芸術文化コース	インド、中国、日本などの美術を中心に建築、芸能、音楽などアジアの芸術、文化を総合的に学ぶコースである。合わせてサンスクリット語、漢文、ヒンディー語などアジアの外国語も学習する。

1年次に開講される、各コースの概論科目を受講することを通して、2年次からのコース選択の参考としてください。**コース選択の希望聴取は12月に行います**ので、それまでに自分の進みたいコースを決めておいてください。2年次からは、自分の選択した各コースのカリキュラムにしたがって、コース別の専門科目の履修が本格的に始まります（ただし、コースごとに定員数が設定されているので、学科が選考する場合があります）。

2. コースに関連した履修上の注意

1年次から履修できる専門科目のうち、選択した2年次からのコースの教育課程表に記載されていない科目は卒業単位になりません（自由科目として単位認定されます）。

◆◆科目の履修上の注意◆◆

必修科目

卒業論文は必修であるため、1年次から計画を立て研究室等の指示に注意してください。ただし、4年次の「卒業論文」の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の学生に限ります**。

原級した場合の卒論指導の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「卒論指導A」「卒論指導B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論指導A」を秋学期に、「卒論指導B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

実技講義科目および海外研修

科目によっては集中講義となる場合や第2部時間帯のみ開講する場合、また別途費用が必要となる場合があるので、「シラバス（講義要項）」等で十分に確認したうえで履修してください。

東洋思想文化学科第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

東洋思想文化学科第1部・第2部間でのみ相互聴講を認めます。

履修条件は、以下の通りです。

- (1) 第2部東洋思想文化学科提供科目のうち、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 科目提供主体（第2部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法
第2部提供科目の履修を希望する場合は、第1部の科目と同様に履修登録をしてください。
- (6) 対象科目（第2部東洋思想文化学科提供科目群）
教育課程表「履修上の注意／備考欄」に「相互聴講」とある科目。

◆◆第1部東洋思想文化学科 カリキュラムマップ◆◆

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
第 1 セメスタ	第 2 セメスタ	第 3 セメスタ	第 4 セメスタ	第 5 セメスタ	第 6 セメスタ	第 7 セメスタ	第 8 セメスタ
入門				応用		完成	
サンスクリット語Ⅰ AB／ヒンディー語 AB 基礎中国語 AB／漢文訓読法 仏教漢文 AB		サンスクリット語Ⅱ AB パーリ語 AB／チベット語 AB 中級中国語 AB／上級中国語 AB／中国語学演習 AB 韓国語 AB／日本語文法 AB／日本語概説 AB					
中国史概説 AB 中国学概論 AB／中国学研究法 AB／ インド思想史 AB／インド文化概論 AB 仏教思想概論 AB 中国の美術 AB		インド仏教史 AB／中国仏教史 AB／ 日本仏教史 AB／チベット仏教史／ 韓国仏教史 中国の美術 AB		中国哲学史 A B／中国文学史 A B／中国現代文学史 A B／日本漢学 A B／			
		宗教学概論 A B／宗教学Ⅱ A B／東洋思想／アジアの文学／アジアの古典／キリスト教概論／イスラーム概論／神道史 A B／ 古文書学Ⅰ AB／心理学概論 AB／日本美術の世界／書道史／書論／日本民俗学の諸問題／日本語史 AB／古典籍に親しむ／ 哲学概論 AB／倫理学概論 AB／日本文学の歴史(上代・中古・中世・近世・近代・現代)					
		中国哲学講読 A B／中国文学講読 A B インド現代思想／現代のインド 仏教と社会福祉／現代に生きる仏教 インド・仏教の美術 A B／世界の文学文化と日本Ⅲ・Ⅳ／海外文化研修Ⅰ・Ⅱ 東洋の身体論／近代化と東洋／宗教社会学 A B／総合Ⅶ AB／ 韓国の文化と社会／比較文学Ⅰ・Ⅱ／日本文学文化概説 AB					
レポート・論文制作の技法		東洋思想文化演習Ⅰ AB		卒業論文 インド思想特講Ⅰ AB／インド思想特講Ⅱ AB 中国哲学特講 A B／中国文学特講 A B 仏教思想特講Ⅰ A B／仏教思想特講Ⅱ A B／仏教思想特講Ⅲ A B 東洋芸術文化特講Ⅰ A B／東洋芸術文化特講Ⅱ A B 東洋思想文化演習Ⅱ AB 卒論指導 A B			

語学

東洋の思想と文化を理解する
のに役立つ語学

知識

東洋の思想と文化に対する
豊富な知識

理解

東洋に特有の価値観や
思考法への理解

分析・考察・表現

独自の視点からの分析と考察
自分の見解を論理的に表現

教育課程及び履修に際しての注意

第1部 日本文学文化学科

◆◆日本を知ろう！ 日本人を知ろう！◆◆

日本文学文化学科は、新しい時代に適合した研究と教育を目標としている。学祖、井上円了は、明治前半期の西洋第一主義の風潮への反省として「東洋を本とし日本を主」とする哲学館・東洋大学を開設した。

しかし、それは単なる狭い東洋主義ではなく、「東洋の学を主とし、西洋の学を客とし、彼我、主客を合わせて研究する主義」の提唱であり、教育であった。この主張は現代でも光を失わないものである。

現代日本社会が今後ますます国際化していく状況の中で、いずれの国家・民族にとっても、それぞれの固有の文化（アイデンティティ）をいかに確立継承し、創造するかということは、これからの新しい世紀に必須の課題となるに違いない。日本及び日本人を正しく知るとともに、伝統的な学問・日本文化を正しく継承し、新たに世界から日本を見るという視点を導入した日本文学文化学科の教育内容は、国際化時代にふさわしいものと言える。

◇教育課程（カリキュラム）の特色

日本文学文化学科のカリキュラムには、基盤教育科目と文学部基盤科目、専門科目、それに開放科目がある。基盤教育科目は、各分野に応じて広く文化を学び、考察するものである。文学部基盤科目には、図書館司書・学校図書館司書教諭、学芸員資格に関する科目が用意されており、各自の目的によって選択できるようになっている。

専門科目は1年次の「初年次ゼミナール」「実践基礎ゼミナール」と、1・2年次の「日本文学文化概説A・B」「日本語概説A・B」が必修科目であり、2年次以降の専門的なゼミナールと「卒業論文」への足がかりとなる。

選択必修科目には、専攻分野別のゼミナールや多彩な講義等多くの科目群が用意されている。各科目群の指定がなされているものもあるが、学年に応じて選択できる。科目群と指定単位数に注意して選択すること。

ゼミナールは「ゼミナールⅠA・B」「ゼミナールⅡA・B」「ゼミナールⅢA・B」と専門性を深めて展開し、4年次の「卒論指導A・B」「卒業論文」へと結実していくことになる。ゼミナールの目的は、みずから考え、みずから課題を発見することにある。

これらのゼミナール科目は、日本文学文化学科のカリキュラムの中心である。2年次の「ゼミナールⅠ」の選択から、「日本語学」「古典文学文化」「近現代文学文化」「比較文学文化」という4つの専攻分野が設置されているので、各自の学習計画に即して選択すること。なお「ゼミナールⅢ」については3年次履修の専攻分野から選択することが望ましい。

選択科目には、国語科、書道科各教員免許状取得のための科目（教職科目）が用意されている。各自の目的に応じて選択できる。

選択必修科目にかかわる専攻分野間は自由に横断的な学習ができるようになっているので、専門性を深めながら、日本文学文化を総合的、包括的に学習できる。いわばフレキシブルな履修システムであるから、各自がそれぞれの明確な学習目標に応じた科目を履修することにより、主体的で個性あふれるカリキュラムを作成することが可能である。

開放科目は、他学部・他学科の開放科目であり、日本文学文化学科では、各自の考えにより広範囲な学問分野の学習ができるようになっている。

◆◆日本文学文化学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の養成に関する目的

国際化していく現代社会において、アイデンティティを確立することは重要な課題である。

日本文学文化学科では、日本・日本人を知り、伝統的な学問・日本文化を継承すると同時に、世界から日本を見るという視点を導入することで、新しい時代を切り拓く人材の育成を目標としている。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
カリキュラムの中心となるゼミナール科目では「日本語学分野」「古典文学文化分野」「近現代文学文化分野」「比較文学文化分野」という4つの専攻分野を設置し、専門的な探究を行っている。選択必修科目では専攻分野間の横断的な学習が可能で、日本文学文化を総合的・包括的に視野に収めていく。
3. その他の教育研究上の目的
国語科・書道科各教員免許状の取得や、図書館司書・学校図書館司書教諭・博物館学芸員の資格を取得する。

◆◆日本文学文化学科 3つのポリシー◆◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学科では、卒業に必要な単位を履修し、以下に掲げる能力を修得した者に対して卒業を認め学位を授与する。

1. 主体的に獲得した日本の文学・文化に関する知見と論理的な考察をもとに、他者との協働をとおして様々な課題を解決できる。
2. 日本語、日本の文学・文化についての確かな知識と、日本語表現の適切なあり方を習得し、専門的な視点から探究することができる。
3. 日本の文学・文化を多面的かつ総合的に検証し、新たな日本文化像を創造することができる。
4. 世界から見た日本の文学・文化のあり方を理解し、グローバルな文脈における豊かな可能性を見出すことができる。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、教育課程を通して、思考力と実践力を養い、日本語、日本文学、日本文化の専門的かつ総合的な知識と理解力を身に付けることを目指す。また、グローバルな現代社会の一員として活躍するための礎を築く。

1. 高い教養と豊かな創造力を養うため、「日本語学」「古典文学文化」「近現代文学文化」「比較文学文化」の4分野を設け、専門的かつ横断的な学習に取り組む。
2. 必要な知識と思考力を着実に獲得するため、1・2年次の基礎的、概説的な授業科目から、3・4年次の高度で専門的な授業科目へと、段階的かつ有機的に学習を進める。
3. 学問の探究をとおして総合的な力を身につけるため、1年次から4年次まで少人数のゼミナールに参加し、他者との協働をはじめとする多様な学びを実践する。
4. 各自の興味・関心を伸ばし、その可能性を引き出すため、多彩な内容の専門科目を置くほか、諸資格（中学校国語科教諭、高等学校国語科・書道科教諭、図書館司書、司書教諭、学芸員）の取得に関連する科目を設置している。
5. 各自の研究テーマに即した卒業論文の作成を必修とし、大学で培った知識、能力を応用しながら、研究の成果を主体的にまとめる。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学科が求める学生像は、日本の文学作品や文化事象に広い興味を持つ人、日本語に対する高い意識を持つ人、歴史や社会と文学・文化との連環に深い関心を持つ人、世界の文学・文化と日本の文学・文化との比較に強い意欲を持つ人などである。あわせて、文系の学問に偏ることなく、次のような幅広い学力を有する多様で優秀な学生を求めている。

1. 日本古典文学と日本近現代文学の知識と読解力、それらの根幹となる日本語の理解と表現力。
2. 日本の文学・文化を国際的な視点から理解するために欠かすことができない外国語（英語）の基本的な運用力。
3. 日本や世界の歴史、政治、経済、慣習・風土などへの探究力と現代社会の諸問題への解決力。
4. 学術的な文章を作り上げるための論理的な思考力とその基となる様々な情報の収集・分析力。

◆◆ 4つの専攻分野について ◆◆

専攻分野	概要
日本語学分野	日本語の過去から現在までの姿や仕組みなどについて根幹となる理論を習得する。その上で、言語学一般の学習や他言語との比較も行いながら、総合的多角的に分析、考察する。あわせて、日本語に対して深く適切な理解をもとにした実証的な研究姿勢を養う。
古典文学文化分野	古代から近世に至る古典文学を実証的な観点から考察し、そこに表れた日本人の心や文化のかたちを、より深くより豊かに理解していく。そして、日本の文化遺産である古典文学の価値を正しく継承し、さらに次代へ伝えていくことを使命とする。
近現代文学文化分野	明治期から今日に至るさまざまな文学作品について、多種多様な方法論による分析と考察を試み、その文学の特質や作家の本質を究明する。その過程で、近現代文学文化の問題点や思想性を汲み取り、これからの日本文学や日本人の可能性を模索していく。
比較文学文化分野	比較文学文化の概念や理念を学ぶとともに、「世界から日本を見る」という視点で、日本を相対化する姿勢を確立する。そして、既成の学問の枠にとらわれることなく、多様な「日本文学文化論」を展開し、国際社会における日本文学文化の意義や可能性を探る。

◆◆ 第1部 日本文学文化学科 卒業要件 ◆◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は合計 124 単位です。その内訳は次のとおりです。

科目区分	分類		必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		16 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を 修得すること。	
	留学支援科目	英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		18 単位以上 国際コミュニケーション科目は、1 年次に英語Ⅰを 4 単位必修。 ドイツ語Ⅰ・フランス語Ⅰ・中国語Ⅰから 1 カ国語 4 単位選択 必修。2 年次に 1 年次に履修した外国語から 1 カ国語 4 単位選 択必修。 上記あわせて 12 単位修得すること。	
専門科目	必修科目		18 単位	専門科目合計 74 単位以上
	選択必修科目Ⅰ		34 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ		16 単位以上	
	選択科目			
教職科目			卒業単位に含めない科目	
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については 127 ページを必ず確認してください。

◆◆ 2020 年度第 1 部日本文学文化学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目 74 単位以上	必修科目 18 単位	必修	JLT111	日本文学文化概説 A	1 ～ 2	2	相互聴講	
		必修	JLT112	日本文学文化概説 B	1 ～ 2	2		
		必修	JLN103	日本語概説 A	1 ～ 2	2		
		必修	JLN104	日本語概説 B	1 ～ 2	2		
		必修	SEM101	初年次ゼミナール	1	2		
		必修	SEM102	実践基礎ゼミナール	1	2		
		必修	THE404	卒論指導 A	4	1		
		必修	THE405	卒論指導 B	4	1		
	必修	THE406	卒業論文	4	4			
	選択必修科目Ⅰ 34 単位以上	選択	JLN201	日本語学ゼミナールⅠ A	2	2	2 科目 4 単位 選択必修	
		選択	JLN202	日本語学ゼミナールⅠ B	2	2		
		選択	JLT201	古典文学文化ゼミナールⅠ A	2	2		
		選択	JLT202	古典文学文化ゼミナールⅠ B	2	2		
		選択	JLT203	近現代文学文化ゼミナールⅠ A	2	2		
		選択	JLT204	近現代文学文化ゼミナールⅠ B	2	2		
		選択	JLT205	比較文学文化ゼミナールⅠ A	2	2	2 科目 4 単位 選択必修	
		選択	JLT206	比較文学文化ゼミナールⅠ B	2	2		
		選択	JLN301	日本語学ゼミナールⅡ A	3	2		
		選択	JLN302	日本語学ゼミナールⅡ B	3	2		
		選択	JLT301	古典文学文化ゼミナールⅡ A	3	2		
		選択	JLT302	古典文学文化ゼミナールⅡ B	3	2		
		選択	JLT303	近現代文学文化ゼミナールⅡ A	3	2	2 科目 4 単位 選択必修	
		選択	JLT304	近現代文学文化ゼミナールⅡ B	3	2		
		選択	JLT305	比較文学文化ゼミナールⅡ A	3	2		
		選択	JLT306	比較文学文化ゼミナールⅡ B	3	2		
		選択	JLN401	日本語学ゼミナールⅢ A	4	2		
		選択	JLN402	日本語学ゼミナールⅢ B	4	2		
		選択	JLT401	古典文学文化ゼミナールⅢ A	4	2	2 科目 4 単位 選択必修	
		選択	JLT402	古典文学文化ゼミナールⅢ B	4	2		
		選択	JLT403	近現代文学文化ゼミナールⅢ A	4	2		
		選択	JLT404	近現代文学文化ゼミナールⅢ B	4	2		
		選択	JLT405	比較文学文化ゼミナールⅢ A	4	2		
		選択	JLT406	比較文学文化ゼミナールⅢ B	4	2		
		選択	JLN203	日本語史 A	2 ～ 4	2	2 科目 4 単位以上 選択必修	
		選択	JLN204	日本語史 B	2 ～ 4	2		
		選択	JLN217	日本語文法 A	2 ～ 4	2		
		選択	JLN218	日本語文法 B	2 ～ 4	2		
		選択	JLT151	日本文学の歴史(上代)	1 ～ 3	2	3 科目 6 単位以上 選択必修	相互聴講
		選択	JLT152	日本文学の歴史(中古)	1 ～ 3	2		
		選択	JLT153	日本文学の歴史(中世)	1 ～ 3	2		
		選択	JLT154	日本文学の歴史(近世)	1 ～ 3	2		
		選択	JLT155	日本文学の歴史(近代)	1 ～ 3	2		
		選択	JLT156	日本文学の歴史(現代)	1 ～ 3	2		
		選択	JLN313	日本語学研究Ⅰ	3 ～ 4	2	2 科目 4 単位以上 選択必修	いずれか 相互聴講 相互聴講 いずれか
		選択	JLN314	日本語学研究Ⅱ	3 ～ 4	2		
		選択	JLT349	古典文学文化研究Ⅰ	3 ～ 4	2		
選択		JLT350	古典文学文化研究Ⅱ	3 ～ 4	2			
選択	JLT351	古典文学文化研究Ⅲ	3 ～ 4	2				
選択	JLT352	古典文学文化研究Ⅳ	3 ～ 4	2				
選択	JLT353	近現代文学文化研究Ⅰ	3 ～ 4	2	2 科目 4 単位以上 選択必修	相互聴講 いずれか 相互聴講 いずれか		
選択	JLT354	近現代文学文化研究Ⅱ	3 ～ 4	2				
選択	JLT355	比較文学文化研究Ⅰ	3 ～ 4	2				
選択	JLT356	比較文学文化研究Ⅱ	3 ～ 4	2				
選択	JLT261	上代文学の探究	1 ～ 3	2				
選択	JLT262	中古文学の探究	1 ～ 3	2				
選択	JLT263	中世文学の探究	1 ～ 3	2	2 科目 4 単位以上 選択必修	相互聴講		
選択	JLT264	近世文学の探究	1 ～ 3	2				
選択	JLT265	近現代文学の探究	1 ～ 3	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目(詳細は 89 ページ参照)

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅰ 34単位以上	選択	LIG109	比較文学Ⅰ	1～2	2	2科目4単位以上 選択必修	相互聴講
		選択	LIG110	比較文学Ⅱ	1～2	2		
		選択	LIE225	世界の文学文化と日本Ⅰ	1～4	2		
		選択	LIE226	世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2		
		選択	CHL209	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2		
		選択	CHL210	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2		
	選択必修科目Ⅱ 16単位以上	選択	LIG201	世界の文学文化と日本Ⅴ	1～4	2	いずれか	相互聴講
		選択	CUA122	伝統行事を学ぶ	1～4	2		
		選択	JLT157	伝統芸能を学ぶ	1～4	2		
		選択	JLN111	方言と文化	1～4	2		
		選択	FAH107	日本美術の世界	1～4	2	相互聴講	いずれか
		選択	ARL118	日本映画の世界	1～4	2		
		選択	ARL119	マンガ文化研究	1～4	2	相互聴講	いずれか
		選択	LIG111	アニメーション文化研究	1～4	2		
		選択	ARL117	翻訳と日本文学文化	1～4	2	相互聴講	いずれか
		選択	ARS129	韓国の文化と社会	1～4	2		
		選択	SOC149	日本の出版メディア	1～4	2		
		選択	CIB102	中国の古典(文学)	1～4	2		
		選択	CIB103	中国の古典(思想)	1～4	2	相互聴講	いずれか
		選択	CIB105	中国の古典(哲学)	1～4	2		
		選択	CIB104	中国の古典(歴史)	1～4	2		
		選択	JLT266	万葉文化の世界	2～4	2		
		選択	JLT267	平安朝文化の世界	2～4	2	相互聴講	いずれか
		選択	JLT268	室町・戦国文化の世界	2～4	2		
		選択	JLT269	江戸文化の世界	2～4	2		
		選択	JLT270	近現代文化の諸問題	2～4	2		
		選択	JLT271	古典籍に親しむ	2～4	2	相互聴講	いずれか
		選択	CUA210	日本民俗学の諸問題	2～4	2		
		選択	JLT272	日本の児童文学	2～4	2		
		選択	CHL107	漢文訓読法	1～2	2		
		選択科目	選択	CHL301	中国文学史A	3～4	2	いずれか
	選択		CHL302	中国文学史B	3～4	2		
	選択		CIB219	日本仏教史A	2～4	2		
	選択		CIB220	日本仏教史B	2～4	2		
	選択		JPH107	古文書学ⅠA	1～4	2		
	選択		JPH108	古文書学ⅠB	1～4	2		
	選択		JPH109	古文書学ⅡA	1～4	2		
	選択		JPH110	古文書学ⅡB	1～4	2		
	選択		ARL105	書道ⅠA	1	1		
	選択		ARL106	書道ⅠB	1	1		
	選択		ARL201	書道ⅡA	2～4	1		
	選択		ARL202	書道ⅡB	2～4	1		
	選択		ARL203	書道ⅢA	2～4	1		
	選択		ARL204	書道ⅢB	2～4	1		
	選択		ARL120	書道史	1	2		
	選択		ARL209	書論	2～4	2		
	選択		JLT123	教職国語(古典)	1～3	2		
	選択	JLT124	教職国語(現代文)	1～3	2			
教職科目								
教職科目	選択	ESS201	国語科教育論Ⅰ	2	2	卒業単位に 含まない科目		
	選択	ESS202	国語科教育論Ⅱ	2	2			
	選択	ESS301	国語科指導法Ⅰ	3	2			
	選択	ESS302	国語科指導法Ⅱ	3	2			
	選択	ESS303	書道科指導法Ⅰ	3	2			
	選択	ESS304	書道科指導法Ⅱ	3	2			
	選択	FSS401	教職実践演習(中・高)	4	2			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目(詳細は89ページ参照)

教育課程表

区分	文学部教育	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年		
文学部	文学部教育	東洋文学 生涯学習習熟論Ⅰ(2)	特別支援教育専攻論Ⅰ(2) 英語の社会と文化ⅠA(2) 英語の社会と文化ⅠB(2) 英語の社会と文化ⅠA(2) 英語の社会と文化ⅠB(2)	伝言文化概論(2) 中国歴史Ⅰ(2) 中国歴史Ⅱ(2) 日本漢学Ⅰ(2) 日本漢学Ⅱ(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2)		
		インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド現代思想 現代のイデオロギ 家族の心理学 フランス文化文学研究A(2) フランス文化文学研究B(2) 認知と言語	インド・仏教の美術B(2) 海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2) 心療学的研究と理論 国際文化理解論A(2) 国際文化理解論B(2)	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) 特別支援教育概論Ⅱ(2) 日文化要素ⅠA(2) 日文化要素ⅠB(2) 日本語概説 日本語史(2) 日本語史(2)	ヒンディー語A(1) ヒンディー語B(1) 児童文化研究(2) トピック文化・文学研究A(2) トピック文化・文学研究B(2) 現代日本語文法(2) 現代日本語文法(2) 新文法(2) 新文法(2)		
		小笠原英彦特選(2) 中国文学概論A(2) 中国文学概論B(2) 西洋哲学史基礎概説A(2) 西洋哲学史基礎概説B(2) 論理学概論A(2) 論理学概論B(2) 西洋史概説A(2) 西洋史概説B(2) 東洋史概説A(2) 東洋史概説B(2) 日本史概説A(2) 日本史概説B(2)	サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1) パーリ語A(1) パーリ語B(1) チャベット語A(1) チャベット語B(1) 異文化交流ⅠA(2) 異文化交流ⅠB(2) 異文化交流ⅡA(2) 異文化交流ⅡB(2) 英文学特講ⅠA(2) 英文学特講ⅠB(2) 英文学特講ⅡA(2) 英文学特講ⅡB(2) 英文学特講ⅢA(2) 英文学特講ⅢB(2)	インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 現代倫理学A(2) 現代倫理学B(2) 論理学概論A(2) 論理学概論B(2) 米文学特講ⅠA(2) 米文学特講ⅠB(2) 米文学特講ⅡA(2) 米文学特講ⅡB(2) 米文学特講ⅢA(2) 米文学特講ⅢB(2)	チベット仏教史(2) 比較宗教A(2) 比較宗教B(2) 哲学と科学A(2) 哲学と科学B(2)		
		英 語	検定英語A(2) 検定英語B(2)	Practical Writing A(2) Practical Writing B(2)	Business English A(1) Business English B(1) Media English A(1) Media English B(1)		
		ドイツ語	4単位必修 ドイツ語ⅠA(1) ドイツ語ⅠB(1) ドイツ語ⅡA(1) ドイツ語ⅡB(1) ドイツ語ⅢA(1) ドイツ語ⅢB(1)	ドイツ語概論と文化A(1) ドイツ語概論と文化B(1) ドイツ語コミュニケーションと文化A(1) ドイツ語コミュニケーションと文化B(1) フランス語概論と文化A(1) フランス語概論と文化B(1) フランス語コミュニケーションと文化A(1) フランス語コミュニケーションと文化B(1)			
		フランス語	フランス語ⅠA(1) フランス語ⅠB(1) フランス語ⅡA(1) フランス語ⅡB(1) フランス語ⅢA(1) フランス語ⅢB(1)	フランス語概論と文化A(1) フランス語概論と文化B(1) フランス語コミュニケーションと文化A(1) フランス語コミュニケーションと文化B(1)			
		中国語	中国語ⅠA(1) 中国語ⅠB(1) 中国語ⅡA(1) 中国語ⅡB(1)	中国語概論と文化A(1) 中国語概論と文化B(1) 中国語コミュニケーションと文化A(1) 中国語コミュニケーションと文化B(1)			
		日本語 (留學生用)	日本語ⅠA(1) 日本語ⅠB(1) 日本語ⅡA(1) 日本語ⅡB(1)	日本語概論と文化A(1) 日本語概論と文化B(1) 日本語コミュニケーションと文化A(1) 日本語コミュニケーションと文化B(1)			
		※留學生は127ページを参照					
		1カ国語4単位選択必修 独・仏・中の中から 1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修		1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修	1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修	1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修 1カ国語1単位選択必修	
国際コミュニケーション科目	国際コミュニケーション科目	英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)		
		英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)		
		英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)		
		英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)		
		英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)		
		英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)		
		英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)				
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2) 教育基礎論(2) 生涯学習習熟論Ⅱ(2) 専攻教育概論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2)	社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ(2) グローバル化と学習(2) 社会教育経営論Ⅱ(2)						
英語基礎論(2)<							

◆◆科目の履修上の注意◆◆

国際コミュニケーション科目

1 年次に英語 4 単位を必修し、ドイツ語・フランス語・中国語の中から 1 カ国語 4 単位を選択必修します。2 年次で 1 年次に履修した外国語から 1 カ国語 4 単位を選択必修します。

2 年次に履修する国際コミュニケーション科目について、1 年次秋学期に希望調査があります。

必修科目

4 年次の「卒業論文」の履修登録は、**第 7 セメスタ終了時点で未修得単位数が 24 単位以下の卒業見込みの学生を対象とします。**

原級した場合の卒論指導の履修について（第 9 セメスタ以降対象）

第 9 セメスタ以降の学生で「卒論指導 A」「卒論指導 B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論指導 A」を秋学期に、「卒論指導 B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

日本文学文化学科第 1 部・第 2 部間相互聴講制度による相互聴講科目

日本文学文化学科第 1 部・第 2 部間でのみ相互聴講を認めます。

履修条件は、以下の通りです。

- (1) 第 2 部日本文学文化学科提供科目のうち、卒業までに 30 単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 科目提供主体（第 2 部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24 単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法

第 2 部提供科目の履修を希望する場合は、第 1 部の科目と同様に履修登録をしてください。

- (6) 対象科目

教育課程表の「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目です。

○第 2 部日本文学文化学科提供科目群

日本文学文化概説 A (2)	日本文学の歴史(現代) (2)	世界の文学文化と日本 I (2)
日本文学文化概説 B (2)	日本語学研究 I (2)	世界の文学文化と日本 II (2)
日本語概説 A (2)	古典文学文化研究 I (2)	世界の文学文化と日本 III (2)
日本語概説 B (2)	古典文学文化研究 II (2)	日本美術の世界(2)
日本語史 A (2)	近現代文学文化研究 I (2)	マンガ文化研究(2)
日本語史 B (2)	比較文学文化研究 I (2)	アニメーション文化研究(2)
日本語文法 A (2)	上代文学の探究(2)	中国の古典(文学) (2)
日本語文法 B (2)	中古文学の探究(2)	中国の古典(思想) (2)
日本文学の歴史(上代) (2)	中世文学の探究(2)	中国の古典(哲学) (2)
日本文学の歴史(中古) (2)	近世文学の探究(2)	中国の古典(歴史) (2)
日本文学の歴史(中世) (2)	近現代文学の探究(2)	日本民俗学の諸問題(2)
日本文学の歴史(近世) (2)	比較文学 I (2)	日本の児童文学(2)
日本文学の歴史(近代) (2)	比較文学 II (2)	

◆◆第1部 日本文学文化学科 カリキュラムマップ◆◆

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		対応DP
第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ	第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ	
基礎 1		基礎 2		応用		完成		
初年次ゼミナール／実践基礎ゼミナール		日本語学ゼミナールⅠA・B／古典文学文化ゼミナールⅠA・B／近現代文学文化ゼミナールⅠA・B／比較文学文化ゼミナールⅠA・B		日本語学ゼミナールⅡA・B／古典文学文化ゼミナールⅡA・B／近現代文学文化ゼミナールⅡA・B／比較文学文化ゼミナールⅡA・B		日本語学ゼミナールⅢA・B／古典文学文化ゼミナールⅢA・B／近現代文学文化ゼミナールⅢA・B／比較文学文化ゼミナールⅢA・B		
日本語概説A・B／日本文学文化概説A・B／日本文学の歴史（上代）／日本文学の歴史（中古）／日本文学の歴史（中世）／日本文学の歴史（近世）／日本文学の歴史（近代）／日本文学の歴史（現代）		日本語学A・B／日本語学B／上代文学の探究／中世文学の探究／近世文学の探究／現代文学の探究／万葉文化の世界／平安朝文化の世界／室町・戦国文化の世界／江戸文化の世界／近代文化の諸問題		日本語学研究Ⅰ・Ⅱ／古典文学文化研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ／近現代文学文化研究Ⅰ・Ⅱ		卒業論文／卒論指導A・B		
伝統芸能を学ぶ／伝統行事を学ぶ／方言と文化／日本美術の世界／日本映画の世界／マンガ文化研究／アニメーション文化研究／日本の出版メディア／韓国文化と社会／中国の古典（文学）／中国の古典（思想）／中国の古典（哲学）／中国の古典（歴史）／漢文訓読法／古文書学ⅠA・B／古文書学ⅡA・B／書道ⅠA・B／書道ⅡA・B／書道ⅢA・B		古典籍に親しむ／日本民俗学の諸問題／日本の児童文学／日本仏教史A・B／書道ⅡA・B		中国文学史A・B／書道ⅢA・B／書論		比較文学文化研究Ⅰ・Ⅱ		
比較文学Ⅰ・Ⅱ／英語Ⅰ・Ⅱ／ドイツ語Ⅰ・Ⅱ／フランス語Ⅰ・Ⅱ／中国語Ⅰ・Ⅱ		世界の文学文化と日本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ／翻訳と日本文学文化						
国語科教育論Ⅰ・Ⅱ／教職国語（古典）／教職国語（現代文）		国語科指導法Ⅰ・Ⅱ／教職国語（古典）／教職国語（現代文）		国語科指導法Ⅰ・Ⅱ／書道科指導法Ⅰ・Ⅱ		教育実践演習（中・高）		
図書館概論／情報サービス論／児童サービス論／図書・図書館史／図書館制度／経営論／図書館サービス概論／図書館情報資源概論／図書館情報資源特論／情報資源組織論／図書館情報技術概論／図書館情報資源特論／図書館情報資源特論／情報資源組織論／図書館情報技術概論		情報サービス演習A・B／情報資源組織演習A・B						

DP1 思考・実践

多面的な思考力にもとづき、他者と協働して問題解決できる。

DP2 専門（知識・理解）

日本のことばや文学文化を探究し、理解できる。

DP3 総合（知識・理解）

人文科学に関する総合的な知識を身につけ、運用できる。

DP4 国際・社会

グローバルな現代社会の一員として活躍できる。

教職科目

司書資格関連科目※

（図書館司書／学校図書館司書教諭）

※文学部共通科目であるが、開校主体は日本文学文化学部

※ 文学部共通科目であるが、開講主体は日本文学文化学科

第1部 英米文学科

◆英語を「通して」知る、学ぶ◆

英米文学科では英文学、米文学、英語学の三分野の専門科目を開講しています。この三つはそれぞれ専門的な学問分野ですが、本学科では学生の皆さんに対して、まず英語の基礎力をしっかりと身につけ、その英語力を「使って」、それを「通して」専門の課題にアプローチして欲しいと考え、そのためのカリキュラムを組んでいます。文学作品というものは日常生活のこまごました描写から人間性の極限といえるような激烈きわまる感情の表現にいたるまで、人間のすること、感じること、考えることのすべてを含むものです。また英語という言葉の性質や特質を研究する英語学は、英語によって表現できることすべてを扱います。ですから英米文学にせよ英語学にせよ、本学科の専門科目は皆さんが身につけた英語を実際に「使い」、それを「通して」学んでいくのに本当に適した方法なのです。

このような目標のために、まず1・2年生の間はしっかりした英語力を身につけることが中心になります。少人数クラスの専門科目、また文学部基盤科目の「英語Ⅰ・Ⅱ」により、「読む」「聞く」「話す」「書く」面での高度な英語力を身につけます。これと平行して必修の講義科目「英文法概説」があり、英語力の基礎である文法の知識を学びます。また「英文学史」「米文学史」（ともに必修）、「英米文学基礎演習」「英語学基礎演習」（ともに選択必修科目）、さらに「英語圏の社会と文化Ⅰ」「英語圏の社会と文化Ⅱ」「時事英語」「英語講読演習」「英語史」（いずれも選択）があります。また英米文学、英語学の問題について詳しく論じる「英文学特講」「米文学特講」「英語学特講」も2年次から受講できるので、皆さんは必修科目と選択科目、実際に自分で英語を使う演習科目と英語英米文化についての広い基礎知識を与える講義科目を組み合わせ、自由に自分の関心を追求することができます。

3・4年次はこれまでに学んだ英語の力をさらに高めつつ、同時にそれを実際に活用して文学作品の研究、また英語の分析に取り組み、最後に皆さんの大学生活の総決算である卒業論文の制作に結びつけていく時期です。必修講義科目「英語学概論」「英米文学演習」および「英語学演習」という演習科目、また「英文学特講」「米文学特講」「英語学特講」という講義科目があり、そのほかに自分の英語力をもっと磨きたい、英語文学をもっと知りたいという人のためには、選択科目として「放送文化と英語」「ライティング」「イギリス古典文学」「英語文学」が用意されています。このような準備の上に立って、4年次になると自分の選んだ研究題目（文学、語学）によって専任の教員が開設する「卒論セミナー」のどれか一つに所属し、その先生の指導を受けて卒業論文を書き上げることになります。

以上が英米文学科のカリキュラムです。このカリキュラムを十分に活用すれば、4年次が終わるまでには、TOEICなら700点、英検ならば準一級程度の英語力が身につくはずだと、私たちは確信しています。ただしカリキュラムというものはあくまで勉学の機会を提供するだけのものであり、ただ受動的に出席しているだけでは、英語が身につくことも、英語を活用して研究することも社会に出ていくこともできません。私たちは英米文学科の学生の皆さんに、徹底的に英語の勉強をして欲しいと望んでいますし、そのための助力を惜しみません。しかし最後には、皆さんがカリキュラムや教員の助けを自分から積極的に利用して、自分の努力によって英語を身につけていく以外にないのです。外国語の学習は集中力と持続の勝負です。どうか精一杯学習に取り組んでください。英語を「通して」学ぶことで、皆さんの学習に目的と方向ができ、学習を助けてくれるはずです。

◆学科教育研究上の目的◆

1. 人材養成に関する目的

英米の文学作品（小説、詩、戯曲など）などを味読することにより、深く感じ考える能力を身につけて、多様な人間を広い見地より深く理解できる人材を養成する。また、英語学を学ぶことによって言語に対する論理的な理解ができる人材を育てる。両者相俟って、バランスのとれた良識と分別の人となることを最終目標とする。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

英語の基礎知識を身につける。そして、確かな基礎知識に基づいて、創造的な思考が可能となるようにする。英語を通して英米の文学作品を味読して、英米の文化や思想を理解する。もっとも重要視しているのは英米文学、英語学の研究に対処可能な基本的英語力、特に読む力の養成である。

3. その他の教育研究上の目的

英語科教員免許状の取得や大学院進学を促し、各種英語検定試験スコアの向上や、海外留学、語学研修への参加を奨励する。

◆◆英米文学科 3つのポリシー◆◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

英米の文学作品（小説、詩、戯曲など）を味読することにより、深く感じ考える能力を身につけて、人間の多様性を広い見地より深く理解できる人材を養成する。また、英語学を学ぶことによって言語に対する論理的な理解ができる人材を育てる。両者相俟って、バランスのとれた良識と分別をそなえた人となるように教育することが最終目標である。本学科の教育目的に沿って設定された授業科目を履修し、卒業要件となる単位数を修得した者に学位を授与する。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 英米文学や英語学という専門的な学問を学ぶ上での基盤となる英語の四技能（聞く・話す・読む・書く）を向上させる。
2. 基盤となる英語力を用い、英米の文学作品を味読し、英米の文化や思想・人間の感情や思考を理解する能力を培うと共に、英語の文法、音声学、英語史などの英語学や英語教育の知識と技能を修得できるように指導する。
3. 1年生の「フレッシュャーズ講読セミナー」から、4年生の「卒論セミナー」まで各学年に少人数制のセミナーを配し、教員との親密なコミュニケーションを通じての成長を図っていきけるようにする。
4. 勉学の集大成としての卒業論文作成の過程を通じて、物事を分析し、問題点・疑問点を見つける力、問題点・疑問点を解決する力、自分の意見を論理的で説得力あるやり方で書く・話す力を身につけさせる。
5. 卒業後の進路に応じて社会人としての能力、実力を身につけさせるために、全員必修の TOEIC の他に、英検、TOEFL 等の受験を促し、海外留学、語学研修への参加を奨励すると共に、英語科教員免許状取得や大学院進学のための指導も行う。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

英米文学科の学問は、英語で表現された文物に親しむことによって、人間とは何か、自己とは何か、そして、言葉とは何かを追求していくことであると言える。したがって、英米文学科は、人間と言葉に関心を持っている学生を多く受け入れたいと考えている。英米文学科は、英米のすぐれた文学作品を学び、味わうことで、人間に対する理解を深めるとともに、批判精神をそなえた人間に成長したいと願う学生を歓迎する。また、外国語としての英語を身につけることによって、異文化に生きる人々と心を通じ合わせるとともに、人間が人間たるためにもっとも重要な特質である、言語というものに対する理解を深めようとする学生たちにも入学を勧めたい。英米文学科を志望するにあたり、書物を読むことが好きだったり、英語が好き、あるいは英語が得意だったりしたら、それは好ましい出発点であり、英米文学科になじみやすいはずである。入学後は、書物をたくさん読み、学んだことを深く考え、自分の意見や思考を正確に、そして効果的に表現するように求められる。海外語学研修や留学の機会も数多く用意されているので、意欲的に挑戦してもらいたい。人間としての成長を目指すことに加え、英語科教員免許をはじめとして各種資格取得をめざしたり、大学院進学や、大学で学んだことを活かせる職業に就いたりしたいと考えている積極的な人たちを募っている。基礎的な英語の知識・運用力が不可欠である。入学までに、可能な限り、英語力の向上に努めてもらいたい。

◆◆第1部 英米文学科 卒業要件◆◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		14 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を修得すること。	
	留学支援科目	英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		20 単位以上 国際コミュニケーション科目のうち、1 年次配当の英語 4 科目 4 単位と 2 年次配当の英語 4 科目 4 単位の 8 科目 8 単位必修。 その他に 1 年次に 1 外国語 4 単位を選択必修とし、2 年次に 1 年次に選択した語学から AA・AB 又は BA・BB の組み合わせで 2 科目 2 単位を選択必修。 上記必修および選択必修をあわせて 14 単位を修得すること。	
専門科目	必修科目		36 単位	専門科目合計 76 単位以上
	選択必修科目		28 単位以上 「基礎演習」「英語学演習」「英米文学演習」「卒論セミナー」の各分野から 2 科目、「特講」から 6 科目以上選択必修	
	選択科目		12 単位以上	
教職科目			卒業単位に含めない科目	
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については 127 ページを必ず確認してください。

◆◆ 2020 年度第 1 部英米文学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
第1部 英米文学科	必修科目 36 単位	必修	SEM103	フレッシュヤーズ講読セミナーA	1	2	
		必修	SEM104	フレッシュヤーズ講読セミナーB	1	2	
		必修	ENG109	英会話 I A	1	2	
		必修	ENG110	英会話 I B	1	2	
		必修	ENL101	英語音声学演習A	1	2	
		必修	ENL102	英語音声学演習B	1	2	
		必修	ENL103	英文法概説A	1	2	
		必修	ENL104	英文法概説B	1	2	
		必修	LIE203	英文学史A	2	2	
		必修	LIE204	英文学史B	2	2	
		必修	LIE205	米文学史A	2	2	
		必修	LIE206	米文学史B	2	2	
		必修	ENG212	英会話 II A	2	2	
		必修	ENG213	英会話 II B	2	2	
		必修	ENL301	英語学概論A	3	2	
		必修	ENL302	英語学概論B	3	2	
		必修	THE407	卒業論文	4	4	
	専門科目 76 単位以上	選択	LIE207	英米文学基礎演習 I A	2	2	4 単位選択必修
		選択	LIE208	英米文学基礎演習 I B	2	2	
		選択	LIE209	英米文学基礎演習 II A	2	2	
		選択	LIE210	英米文学基礎演習 II B	2	2	
		選択	LIE211	英米文学基礎演習 III A	2	2	
		選択	LIE212	英米文学基礎演習 III B	2	2	
		選択	ENL201	英語学基礎演習 I A	2	2	
		選択	ENL202	英語学基礎演習 I B	2	2	
		選択	ENL203	英語学基礎演習 II A	2	2	12 単位選択必修
		選択	ENL204	英語学基礎演習 II B	2	2	
		選択	LIE213	英文学特講 I A	2～3	2	
		選択	LIE214	英文学特講 I B	2～3	2	
		選択	LIE215	英文学特講 II A	2～3	2	
		選択	LIE216	英文学特講 II B	2～3	2	
		選択	LIE217	英文学特講 III A	2～3	2	
		選択	LIE218	英文学特講 III B	2～3	2	
		選択	LIE219	米文学特講 I A	2～3	2	
		選択	LIE220	米文学特講 I B	2～3	2	
		選択	LIE221	米文学特講 II A	2～3	2	
		選択	LIE222	米文学特講 II B	2～3	2	
		選択	ENL205	英語学特講 I A	2～3	2	4 単位選択必修
		選択	ENL206	英語学特講 I B	2～3	2	
		選択	ENL207	英語学特講 II A	2～3	2	
		選択	ENL208	英語学特講 II B	2～3	2	
		選択	LIE301	英米文学演習 I A	3	2	
		選択	LIE302	英米文学演習 I B	3	2	
		選択	LIE303	英米文学演習 II A	3	2	
		選択	LIE304	英米文学演習 II B	3	2	
		選択	LIE305	英米文学演習 III A	3	2	
		選択	LIE306	英米文学演習 III B	3	2	
		選択	LIE307	英米文学演習 IV A	3	2	
		選択	LIE308	英米文学演習 IV B	3	2	
		選択	LIE309	英米文学演習 V A	3	2	
		選択	LIE310	英米文学演習 V B	3	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 76単位以上	選択必修科目 28単位以上	選択	ENL303	英語学演習ⅠA	3	2	4単位選択必修
		選択	ENL304	英語学演習ⅠB	3	2	
		選択	ENL305	英語学演習ⅡA	3	2	
		選択	ENL306	英語学演習ⅡB	3	2	
		選択	ENL307	英語学演習ⅢA	3	2	
		選択	ENL308	英語学演習ⅢB	3	2	
		選択	ENL309	英語学演習ⅣA	3	2	
		選択	ENL310	英語学演習ⅣB	3	2	
		選択	ENL311	英語学演習ⅤA	3	2	
		選択	ENL312	英語学演習ⅤB	3	2	
		選択	THE408	卒論セミナーⅠA	4	2	同一科目名A・B セットで4単位選択 必修
		選択	THE409	卒論セミナーⅠB	4	2	
		選択	THE410	卒論セミナーⅡA	4	2	
		選択	THE411	卒論セミナーⅡB	4	2	
		選択	THE412	卒論セミナーⅢA	4	2	
		選択	THE413	卒論セミナーⅢB	4	2	
		選択	THE414	卒論セミナーⅣA	4	2	
		選択	THE415	卒論セミナーⅣB	4	2	
		選択	THE416	卒論セミナーⅤA	4	2	
		選択	THE417	卒論セミナーⅤB	4	2	
		選択	THE418	卒論セミナーⅥA	4	2	
		選択	THE419	卒論セミナーⅥB	4	2	
		選択	THE420	卒論セミナーⅦA	4	2	
		選択	THE421	卒論セミナーⅦB	4	2	
		選択	THE422	卒論セミナーⅧA	4	2	
		選択	THE423	卒論セミナーⅧB	4	2	
		選択	THE424	卒論セミナーⅨA	4	2	
		選択	THE425	卒論セミナーⅨB	4	2	
	選択	THE426	卒論セミナーⅩA	4	2		
	選択	THE427	卒論セミナーⅩB	4	2		
	選択科目 12単位以上	選択	ENG111	時事英語A	1～2	2	
		選択	ENG112	時事英語B	1～2	2	
		選択	LIE101	英語講読演習A	1～2	2	
		選択	LIE102	英語講読演習B	1～2	2	
		選択	LIE111	英語圏の社会と文化ⅠA	1～2	2	
		選択	LIE112	英語圏の社会と文化ⅠB	1～2	2	
選択		LIE113	英語圏の社会と文化ⅡA	1～2	2		
選択		LIE114	英語圏の社会と文化ⅡB	1～2	2		
選択		ENL105	英語史A	1～2	2		
選択		ENL106	英語史B	1～2	2		
選択		ENG305	ライティングA	3～4	2		
選択		ENG306	ライティングB	3～4	2		
選択		ENG341	放送文化と英語A	3～4	2		
選択		ENG342	放送文化と英語B	3～4	2		
選択		LIE317	英語文学A	3～4	2		
選択		LIE318	英語文学B	3～4	2		
選択		LIE315	イギリス古典文学A	3～4	2		
選択		LIE316	イギリス古典文学B	3～4	2		
教職科目							
教職科目	選択	ESS226	英語科教育論Ⅰ		2	2	卒業単位に含めない 科目
	選択	ESS227	英語科教育論Ⅱ		2	2	
	選択	ESS305	英語科指導法Ⅰ		3	2	
	選択	ESS306	英語科指導法Ⅱ		3	2	
	選択	ESS401	教職実践演習(中・高)		4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

2020年度第1部英米文学科 教育課程表

[illegible]

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修 科目 36 単位	フリッシュラーズ講座セミナーA(2) フリッシュラーズ講座セミナーB(2) 英会話ⅠA(2) 英会話ⅠB(2) 英語音声学演習A(2) 英語音声学演習B(2) 英文法基礎A(2) 英文法基礎B(2)	英文学史A(2) 英文学史B(2) 米文学史A(2) 米文学史B(2) 英会話ⅠA(2) 英会話ⅠB(2)	英語学概論A(2) 英語学概論B(2)	卒業論文(4)
		英米文学基礎演習ⅠA(2) 英米文学基礎演習ⅠB(2) 英米文学基礎演習ⅡA(2) 英米文学基礎演習ⅡB(2) 英米文学基礎演習ⅢA(2) 英米文学基礎演習ⅢB(2) 英米文学基礎演習ⅣA(2) 英米文学基礎演習ⅣB(2) 英語学基礎演習ⅠA(2) 英語学基礎演習ⅠB(2) 英語学基礎演習ⅡA(2) 英語学基礎演習ⅡB(2) 英語学基礎演習ⅢA(2) 英語学基礎演習ⅢB(2)	英米文学演習ⅠA(2) 英米文学演習ⅠB(2) 英米文学演習ⅡA(2) 英米文学演習ⅡB(2) 英米文学演習ⅢA(2) 英米文学演習ⅢB(2) 英米文学演習ⅣA(2) 英米文学演習ⅣB(2) 英米文学演習ⅤA(2) 英米文学演習ⅤB(2) 2科目選択必修 英語学演習ⅠA(2) 英語学演習ⅠB(2) 英語学演習ⅡA(2) 英語学演習ⅡB(2) 英語学演習ⅢA(2) 英語学演習ⅢB(2) 英語学演習ⅣA(2) 英語学演習ⅣB(2) 英語学演習ⅤA(2) 英語学演習ⅤB(2) 2科目選択必修 英語学演習ⅠA(2) 英語学演習ⅠB(2) 英語学演習ⅡA(2) 英語学演習ⅡB(2) 英語学演習ⅢA(2) 英語学演習ⅢB(2) 英語学演習ⅣA(2) 英語学演習ⅣB(2) 英語学演習ⅤA(2) 英語学演習ⅤB(2)	卒論セミナーⅠA(2) 卒論セミナーⅠB(2) 卒論セミナーⅡA(2) 卒論セミナーⅡB(2) 卒論セミナーⅢA(2) 卒論セミナーⅢB(2) 卒論セミナーⅣA(2) 卒論セミナーⅣB(2) 卒論セミナーⅤA(2) 卒論セミナーⅤB(2) 卒論セミナーⅥA(2) 卒論セミナーⅥB(2) 卒論セミナーⅦA(2) 卒論セミナーⅦB(2) 卒論セミナーⅧA(2) 卒論セミナーⅧB(2) 卒論セミナーⅧC(2) 卒論セミナーⅧD(2) 卒論セミナーⅧE(2) 卒論セミナーⅧF(2) 卒論セミナーⅧG(2)
選択 必修 科目 28 単位 以上		2科目選択必修 英語学基礎演習ⅠA(2) 英語学基礎演習ⅠB(2) 英語学基礎演習ⅡA(2) 英語学基礎演習ⅡB(2) 英語学基礎演習ⅢA(2) 英語学基礎演習ⅢB(2) 英語学基礎演習ⅣA(2) 英語学基礎演習ⅣB(2) 英語学基礎演習ⅤA(2) 英語学基礎演習ⅤB(2)	2科目選択必修 英語学特講ⅠA(2) 英文学特講ⅠB(2) 英文学特講ⅡA(2) 英文学特講ⅡB(2) 英文学特講ⅢA(2) 英文学特講ⅢB(2) 米文学特講ⅠA(2) 米文学特講ⅠB(2) 米文学特講ⅡA(2) 米文学特講ⅡB(2) 英語学特講ⅠA(2) 英語学特講ⅠB(2) 英語学特講ⅡA(2) 英語学特講ⅡB(2)	1セット2科目選択必修 ライティングA(2) ライティングB(2) 放送文化と英語A(2) 放送文化と英語B(2) 英語文学A(2) 英語文学B(2) イギリス古典文学A(2) イギリス古典文学B(2)
他学部他学科 開放科目(自 部門開放科目)		時事英語A(2) 時事英語B(2) 英語講読演習A(2) 英語講読演習B(2) 英語圏の社会と文化ⅠA(2) 英語圏の社会と文化ⅠB(2) 英語圏の社会と文化ⅡA(2) 英語圏の社会と文化ⅡB(2) 英語史A(2) 英語史B(2)	時事英語A(2) 時事英語B(2) 英語講読演習A(2) 英語講読演習B(2) 英語圏の社会と文化ⅠA(2) 英語圏の社会と文化ⅠB(2) 英語圏の社会と文化ⅡA(2) 英語圏の社会と文化ⅡB(2) 英語史A(2) 英語史B(2)	ライティングA(2) ライティングB(2) 放送文化と英語A(2) 放送文化と英語B(2) 英語文学A(2) 英語文学B(2) イギリス古典文学A(2) イギリス古典文学B(2)
教職科目		英語科教育論Ⅰ(2) 英語科教育論Ⅱ(2)	英語科指導法Ⅰ(2) 英語科指導法Ⅱ(2)	教職実践演習(中・高)(2)

科目は別表に記載

◆◆科目の履修上の注意◆◆

国際コミュニケーション科目

1年次に英語を4単位、ドイツ語、フランス語の2カ国語から1カ国語を選択し4単位、2年次には英語を4単位、1年次に履修したドイツ語、フランス語の2カ国語から1カ国語を選択し2単位、合計14単位以上を履修かつ修得してください。

2年次に履修する第2外国語科目（ドイツ語・フランス語）について、1年次秋学期に希望調査があります。

必修科目

4年次の卒業論文の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限ります。**

「フレッシュアーズ講読セミナーA・B」、「英会話ⅠA・B」、「英会話ⅡA・B」、「英語音声学演習A・B」は、コースが指定されます。指定されたコースに従って履修してください。

選択必修科目

「卒論セミナーⅠA」～「卒論セミナーⅩA」の履修登録は第6セメスタ終了時点で未修得単位数が48単位以下の卒業見込みの学生に限ります。

◆第1部英米文学科 カリキュラムマップ◆

1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		ディプロマ・ポリシー	
第 1 セメスタ	第 2 セメスタ	第 3 セメスタ	第 4 セメスタ	第 5 セメスタ	第 6 セメスタ	第 7 セメスタ	第 8 セメスタ		
英米文学科の基礎を築く				英米文学科の総仕上げ				英語の四技能を向上させる。	
フロンティア講読セミナー A フロンティア講読セミナー B				卒業論文 卒論セミナー I～X A 卒論セミナー I～X B					
英語技能 科目群	英会話 I A	英会話 I B	英会話 II A	英会話 II B	放送文化と英語 A、放送文化と英語 B、ライティング A、ライティング B				
	時事英語 A、時事英語 B								
英米文学 科目群			英文学史 A	英文学史 B	英米の文学作品などを吟味することにより、深く感じ、考える能力を身につけて、人間の多様性を広い見地より深く理解できる人材を養成する。				
			米文学史 A	米文学史 B					
	英米文学基礎演習 I A	英米文学基礎演習 I B	英米文学演習 I A	英米文学演習 I B					
	英米文学基礎演習 II A	英米文学基礎演習 II B	英米文学演習 II A	英米文学演習 II B					
	英米文学基礎演習 III A	英米文学基礎演習 III B	英米文学演習 III A	英米文学演習 III B	英米文学演習 IV A	英米文学演習 IV B	英米文学演習 V A	英米文学演習 V B	
	英語圏の社会と文化 I A、英語圏の社会と文化 I B、英語圏の社会と文化 II A、英語圏の社会と文化 II B、英語講読演習 A、英語講読演習 B		英文学特講 I A、英文学特講 I B、英文学特講 II A、英文学特講 II B、英文学特講 III A、英文学特講 III B、米文学特講 I B、米文学特講 II A、米文学特講 II B		イギリス古典文学 A、イギリス古典文学 B、英語文学 A、英語文学 B				
英語学 科目群	英文法概説 A	英文法概説 B	英語学基礎演習 I A	英語学基礎演習 I B	英語学概論 A	英語学概論 B	英語学を学ぶことによって、言語に対する論理的な理解ができる人材を育てる。		
	英語音声学演習 A	英語音声学演習 B	英語学基礎演習 II A	英語学基礎演習 II B	英語学演習 I A	英語学演習 I B			
			英語学基礎演習 III A	英語学基礎演習 III B	英語学演習 II A	英語学演習 II B			
			英語学基礎演習 IV A	英語学基礎演習 IV B	英語学演習 III A	英語学演習 III B			
				英語学演習 IV A	英語学演習 IV B	英語学演習 V A	英語学演習 V B		
	英語史 A、英語史 B		英語学特講 I A、英語学特講 I B、英語学特講 II A、英語学特講 II B						
就職科目群		英語科教育論 I	英語科教育論 II	英語科指導法 I	英語科指導法 II	教育実習 I / II	就職実践演習		

第1部 史学科

◆◆史料・原典から事実を証明する◆◆

激動する国際情勢や日本の現状を理解するためには、過去に遡ってその歴史を学ぶことが、今まで以上に強く求められています。史学科は、1938（昭和13）年に創設された歴史と伝統を有する学科です。常に新しい歴史学の研究と教育に努力しており、勉学の意欲に燃える学生のみなさんを心から歓迎します。

本学科は各種の史料や原典をもとに歴史を実証・研究していくことを目的としています。日本史学・東洋史学・西洋史学の3専攻では、原始・古代から現代に至る政治史・法制史・対外関係史・社会史・経済史、あるいは文化史・思想史など、多方面にわたって講義・演習が行われます。しかし歴史を実証するだけでなく、その歴史的事実の中から人類の知恵を汲み取り、現代および未来に役立てることも重要な学問的使命と考えています。

史学科では、中学校社会、高等学校地理歴史・公民の教員免許が得られますが、さらに博物館概論・博物館学各論・博物館実習Ⅰ・Ⅱなどの履修によって、学芸員の資格を取得することもできます。学生は地域・時代によって、考古学・古代・中世・近世・近現代・東洋史・西洋史などいくつかの研究グループを組織し、教員の指導のもとに研究会・史跡見学・史料調査や、そのための合宿などを行っています。

本学科では各分野の権威と新進気鋭の学者を揃え、研究・教育を行っています。その研究成果は『東洋大学文学部紀要・史学科篇』として毎年公刊されています。また、学生および教員・卒業生などによって「白山史学会」が組織され、総会・大会・卒業論文発表会などが開催され、会誌『白山史学』が毎年定期発行されています。会員の投稿により掲載される論文は、学界でも高く評価され、1996年度からは日本学術会議の登録団体として認められ、学界に大いに貢献しています。

卒業生は、教員をはじめ博物館学芸員・文化財行政担当者など、歴史に関わる分野で活躍するほか、最近では公務員や民間企業などへも進出しています。

◆◆学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の育成に関する目的

本学科は歴史学を学ぶことを通じて、多様な人々の過去の営みと蓄積を理解して人類の知恵を汲み取り、現代および未来に役立てる姿勢をもつ人材を育てることを目的としている。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

歴史学は、過去の人々の歴史から現代および未来を生きる知恵を汲み取る学問であるが、その達成には過去の出来事に対する科学的で実証的な研究を必要とする。したがって科学的研究の基礎になる各種の多様な史料や原典を正確に読み解き、それを組み立てる一方、該当する問題について、これまで積み重ねられてきた研究成果を適切に学んだ上で、自分の考えを表明することのできる能力を養うことが目標である。

3. その他の教育研究上の目的

社会科教員免許状の取得、博物館学芸員や図書館司書・学校図書館司書教諭の諸資格の取得。

◆◆史学科 3つのポリシー◆◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学科の目的である、「科学的・実証的な歴史研究の研鑽を通じて、過去の人類の歴史から現在を理解し、未来に生きる知恵を汲み取ることができる能力」が養成されたとされる者に卒業を認める。それは以下のことによって証明されると考える。

1. 本学科の教育目的に沿って設定された授業科目を履修し、基準となる単位を修得すること：これによって歴史を学ぶことに必要な「多様な史料や原典を正確に読み解き、それをもとに論理的かつ創造的な思考を構築していく」能力が養われたと考える。
2. 本学科の教育目的であった「人の世のあるべき姿に向けて自律的・主体的に活動するとともに、異なる立場の人々とも、人間的なコミュニケーションの出来る」人材でとなっていること：「人類が残した過去の政治・社会の諸制度や思想・文化・芸術などの創造活動」を学ぶことが、現在を見る眼を養い、現状に対しては鋭い批判精神を育むことになる。それによって「人の世のあるべき姿」を求めて社会に働きかけることの出来る人間となっていることこそが、本学科卒業生として認定される基準である。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

多様な史料や原典を正確に読み解き、それをもとに論理的かつ創造的な思考を構築していく能力を養成するために、以下のような方針で教育課程を組み立て、実施する。

1. 1年生で歴史学研究法・歴史学入門と日本史・東洋史・西洋史概説から各2単位以上を履修し、基本的知識を習得するとともに、歴史学がどのようなことを問題としどのように問題に迫るかを学び、自分の専攻を日本史・東洋史・西洋史のいずれにするかを決定する。また、英語は本学科だけでクラスを形成し、史学科にあった英語を学ぶようにする。歴史学研究法では、発表や課題提出など学生の積極的授業参加が求められる。
2. 2年生では、自分の定めた専攻の史料研究を履修し、それぞれの領域での史料のありようと読み方を学ぶ。また同時に、特講と演習を履修し、さまざまな知識とともに歴史学の勉強の仕方を学ぶ。史料研究と演習は少人数による演習形式を取り、学生は授業への積極的参加を求められる。
3. 3年生からは卒論演習を履修し、自分の関心に沿って論文を書く準備を始める。自分の関心に基づく研究成果を発表することによって、教員と仲間の学生の批判を浴び、どのように問題を設定でき、どのように論文を作成していくかを考えていくこととなる。さらに歴史学概論を履修し、歴史学という学問の意味を深く学んで行く。また、特講と演習の習得を続け、専門的知識を深めて行く。
4. 4年生では、卒論演習によって自分の卒業論文を作成する作業を進めて行く。教員との個別的面談や発表を通しての仲間からのアドバイスをによって論文作成を進め、自らの勉学の集大成としての論文を完成させる。

◎アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

本学科は科学的・実証的な歴史研究の研鑽を通じて、過去の人類の歴史から現在を理解し、未来に生きる知恵を汲み取ることができる能力の養成を目指している。人類が残した過去の政治・社会の諸制度や思想・文化・芸術などの創造活動に学び、それらをふまえて、人の世のあるべき姿に向けて自律的・主体的に活動するとともに、異なる立場の人々とも、人間的なコミュニケーションの出来る人材を養成したい。歴史に関する学習・研究を遂行していくためには、多様な史料や原典を正確に読み解き、それをもとに論理的かつ創造的な思考を構築していくことが求められる。また読書などを通じて専門的研鑽の基礎となる知識を身につける忍耐と努力も不可欠である。そうした勉強を4年間継続できる基本的力のある者を求める。具体的には、以下の通りである。

1. きちんと日本語を読みこなしおかしくない日本語を書けること：すべての基本は読み取ることであり、言っていることを正確に把握できなければならない。ついで、自分の考えていることを正確な日本語で書いて、人に知らせることが出来なければならない。そのことの重要性を理解し、そうしようとする意欲を持つ者を求める。

2. 高校段階の日本史あるいは世界史をきちんと理解していること：本学科では2年生から日本史・東洋史・西洋史の3専攻に分かれ、それぞれに詳しいテーマを追求していく。そのためには、そのテーマについての高校段階での知識をきちんと習得している必要がある。
3. 言葉に対して強い関心を持っていること：過去の人類は、われわれと同じ言葉を使っていたわけではない。彼らの言葉を理解しようと努力することが必要である。さらに、これまでの研究は、日本語だけで書かれているわけではない。それらを吸収する力を持つことが必要である。そのためには、日本語の古文や英語をはじめ、さまざまな言葉に対する関心を持っていなければならない。高校では英語、古文、漢文を積極的に学んできて欲しい。
4. 自分の得意とする何かを持っていること：われわれの学んでいるのは過去の人間の行動であるが、人間の行動は実にさまざまで、歴史の対象は広い。数学であれ、植物の知識であれ、水泳であれ、ダンスであれ、何か得意なものを持っているとそれだけ人間についての理解は深くなる。あくまでも1～3の後であるけれど、そうした独自の視点を持てる者を求める。

◆第1部 史学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計124単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		16 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を修得していること。	
	留学支援科目	英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		18 単位以上 国際コミュニケーション科目のうち、1 年次配当の英語 4 科目 4 単位必修。その他に 1 年次に 1 カ国語 4 単位を選択必修し、2 年次に英語もしくは 1 年次に選択した語学から 4 単位を選択必修。 <u>上記必修および選択必修をあわせて 12 単位を修得すること。</u>	
	専門科目	必修科目	12 単位	専門科目合計 70 単位以上
コース別必修科目		14 単位		
選択必修科目		28 単位以上		
選択科目		16 単位以上		
教職科目			卒業単位に含めない科目	
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については127ページを必ず確認してください。

◆◆ 2020 年度第 1 部史学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目								
専門科目 70 単位以上	必修科目 12 単位	必修	HSG105	歴史学入門	1	2		
		必修	HSG106	歴史学研究法 A	1	1		
		必修	HSG107	歴史学研究法 B	1	1		
		必修	HSG301	歴史学概論	3	2		
		必修	THE428	卒業論文	4	6		
	コース別必修科目 14 単位	日本史学専攻コース	必修	JPH201	日本史史料研究 A	2	2	セット
			必修	JPH202	日本史史料研究 B	2	2	
			必修	JPH303	日本史学卒論演習Ⅰ A	3	1	
			必修	JPH304	日本史学卒論演習Ⅰ B	3	1	
			必修	JPH401	日本史学卒論演習Ⅱ A	4	1	
			必修	JPH402	日本史学卒論演習Ⅱ B	4	1	
			必修	JPH207	日本史学演習Ⅰ A	2～4	1	
			必修	JPH208	日本史学演習Ⅰ B	2～4	1	
			必修	JPH209	日本史学演習Ⅱ A	2～4	1	
			必修	JPH210	日本史学演習Ⅱ B	2～4	1	
			必修	JPH211	日本史学演習Ⅲ A	2～4	1	
			必修	JPH212	日本史学演習Ⅲ B	2～4	1	
		東洋史学専攻コース	必修	HAA201	東洋史史料研究 A	2	2	セット
			必修	HAA202	東洋史史料研究 B	2	2	
			必修	HAA303	東洋史学卒論演習Ⅰ A	3	1	
			必修	HAA304	東洋史学卒論演習Ⅰ B	3	1	
			必修	HAA401	東洋史学卒論演習Ⅱ A	4	1	
			必修	HAA402	東洋史学卒論演習Ⅱ B	4	1	
			必修	HAA207	東洋史学演習Ⅰ A	2～4	1	
			必修	HAA208	東洋史学演習Ⅰ B	2～4	1	
			必修	HAA209	東洋史学演習Ⅱ A	2～4	1	
			必修	HAA210	東洋史学演習Ⅱ B	2～4	1	
			必修	HAA211	東洋史学演習Ⅲ A	2～4	1	
			必修	HAA212	東洋史学演習Ⅲ B	2～4	1	
		西洋史学専攻コース	必修	HEA201	西洋史史料研究 A	2	2	セット
			必修	HEA202	西洋史史料研究 B	2	2	
			必修	HEA303	西洋史学卒論演習Ⅰ A	3	1	
			必修	HEA304	西洋史学卒論演習Ⅰ B	3	1	
			必修	HEA401	西洋史学卒論演習Ⅱ A	4	1	
			必修	HEA402	西洋史学卒論演習Ⅱ B	4	1	
			必修	HEA207	西洋史学演習Ⅰ A	2～4	1	
			必修	HEA208	西洋史学演習Ⅰ B	2～4	1	
			必修	HEA209	西洋史学演習Ⅱ A	2～4	1	
	必修		HEA210	西洋史学演習Ⅱ B	2～4	1		
	必修		HEA211	西洋史学演習Ⅲ A	2～4	1		
	必修		HEA212	西洋史学演習Ⅲ B	2～4	1		
	選択必修科目 28 単位以上	選択	JPH105	日本史概説 A	1	2	日本史・東洋史・西洋史の各概説から 2 単位以上、 合計 6 単位以上 選択必修	
		選択	JPH106	日本史概説 B	1	2		
選択		HAA103	東洋史概説 A	1	2			
選択		HAA104	東洋史概説 B	1	2			
選択		HEA103	西洋史概説 A	1	2			
選択		HEA104	西洋史概説 B	1	2			
選択		JPH205	日本史学特講 A	2～4	2	18 単位以上 選択必修		
選択		JPH206	日本史学特講 B	2～4	2			
選択		HAA205	東洋史学特講 A	2～4	2			
選択		HAA206	東洋史学特講 B	2～4	2			
選択		HEA205	西洋史学特講 A	2～4	2			
選択		HEA206	西洋史学特講 B	2～4	2			
選択		HIT205	東西思想史特講 A	2～4	2			
選択		HIT206	東西思想史特講 B	2～4	2			
選択		HAA213	東洋宗教史特講 A	2～4	2			
選択	HAA214	東洋宗教史特講 B	2～4	2				
選択	HEA215	西洋宗教史特講 A	2～4	2				

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目
2 部開講 … 第 2 部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目 70 単位以上	選択必修科目 28 単位以上	選択	HEA216	西洋宗教史特講 B	2 ～ 4	2	18 単位以上 選択必修	
		選択	ECH206	日本経済史特講 A	2 ～ 4	2		
		選択	ECH207	日本経済史特講 B	2 ～ 4	2		
		選択	ECH208	世界経済史特講 A	2 ～ 4	2		
		選択	ECH209	世界経済史特講 B	2 ～ 4	2		
		選択	JPH213	日本宗教史演習 A	2 ～ 4	1		
		選択	JPH214	日本宗教史演習 B	2 ～ 4	1		
		選択	HEA213	西洋思想史演習 A	2 ～ 4	1		
		選択	HEA214	西洋思想史演習 B	2 ～ 4	1		
	選択科目 16 単位以上	日本史学専攻コース	選択	HAA207	東洋史学演習Ⅰ A	2 ～ 4	1	
			選択	HAA208	東洋史学演習Ⅰ B	2 ～ 4	1	
			選択	HAA209	東洋史学演習Ⅱ A	2 ～ 4	1	
			選択	HAA210	東洋史学演習Ⅱ B	2 ～ 4	1	
			選択	HAA211	東洋史学演習Ⅲ A	2 ～ 4	1	
			選択	HAA212	東洋史学演習Ⅲ B	2 ～ 4	1	
			選択	HEA207	西洋史学演習Ⅰ A	2 ～ 4	1	
			選択	HEA208	西洋史学演習Ⅰ B	2 ～ 4	1	
			選択	HEA209	西洋史学演習Ⅱ A	2 ～ 4	1	
			選択	HEA210	西洋史学演習Ⅱ B	2 ～ 4	1	
			選択	HEA211	西洋史学演習Ⅲ A	2 ～ 4	1	
			選択	HEA212	西洋史学演習Ⅲ B	2 ～ 4	1	
		東洋史学専攻コース	選択	JPH207	日本史学演習Ⅰ A	2 ～ 4	1	
			選択	JPH208	日本史学演習Ⅰ B	2 ～ 4	1	
			選択	JPH209	日本史学演習Ⅱ A	2 ～ 4	1	
			選択	JPH210	日本史学演習Ⅱ B	2 ～ 4	1	
			選択	JPH211	日本史学演習Ⅲ A	2 ～ 4	1	
			選択	JPH212	日本史学演習Ⅲ B	2 ～ 4	1	
			選択	HEA207	西洋史学演習Ⅰ A	2 ～ 4	1	
			選択	HEA208	西洋史学演習Ⅰ B	2 ～ 4	1	
			選択	HEA209	西洋史学演習Ⅱ A	2 ～ 4	1	
			選択	HEA210	西洋史学演習Ⅱ B	2 ～ 4	1	
			選択	HEA211	西洋史学演習Ⅲ A	2 ～ 4	1	
			選択	HEA212	西洋史学演習Ⅲ B	2 ～ 4	1	
		西洋史学専攻コース	選択	JPH207	日本史学演習Ⅰ A	2 ～ 4	1	
			選択	JPH208	日本史学演習Ⅰ B	2 ～ 4	1	
			選択	JPH209	日本史学演習Ⅱ A	2 ～ 4	1	
			選択	JPH210	日本史学演習Ⅱ B	2 ～ 4	1	
			選択	JPH211	日本史学演習Ⅲ A	2 ～ 4	1	
			選択	JPH212	日本史学演習Ⅲ B	2 ～ 4	1	
			選択	HAA207	東洋史学演習Ⅰ A	2 ～ 4	1	
			選択	HAA208	東洋史学演習Ⅰ B	2 ～ 4	1	
			選択	HAA209	東洋史学演習Ⅱ A	2 ～ 4	1	
			選択	HAA210	東洋史学演習Ⅱ B	2 ～ 4	1	
			選択	HAA211	東洋史学演習Ⅲ A	2 ～ 4	1	
			選択	HAA212	東洋史学演習Ⅲ B	2 ～ 4	1	
		全専攻コース共通	選択	CUA210	日本民俗学の諸問題	2 ～ 4	2	いずれか
選択			JLT267	平安朝文化の世界	2 ～ 4	2		
選択			JLT268	室町・戦国文化の世界	2 ～ 4	2		
選択			ARC201	考古学研究 A	2 ～ 4	2		
選択			ARC202	考古学研究 B	2 ～ 4	2		
選択			LIN201	ラテン語 A	2 ～ 4	1		
選択			LIN202	ラテン語 B	2 ～ 4	1		
選択			LIN203	ギリシア語 A	2 ～ 4	1		
選択			LIN204	ギリシア語 B	2 ～ 4	1		
選択	JPH107		古文書学Ⅰ A	1 ～ 4	2			
選択	JPH108		古文書学Ⅰ B	1 ～ 4	2			
選択	JPH109		古文書学Ⅱ A	1 ～ 4	2			
選択	JPH110		古文書学Ⅱ B	1 ～ 4	2			
選択	CIB108		インド思想史 A	1 ～ 4	2			
選択	CIB109		インド思想史 B	1 ～ 4	2			
選択	JLT151		日本文学の歴史(上代)	1 ～ 3	2			
選択	JLT152		日本文学の歴史(中古)	1 ～ 3	2			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分		必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 70単位以上	選択科目 16単位以上	専攻コース共通	選択	JLT153	日本文学の歴史(中世)	1～3	2	
			選択	JLT154	日本文学の歴史(近世)	1～3	2	
			選択	JLT155	日本文学の歴史(近代)	1～3	2	
			選択	JLT156	日本文学の歴史(現代)	1～3	2	
			選択	JPH117	日本史A	1～4	2	
			選択	JPH118	日本史B	1～4	2	
			選択	HSG114	外国史A	1～4	2	
			選択	HSG115	外国史B	1～4	2	
			選択	CAS103	博物館概論	1	2	
			選択	CAS201	博物館資料論	2～4	2	
			選択	CAS202	博物館展示論	2	2	
			選択	CAS302	博物館実習ⅠA	3	1	
			選択	CAS303	博物館実習ⅠB	3	1	
選択	CAS401	博物館実習Ⅱ	4	1				
教職科目								
教職科目	選択	HUG201	人文地理学A	1～2	2	卒業単位に含めない科目		
	選択	HUG202	人文地理学B	1～2	2			
	選択	GGR103	自然地理学A	1～2	2			
	選択	GGR104	自然地理学B	1～2	2			
	選択	HUG203	地誌学A	1～2	2			
	選択	HUG204	地誌学B	1～2	2			
	選択	POL201	政治学原論A	2	2			
	選択	POL202	政治学原論B	2	2			
	選択	ILA201	国際法ⅠA	2	2			
	選択	ILA202	国際法ⅠB	2	2			
	選択	ESS308	社会・地歴指導法Ⅰ	3	2			
	選択	ESS309	社会・地歴指導法Ⅱ	3	2			
	選択	ESS310	社会・公民指導法Ⅰ	3	2			
	選択	ESS311	社会・公民指導法Ⅱ	3	2			
選択	ESS401	教職実践演習(中・高)	4	2				

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

第1部 史学科

2020年度第1部史学科 教育課程表

区分	分野	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
文学部教育	専攻学修(上)中上程度	生涯学習概論Ⅰ(2)	生涯学習概論Ⅱ(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2) 倫理学概論A(2) 倫理学概論B(2)
	特別支援教育概論Ⅰ(2)	比較文学Ⅰ(2)	比較文学Ⅱ(2)		
	英語圏の社会と文化ⅠA(2)	英語圏の社会と文化ⅠB(2)	英語圏の社会と文化ⅡA(2)	英語圏の社会と文化ⅡB(2)	
	中国学概論A(2)	中国学概論B(2)	中国学概論A(2)	中国学概論B(2)	
	英文学特講ⅠA(2)	英文学特講ⅠB(2)	英文学特講ⅡA(2)	英文学特講ⅡB(2)	
	英文学特講ⅢA(2)	英文学特講ⅢB(2)	英文学特講ⅣA(2)	英文学特講ⅣB(2)	
	英文学特講ⅤA(2)	英文学特講ⅤB(2)	英文学特講ⅥA(2)	英文学特講ⅥB(2)	
	英文学特講ⅦA(2)	英文学特講ⅦB(2)	英文学特講ⅧA(2)	英文学特講ⅧB(2)	
	英文学特講ⅨA(2)	英文学特講ⅨB(2)	英文学特講ⅩA(2)	英文学特講ⅩB(2)	
	英文学特講ⅪA(2)	英文学特講ⅪB(2)	英文学特講ⅫA(2)	英文学特講ⅫB(2)	
文学部基礎専門科目	インド文化概論A(2)	インド文化概論B(2)	インド文化概論C(2)	インド文化概論D(2)	インド文化概論E(2)
	現代のインド思想(2)	現代のインド思想(2)	現代のインド思想(2)	現代のインド思想(2)	現代のインド思想(2)
	日本美術の社会と文化ⅠA(2)	日本美術の社会と文化ⅠB(2)	日本美術の社会と文化ⅡA(2)	日本美術の社会と文化ⅡB(2)	日本美術の社会と文化ⅢA(2)
	フランス文化と文学研究A(2)	フランス文化と文学研究B(2)	フランス文化と文学研究C(2)	フランス文化と文学研究D(2)	フランス文化と文学研究E(2)
	認知と言語(2)	認知と言語(2)	認知と言語(2)	認知と言語(2)	認知と言語(2)
	心理学的研究と理論(2)	心理学的研究と理論(2)	心理学的研究と理論(2)	心理学的研究と理論(2)	心理学的研究と理論(2)
	小学英語特講(2)	小学英語特講(2)	小学英語特講(2)	小学英語特講(2)	小学英語特講(2)
	現代英語学基礎概説A(2)	現代英語学基礎概説B(2)	現代英語学基礎概説C(2)	現代英語学基礎概説D(2)	現代英語学基礎概説E(2)
	西洋哲学史基礎概説A(2)	西洋哲学史基礎概説B(2)	西洋哲学史基礎概説C(2)	西洋哲学史基礎概説D(2)	西洋哲学史基礎概説E(2)
	論理学概論A(2)	論理学概論B(2)	論理学概論C(2)	論理学概論D(2)	論理学概論E(2)
文学部基礎科目18単位以上	英語	英定英語A(2)	英定英語B(2)	英定英語C(2)	英定英語D(2)
	英語	英語ⅠAA(1)	英語ⅠAB(1)	英語ⅠBA(1)	英語ⅠBB(1)
	英語	英語ⅡAA(1)	英語ⅡAB(1)	英語ⅡBA(1)	英語ⅡBB(1)
	英語	英語ⅢAA(1)	英語ⅢAB(1)	英語ⅢBA(1)	英語ⅢBB(1)
	英語	英語ⅣAA(1)	英語ⅣAB(1)	英語ⅣBA(1)	英語ⅣBB(1)
	英語	英語ⅤAA(1)	英語ⅤAB(1)	英語ⅤBA(1)	英語ⅤBB(1)
	英語	英語ⅥAA(1)	英語ⅥAB(1)	英語ⅥBA(1)	英語ⅥBB(1)
	英語	英語ⅦAA(1)	英語ⅦAB(1)	英語ⅦBA(1)	英語ⅦBB(1)
	英語	英語ⅧAA(1)	英語ⅧAB(1)	英語ⅧBA(1)	英語ⅧBB(1)
	英語	英語ⅨAA(1)	英語ⅨAB(1)	英語ⅨBA(1)	英語ⅨBB(1)
国際コミュニケーション科目2単位以上	4単位必修	トイズ語ⅠAA(1)	トイズ語ⅠAB(1)	トイズ語ⅠBA(1)	トイズ語ⅠBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅡAA(1)	トイズ語ⅡAB(1)	トイズ語ⅡBA(1)	トイズ語ⅡBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅢAA(1)	トイズ語ⅢAB(1)	トイズ語ⅢBA(1)	トイズ語ⅢBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅣAA(1)	トイズ語ⅣAB(1)	トイズ語ⅣBA(1)	トイズ語ⅣBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅤAA(1)	トイズ語ⅤAB(1)	トイズ語ⅤBA(1)	トイズ語ⅤBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅥAA(1)	トイズ語ⅥAB(1)	トイズ語ⅥBA(1)	トイズ語ⅥBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅦAA(1)	トイズ語ⅦAB(1)	トイズ語ⅦBA(1)	トイズ語ⅦBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅧAA(1)	トイズ語ⅧAB(1)	トイズ語ⅧBA(1)	トイズ語ⅧBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅨAA(1)	トイズ語ⅨAB(1)	トイズ語ⅨBA(1)	トイズ語ⅨBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅩAA(1)	トイズ語ⅩAB(1)	トイズ語ⅩBA(1)	トイズ語ⅩBB(1)
国際コミュニケーション科目2単位以上	4単位必修	トイズ語ⅪAA(1)	トイズ語ⅪAB(1)	トイズ語ⅪBA(1)	トイズ語ⅪBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅫAA(1)	トイズ語ⅫAB(1)	トイズ語ⅫBA(1)	トイズ語ⅫBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅬAA(1)	トイズ語ⅬAB(1)	トイズ語ⅬBA(1)	トイズ語ⅬBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅭAA(1)	トイズ語ⅭAB(1)	トイズ語ⅭBA(1)	トイズ語ⅭBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅮAA(1)	トイズ語ⅮAB(1)	トイズ語ⅮBA(1)	トイズ語ⅮBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅯAA(1)	トイズ語ⅯAB(1)	トイズ語ⅯBA(1)	トイズ語ⅯBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅰAA(1)	トイズ語ⅰAB(1)	トイズ語ⅰBA(1)	トイズ語ⅰBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅱAA(1)	トイズ語ⅱAB(1)	トイズ語ⅱBA(1)	トイズ語ⅱBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅲAA(1)	トイズ語ⅲAB(1)	トイズ語ⅲBA(1)	トイズ語ⅲBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅴAA(1)	トイズ語ⅴAB(1)	トイズ語ⅴBA(1)	トイズ語ⅴBB(1)
国際コミュニケーション科目2単位以上	4単位必修	トイズ語ⅵAA(1)	トイズ語ⅵAB(1)	トイズ語ⅵBA(1)	トイズ語ⅵBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅶAA(1)	トイズ語ⅶAB(1)	トイズ語ⅶBA(1)	トイズ語ⅶBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅷAA(1)	トイズ語ⅷAB(1)	トイズ語ⅷBA(1)	トイズ語ⅷBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅸAA(1)	トイズ語ⅸAB(1)	トイズ語ⅸBA(1)	トイズ語ⅸBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅹAA(1)	トイズ語ⅹAB(1)	トイズ語ⅹBA(1)	トイズ語ⅹBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅺAA(1)	トイズ語ⅺAB(1)	トイズ語ⅺBA(1)	トイズ語ⅺBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅻAA(1)	トイズ語ⅻAB(1)	トイズ語ⅻBA(1)	トイズ語ⅻBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅼAA(1)	トイズ語ⅼAB(1)	トイズ語ⅼBA(1)	トイズ語ⅼBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅽAA(1)	トイズ語ⅽAB(1)	トイズ語ⅽBA(1)	トイズ語ⅽBB(1)
	トイズ語	トイズ語ⅾAA(1)	トイズ語ⅾAB(1)	トイズ語ⅾBA(1)	トイズ語ⅾBB

[illegible]

(注)教職科目は、卒業単位に含まれません。

◆◆ 科目の履修上の注意 ◆◆

国際コミュニケーション科目

1 年次に英語 4 単位、ドイツ語・フランス語・中国語の 3 カ国語から 1 カ国語を選択し 4 単位、2 年次には 1 年次に履修した 2 カ国語から 1 カ国語を選択し 4 単位、合計 12 単位以上を履修かつ修得してください。西洋史学を専攻する場合は、ドイツ語、フランス語を選択することが望ましいです。

2 年次に履修する国際コミュニケーション科目について、1 年次秋学期に希望調査があります。

必修科目

4 年次の卒業論文の履修登録は、**第 7 セメスタ終了時点で未修得単位数が 24 単位以下の卒業見込みの学生に限り**ます。

原級した場合の卒論演習Ⅱの履修について（第 9 セメスタ以降対象）

第 9 セメスタ以降の学生で「卒論演習Ⅱ A」「卒論演習Ⅱ B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論演習Ⅱ A」を秋学期に、「卒論演習Ⅱ B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

選択必修科目

「日本史学特講 A」「日本史学特講 B」「東洋史学特講 A」「東洋史学特講 B」「西洋史学特講 A」「西洋史学特講 B」は、同年次において同一名称科目を複数履修し、単位を修得することができます。また、異なる年次において既に単位を修得した「日本史学特講 A」「日本史学特講 B」「東洋史学特講 A」「東洋史学特講 B」「西洋史学特講 A」「西洋史学特講 B」を履修し、修得することができます。

選択科目

他専攻コースの演習は、同年次において同一名称科目を複数履修し、単位を修得することができます。また、異なる年次において既に単位を修得した演習科目を履修し、修得することができます。

セット履修科目について

セット履修科目に指定された科目は、同一名称の科目 A（春学期開講）と科目 B（秋学期開講）を同一年度にセットで履修することを原則とします。もしやむを得ず年度途中で履修変更を希望する場合は、学科の定める手続きに従って申請してください。

大学院科目について

史学科では、文学研究科史学専攻博士前期課程の授業について、下記の条件のもとで聴講を認めます。

①聴講可能科目

日本史学特論Ⅰ～Ⅴ、東洋史学特論Ⅰ～Ⅲ、西洋史学特論Ⅰ～Ⅳ、

日本史学演習Ⅰ～Ⅴ、東洋史学演習Ⅰ～Ⅲ、西洋史学演習Ⅰ～Ⅳ

②聴講については、授業初回時に担当教員の許可が必要です。ただし、担当者が非常勤教員の場合には、受講学生が参加する予定の卒論演習の担当教員の許可を合わせて必要とします。

③聴講対象学生

史学科在学の 3、4 年生とします。

④単位の修得は認めません。

◆第1部史学科 カリキュラムマップ◆

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		対応DP
春 (第1セメスタ)	秋 (第2セメスタ)	春 (第3セメスタ)	秋 (第4セメスタ)	春 (第5セメスタ)	秋 (第6セメスタ)	春 (第7セメスタ)	秋 (第8セメスタ)	
古文書学ⅠA 古文書学ⅡA	古文書学ⅠB 古文書学ⅡB	日本史史料研究A・B 東洋史史料研究A・B 西洋史史料研究A・B	日本史史料研究A・B 東洋史史料研究A・B 西洋史史料研究A・B	日本史学演習A 東洋史学演習A 西洋史学演習A	日本史学演習B 東洋史学演習B 西洋史学演習B	日本史学演習A 東洋史学演習A 西洋史学演習A	日本史学演習B 東洋史学演習B 西洋史学演習B	①多様な史料や原典を読み解く能力
		ラテン語A・B ギリシア語A・B						②論理的かつ創造的な思考を構築していく能力
日本史概説A 東洋史概説A 西洋史概説A	日本史概説B 東洋史概説B 西洋史概説B	日本史学特講A 東洋史学特講A 西洋史学特講A	日本史学特講B 東洋史学特講B 西洋史学特講B	日本史学特講A 東洋史学特講A 西洋史学特講A	日本史学特講B 東洋史学特講B 西洋史学特講B	日本史学特講A 東洋史学特講A 西洋史学特講A	日本史学特講B 東洋史学特講B 西洋史学特講B	③世界のあるべき姿に向けて自律的・主体的に活動すると共に異なる立場の人々とも人間的なコミュニケーションのできる能力
歴史学入門・歴史学研究法A	歴史学研究法B	日本文学の歴史(上代・中古・中世・近代・現代)						④人類が残した過去の政治・社会の諸制度や思想・文化・芸術などの創造的活動に学び、現状批判を含む適切な現状認識のできる能力
		インド思想史A・B						
		考古学研究A・B 室町・戦国文化の世界	日本民俗学の諸問題 平安朝文化の世界					
卒業論文・日本史学卒論演習B・東洋史学卒論演習B・西洋史学卒論演習B								
日本史学卒論演習A・東洋史学卒論演習A・西洋史学卒論演習A								
日本史学卒論演習B・東洋史学卒論演習B・西洋史学卒論演習B・歴史学概論								
日本史学卒論演習A・東洋史学卒論演習A・西洋史学卒論演習A								



教育課程及び履修に際しての注意

第1部 教育学科

◆◆明日のための教育学 ―ともに学び、ともに育つ―◆◆

教育学とは、人間が学び、生涯にわたって「よりよく生きる」ことを支える学問です。学校教育や特別支援教育、社会教育などの研究領域で、「人間にとって学びとは何か」「発達とは何か」「学びや発達をどう支えるか」など、さまざまな問いが立てられ、研究が進められています。

東洋大学文学部教育学科は、これまで「人間の発達」を生涯にわたるものとしてとらえ、人々の豊かな暮らしや住みよい社会の実現に貢献する学生を育ててきました。そして、現在は現代社会が抱える諸問題の解決に他者と協働しながら創造的に取り組むことのできる21世紀のリーダーを送り出すため、「人間発達専攻」と「初等教育専攻」の2専攻体制で、より広範で充実した教育の実現を目指しています。

「人間発達専攻」では、「人間の発達」を総合的にとらえ、人間の発達と社会の発展に貢献できる力量の獲得をめざし、「生涯にわたる教育」のあり方を追究します。

「初等教育専攻」では、急激に変化する環境のなかで成長・発達する子どもについて深く理解する力と豊かな人間性を備えた小学校教員の養成を目指します。

◆◆教育学科教育研究上の目的◆◆

人間発達専攻

1. 人材の養成に関する目的

「生涯にわたる教育」の在り方を追究するなかで、「人間の発達」を総合的にとらえ、人間の発達と社会の発展に貢献できる21世紀のリーダーとなりうる人材の養成を目指す。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

「人間の発達」を、直線的な心身の成長だけではなく、生涯にわたる人間の変化そのものとしてとらえ、人や社会、文化に対する理解を深め、現代社会が直面する課題を主体的に解決することのできる「生涯学習基礎力」を修得させる。そのために、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域からなるカリキュラムにもとづいた専門的な力量を身につけさせる。

初等教育専攻

1. 人材の養成に関する目的

子どもを取り巻く環境を広く立体的にとらえる視野と豊かな人間性を備えた小学校教員の養成を目指す。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

第1に、各教科の指導法や教材研究の力量など、確かな授業力を身につけさせる。第2に、国際化と多文化共生への理解を深め、児童を対象とした英語の指導力を養う。第3に、特別な教育的ニーズをもつ子どもたちへの支援と教育のための専門的力量を育成する。そして第4に、学校と地域・家庭との協力や連携を促す力量を養成する。

3. その他の教育研究上の目的

特に、「往還型教育実習（東洋大学モデル）」を運用することによって、学校現場の課題にも対応できる実践力を備えた教員の養成を目指す。

◆◆教育学科人間発達専攻 3つのポリシー◆◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

人間発達専攻では、「人間の発達」を総合的にとらえ、人間の発達と社会の発展に貢献できる力量

の形成をもって学位授与の基本方針とする。具体的には、現代社会の課題を主体的に解決するための「生涯学習基礎力」を身につけさせる。そのために、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の各領域にかかわる専門的な力量の獲得を目指す。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人間発達専攻では、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。

- (1) 初年次教育の充実を図るため、「大学生として学ぶ」「教育学演習Ⅰ」を必修とする。
- (2) 学生が主体的に学ぶ力量を育てるため、すべての学生に少人数教育の機会を保障し、4年間にわたってゼミナールを必修とする。
- (3) 教育という営みを総合的にとらえるため、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域を設定し、各領域の理論的・実践的課題について、基礎的知識の獲得と発展的研究をおこなう。
- (4) すべての学生に卒業論文執筆を課し、これをもって学士課程修了に十分な能力を獲得したかどうかの規準とする。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

人間発達専攻では、学士課程教育を行うにあたり、次のような学生を受け入れることとする。

- (1) 現代社会が直面する課題の解決に自ら取り組もうとする主体性と学習意欲をもつ学生。
- (2) 人間と社会について深い洞察力を持ち、思考力と表現力に富む学生。
- (3) 人間の成長・発達に深い関心を持ち、将来教養育てる実践を通して社会に貢献する意欲のある学生。

なお、教員を志望する場合には次のことが特に求められる。

- ①教員には広範な知識と教養、人間性が求められるため、教科の学習だけでなく、社会的活動、文化・芸術活動などにも積極的に取り組むこと。
- ②国語、特に現代国語において、論説文などの論理的文章を十分に理解するとともに、自らの考えを論理的に表現できるようにしていくこと。
- ③政治・経済など、現代の広範な地球規模の社会事象について、歴史的観点を含めて、関心を持ち、基礎的な知識を獲得しておくこと。

◆教育学科初等教育専攻 3つのポリシー◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

初等教育専攻では、子どもを取り巻く環境を広く立体的にとらえる視野と豊かな人間性を備えた、小学校教員として求められる力量の形成をもって学位授与の基本方針とする。とりわけ、①確かな授業力、②国際化と多文化共生への理解にもとづく広い視野と指導力、③特別な教育的ニーズをもつ子どもの支援にかかわる知識や技術、④地域や家庭との協力や連携を促す力量、を重視する。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

初等教育専攻では、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。

- (1) 初年次教育の充実を図るため、「大学生として学ぶ」と「教育学演習Ⅰ」を必修とする。
- (2) 学生が主体的に学ぶ力量を育てるため、すべての学生に少人数教育の機会を保障し、4年間にわたってゼミナールを必修とする。
- (3) 教育という営みを総合的にとらえるため、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域を設定し、各領域の理論的・実践的課題について、基礎的知識の獲得と発展的研究をおこなう。
- (4) 実践的指導力を育てるため、実習協力校での学習と大学での学習とを結びつけた「往還型教育実習」を実施する。
- (5) すべての学生に卒業論文執筆を課し、これをもって学士課程修了に十分な能力を獲得したかどうかの規準とする。

◎アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

初等教育専攻では、学士課程教育を行うにあたり、次のような学生を受け入れることとする。

- (1) 現代社会が直面する課題の解決に自ら取り組もうとする主体性と学習意欲をもつ学生。
- (2) 人間と社会について深い洞察力を持ち、思考力と表現力に富む学生。
- (3) 人間の成長・発達に深い関心を持ち、将来教え育てる実践を通して社会に貢献する意欲のある学生。

特に、小学校教員を志望するのであるから、次の諸点に留意して常日頃学んでいること。

- ①小学校教員として指導することを前提に、すべての教科についての基礎的知識を十分に習得しておくこと。
- ②小学校教員には専門性（得意分野）が求められているので、得意な教科については発展的な学習を心がけること。
- ③教員には広範な知識と教養、人間性が求められるため、教科の学習だけでなく、社会的活動、文化・芸術活動などにも積極的に取り組むこと。
- ④国語、特に現代国語において、論説文などの論理的文章を十分に理解するとともに、自らの考えを論理的に表現できるようにしておくこと。
- ⑤政治・経済など、現代の地球規模の社会諸事象について、歴史的観点を含めて、関心を持ち、基礎的知識を獲得しておくこと。
- ⑥外国語教育の指導を行うことを踏まえ、英語に興味・関心を持ち、英語を用いた積極的なコミュニケーション能力の習得に努めること。

◆第1部 教育学科人間発達専攻・初等教育専攻 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分		分類	必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		16 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を修得すること。	
	留学支援科目	英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		16 単位以上 国際コミュニケーション科目のうち、1 年次配当の英語 4 科目 4 単位と 2 年次配当の英語 4 科目 4 単位の 8 科目 8 単位必修、その他 1 年次配当の 1 カ国語 4 単位以上選択必修。 上記必修および選択必修を合わせて 12 単位を修得すること。	
人間発達専攻 専門科目	必修科目		32 単位	専門科目合計 74 単位以上
	選択科目	教育と現代社会 心理学と発達臨床 社会教育 学校教育 特別支援教育	42 単位以上	
初等教育専攻 専門科目	必修科目		30 単位	
	選択科目		16 単位以上	
	初等教育共通科目	必修科目	20 単位	初等教育共通科目 合計 36 単位以上
		選択必修科目	14 単位以上	
		選択科目		
教職科目			※人間発達専攻のみ。卒業単位に含めない科目	
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については 127 ページを必ず確認してください。

◆◆ 2020 年度第 1 部教育学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考		
人間発達専攻 専門科目									
専門科目 74単位以上	必修科目 32単位	必修	EDU105	教育学概論	1～2	2	セット		
		必修	EDP101	教育心理学概論	1～2	2			
		必修	EDU106	生涯学習概論Ⅰ	1～2	2			
		必修	EDU107	教職論	1～2	2			
		必修	EDP102	生涯発達心理学	1～2	2			
		必修	SNE118	特別支援教育基礎論	1～2	2			
		必修	SEM105	大学生として学ぶ	1	2			
		必修	SEM106	教育学演習Ⅰ	1	2			
		必修	SEM203	教育学演習ⅡA	2	2			
		必修	SEM204	教育学演習ⅡB	2	2			
		必修	SEM303	教育学演習ⅢA	3	2			
		必修	SEM304	教育学演習ⅢB	3	2			
		必修	THE429	教育学卒論演習A	4	1			
		必修	THE430	教育学卒論演習B	4	1			
		必修	THE431	卒業論文	4	6			
	選択科目 42単位以上	教育と現代社会	選択	SOE101	教育の現代的課題	1～4	2	相互聴講	
			選択	SOE201	教育とシチズンシップ	1～4	2		
			選択	JPH113	社会文化史(日本)	1～4	2		
			選択	HEA105	社会文化史(西洋)	1～4	2		
			選択	HUG103	文化地誌学	1～4	2		
			選択	EDU108	教育思想	1～4	2		
			選択	EDU109	比較政策論	1～4	2		
			選択	SOE102	学校教育社会学	1～4	2		
			選択	SOE103	比較社会論	1～4	2		
			選択	HIT103	アメリカ思想史	1～4	2		
			選択	SOE109	社会学	1～4	2		
			選択	ECO105	経済学	1～4	2		
		選択	ECO208	経済と教育	1～4	2			
		教育と現代社会	選択	PHE142	哲学概説	1～4	2	相互聴講	
			選択	PHE143	倫理学概説	1～4	2		
			選択	JPH119	日本史A	1～4	2		
			選択	JPH120	日本史B	1～4	2		
			選択	HSG116	外国史A	1～4	2		
			選択	HSG117	外国史B	1～4	2		
		心理学と発達臨床	選択	EDP103	心理学研究の技法	1～4	2		
			選択	EDP203	教育相談の理論と方法	1～4	2		
			選択	EDP104	家族心理学	1～4	2		
			選択	CLI101	カウンセリングの理論と実際	1～4	2		
			選択	PSY108	心理学の研究と理論	1～4	2		
			選択	SNE102	発達障害児・者の心理	1～4	2		
			社会教育	選択	EDU110	生涯学習概論Ⅱ	1～4		2
				選択	EDU111	女性問題と学習	1～4		2
選択	EDU112	社会教育課題研究Ⅰ		1～4	2				
選択	EDU113	社会教育課題研究Ⅱ		1～4	2				
選択	EDU114	グローバル化と学習		1～4	2				
選択	EDU115	家庭教育論		1～4	2				
選択	EDU201	社会教育経営論Ⅰ		1～4	2				
選択	EDU202	社会教育経営論Ⅱ		1～4	2				
選択	EDU116	視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)		1～4	2				
選択	EDU205	生涯学習支援論Ⅰ		1～4	2				
選択	EDU206	生涯学習支援論Ⅱ		1～4	2				
学校教育	選択	EDU207	社会教育実習	2～4	1				
	選択	EDU117	授業論	1～4	2				
	選択	EDU118	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	1～4	2				
	選択	ESS204	道徳教育論	1～4	2				
	選択	ESS109	生徒指導・進路指導論	1～4	2				
	選択	ESS233	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1～4	2				
選択	EDU119	児童文化研究	1～4	2					
選択	EDU121	教育課程論	1～4	2					

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目
 2 部開講・・・第 2 部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第 1 部・第 2 部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分		必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 74 単位以上	選択科目 42 単位以上	特別支援教育	選択	SNE101	特別支援教育概論Ⅰ	1～3	2	
			選択	SNE103	特別支援教育概論Ⅱ	1～3	2	
			選択	SNE104	知的障害教育総論	1～3	2	
			選択	SNE105	視覚障害教育総論	1～3	2	
			選択	SNE106	聴覚障害教育総論	1～3	2	
			選択	SNE107	肢体不自由教育総論	1～3	2	
			選択	SNE108	病弱児の指導法	1～3	2	
			選択	SNE109	知的障害児・者の心理と臨床	1～3	2	
			選択	SNE110	ユニバーサルデザイン教育Ⅰ	1～3	2	
			選択	SNE202	知的障害教育課程論	2～3	2	
			選択	SNE203	病弱児の病理と臨床	2～3	2	
			選択	SNE204	肢体不自由教育課程論	2～3	2	
			選択	SNE205	肢体不自由児・者の教育臨床	2～3	2	
			選択	SNE206	肢体不自由児の指導法	2～3	2	
	選択	SNE401	特別支援学校教育実習Ⅰ（事前指導を含む）	4	2			
	選択	SNE402	特別支援学校教育実習Ⅱ（事後指導を含む）	4	2			
教職科目								
教職科目			選択	CIL203	民法A	2～4	2	卒業単位に含めない科目
			選択	CIL204	民法B	2～4	2	
			選択	POL201	政治学原論A	2	2	
			選択	POL202	政治学原論B	2	2	
			選択	ILA201	国際法ⅠA	2	2	
			選択	ILA202	国際法ⅠB	2	2	
			選択	HUG201	人文地理学A	1～2	2	
			選択	HUG202	人文地理学B	1～2	2	
			選択	HUG203	地誌学A	1～2	2	
			選択	HUG204	地誌学B	1～2	2	
			選択	GGR103	自然地理学A	1～2	2	
			選択	GGR104	自然地理学B	1～2	2	
			選択	ESS402	教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）	4	5	
			選択	ESS403	教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）	4	3	
選択	ESS401	教職実践演習（中・高）	4	2				
初等教育専攻								
専門科目								
専門科目 82 単位以上	必修科目 30 単位		必修	EDU105	教育学概論	1～2	2	セット
			必修	EDP101	教育心理学概論	1～2	2	
			必修	EDU106	生涯学習概論Ⅰ	1～2	2	
			必修	EDU107	教職論	1～2	2	
			必修	SNE118	特別支援教育基礎論	1～2	2	
			必修	SEM105	大学生として学ぶ	1	2	
			必修	SEM106	教育学演習Ⅰ	1	2	
			必修	SEM203	教育学演習ⅡA	2	2	
			必修	SEM204	教育学演習ⅡB	2	2	
			必修	SEM303	教育学演習ⅢA	3	2	
			必修	SEM304	教育学演習ⅢB	3	2	
			必修	THE429	教育学卒論演習A	4	1	
			必修	THE430	教育学卒論演習B	4	1	
			必修	THE431	卒業論文	4	6	
	選択科目 16 単位以上	教育と現代社会	選択	SOE101	教育の現代的課題	1～4	2	相互聴講
			選択	SOE201	教育とシチズンシップ	1～4	2	
			選択	JPH113	社会文化史（日本）	1～4	2	
			選択	HEA105	社会文化史（西洋）	1～4	2	
			選択	HUG103	文化地誌学	1～4	2	
			選択	EDU108	教育思想	1～4	2	
			選択	EDU109	比較政策論	1～4	2	
			選択	SOE102	学校教育社会学	1～4	2	
		心理学と発達臨床	選択	SOE103	比較社会論	1～4	2	
			選択	HIT103	アメリカ思想史	1～4	2	
			選択	EDP102	生涯発達心理学	1～4	2	
			選択	EDP103	心理学研究の技法	1～4	2	
			選択	EDP203	教育相談の理論と方法	1～4	2	
			選択	EDP104	家族心理学	1～4	2	
			選択	CLI101	カウンセリングの理論と実際	1～4	2	
			選択	PSY108	心理学の研究と理論	1～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考
専門科目 82単位以上	選択科目 16単位以上	社会教育	選択 EDU110	生涯学習概論Ⅱ	1～4	2	相互聴講
			選択 EDU111	女性問題と学習	1～4	2	
			選択 EDU112	社会教育課題研究Ⅰ	1～4	2	
			選択 EDU113	社会教育課題研究Ⅱ	1～4	2	
			選択 EDU114	グローバル化と学習	1～4	2	
			選択 EDU115	家庭教育論	1～4	2	
			選択 EDU201	社会教育経営論Ⅰ	1～4	2	
			選択 EDU202	社会教育経営論Ⅱ	1～4	2	
			選択 EDU116	視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)	1～4	2	
			選択 EDU205	生涯学習支援論Ⅰ	1～4	2	
			選択 EDU206	生涯学習支援論Ⅱ	1～4	2	
			選択 EDU207	社会教育実習	2～4	1	
		学校教育	選択 EDU117	授業論	1～4	2	
			選択 EDU118	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	1～4	2	
			選択 ESS204	道徳教育論	1～4	2	
			選択 ESS109	生徒指導・進路指導論	1～4	2	
			選択 ESS233	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1～4	2	
			選択 EDU119	児童文化研究	1～4	2	
			選択 EDU120	教育評価論	1～4	2	
		特別支援教育	選択 EDU121	教育課程論	1～4	2	
			選択 SNE110	ユニバーサルデザイン教育Ⅰ	1～4	2	
			選択 SNE111	ユニバーサルデザイン教育Ⅱ	1～4	2	
			選択 SNE201	通常の学級における特別支援教育の実践研究	2～4	2	
	初等教育共通科目 36単位以上	必修科目 20単位	必修 ESS206	初等教科教育法(国語)	2～3	2	
			必修 ESS207	初等教科教育法(社会)	2～3	2	
			必修 ESS208	初等教科教育法(算数)	2～3	2	
			必修 ESS209	初等教科教育法(理科)	2～3	2	
			必修 ESS210	初等教科教育法(生活)	2～3	2	
			必修 ESS211	初等教科教育法(家庭)	2～3	2	
			必修 ESS212	初等教科教育法(音楽)	2～3	2	
			必修 ESS213	初等教科教育法(図画工作)	2～3	2	
			必修 ESS214	初等教科教育法(体育)	2～3	2	
			必修 ESS324	初等教科教育法(英語)	2～3	2	
		選択必修科目 14単位以上	選択 ESS215	初等科国語	2～3	2	
			選択 ESS216	初等科社会	2～3	2	
			選択 ESS217	初等科算数	2～3	2	
			選択 ESS218	初等科理科	2～3	2	
			選択 ESS219	初等科生活	2～3	2	
			選択 ESS220	初等科家庭	2～3	2	
			選択 ESS221	初等科音楽	2～3	2	
			選択 ESS222	初等科図画工作	2～3	2	
			選択 ESS223	初等科体育	2～3	2	
			選択 ESS234	初等科英語	2～3	2	
		選択	選択 ESS104	小学英語特講	1～3	2	セット
			選択 ESS105	小学国語特講	1～3	2	
			選択 ESS106	小学算数特講	1～3	2	
			選択 ESS107	小学理科特講	1～3	2	
			選択 ESS108	小学図工特講	1～3	2	
			選択 SCE103	科学実験講義A	1～3	2	
			選択 SCE104	科学実験講義B	1～3	2	
			選択 SCE105	科学実験講義C	1～3	2	
			選択 SCE106	科学実験講義D	1～3	2	
			選択 ESS224	初等教育実践研究A A	2～4	2	
			選択 ESS225	初等教育実践研究A B	2～4	2	
			選択 ESS312	初等教育実践研究B A	2～4	2	
			選択 ESS313	初等教育実践研究B B	2～4	2	
			選択 ESS405	初等教育実習(事前・事後指導を含む)	4	5	
			選択 ESS406	教職実践演習(小学校)	4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

人間発達専攻

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 32単位	教育学概論(2) 教育心理学概論(2) 生涯学習概論Ⅰ(2) 教職論(2)	教育学概論ⅡA(2) 教育学概論ⅡB(2) 特別支援教育基礎論(2) 大学生として学ぶ(2)	教育学演習ⅠA(2) 教育学演習ⅠB(2) 文化地誌学(2) 教育思想(2)	教育学演習ⅡA(2) 教育学演習ⅡB(2) 社会学(2) 経済学(2) 西学概説(2) 倫理学概説(2) 日本史A(2) 日本史B(2) 外国史A(2) 外国史B(2)
	教育の現代課題(2) 教育とエンゲージメント(2) 比較政策論(2) 学校教育社会学(2)	社会文化史(日本)(2) 社会文化史(西洋)(2) 比較社会論(2) アメリカ思想史(2)		
	心理学の研究と理論(2) 家族心理学(2) 心理学研究の技法(2)		教育相談の理論と方法(2) カウンセリングの理論と実務(2) 発達障害児・者の心理(2)	
	生涯学習概論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) グローバル化と学習(2) 家庭教育論(2) 祖継的継教育(組継的メディア論を含む)(2)		社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 生涯学習支援論Ⅰ(2) 生涯学習支援論Ⅱ(2) 社会教育実習Ⅰ(1) 道徳教育論(2) 生徒指導・進路指導論(2) 特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	
	授業論(2) 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)(2) 児童文化研究(2)		特別支援教育概論Ⅰ(2) 特別支援教育概論Ⅱ(2) 知的障害教育総論(2) 視覚障害教育総論(2) 聴覚障害教育総論(2) 身体不自由教育総論(2) 病弱児の指導法(2) 知的障害児・者の心理と臨床(2) ユニバーサルデザイン教育Ⅰ(2)	特別支援学校教育実習Ⅰ (事前指導を含む)(2) 特別支援学校教育実習Ⅱ (事後指導を含む)(2)
	特別支援教育		知的障害教育課程論(2) 病弱児の病理と臨床(2) 身体不自由教育課程論(2) 身体不自由児・者の教育臨床(2) 身体不自由児の指導法(2)	
教科科目			民法A(2) 民法B(2)	
		政治学原論A(2) 政治学原論B(2) 国際法ⅠA(2) 国際法ⅠB(2)		
教科科目	人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 自然地理学A(2)	地理学A(2) 地理学B(2) 自然地理学B(2)		教育実習Ⅰ (事前・事後指導を含む)(5) 教育実習Ⅱ (事前・事後指導を含む)(3) 就職実践演習(中・高)(2)
他学部他学科開放科目 (専門開放科目)	科目は別表に記載			

薬系科目は20単位以上
専門科目74単位以上

注)教職科目は、卒業単位には含まれません。

初等教育専攻

区 分	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	第 4 学 年
必修科目 30 単位	教育学概論 (2) 教育心理学概論 (2) 生涯学習概論 I (2) 教職論 (2) 特別支援教育基礎論 (2) 大学生として学ぶ (2) 教育学演習 I (2)	教育学演習 II A (2) 教育学演習 II B (2) 教育学演習 II A (2) 教育学演習 II B (2) 文化地誌学 (2) 教育思想 (2)	教育学演習 II A (2) 教育学演習 II B (2)	教育学卒業演習 A (1) 教育学卒業演習 B (1) 卒業論文 (6)
	教育と現代社会	教育の現代的問題 (2) 教育とシナズンシップ (2) 比較政策論 (2) 学校教育社会学 (2) 心理学の研究と理論 (2) 生涯発達心理学 (2) 家族心理学 (2) 教育相談の理論と方法 (2)	社会文化史(日本)(2) 社会文化史(西洋)(2) 比較社会論 (2) アメリカ思想史 (2) カウンセリングの理論と実態 (2) 心理学研究の技法 (2)	
	心理学と発達臨床	生涯発達心理学 (2) 家族心理学 (2) 教育相談の理論と方法 (2)	社会教育課題研究 I (2) 社会教育課題研究 II (2) 社会教育経営論 I (2) 社会教育経営論 II (2) 生涯学習支援論 I (2) 生涯学習支援論 II (2) 社会教育実習 I (1)	
	社会教育	女性問題と学習 (2) グローバリ化と学習 (2) 家庭教育論 (2) 初等教育(帰国児童・帰国児童を含む)(2)	社会教育課題研究 I (2) 社会教育課題研究 II (2) 社会教育経営論 I (2) 社会教育経営論 II (2) 生涯学習支援論 I (2) 生涯学習支援論 II (2) 社会教育実習 I (1)	
選択科目 16 単位以上 専門科目 82 単位以上	学校教育	授業論 (2) 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)(2) 生徒指導・進路指導論 (2) 特別活動と総合的な学習の時間の指導法 (2)	児童文化研究 (2) 道徳教育論 (2) 教育評価論 (2) 教育課程論 (2)	
	特別支援教育	ユニバーサルデザイン教育 I (2) ユニバーサルデザイン教育 II (2)	通常の学級における特別支援教育の実践研究 (2)	
	必修科目 20 単位		初等教科教育法(国語)(2) 初等教科教育法(算数)(2) 初等教科教育法(社会)(2) 初等教科教育法(音楽)(2) 初等教科教育法(理科)(2) 初等教科教育法(図画工作)(2) 初等教科教育法(体育)(2) 初等教科教育法(外国語)(2) 初等教科教育法(生活)(2) 初等教科教育法(英語)(2)	
	選択必修科目 14 単位以上		初等科国語 (2) 初等科算数 (2) 初等科社会 (2) 初等科音楽 (2) 初等科理科 (2) 初等科体育 (2) 初等科生活 (2)	初等教育実習 (事前・事後指導を含む)(5) 教職実践演習(小学校)(2)
選択	小学算数特講 (2) 科学実験講義 A (2) 科学実験講義 B (2)	小学英語特講 (2) 小学理科特講 (2) 科学実験講義 C (2) 科学実験講義 D (2)	小学国語特講 (2) 小学図工特講 (2)	
		初等教育実践研究 A (2) 初等教育実践研究 B (2)	初等教育実践研究 A B (2) 初等教育実践研究 B B (2)	
他学部他学科開放科目 (専門開放科目)	科目は別表に記載			

◆◆ 科目の履修上の注意 ◆◆

国際コミュニケーション科目（人間発達専攻・初等教育専攻）

1・2年次に英語8単位、1年次にドイツ語・フランス語・中国語の3カ国語から1カ国語を選択し4単位、合計12単位以上を履修かつ修得しなければなりません。

セット履修科目（人間発達専攻・初等教育専攻）

教育課程表に「セット」とある科目は、同一名称の科目Aと科目Bをセットで履修することを原則とします。従って、春学期に科目Aを履修した場合は秋学期に同コースの科目Bを履修してください。

科学実験講義の履修（初等教育専攻）

下表の左欄の科目は、右欄の初等教育専攻科目と対応しています。履修を希望する学生は、教育学科履修ガイダンスで説明を聴いてください。

基盤教育科目名	教育学科専門科目名
物理学実験講義A(2)	科学実験講義A 1コース(2)
数理・情報実習講義(2)	科学実験講義A 2コース(2)
化学実験講義A(2)	科学実験講義B(2)
生物学実験講義A(2)	科学実験講義C(2)
地球科学実験講義A(2)	科学実験講義D 1コース(2)
天文学実習講義A(2)	科学実験講義D 2コース(2)

教職科目の読替（人間発達専攻）

下表の左欄の教育学科専門科目は、履修かつ修得した後、右欄の教職科目に読み替えることができ、卒業単位としても認められます。

ただし、下表の右欄の教職科目を履修かつ修得しても、左欄の教育学科専門科目に読み替えることはできません。また、卒業単位としても認められません。

教育学科の専門科目 (卒業単位に認められる)	単位数	読み替えとなる教職科目 (卒業単位に認められない)	単位数
学校教育社会学	2	教育制度論	2
生徒指導・進路指導論	2	生徒指導論(進路指導論を含む)	2
教育相談の理論と方法	2	教育相談	2

必修科目（人間発達専攻・初等教育専攻）

卒業論文は必修です。ただし、4年次の卒業論文の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限り**ます。

原級した場合の教育学卒論演習の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「教育学卒論演習A」「教育学卒論演習B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「教育学卒論演習A」を秋学期に、「教育学卒論演習B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

教育学科第1部・第2部相互聴講実施要領

以下の条件を満たす場合、第2部教育学科専門科目の履修を認めます。

- (1) 卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 第2部教育学科教育課程表の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法
第2部開講科目の履修を希望する場合は、第1部の科目と同様に、履修登録をしてください。
- (6) 対象科目
教育課程表の「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目

◆第1部教育学科 人間発達専攻 カリキュラムマップ◆

	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		対応 DP
	春 (第 1 セメスタ)	秋 (第 2 セメスタ)	春 (第 3 セメスタ)	秋 (第 4 セメスタ)	春 (第 5 セメスタ)	秋 (第 6 セメスタ)	春 (第 7 セメスタ)	秋 (第 8 セメスタ)	
教育と現代社会	社会学、経済学、哲学概論、倫理学概論、日本史 A、日本史 B、外国史 A、外国史 B	教育学概論				経済と教育			「教育と現代社会」の領域にかかわる専門的力の獲得
		教育の現代的課題、社会文化史(日本)、社会文化史(西洋)、比較政策論、アメリカ思想史、教育思想							
	学校教育社会学、比較社会学、文化地誌学				教育とシチズンシップ				
		教育心理学概論、生涯発達心理学							
心理学と発達臨床		家族心理学、カウンセリングの理論と実際、発達障害児・者の心理							「心理学と発達臨床」の領域にかかわる専門的力の獲得
		心理学研究の技法							
		心理学の研究と理論							
		生涯学習概論 I			教育相談の理論と方法				
社会教育		生涯学習概論 II、女性問題と学習、グローバル化と学習、家庭教育論、視覚教育(視覚メディア論を含む)							「社会教育」の領域にかかわる専門的力の獲得
		生涯学習支援論 I、生涯学習支援論 II、社会教育経営論 I、社会教育経営論 II							
		社会教育実習							
	大学生として学ぶ	教育学演習 I	教育学演習 II A	教育学演習 II B	教育学演習 II A	教育学演習 II B	教育学卒論演習 A	教育学卒論演習 B	卒業論文
学校教育		教職論	授業論、教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)、児童文化研究、教育課程論						「学校教育」の領域にかかわる専門的力の獲得
		授業論(外国語授業)			道徳教育論				
		特別活動と総合的な学習の時間の指導法							
		生徒指導・進路指導論							
特別支援教育		特別支援教育基礎論							「特別支援教育」の領域にかかわる専門的力の獲得
		特別支援教育概論 I、特別支援教育概論 II、知的障害教育総論、視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、肢体不自由教育総論、病弱児の指導法、知的障害児・者の心理と臨床、ユニバーサルデザイン教育 I					特別支援学校教育実習 I (事前指導を含む) 特別支援学校教育実習 II (事後指導を含む)		
		知的障害教育課程論、病弱児の病理と臨床、肢体不自由児の指導法							
教職科目	人文地理学 A、人文地理学 B、自然地理学 A、自然地理学 B、地誌学 A、地誌学 B		政治学原論 A、政治学原論 B 国際法 A、国際法 B			民法 A、民法 B			教育実習 I (事前・事後指導を含む) 教育実習 II (事前・事後指導を含む) 教職実践演習(中・高)

◆第 1 部教育学科 初等教育専攻 カリキュラムマップ◆

	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		対応 DP
	春 (第 1 セメスタ)	秋 (第 2 セメスタ)	春 (第 3 セメスタ)	秋 (第 4 セメスタ)	春 (第 5 セメスタ)	秋 (第 6 セメスタ)	春 (第 7 セメスタ)	秋 (第 8 セメスタ)	
教育と現代社会		教育学概論							子どもを取り巻く環境を広く立体的にとらえる視野と豊かな人間性を備えた、小学校教員として求められる力量の形成
		教育の現代的課題, 社会文化史(日本), 社会文化史(西洋), 比較政策論, アメリカ思想史, 教育思想							
		学校教育社会学, 比較社会論, 文化地誌学							
心理学と発達臨床		教育心理学概論							
		生涯発達心理学, 家族心理学, カウンセリングの理論と実際							
		心理学研究の技法							
		心理学の研究と理論							
社会教育		生涯学習概論 I							
		生涯学習概論 II, 女性問題と学習, グローバル化と学習, 家庭教育論, 視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)							
		生涯学習支援論 I, 生涯学習支援論 II, 社会教育経営論 I, 社会教育経営論 II							
		社会教育実習							
学校教育	大学生として学ぶ	教育学演習 I	教育学演習 II A	教育学演習 II B	教育学演習 II A	教育学演習 II B	教育学卒論演習 A	教育学卒論演習 B	卒業論文
		教職論							
		授業論, 教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む), 児童文化研究, 教育評価論, 教育課程論							
		道徳教育論							
特別支援教育		特別活動と総合的な学習の時間の指導法							
		生徒指導・進路指導論							
		特別支援教育基礎論							
		ユニバーサルデザイン教育 I, ユニバーサルデザイン教育 II							
教職科目		通常の学級における特別支援教育の実践研究							初等科教育実習(事前・事後指導を含む), 教職実践演習(小学校)
		初等教科教育法(社会, 算数, 家庭, 体育)							
		初等教科教育法(理科, 生活, 音楽, 図画工作)							
		初等科国語, 理科, 音楽, 図画工作, 英語							
	小学英語特講, 小学国語特講, 小学算数特講, 小学理科特講, 科学実験講義 A, 科学実験講義 B, 科学実験講義 C, 科学実験講義 D	小学図工特講	初等教育実践研究 A, 初等教育実践研究 B	初等教育実践研究 B A, 初等教育実践研究 B B					

**◆◆国際文化コミュニケーション学科の理念◆◆**

国際化あるいはグローバル化が進む今日の世界においては、人・モノ・情報がとてつもない速度で飛び交うようになった。このことは、世界中のどこでも同じものが手に入る、世界各地を訪れ、風景を楽しんだり異なる文化を持つ人々と交流したりすることができるなどといったメリットをもたらす一方で、私たちのまわりでは、政治・文化・宗教の対立、富の格差、環境問題などといった地球規模の課題が深刻化している。世界は、一国のみの利益を追求していたのでは立ちいかない状況にある。未来を担う人間に求められるのは、地球市民的視野に立って世界の人々と積極的に交流し、自己を発信しながら異なる文化間にコミュニケーションを創出し、それを世界の発展につなげていくことではないだろうか。

そうした理念の実現のために国際文化コミュニケーション学科が教育研究の軸とするのが、言語と文化である。異なる文化の間のコミュニケーションを実現するためには、質の高い言語コミュニケーション力が必要である。その力にはまず外国語の素養が不可欠だが、実はその外国語力は本国語に対する認識と深い理解に裏打ちされていなければ十分に活かされない。このことは文化についても言える。国際社会において真のコミュニケーションを実現するためには、世界のさまざまな文化に対する深い理解が必要であるし、その理解のためには、自分自身が依って立つ文化についての認識が不可欠である。

このような認識の上に立ち、国際文化コミュニケーション学科は、語学および欧米・日本を中心とする世界のさまざまな文化に対する学修を通じ、質の高いコミュニケーション力と文化的教養に裏打ちされた国際感覚を備えた人間を育てることをめざす。

◆◆国際文化コミュニケーション学科 教育研究上の目的◆◆

上記の学科の理念に基づき、国際文化コミュニケーション学科では、以下の教育研究上の目的を掲げている。

1. 人材の養成に関する目的

グローバル化時代の世界共通語としての英語を基礎としながら、英語以外の言語についての理解も持ち、日本及び世界の言語・文化に対する深い理解を礎として異なる文化間のコミュニケーションを推進し、多文化間の共生を図り、多角的視野で自らを発信することを通じて国際化社会の発展に貢献できる人材を養成することをめざす。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

- (1) 国際化時代に要請される共通語としての英語を学科教育の基幹として据え、読解、聴解、文章表現、コミュニケーションのすべてにわたって質の高い運用能力を身につけさせ、社会のさまざまな場面で英語を用いて活躍できるスキルを養成する。
- (2) 英語に加え、ドイツ語、フランス語など第二の外国語の習得を促し、国際化の進む世界において、英語を中心としながら多言語にわたるコミュニケーションを推進しうる力を育てる。
- (3) 英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏など世界の多様な地域の歴史や風土に根ざした文化の学修を通じ、多極化する世界を広い視野で見るための深い教養を身につけさせる。また、世界のさまざまな文化間の交流の歴史・現状・課題を理解させ、異文化理解と共生を推進する精神を涵養する。
- (4) 日本語及び日本の多様な文化表象についての意識化を図り、日本文化への理解を深めると同時に、それを新たな視点で捉えて世界に向けて発信し、国際交流と新たな文化の創造に貢献できる能力を身につけさせる。
- (5) 言語と文化に関する教育を通じて、自律的な思考力と確かな日本語表現力、探究心と協調性を養い、語学と文化の学びを活かして自らの生き方を確立し、社会に貢献する力を育てる。

3. その他の教育研究上の目的

英語科教員免許状や、図書館司書・学校図書館司書教諭・博物館学芸員の資格を取得させること、また、日本語教員を養成することも教育研究上の目的の一つとする。

◆国際文化コミュニケーション学科 3つのポリシー◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学科では、卒業に必要な単位を修得し、以下に掲げる能力を有するに至った者に対して学位を授与する。

- (1) 高度な英語運用能力を以て、多極化するグローバル社会の中で自ら考え、行動し、発信することができる。
- (2) 英語に加え、ドイツ語・フランス語・日本語などの多言語への理解、国際コミュニケーションを推進する意思と力を有している。
- (3) 自国の文化及び異文化についての深い理解と教養、複眼的な視点を有し、バランスのとれた国際感覚を備えている。
- (4) 資料読解・分析力、論理的思考力、表現力を修得し、自ら設定した問題を解決していくことができる。
- (5) 多様な環境の中で自己を律し、他者と協働し、社会の発展に貢献することができる。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、グローバル社会で活躍するための高度な語学力と文化の多様性に対する深い理解を身につけた人材を養成することをめざす。その目的のため、学科のカリキュラムは、幅広い教養の涵養をめざして全学で運営される「基盤教育」、外国語（英語に加えてさらに一つの外国語を学ぶ）と文学部の基礎的な学びのための「文学部基盤科目」、学科教育の中心を形成する「専門科目」から成り立っている。専門科目の編成と運営の方針は以下のとおりである。

- (1) 基礎科目（必修科目）
必修科目として、まず、学科の理念を理解するための「国際文化コミュニケーション概説」を配置する。また、1、2年次を通じて「英語リスニングとスピーキング」、「英語リーディングとライティング」を配置し、英語力の基礎を徹底して習得させる。また、「入門ゼミナール」から「卒論ゼミナール」まで各学年に「ゼミナール」を配置し、多様な学問テーマの中から学生が個々に興味と関心を深め、論理的・批判的思考力、問題解決能力、課題探求心、協働力、リーダーシップなどを身につけるようにする。「卒業論文」は学科での学修の集大成として位置づけ、専任教員全員で指導にあたる。
- (2) 言語コミュニケーション科目
文学部基盤科目における外国語学修の基礎の上に立ち、英語を中心に、ドイツ語・フランス語を含めた多言語・多文化間のコミュニケーション能力を向上させることを目的とする科目群である。高度な英語運用力の養成をめざす「資格検定英語」、「放送英語」など、言語としての英語の諸相を理解するための「英語学」、「英語文体論」、「高等英文法」などに加え、ドイツ語、フランス語科目も配置されている。
- (3) 国際文化科目
世界の多様な文化に関する知識・理解と研究能力の修得をめざす科目群である。地域文化の学修の入門としての「地域文化学入門」、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスの各文化圏における風土、歴史や文化を学ぶための科目群、異文化理解や文化間交流に関する科目群、その他、科学と文化の関わり、児童文化なども含め、多様な講義科目群を開講する。さらに、海外への発信を視野に入れた新たな視点での日本文化研究をめざし、アニメーションや映画など多様な分野にわたる日本文化関係科目を配置する。
- (4) 社会・キャリア・資格科目
社会における実践的なキャリア能力を修得するための科目群で、英語の教職（中学・高校）をめざす教員養成課程、外国語としての日本語を教授する教員を養成するためのプログラムのほか、企業で活躍する講師の指導のもとで働きかたや企業について学ぶ「キャリア形成デザイン」を配置する。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学科では、以下に掲げる能力や意欲を有する者を、学科に受け入れる学生像とする。

- (1) 高い英語の運用能力を有し、さらにそれを向上させる強い意欲を有する者。
- (2) 異なる文化を持つ世界の人々との意思疎通の能力および意欲を有する者。
- (3) 日本、欧米など世界の多様な文化について深く理解する能力と意欲、異文化間の交流に寄与する意思と表現能力を有する者。
- (4) 多様な学問領域にわたる課題を解決する総合的な学力と意欲を有する者。
- (5) 自ら問題を発見し解決していく探求心、創造力、協働力、統率力を有する者。
- (6) 海外での様々な文化背景と体験を有し、本学科に多様性をもたらし得る者。

◆◆第1部 国際文化コミュニケーション学科 卒業要件◆◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・単位修得してください。

各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・単位修得し、次のセメスタに進む際には、必要な単位が計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		12 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を修得すること。	
	留学支援科目	英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育		16 単位以上 国際コミュニケーション科目：14 単位以上 1 年次に英語 4 科目 4 単位必修に加え、ドイツ語・フランス語・中国語から 1 カ国語 4 科目 4 単位を選択必修。2 年次には、1 年次に履修した 2 カ国語のうち、1 カ国語 4 科目 4 単位を選択必修。3・4 年次には 2 年次で選択した 1 カ国語から 2 科目 2 単位選択必修。 以上の国際コミュニケーション科目の必修・選択必修(計 14 単位)を含み、全体で合計 16 単位以上修得すること。学期ごとの履修上限の範囲であれば、外国語を 3 カ国語以上学ぶことも可能。	
	文学部基礎専門科目			
	国際コミュニケーション科目			
	諸資格関連科目			
	キャリア教育			
専門科目	必修科目	基礎	38 単位	専門科目合計 74 単位以上
	選択必修科目	言語コミュニケーション	36 単位以上	
		国際文化		
		社会・キャリア・資格		
教職科目				
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

※外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件については 127 ページを必ず確認してください。

◆◆ 2020 年度第 1 部国際文化コミュニケーション学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分①	区分②	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目								
第1部 国際文化コミュニケーション学科	必修科目 38 単位		必修	LIG112	国際文化コミュニケーション概説 A	1	2	
			必修	LIG113	国際文化コミュニケーション概説 B	1	2	
			必修	ENG168	英語リスニングとスピーキング I A	1	2	
			必修	ENG169	英語リスニングとスピーキング I B	1	2	
			必修	ENG170	英語リーディングとライティング I A	1	2	
			必修	ENG171	英語リーディングとライティング I B	1	2	
			必修	ENG268	英語リスニングとスピーキング II A	2	2	
			必修	ENG269	英語リスニングとスピーキング II B	2	2	
			必修	ENG270	英語リーディングとライティング II A	2	2	
			必修	ENG271	英語リーディングとライティング II B	2	2	
			必修	SEM152	入門ゼミナール	1	2	
			必修	SEM257	ゼミナール I A	2	2	
			必修	SEM258	ゼミナール I B	2	2	
			必修	SEM355	ゼミナール II A	3	2	
			必修	SEM356	ゼミナール II B	3	2	
			必修	THE467	卒論ゼミナール A	4	2	
			必修	THE468	卒論ゼミナール B	4	2	
			必修	THE469	卒業論文	4	4	
	専門科目 74 単位以上	言語コミュニケーション 選択必修 36 単位以上	選択	ENG329	英語リスニングとスピーキング III A	3	2	
			選択	ENG330	英語リスニングとスピーキング III B	3	2	
			選択	ENG331	英語リーディングとライティング III A	3	2	
			選択	ENG332	英語リーディングとライティング III B	3	2	
			選択	ENL133	英語文法 A	1～4	2	
			選択	ENL134	英語文法 B	1～4	2	
			選択	ENL135	英語学 A	1～4	2	
			選択	ENL136	英語学 B	1～4	2	
			選択	ENL137	高等英文法 A	1～4	2	
			選択	ENL138	高等英文法 B	1～4	2	
			選択	ENG172	資格検定英語 A	1～4	2	
			選択	ENG173	資格検定英語 B	1～4	2	
			選択	ENG272	上級ビジネスコミュニケーション A	2～4	2	
			選択	ENG273	上級ビジネスコミュニケーション B	2～4	2	
			選択	ENG174	放送英語 A	1～4	2	
			選択	ENG175	放送英語 B	1～4	2	
			選択	ENG274	通訳練習 A	2～4	2	
			選択	ENG275	通訳練習 B	2～4	2	
			選択	FLE229	翻訳練習 A	2～4	2	
			選択	FLE230	翻訳練習 B	2～4	2	
			選択	LIN119	言語論 A	1～4	2	
			選択	LIN120	言語論 B	1～4	2	
			選択	ENG276	英語で学ぶ異文化交流 I	2～4	2	
			選択	ENG277	英語で学ぶ異文化交流 II	2～4	2	
			選択	LIN121	認知と言語	1～4	2	
			選択	GER221	ドイツ語で学ぶ異文化交流 I	2	2	
			選択	GER222	ドイツ語講読 I	2	2	
			選択	FRA219	フランス語で学ぶ異文化交流 I	2	2	
			選択	FRA220	フランス語講読 I	2	2	
			選択	GER309	ドイツ語で学ぶ異文化交流 II	3	2	
			選択	GER310	ドイツ語講読 II	3	2	
			選択	FRA309	フランス語で学ぶ異文化交流 II	3	2	
			選択	FRA310	フランス語講読 II	3	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

卒業要件	区分①	区分②	必修／選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意／備考
専門科目 74単位以上	選択必修 36単位以上	国際文化	選択	LIE107	アメリカ文化・文学研究A	1～4	2	
			選択	LIE108	アメリカ文化・文学研究B	1～4	2	
			選択	LIE109	イギリス文化・文学研究A	1～4	2	
			選択	LIE110	イギリス文化・文学研究B	1～4	2	
			選択	SCE203	サイエンス&カルチャーA	2～4	2	
			選択	SCE204	サイエンス&カルチャーB	2～4	2	
			選択	LIG114	国際文化理解A	1～4	2	
			選択	LIG115	国際文化理解B	1～4	2	
			選択	LIG202	異文化交流論ⅠA	2～4	2	
			選択	LIG203	異文化交流論ⅠB	2～4	2	
			選択	ARS130	地域文化学入門	1	2	
			選択	LIG301	異文化交流論ⅡA	3～4	2	
			選択	LIG302	異文化交流論ⅡB	3～4	2	
			選択	EUL105	ドイツ文化・文学研究A	1～4	2	
			選択	EUL106	ドイツ文化・文学研究B	1～4	2	
			選択	EUL107	フランス文化・文学研究A	1～4	2	
			選択	EUL108	フランス文化・文学研究B	1～4	2	
			選択	JLT158	日本文化表象ⅠA	1～4	2	
			選択	JLT159	日本文化表象ⅠB	1～4	2	
			選択	JLT273	日本文化表象ⅡA	2～4	2	
			選択	JLT274	日本文化表象ⅡB	2～4	2	
			選択	JLT160	ジャパニーズ・アニメーションA	1～4	2	
			選択	JLT161	ジャパニーズ・アニメーションB	1～4	2	
			選択	JLT162	ジャパニーズ・リテラチャーA	1～4	2	
			選択	JLT163	ジャパニーズ・リテラチャーB	1～4	2	
			選択	ARL210	映画表象論A	2～4	2	
			選択	ARL211	映画表象論B	2～4	2	
			選択	ARL212	美術表象論A	2～4	2	
			選択	ARL213	美術表象論B	2～4	2	
			選択	LIG116	児童文化論A	1～4	2	
			選択	LIG117	児童文化論B	1～4	2	
		社会・キャリア・資格	選択	CIV224	キャリア形成デザインⅠ	2	2	
			選択	CIV315	キャリア形成デザインⅡ	3	2	
			選択	JLN112	現代日本語文法	1～4	2	
			選択	LIN122	対照言語学	1～4	2	
			選択	JLN113	日本語概説	1～4	2	
			選択	JLN114	日本語史	1～4	2	
			選択	JLE108	日本語教育論A	1～4	2	
			選択	JLE109	日本語教育論B	1～4	2	
			選択	JLE201	日本語教授法A	2～4	2	
			選択	JLE202	日本語教授法B	2～4	2	
			選択	JLE301	日本語教育実習	3～4	2	
教職科目								
教職科目	選択	ESS226	英語科教育論Ⅰ	2	2	卒業単位に含めない科目		
	選択	ESS227	英語科教育論Ⅱ	2	2			
	選択	ESS305	英語科指導法Ⅰ	3	2			
	選択	ESS306	英語科指導法Ⅱ	3	2			
	選択	ESS401	教職実践演習(中・高)	4	2			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
2部開講・・・第2部時間帯のみで開講する科目

(注)教職科目は、卒業単位には含まれません。

◆◆科目履修上の注意◆◆

国際コミュニケーション科目

2年次に履修する国際コミュニケーション科目について、1年次秋学期に希望調査があります。

必修科目

- 卒業論文の履修登録は、第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下、なおかつ、「卒論ゼミナールA」または「卒論ゼミナールB」のいずれかの単位を修得している卒業見込みの学生に限ります。
- 「卒論ゼミナールA」と「卒論ゼミナールB」を同時に履修することはできません。
- 「卒論ゼミナールA」と「卒論ゼミナールB」の両方の単位が修得されない場合には、「卒業論文」の単位認定は行われません。
- 「卒論ゼミナール」、「卒業論文」の履修、単位修得の詳細については、学科で行う指導に従ってください。

第9セメスタ以降の「卒論ゼミナール」の履修について

第9セメスタ以降の学生で、「卒論ゼミナールA」と「卒論ゼミナールB」のいずれか一方を未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論ゼミナールA」を秋学期に、「卒論ゼミナールB」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合には、履修登録期間までに学科の教員に申し出、指示を仰いでください。

留学・単位認定について

本学科では、本学で実施している「海外留学プログラム」を推奨しています。交換留学・認定留学・協定校語学留学・短期語学セミナーなどがあり、単位認定も行っています。留学、単位認定については、学科で指導を行います。学科からのお知らせ、掲示に注意してください。

◆◆文学部第1部国際文化コミュニケーション学科 カリキュラムマップ◆◆

科目区分	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
	春 (第1セメスタ)	秋 (第2セメスタ)	春 (第3セメスタ)	秋 (第4セメスタ)	春 (第5セメスタ)	秋 (第6セメスタ)	春 (第7セメスタ)	秋 (第8セメスタ)
基礎	入門ゼミナール	ゼミナールⅠA	ゼミナールⅠB	ゼミナールⅡA	ゼミナールⅡB	卒業論文	卒業論文	卒業論文
	国際文化コミュニケーション概説A	国際文化コミュニケーション概説B	英語リスニングとスピーキングⅠA	英語リスニングとスピーキングⅠB	英語リスニングとスピーキングⅡA	英語リスニングとスピーキングⅡB	卒業論文	卒業論文
	英語リスニングとスピーキングⅠA	英語リスニングとスピーキングⅠB	英語リスニングとスピーキングⅡA	英語リスニングとスピーキングⅡB	英語リスニングとスピーキングⅢA	英語リスニングとスピーキングⅢB	卒業論文	卒業論文
	英語リスニングとスピーキングⅣA	英語リスニングとスピーキングⅣB	英語リスニングとスピーキングⅤA	英語リスニングとスピーキングⅤB	英語リスニングとスピーキングⅥA	英語リスニングとスピーキングⅥB	卒業論文	卒業論文
言語 コミュニケーション	英語学 A・B 英語論文 A・B 英語検定英語 A・B 資格検定英語 A・B 高専英文法 A・B 認知と言語 放送英語 A・B							
	上級ビジネスコミュニケーション A・B 通訳練習 A・B 翻訳練習 A・B 英語で学ぶ異文化交流Ⅰ・Ⅱ							
国際文化	地域文化学入門							
	アメリカ文化・文学研究 A・B 国際文化理解 A・B 児童文化論 A・B イギリス文化・文学研究 A・B 日本文化表象Ⅰ A・B ドイツ文化・文学研究 A・B ジャパニーズ・リテラチャー A・B フランス文化・文学研究 A・B ジャパニーズ・アニメーション A・B							
	サイエンス&カルチャー A・B 映画表象論 A・B 異文化交流論Ⅰ A・B 美術表象論 A・B 日本文化表象Ⅱ A・B							
	異文化交流論Ⅱ A 異文化交流論Ⅱ B							
社会・キャリア・資格	日本語概説 日本語史 現代日本語文法 対照言語学 日本語教育論 A・B							
	キャリア形成デザインⅠ	キャリア形成デザインⅡ	日本語教育実習					
教職科目	英語科教育論Ⅰ	英語科教育論Ⅱ	英語科指導法Ⅰ	英語科指導法Ⅱ	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	教職実践演習(中高)		



教育課程及び履修に際しての注意

外国人留学生の基盤教育・文学部基盤科目の卒業要件について

外国人留学生に対して、日本理解の助けとなる科目が基盤教育と文学部基盤科目にそれぞれ開設されています。

文学部基盤科目の「日本語Ⅰ AA」「日本語Ⅰ AB」「日本語Ⅰ BA」「日本語Ⅰ BB」「日本語Ⅱ A」「日本語Ⅱ B」は必修科目、「日本語と日本社会 A」「日本語と日本社会 B」「日本語と日本文化 A」「日本語と日本文化 B」は1科目2単位選択必修です。また、各学科で語学科目も選択必修となっています。下表を確認のうえ、原則として1・2年次で履修かつ修得してください。

〈第1部外国人留学生用科目一覧〉

	基盤教育	文学部基盤科目			
	推奨科目※	必修科目	選択必修科目	推奨科目※	語学科目
哲学科	日本事情Ⅰ A (2) 日本事情Ⅰ B (2) 日本事情Ⅱ A (2) 日本事情Ⅱ B (2) 日本事情Ⅲ A (2) 日本事情Ⅲ B (2) 日本の文化と社会 (2)	日本語Ⅰ AA (1) 日本語Ⅰ AB (1) 日本語Ⅰ BA (1) 日本語Ⅰ BB (1) 日本語Ⅱ A (1) 日本語Ⅱ B (1) 6単位必修	日本語と日本社会 A (2) 日本語と日本社会 B (2) 日本語と日本文化 A (2) 日本語と日本文化 B (2) 2単位選択必修	ビジネス日本語Ⅰ (1) ビジネス日本語Ⅱ (1) 伝統文化講座 (2)	1・2年次配当の英語・ドイツ語・フランス語の3ヶ国語より母語以外の1ヶ国語8単位選択必修
東洋思想文化学科					1・2年次配当の英語・中国語から母語以外の1ヶ国語8単位選択必修
日本文学文化学科					1年次配当の英語・ドイツ語・フランス語・中国語の4ヶ国語より母語以外の1ヶ国語4単位選択必修
英米文学科					1年次配当の英語4単位必修 2年次配当の英語2単位選択必修
史学科					1年次配当の英語・ドイツ語・フランス語・中国語の4ヶ国語より母語以外の1ヶ国語4単位選択必修
教育学科					1年次配当の英語・ドイツ語・フランス語・中国語の4ヶ国語より母語以外の1ヶ国語4単位選択必修
国際文化コミュニケーション学科					1年次の英語4単位必修、2年次の英語から2単位を選択必修 英語が母語の場合は1・2年次のドイツ語・フランス語・中国語より1ヶ国語6単位選択必修

※履修を推奨している科目です。いずれも卒業要件の単位として認められますので、積極的に履修してください。



卒業要件については、各学科の卒業要件を確認してください。



教育課程及び履修に際しての注意

第 1 部 他学部他学科開放科目（専門開放科目）

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
文学部	東洋思想文化学科	CIB108	インド思想史 A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB109	インド思想史 B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB112	仏教思想概論 A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB113	仏教思想概論 B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES107	宗教学概論 A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES108	宗教学概論 B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB117	イスラーム概論	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	SOC163	現代社会に生きる仏教 A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	SOC164	現代社会に生きる仏教 B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB121	現代に生きる仏教	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES109	キリスト教概論	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT151	日本文学の歴史(上代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT152	日本文学の歴史(中古)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT153	日本文学の歴史(中世)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT154	日本文学の歴史(近世)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT155	日本文学の歴史(近代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT156	日本文学の歴史(現代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT266	万葉文化の世界	2～4	2	いずれか
文学部	日本文学文化学科	JLT267	平安朝文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT268	室町・戦国文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT269	江戸文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT270	近現代文化の諸問題	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT271	古典籍に親しむ	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA210	日本民俗学の諸問題	2～4	2	
文学部	史学科	HSG301	歴史学概論	3～4	2	
文学部	史学科	JPH205	日本史学特講 A	2～4	2	
文学部	史学科	JPH206	日本史学特講 B	2～4	2	
文学部	史学科	HAA205	東洋史学特講 A	2～4	2	
文学部	史学科	HAA206	東洋史学特講 B	2～4	2	
文学部	史学科	HEA205	西洋史学特講 A	2～4	2	
文学部	史学科	HEA206	西洋史学特講 B	2～4	2	
文学部	史学科	ARC201	考古学研究 A	2～4	2	
文学部	史学科	ARC202	考古学研究 B	2～4	2	
文学部	史学科	JPH107	古文書学 I A	1～4	2	
文学部	史学科	JPH108	古文書学 I B	1～4	2	
文学部	史学科	JPH109	古文書学 II A	1～4	2	
文学部	史学科	JPH110	古文書学 II B	1～4	2	
文学部	教育学	JPH113	社会文化史(日本)	1～4	2	
文学部	教育学	HEA105	社会文化史(西洋)	1～4	2	
文学部	教育学	EDU109	比較政策論	1～4	2	
文学部	教育学	SOE103	比較社会論	1～4	2	
文学部	教育学	HIT103	アメリカ思想史	1～4	2	
経済学部	経済学科	EDE203	経済哲学 A	2～4	2	
経済学部	経済学科	EDE204	経済哲学 B	2～4	2	
経済学部	経済学科	PFP307	政治経済学 A	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP308	政治経済学 B	3～4	2	
経済学部	経済学科	ECP305	人口経済学 A	3～4	2	
経済学部	経済学科	ECP306	人口経済学 B	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP301	医療経済学 A	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP302	医療経済学 B	3～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP309	ヨーロッパ経済論 A	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP310	ヨーロッパ経済論 B	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP201	日本経済論 A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP202	日本経済論 B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECH301	西欧経済史 A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECH302	西欧経済史 B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	MOF307	国際金融論 A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	MOF308	国際金融論 B	2～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
経済学部	国際経済学科	ECP209	経済発展論A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP210	経済発展論B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	PFP311	国際公共経済A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	PFP312	国際公共経済B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECT401	上級国際経済学A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECT402	上級国際経済学B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP107	海外経済研修Ⅰ	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP108	海外経済研修Ⅱ	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP109	海外経済研修Ⅲ	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	MAN203	グローバルビジネス論	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP114	総合政策特講Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP115	総合政策特講Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP116	総合政策特講Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP117	総合政策特講Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EDE101	社会経済思想史A	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EDE102	社会経済思想史B	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS102	自然と環境学	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS103	自然環境の理解	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	SPS101	健康科学	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS112	比較文化社会Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS113	比較文化社会Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS114	比較文化社会Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS115	比較文化社会Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS116	比較政策分析Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS117	比較政策分析Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS118	比較政策分析Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS119	比較政策分析Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP118	社会的企業	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP119	非営利組織	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP201	社会政策A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP202	社会政策B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP203	地域分析	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP216	現代ビジネスの基礎	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP217	政策デザイン	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP218	総合政策特講Ⅴ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP219	総合政策特講Ⅵ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP226	総合政策特講Ⅶ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP227	総合政策特講Ⅷ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP221	ワーク・ライフ・バランスの総合政策	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP222	現代の産業と企業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP204	公民連携論	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP205	行政システム	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS201	環境経済学A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS202	環境経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS203	エネルギー経済学A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS204	エネルギー経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP223	情報社会と企業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP224	情報社会と産業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP313	財政学	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP314	地方財政論	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP316	公共選択	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN113	意思決定論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN114	経営分析論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN350	コンプライアンス経営論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN209	公共経営論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN213	コーポレートガバナンス論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN219	国際経営基礎論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MOF210	経営財務論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MOF320	投資決定論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN314	国際経営論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN324	企業評価論	3～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME205	サービス・マーケティング論	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME217	リレーションシップ・マーケティング	2～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
経営学部	マーケティング学科	CME207	ファッション・マーケティング論	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME208	現代のファッション・マーケティング	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF101	金融論	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF102	金融システム論	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF104	ファイナンス論	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	ACC211	経営監査論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	ACC212	会計監査論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF312	証券投資論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MAN146	海外経営研修	1～4	2	
経営学部	経営学科	GBC303	ビジネス・ネゴシエーションA	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC304	ビジネス・ネゴシエーションB	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC305	ビジネス・ニュース英語A	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC306	ビジネス・ニュース英語B	3～4	2	
法学部	法律学科	FUL107	法哲学A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL108	法哲学B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL109	法思想史A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL110	法思想史B	1～4	2	
法学部	法律学科	POL201	政治学原論A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL202	政治学原論B	2～4	2	
法学部	法律学科	LIN111	語学研修A	1～4	2	
法学部	法律学科	LIN112	語学研修B	1～4	2	
法学部	企業法学科	CRL101	刑法I(総論)A	2～4	2	
法学部	企業法学科	CRL102	刑法I(総論)B	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR201	Fundamental Concepts of International Politics A	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR202	Fundamental Concepts of International Politics B	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR203	Fundamental Concepts of Peace Studies A	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR204	Fundamental Concepts of Peace Studies B	2～4	2	
法学部	企業法学科	ILA203	International Law A	2～4	2	
法学部	企業法学科	ILA204	International Law B	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR303	International Relations A	3～4	2	
法学部	企業法学科	INR304	International Relations B	3～4	2	
法学部	企業法学科	CIV302	Business Communication I A	3～4	2	
法学部	企業法学科	CIV303	Business Communication I B	3～4	2	
法学部	企業法学科	CIV401	Business Communication II A	4	2	
法学部	企業法学科	CIV402	Business Communication II B	4	2	
社会学部	社会学科	SOC208	家族社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC109	地域社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC211	環境社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOE104	教育社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC311	国際社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC312	国際社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	STS203	社会統計学	2～4	2	
社会学部	社会学科	GGR303	風土と人間・社会A	2～4	2	
社会学部	社会学科	GGR304	風土と人間・社会B	2～4	2	
社会学部	社会文化システム学科	ARS203	日本社会文化論A	2～4	2	
社会学部	社会文化システム学科	ARS204	日本社会文化論B	2～4	2	
社会学部	社会文化システム学科	SOC215	犯罪社会学A	2～4	2	
社会学部	社会文化システム学科	SOC216	犯罪社会学B	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS107	社会福祉発達史A	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS108	社会福祉発達史B	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS213	社会福祉と人権	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS307	社会福祉法制行政	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS210	社会保障論A	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS211	社会保障論B	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS214	公的扶助論	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS208	地域福祉論A	2～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	LIH116	社会情報学基礎論A	1～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	LIH117	社会情報学基礎論B	1～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	SOC116	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	SOC117	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	LIH118	情報学基礎論A	1～4	2	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	LIH119	情報学基礎論B	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	SOP101	社会心理学概論A	1～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
社会学部	社会心理学科	SOP102	社会心理学概論B	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	CL1201	健康心理学A	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	CL1202	健康心理学B	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	SOP204	産業組織心理学	1～4	2	
社会学部	社会心理学科	SOP307	環境心理学	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CUA110	文化人類学入門	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CUA111	地域とボランティア	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	INR205	国際政治学Ⅱ	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ARS214	アフリカ地域研究	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CEP101	アジアの都市と交通	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	SOC124	NGO・NPO論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	SWS219	社会政策論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ECP232	食料問題論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	INR206	国際関係史	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	MOF207	国際金融論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ECP233	開発経済論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ECP325	アジア経済論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ECP134	農村地域開発論	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CEE201	環境管理適正技術論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	DEV201	環境システム論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	NDD202	災害と復興	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	EPS207	環境社会論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	MUD301	データベース概論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	INN202	情報マネジメントⅡ	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	TPA301	国土・地域計画	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CEP301	交通まちづくりの計画と政策	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ABE301	まちづくり手法論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ABE302	都市計画	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	PFP317	福祉経済論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CIL326	企業法	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CUA123	Participatory Development	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CEP202	Cities and Transport in Asia	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	MAN119	Japanese Economy and Business	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	SOC244	Sociology of Islam	1～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ARS211	Contemporary Japan Studies	1～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ECP350	アジア地域研究B	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	MOF228	International Finance	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	TPA303	Housing the Poor in Asia	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	INN102	Introduction to Internet Technology	1～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ENG252	Regional to International Issues	1～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	SOC332	Immigration and Cross-cultural Issues	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	TPA304	Urban and Regional Planning in Asia	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	NDD301	Disaster Management and International Cooperation	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	DEV202	Global Water Problems	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	EPS106	Introduction to Environmental Studies	1～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	EPS301	Environmental Issues in Asia	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CEE301	Water Supply and Sanitation for Health	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	SOE203	International Student Mobility	1～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	INR114	国際政治学Ⅰ	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	PFP208	公共経済学	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	DEV101	水資源と水環境	1	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	ENE103	エネルギー・資源論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	NDD201	自然災害と防災	2～4	2	
国際学部	国際地域学科国際地域専攻	CEP201	社会基盤論	2～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS349	M I C E 論	3	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS233	地域観光論	2	2	
国際観光学部	国際観光学科	PFP215	観光・環境経済学	2	2	
国際観光学部	国際観光学科	PFP326	地域財政と観光	2～3	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS317	ホスピタリティ施設開発論	3	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS322	イベント企画論	3	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS247	観光コンサルタント論	2	2	
国際観光学部	国際観光学科	FAH202	西洋美術史	2	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS261	ペットツーリズム論	2	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修方法
国際観光学部	国際観光学科	TOS225	セレモニー経営論	2	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS277	観光行政・政策論	2～4	2	
国際観光学部	国際観光学科	TOS2a7	観光法制度論	2	2	



教育課程及び履修に際しての注意

履修についての全学科共通注意事項（第2部）

基盤教育について

スポーツ・健康科目の授業は、白山キャンパスで開講されます。

文学部基盤科目

セット履修科目

教育課程表に「セット」とある科目は、通年履修を原則とします。

履修を希望する場合は、同一名称の科目Aと科目Bをセットで履修することを原則とします。

従って春学期科目Aを履修した場合は秋学期に同コースの科目Bを履修してください。

隔年開講科目

教育課程表に「隔年」とある科目は、隔年にて開講となります。

履修を希望する場合は、開講年度に注意してください。

第1部・第2部いずれかで開講する科目

教育課程表に「いずれか」とある科目は、第1部・第2部いずれかでの開講となります。

履修を希望する場合は、開講曜日時限を確認して履修してください。

第1部時間帯のみで開講する科目

教育課程表に「1部開講」とある場合は、第1部時間帯のみでの開講となります。履修を希望する場合は、第1部時間帯（1～5時限）の時間割を参照してください。

教職科目

教職科目は、各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）を超えて履修することができます。

他学部他学科開放科目

別（p.196）に定める他学部他学科開放科目を履修かつ修得した場合、その科目の単位数は、卒業単位として算入します。

所属する学科の教育課程表にある科目と同一名称の科目は履修できません。

自由科目

所属学科教育課程表にない科目で、なおかつ、前項の他学部他学科開放科目（専門開放科目）として提示されていない科目の履修を希望する場合は、履修する学部学科の配当学年に従い、担当教員の許可を得て、卒業単位にならない自由科目として履修することができます。ただし、以下の科目は履修できないので注意してください。

1. カリキュラム年度の異なる科目
2. 第1部開講の科目（第2部の教育課程表に掲載されていない科目）
3. 所属する学部学科の科目と同一名称の科目



文学部第2部基盤教育 教育課程表

◆◆基盤教育について◆◆

基盤教育の卒業要件は下記のとおり学科によって異なります。詳細は各学科教育課程ページ（卒業要件および教育課程表）を各自で確認してください。

基盤教育 卒業要件単位数（抜粋）

学科名	要件	必要単位数
東洋思想文化学科	「哲学・思想」から2単位、「キャリア・市民形成」から2単位修得すること。	16単位以上
日本文学文化学科		文学部基盤科目と合わせて34単位以上
教育学科		16単位以上

区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 / 備考
基盤教育						
哲学・思想 2単位以上	選択	PHE125	哲学A	1～4	2	
	選択	PHE126	哲学B	1～4	2	
	選択	PHE127	哲学史A	1～4	2	
	選択	PHE128	哲学史B	1～4	2	
	選択	PHE129	倫理学A	1～4	2	
	選択	PHE130	倫理学B	1～4	2	
	選択	RES111	宗教学ⅠA	1～4	2	
	選択	RES112	宗教学ⅠB	1～4	2	
	選択	RES113	宗教学ⅡA	1～4	2	
	選択	RES114	宗教学ⅡB	1～4	2	
	選択	CIB134	東洋思想	1～4	2	
学問の基礎	選択	PHE131	ロジカルシンキング入門	1～4	2	
	選択	PHE132	クリティカルシンキング入門	1～4	2	
	選択	ASA108	芸術学A	1～4	2	
	選択	ASA109	芸術学B	1～4	2	
	選択	HSG110	歴史の諸問題A	1～4	2	
	選択	HSG111	歴史の諸問題B	1～4	2	
	選択	ECT132	経済学A	1～4	2	
	選択	ECT133	経済学B	1～4	2	
	選択	LAW109	法学	1～4	2	
	選択	POL104	政治学A	1～4	2	
	選択	POL105	政治学B	1～4	2	
	選択	SOC250	社会学A	1～4	2	
	選択	SOC251	社会学B	1～4	2	
	選択	CUA113	人類学A	1～4	2	
	選択	CUA114	人類学B	1～4	2	
	選択	GGR111	地理学A	1～4	2	
	選択	GGR112	地理学B	1～4	2	
	選択	PSY106	心理学A	1～4	2	
	選択	PSY107	心理学B	1～4	2	
	選択	MAT103	自然の数理A	1～4	2	
	選択	MAT104	自然の数理B	1～4	2	
	選択	PHY105	生活と物理A	1～4	2	
	選択	PHY106	生活と物理B	1～4	2	
	選択	ENE104	エネルギーの科学A	1～4	2	
	選択	ENE105	エネルギーの科学B	1～4	2	
	選択	BSC105	物質の科学A	1～4	2	
	選択	BSC106	物質の科学B	1～4	2	
	選択	ENV103	環境の科学A	1～4	2	
	選択	ENV104	環境の科学B	1～4	2	
	選択	EAP105	地球の科学A	1～4	2	
	選択	EAP106	地球の科学B	1～4	2	
	選択	BAB105	生物学A	1～4	2	
	選択	BAB106	生物学B	1～4	2	
	選択	AST105	天文学A	1～4	2	
	選択	AST106	天文学B	1～4	2	
	選択	SCE107	自然科学概論A	1～4	2	
	選択	SCE108	自然科学概論B	1～4	2	

区分	必修/ 選択	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意/ 備考
学問の基礎	選択	CAS105	自然誌A	1～4	2	
	選択	CAS106	自然誌B	1～4	2	
	選択	BAB107	生物学実験講義A	1～4	2	
	選択	BAB108	生物学実験講義B	1～4	2	
	選択	BSC107	化学実験講義A	1～4	2	
	選択	BSC108	化学実験講義B	1～4	2	
	選択	SOF103	数理・情報実習講義A	1～4	2	
	選択	SOF104	数理・情報実習講義B	1～4	2	
国際人の形成	選択	ARS124	地域文化研究A	1～4	2	
	選択	ARS125	地域文化研究B	1～4	2	
	選択	JLT125	百人一首の文化史A	1～4	2	
	選択	JLT126	百人一首の文化史B	1～4	2	
	選択	JLT127	日本の昔話A	1～4	2	
	選択	JLT128	日本の昔話B	1～4	2	
	選択	JLT129	日本文学文化と風土A	1～4	2	
	選択	JLT130	日本文学文化と風土B	1～4	2	
	選択	JLT131	日本の詩歌A	1～4	2	
	選択	JLT132	日本の詩歌B	1～4	2	
	選択	EUL103	西欧文学A	1～4	2	
	選択	EUL104	西欧文学B	1～4	2	
	選択	JLT133	現代日本文学A	1～4	2	
	選択	JLT134	現代日本文学B	1～4	2	
	選択	HSG112	地域史A	1～4	2	
	選択	HSG113	地域史B	1～4	2	
	選択	LIG105	アジアの文学	1～4	2	
	選択	LIG106	アジアの古典	1～4	2	
	選択	INR118	国際関係入門	1～4	2	
	選択	IHR115	国際キャリア概論	1～4	2	
	選択	IHR116	留学のすすめ	1～4	2	
	選択	IHR117	海外研修Ⅰ	1～4	2	
	選択	IHR118	海外研修Ⅱ	1～4	2	
	選択	IHR119	海外実習Ⅰ	1～4	2	
	選択	IHR120	海外実習Ⅱ	1～4	2	
	選択	IHR121	短期海外研修Ⅰ	1～4	1	
	選択	IHR122	短期海外研修Ⅱ	1～4	1	
	選択	IHR123	短期海外研修Ⅲ	1～4	1	
	選択	IHR124	短期海外研修Ⅳ	1～4	1	
	選択	IHR125	短期海外実習Ⅰ	1～4	1	
	選択	IHR126	短期海外実習Ⅱ	1～4	1	
	選択	IHR127	短期海外実習Ⅲ	1～4	1	
	選択	IHR128	短期海外実習Ⅳ	1～4	1	
キャリア・市民形成 2単位以上	選択	PUL107	日本国憲法	1～4	2	
	選択	HSS111	スポーツ健康科学実技A	1～4	1	
	選択	HSS112	スポーツ健康科学実技B	1～4	1	
	選択	HSS113	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
	選択	HSS114	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2	
	選択	HSS115	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2	
	選択	THI106	情報化社会と人間	1～4	2	
	選択	CIV129	コンピュータ・リテラシーA	1～4	1	
	選択	CIV130	コンピュータ・リテラシーB	1～4	1	
	選択	CIV150	社会人基礎力入門講義	1～4	2	
	選択	CIV151	社会人基礎力実践講義	1～4	2	
	選択	ECD107	キャリアデベロップメント論	1～4	2	
	選択	SWS117	社会貢献活動入門	1～4	2	
	選択	CIV217	公務員論	1～4	2	
総合・学際	選択	INN101	情報ネットワーク論	1～4	2	
	選択	ECD103	テクニカルライティング	1～4	2	
	選択	ECD104	アカデミックライティング	1～4	2	
	選択	ITS124	総合ⅠA	1～4	2	
	選択	ITS125	総合ⅠB	1～4	2	
	選択	ITS126	総合ⅡA	1～4	2	
	選択	ITS127	総合ⅡB	1～4	2	
	選択	ITS128	総合ⅢA	1～4	2	
	選択	ITS129	総合ⅢB	1～4	2	
	選択	ITS130	総合ⅣA	1～4	2	
	選択	ITS131	総合ⅣB	1～4	2	
	選択	ITS132	総合ⅤA	1～4	2	
	選択	ITS133	総合ⅤB	1～4	2	
	選択	ITS134	総合ⅥA	1～4	2	
	選択	ITS135	総合ⅥB	1～4	2	
	選択	ITS136	総合ⅦA	1～4	2	
	選択	ITS137	総合ⅦB	1～4	2	
	選択	ITS138	全学総合ⅠA	1～4	2	

区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 / 備考	
総合・学際	選択	ITS139	全学総合ⅠB	1～4	2		
	選択	ITS140	全学総合ⅡA	1～4	2		
	選択	ITS141	全学総合ⅡB	1～4	2		
	選択	ITS142	首都東京を学ぶ	1～4	2		
英語特別教育科目	選択	ENG101	English for Academic Purposes IA Listening/Speaking	1～4	2		
	選択	ENG102	English for Academic Purposes IB Reading/Writing	1～4	2		
	選択	ENG103	English for Academic Purposes IIA Listening/Speaking	1～4	2		
	選択	ENG104	English for Academic Purposes IIB Reading/Writing	1～4	2		
	選択	ENG201	Pre-Study Abroad College Study Skills	1～4	1		
	選択	ENG202	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1～4	1		
	選択	ENG203	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1～4	1		
	選択	SUS102	Business English Communication	1～4	2		

文学部第2部文学部基盤科目 教育課程表

◆文学部基盤科目について◆

文学部基盤科目の卒業要件は学科によって異なります。詳細は各学科教育課程ページ（卒業要件、教育課程表）を各自で確認してください。

相互聴講制度による第1部提供科目について、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。東洋思想文化学科、日本文学文化学科、教育学科の専門科目の相互聴講制度による単位数も30単位に含みます。

区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意 / 備考
文学部教育	TYS107	東洋大学・井上円了研究	1～4	2		
	CUA115	伝統文化講座	1～4	2		
文学部基礎専門科目	ASA110	インド・仏教の美術A	1～4	2	東洋思想文化学科は除く	
	ASA111	インド・仏教の美術B	1～4	2		
	CIB235	インド仏教史A	2～4	2		
	CIB236	インド仏教史B	2～4	2		
	LIN113	サンスクリット語ⅠA	1～4	1		
	LIN114	サンスクリット語ⅠB	1～4	1		
	CIB155	インド現代思想	1～4	2		いずれか
	CIB156	現代のインド	1～4	2		
	CIB247	中国仏教史A	2～4	2		
	CIB248	中国仏教史B	2～4	2		
	CIB159	中国学概論A	1	2		
	CIB160	中国学概論B	1	2		
	CIB313	中国哲学史A	3～4	2		
	CIB314	中国哲学史B	3～4	2		
	CHL311	中国文学史A	3～4	2		
	CHL312	中国文学史B	3～4	2		
	CHL313	中国現代文学史A	3～4	2		
	CHL314	中国現代文学史B	3～4	2		
	JLT347	日本漢学A	3～4	2		
	JLT348	日本漢学B	3～4	2		
	CIB253	海外文化研修Ⅰ	1～4	2		
	CIB254	海外文化研修Ⅱ	1～4	2		
	RES211	日本仏教史A	2～4	2	東洋思想文化学科、日本文学文化学科は除く	
	RES212	日本仏教史B	2～4	2		
	LIG118	比較文学Ⅰ	1～2	2		
	LIG119	比較文学Ⅱ	1～2	2		
	CHL211	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2		
	FAH108	日本美術の世界	1～4	2		
	ARS134	韓国の文化と社会	1～4	2	日本文学文化学科は除く	
	LIE227	世界の文学文化と日本Ⅰ	1～4	2		
	LIE228	世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2		
	CUA124	伝統行事を学ぶ	1～4	2		いずれか
	JLT170	伝統芸能を学ぶ	1～4	2		
	JLT286	日本の児童文学	2～4	2		
	EDU128	生涯学習概論Ⅰ	1～2	2	教育学科は除く	
	SNE112	特別支援教育概論Ⅰ	1～2	2		
	EDP109	家族心理学	1～4	2		
	EDU140	児童文化研究	1～4	2		
	SNE114	特別支援教育概論Ⅱ	1～4	2		
	PSY109	心理学の研究と理論	1～4	2		
国際コミュニケーション	英語	ENG151 英語ⅠA A	1	1		
		ENG152 英語ⅠA B	1	1		
		ENG153 英語ⅠB A	1	1		
		ENG154 英語ⅠB B	1	1		
		ENG253 英語ⅡA A	2	1		
		ENG254 英語ⅡA B	2	1		
		ENG255 英語ⅡB A	2	1		
		ENG256 英語ⅡB B	2	1		

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

区分	科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位	対象学科	履修上の注意 / 備考
国際コミュニケーション科目	ドイツ語	GER119 ドイツ語ⅠA A	1	1		
		GER120 ドイツ語ⅠA B	1	1		
		GER121 ドイツ語ⅠB A	1	1		
		GER122 ドイツ語ⅠB B	1	1		
		GER217 ドイツ語ⅡA A	2	1		
		GER218 ドイツ語ⅡA B	2	1		
		GER219 ドイツ語ⅡB A	2	1		
		GER220 ドイツ語ⅡB B	2	1		
	フランス語	FRA121 フランス語ⅠA A	1	1		
		FRA122 フランス語ⅠA B	1	1		
		FRA123 フランス語ⅠB A	1	1		
		FRA124 フランス語ⅠB B	1	1		
		FRA215 フランス語ⅡA A	2	1		
		FRA216 フランス語ⅡA B	2	1		
		FRA217 フランス語ⅡB A	2	1		
		FRA218 フランス語ⅡB B	2	1		
	中国語	CHI121 中国語ⅠA A	1	1		
		CHI122 中国語ⅠA B	1	1		
		CHI123 中国語ⅠB A	1	1		
		CHI124 中国語ⅠB B	1	1		
		CHI225 中国語ⅡA A	2	1		
		CHI226 中国語ⅡA B	2	1		
		CHI227 中国語ⅡB A	2	1		
		CHI228 中国語ⅡB B	2	1		
諸資格 関連科目	EDU132 生涯学習概論Ⅱ	1～4	2	教育学科は除く	相互聴講	
	EDU208 生涯学習支援論Ⅰ	1～4	2			
	EDU209 生涯学習支援論Ⅱ	1～4	2			
	EDU203 社会教育経営論Ⅰ	1～4	2			
	EDU204 社会教育経営論Ⅱ	1～4	2			
	EDU133 女性問題と学習	1～4	2			
	EDU136 グローバル化と学習	1～4	2			
	EDU137 家庭教育論	1～4	2			
	EDU138 視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)	1～4	2			
	EDU210 社会教育実習	2～4	2			
	EDU112 社会教育課題研究Ⅰ	1～4	2			
	EDU113 社会教育課題研究Ⅱ	1～4	2			
	EDU123 教育基礎論	1	2			
	EDU124 教育制度論	1	2			
	LIH126 図書館概論	1～4	2	相互聴講		
	LIH130 図書館制度・経営論	1～4	2			
	LIH135 図書館情報技術論	1～4	2			
	LIH131 図書館サービス概論	1～4	2			
	LIH127 情報サービス論	1～4	2			
	LIH128 児童サービス論	1～4	2			
	LIH214 情報サービス演習A	1～4	1			
	LIH215 情報サービス演習B	1～4	1			
	LIH132 図書館情報資源概論	1～4	2			
	LIH134 情報資源組織論	1～4	2			
	LIH216 情報資源組織演習A	1～4	1			
	LIH217 情報資源組織演習B	1～4	1			
	LIH133 図書館情報資源特論	1～4	2			
	LIH129 図書・図書館史	1～4	2			
	LIH138 学校経営と学校図書館	1～4	2			
	LIH140 学校図書館メディアの構成	1～4	2			
	LIH136 学習指導と学校図書館	1～4	2			
	LIH137 読書と豊かな人間性	1～4	2			
LIH139 情報メディアの活用	1～4	2				
キャリア 教育	CIV136 キャリア支援Ⅰ	1～4	2			
	CIV135 キャリア支援Ⅱ	1～4	2			
	CIV137 教員養成講座Ⅰ	1～4	2			
	CIV138 教員養成講座Ⅱ	1～4	2			
	THI107 情報処理演習A	1～4	1			
	THI108 情報処理演習B	1～4	1			
	CIV133 インターンシップ	1～4	2			
	CIV134 ボランティア活動	1～4	2			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

第2部 東洋思想文化学科

◆◆東洋思想文化の深い理解と、現代への確かな視点を◆◆

明治20年、哲学者井上円了は東洋大学の前身となる「哲学館」を創設した。明治維新後間もない当時の日本は、西洋文明を必死で追いかけていた。しかし円了はただ西洋化に踊らされる日本を憂い、日本人として東洋の精神を重んじるべきと考え、実践に基づいた哲学教育を行った。東洋思想文化学科は、このような創立者の教育精神を受け継ぐ学科である。

21世紀のいま、中国やインドを中心とするアジア世界は大きく変革した。政治、経済、社会など、あらゆる分野でのアジア地域の成長は著しく、またアジアの伝統思想や文化が、西洋社会にはないある種の力を持って現代人に受け入れられつつある。本東洋思想文化学科は、このようなアジア社会の底流にある「東洋の智の心髄」である思想や文化を広く、そして深く理解し、その理解を基礎に現代社会において、自身で考え行動する人材を育てることを教育目標とする。本学科に入学した学生の皆さんは、このような目標を見据えて学習に取り組んでもらいたい。

＜東洋思想文化学科の教育内容＞

東洋思想文化学科は中国、インドを中心にアジアの思想、文化を広く学ぶカリキュラムを設置している。

漢文やサンスクリット語で記された文献を読み、そこにある思想、文化をじっくりと考える科目がある一方、国際社会に不可欠な中国語やヒンディー語や文化事情についての授業も重視しており、古典をバックグラウンドとしながら現代にも即応したカリキュラムとなっている。また、体験型の実技講義科目も本学科の特色である。

本学科の学生は、まず1年次において、必修外国語としての英語・中国語や一般的な教養科目を学習する。あわせて、専門科目として、「レポート・論文制作の技法」を、大学での初年度教育として学習する。また、2年次に選択する4コースの学習内容を知ることができる「概論」科目が、コース毎に用意されている。コース選択の判断材料として、また、専門への入り口として、有効に学習してほしい。

2年次から、学生は本学科に設置されている4つのコース、すなわち「インド思想コース」「中国語・中国哲学文学コース」「仏教思想コース」「東洋芸術文化コース」のうち一つを選択する。これらのコースは学生の皆さんの2年次以降の学習の柱となり、また卒業論文とも深く関わるものなので、1年次から十分に考えて選択してほしい。

2年次から3年次にかけては、コース共通の必修科目「東洋思想文化演習Ⅰ」（2年次）「東洋思想文化演習Ⅱ」（3年次）を履修するとともに、コース別必修科目や選択必修科目を合わせて履修する。これらの科目はコースごとに決められているので、詳しくは教育課程表を参照してほしい。4年次には、演習科目「卒論指導」を履修しながら卒業論文に取り組む。卒業論文は4年間の学習の集大成である。就職活動などと並行しての卒論作成はあわただしく、また苦勞もあるが、論文が出来上がった時の達成感は格別のものがある。

学生の皆さんには、本学科において以上のような4年間の学びで得た思想や文化の理解を通じ、アジア世界について深く考え、また国際社会において他文化と協調しながら、自らの人生を切り開いていく充分な力を養っていただきたい。

◆◆東洋思想文化学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の養成に関する目的

本学の創立者井上円了は、東洋の哲学・思想の中に普遍的意義を見出し、これを教育によって広く当時の社会に普及しようとした。同時に、彼は単なる知識としてではなく、人々が生きるための知恵として活用しうる哲学—実践哲学を構想した。東洋思想文化学科では、このような

創立者の精神を受け継ぎ、中国やインドを中心とする東洋の思想・文化を広く教授することで、人間や社会の本質を見据えるとともに、東洋に特有の価値観や思考方法に基づき、現代社会が直面する諸問題に対し的確に対応できる人材の養成を目指す。また異文化や異なる価値観への深い理解を持ち、世界の人々と協調して未来を切り開こうとする姿勢に富む有為な人材の育成を目的とする。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

- (1)「講義科目」「語学科目」等により東洋の思想と文化、ならびにそれを理解するのに役立つ語学、文学、哲学、宗教学等に関する豊富な知識を修得させる。
- (2)「演習科目」「実技講義科目」「海外文化研修」等により、東洋に特有の価値観や思考方法を身につけさせる。
- (3)多様な科目を通じて東洋思想・文化を総合的に学習することにより、自らが直面するさまざまな問題に対し独自の視点から分析と考察を行う能力を身につける。さらに自身の見解を論理的に表現し、それに基づいて実践することのできる能力を養成する。

◆第2部東洋思想文化学科（イブニングコース） 3つのポリシー◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

1. 東洋思想文化学科の教育目標に沿って設定された授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することが、学位授与の必要要件です。修得すべき授業科目の中には、講義だけでなく、演習や卒業論文等のさまざまな形態の科目が含まれています。
2. 東洋思想文化学科の教育目標で明示されている、(1) 東洋の思想と文化、ならびにそれを理解するのに役立つ語学、宗教に関する豊富な知識、(2) 東洋に特有の価値観や思考法への理解、(3) 自らが直面する様々な問題に対して、独自の視点から分析と考察を行い、自分の見解を論理的に表現し、また、それに基づいて実践することのできる能力、の三つが学習成果として実現されているかどうか、さらには、グローバル化の進む現代社会に貢献できる人材となっているかどうか、課程修了の目安になります。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

東洋思想文化学科では、教育上の理念と目的を達成するために、次の方針のもとに教育課程を編成し、また実施します。

1. 東洋思想文化学科の学生は、1年次・2年次を中心に、幅広い学問分野に触れ、全人的な教養を身につけるために、人文・自然などの「基盤教育」や「文学部基盤科目」を履修します。「文学部基盤科目」では、英語や中国語などの語学を重視しています。
2. 東洋思想文化学科の学生は、2年次以降の学習の基礎として、1年次にスタディースキル（読み、書き、発信する能力）を身につけるための科目、ならびに学科が教授する各分野の概要を知るための科目を履修します。
3. 東洋思想文化学科の学生は、2年次以降、専門分野に関する知識を深めるために、次の4つのコースのいずれか1つに属し、それぞれに定められた課程表に基づいて履修します。
 - (1) インド思想コース：長い歴史を持つインド（より広くは「南アジア」）の思想、歴史、文化などを体系的に学べるように多彩な科目群を提供します。それらをより本質的に理解するために、サンスクリット語やヒンディー語といった語学も学びます。
 - (2) 中国語・中国哲学文学コース：中国の哲学・文学・語学を三位一体のものとして学び、文献や資料に基づきながら中国文化について総合的な見識を養います。とりわけ中国語に関しては、検定試験の中級レベルに合格する実力を養成するプログラムを準備しています。
 - (3) 仏教思想コース：アジアの広範な地域に伝播定着した仏教とその文化を学ぶ横断的なコースです。仏教成立の背景から、アジア各地の仏教、そして現代日本の仏教にいたるまでを総合的に学びます。また、アジア各地の古典語（古典漢語、サンスクリット語、パーリ語、チベット語など）を体系的に学習します。
 - (4) 東洋芸術文化コース：インドや中国を中心にアジアに広がる美術などの芸術や多様な文化を幅広く学ぶコースです。基礎的教養としてはインド、中国などの歴史や思想・文学を学

- びつつ、東洋の芸術や文化をより柔軟な視点から理解するための科目を設けています。
4. 東洋思想文化学科の学生は、卒業年次に卒業論文の作成が課されます。学科の教育目標の達成度を測るものですので、学生生活の総決算として論文を完成させてください。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

東洋思想文化学科では、次のような学生を求めます。

1. 東洋思想文化学科が求める学生像

- (1) 東洋の思想や文化に対して強い関心を持つ学生を求めます。

東洋の思想や文化は、それぞれの長い伝統に培われた個性的なものです。異文化への関心や異なる価値観への理解は、東洋思想文化学科で勉学を続けていく上で絶対に不可欠です。

- (2) 外国語の学習に意欲を持つ学生を求めます。

東洋の思想や文化を学ぶ場合、サンスクリット語・中国語をはじめとする、古典および現代のアジア諸言語で書かれた文献が基礎資料となります。また、分野によっては、英語文献を参照することが不可欠です。

- (3) 物事を判断・主張するにあたって明確な根拠に基づいて筋道だった説明をすることのできる論理的能力を持つ学生を求めます。

論理的能力は日本社会においても大切な能力ですが、文化的背景を異にする人たちに自分を理解してもらうためにはますます重要となります。

2. 入学までに習得しておくべき知識内容とその水準

- (1) 国語

東洋思想文化学科での学びの基礎は文献読解です。何語で書かれた文献であれ、その内容を正しく理解し、それに対する自分の考えをまとめて主張するためには、国語能力は不可欠です。普段から文学や思想文化に関する著作に触れ、文章読解能力や論理的表現力、文章構成力等を養っておいてください。また、漢文はコースによっては、勉学上不可欠なものですし、文献資料を正確に読む練習にもなりますので、少なくとも基礎的な知識だけは身につけておいてください。

- (2) 英語

東洋思想文化学科では、様々な外国語が学べますが、その基礎は英語です。サンスクリット語などを学習する場合、どうしても英語の辞書を使わなくてはなりません。また、卒論などでも、テーマによっては、英語以外の参考文献がほとんどないという場合も稀れではありません。辞書を使えば英語の本の内容がおおよそ理解できる程度の英語力は不可欠といえます。入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。

- (3) 地理・歴史

東洋の思想や文化をよく理解するためには、その前提として、それらの国々が置かれた地理的環境や歴史に関する知識が不可欠なことは言うまでもありません。特に歴史については入学後にも関連する科目が多数ありますので、普段から関連する書籍に触れ、また、ニュースなどを通して現代の状況などにも注意を払うよう努めてください。

◆第2部 東洋思想文化学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学修の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位		
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		16 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位、「キャリア・市民形成」から 2 単位を 修得すること。		
	留学支援科目	英語特別教育科目			
		日本語科目			
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		16 単位以上 1 年次配当の英語・中国語 8 科目 8 単位必修		
インド思想コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修	14 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること	
	選択必修科目Ⅰ	実技講義科目 講義科目	24 単位以上		
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 海外研修	12 単位以上		
中国語・ 中国哲学文学コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 32 単位	必修科目合計 46 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	語学科目 講義科目	4 単位以上 8 単位以上	選択必修科目Ⅰ 12 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 実技講義科目 海外研修	6 単位以上		
仏教思想コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修 コース別必修	14 単位 22 単位	必修科目合計 36 単位以上	専門科目合計 74 単位以上 修得していること
	選択必修科目Ⅰ	実技講義科目 講義科目	12 単位以上		
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 海外研修	12 単位以上		
東洋芸術文化コース 専門科目	必修科目	各コース共通必修	14 単位	専門科目合計 74 単位以上 修得していること	
	選択必修科目Ⅰ	実技講義科目 講義科目	24 単位以上		
	選択必修科目Ⅱ	語学科目 講義科目 海外研修	12 単位以上		
教職科目			仏教思想コースのみ。卒業単位に含めない科目。		
他学部他学科開放科目					
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上		

◆◆ 2020 年度第 2 部東洋思想文化学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
東洋思想文化学科 インド思想コース							
専門科目							
専門科目 74 単位以上	必修科目 14 単位	各コース共通必修 14 単位	必修 SEM139	レポート・論文制作の技法	1	2	
			必修 CIB233	東洋思想文化演習Ⅰ A	2	1	
			必修 CIB234	東洋思想文化演習Ⅰ B	2	1	
			必修 CIB309	東洋思想文化演習Ⅱ A	3	1	
			必修 CIB310	東洋思想文化演習Ⅱ B	3	1	
			必修 THE458	卒論指導 A	4	1	
			必修 THE459	卒論指導 B	4	1	
			必修 HE460	卒業論文	4	6	
	選択必修科目Ⅰ 24 単位以上	講義科目	選択 CIB141	インド思想史 A	1～4	2	相互聴講
			選択 CIB142	インド思想史 B	1～4	2	
			選択 CIB143	インド文化概論 A	1～4	2	
			選択 CIB144	インド文化概論 B	1～4	2	
			選択 CIB145	仏教思想概論 A	1～4	2	
			選択 CIB146	仏教思想概論 B	1～4	2	
			選択 ASA110	インド・仏教の美術 A	1～4	2	
			選択 ASA111	インド・仏教の美術 B	1～4	2	
			選択 CIB235	インド仏教史 A	2～4	2	
			選択 CIB236	インド仏教史 B	2～4	2	
		実技講義科目	選択 CIB239	インド思想特講Ⅰ A	2～4	2	いずれか
			選択 CIB240	インド思想特講Ⅰ B	2～4	2	
			選択 CIB241	インド思想特講Ⅱ A	2～4	2	
			選択 CIB242	インド思想特講Ⅱ B	2～4	2	
			選択 CIB148	写経	1～4	2	
			選択 CIB149	ヨーガ	1～4	2	
			選択 CIB150	坐禅	1～4	2	
			選択 CIB151	仏教の芸能	1～4	2	
			選択 ASA112	インド舞踊	1～4	2	
	選択必修科目Ⅱ 12 単位以上	語学科目	選択 CHI125	基礎中国語 A	1	1	いずれか
			選択 CHI126	基礎中国語 B	1	1	
			選択 CHI311	中国語学演習 A	3～4	1	
			選択 CHI312	中国語学演習 B	3～4	1	
			選択 LIN213	パーリ語 A	2～4	1	1 部開講
			選択 LIN214	パーリ語 B	2～4	1	
			選択 LIN215	チベット語 A	2～4	1	
			選択 LIN216	チベット語 B	2～4	1	
			選択 CHI254	中級中国語 A	2～4	1	
			選択 CHI255	中級中国語 B	2～4	1	
			選択 CHI256	上級中国語 A	2～4	1	
			選択 CHI257	上級中国語 B	2～4	1	
			選択 LIN113	サンスクリット語Ⅰ A	1～4	1	1 部開講
			選択 LIN114	サンスクリット語Ⅰ B	1～4	1	
			選択 LIN115	ヒンディー語 A	1～4	1	
			選択 LIN116	ヒンディー語 B	1～4	1	
			選択 JLT149	仏教漢文 A	1～4	1	
			選択 JLT150	仏教漢文 B	1～4	1	
			選択 KOR111	韓国語 A	1～4	1	
			選択 KOR112	韓国語 B	1～4	1	
			選択 LIN217	サンスクリット語Ⅱ A	2～4	1	
			選択 LIN218	サンスクリット語Ⅱ B	2～4	1	
		講義科目	選択 RES118	宗教学概論 A	1～4	2	いずれか
			選択 RES119	宗教学概論 B	1～4	2	
			選択 CIB152	東洋の身体論	1～4	2	
			選択 CIB153	近代化と東洋	1～4	2	
			選択 ARS134	韓国の文化と社会	1～4	2	
			選択 CHL211	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2	
			選択 LIG118	比較文学Ⅰ	1～4	2	
			選択 LIG119	比較文学Ⅱ	1～4	2	

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目

1 部開講 … 第 1 部時間帯のみで開講する科目

相互聴講 … 第 1 部・第 2 部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	JLT135 日本文学文化概説A	1～4	2	
			選択	JLT136 日本文学文化概説B	1～4	2	
			選択	PHE133 哲学概論A	1～4	2	
			選択	PHE134 哲学概論B	1～4	2	
			選択	RES120 キリスト教概論	1～4	2	1部開講
			選択	CIB154 イスラーム概論	1～4	2	
			選択	CIB155 インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択	CIB156 現代のインド	1～4	2	
			選択	SOC165 現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択	SOC166 現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択	ASA113 中国の美術A	1～4	2	相互聴講
			選択	ASA114 中国の美術B	1～4	2	
			選択	FAH108 日本美術の世界	1～4	2	
			選択	CIB243 仏教思想特講ⅠA	2～4	2	いずれか
			選択	CIB244 仏教思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB245 仏教思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択	CIB246 仏教思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択	ASA211 東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	
			選択	ASA212 東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択	ASA213 東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
			選択	ASA214 東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	
			選択	HSG203 東西交渉史A	2～4	2	
			選択	HSG204 東西交渉史B	2～4	2	
			選択	CIB247 中国仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択	CIB248 中国仏教史B	2～4	2	
			選択	CIB249 韓国仏教史	2～4	2	いずれか
			選択	CIB250 チベット仏教史	2～4	2	相互聴講
			選択	RES211 日本仏教史A	2～4	2	
			選択	RES212 日本仏教史B	2～4	2	
			選択	HIT209 日本思想史概説A	2～4	2	
			選択	HIT210 日本思想史概説B	2～4	2	
			選択	RES217 宗教社会学A	2～4	2	
			選択	RES218 宗教社会学B	2～4	2	
			選択	CUA211 日本民俗学の諸問題	2～4	2	いずれか
			選択	CIB159 中国学概論A	1	2	
			選択	CIB160 中国学概論B	1	2	
			選択	CIB161 中国史概説A	1～2	2	相互聴講
			選択	CIB162 中国史概説B	1～2	2	
			選択	CIB163 中国学研究法A	1	2	
			選択	CIB164 中国学研究法B	1	2	
			選択	CHL112 漢文訓読法	1	2	
			選択	CIB311 中国哲学特講A	3～4	2	相互聴講
			選択	CIB312 中国哲学特講B	3～4	2	
			選択	CHL309 中国文学特講A	3～4	2	
			選択	CHL310 中国文学特講B	3～4	2	
			選択	CIB313 中国哲学史A	3～4	2	
			選択	CIB314 中国哲学史B	3～4	2	
			選択	CHL311 中国文学史A	3～4	2	
			選択	CHL312 中国文学史B	3～4	2	
			選択	CHL313 中国現代文学史A	3～4	2	いずれか
			選択	CHL314 中国現代文学史B	3～4	2	
			選択	JLT347 日本漢学A	3～4	2	相互聴講
			選択	JLT348 日本漢学B	3～4	2	
			選択	CIB251 中国哲学講読A	2～4	1	
			選択	CIB252 中国哲学講読B	2～4	1	
			選択	CHL207 中国文学講読A	2～4	1	
			選択	CHL208 中国文学講読B	2～4	1	
		海外研修	選択	CIB253 海外文化研修Ⅰ	1～4	2	
			選択	CIB254 海外文化研修Ⅱ	1～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
東洋思想文化学科 中国語・中国哲学文学コース							
専門科目							
専門科目 74単位以上	必修科目 46単位	各コース共通必修 14単位	必修 SEM139	レポート・論文制作の技法	1	2	
			必修 CIB233	東洋思想文化演習Ⅰ A	2	1	
			必修 CIB234	東洋思想文化演習Ⅰ B	2	1	
			必修 CIB309	東洋思想文化演習Ⅱ A	3	1	
			必修 CIB310	東洋思想文化演習Ⅱ B	3	1	
			必修 THE458	卒論指導 A	4	1	
			必修 THE459	卒論指導 B	4	1	
			必修 THE460	卒業論文	4	6	
		コース別必修 32単位	必修 CHI125	基礎中国語 A	1	1	
			必修 CHI126	基礎中国語 B	1	1	
			必修 CIB251	中国哲学講読 A	2～4	1	相互聴講
			必修 CIB252	中国哲学講読 B	2～4	1	
			必修 CHL207	中国文学講読 A	2～4	1	
			必修 CHL208	中国文学講読 B	2～4	1	
			必修 CIB159	中国学概論 A	1	2	
			必修 CIB160	中国学概論 B	1	2	
			必修 CIB163	中国学研究法 A	1	2	
			必修 CIB164	中国学研究法 B	1	2	
			必修 CHL112	漢文訓読法	1	2	
			必修 CIB313	中国哲学史 A	3～4	2	
			必修 CIB314	中国哲学史 B	3～4	2	
			必修 CHL311	中国文学史 A	3～4	2	
			必修 CHL312	中国文学史 B	3～4	2	
			必修 CIB311	中国哲学特講 A	3～4	2	相互聴講
			必修 CIB312	中国哲学特講 B	3～4	2	
			必修 CHL309	中国文学特講 A	3～4	2	
			必修 CHL310	中国文学特講 B	3～4	2	
			必修 CHL310	中国文学特講 B	3～4	2	
		4単位以上 語学科目 12単位以上 選択必修科目Ⅰ	選択 CHI254	中級中国語 A	2～4	1	
			選択 CHI255	中級中国語 B	2～4	1	
			選択 CHI256	上級中国語 A	2～4	1	
			選択 CHI257	上級中国語 B	2～4	1	
			選択 CHI311	中国語学演習 A	3～4	1	いずれか
			選択 CHI312	中国語学演習 B	3～4	1	
		講義科目 8単位以上	選択 CIB161	中国史概説 A	1～2	2	相互聴講
			選択 CIB162	中国史概説 B	1～2	2	
			選択 CHL313	中国現代文学史 A	3～4	2	いずれか
			選択 CHL314	中国現代文学史 B	3～4	2	
			選択 JLT347	日本漢学 A	3～4	2	相互聴講
			選択 JLT348	日本漢学 B	3～4	2	
		選択必修科目Ⅱ 6単位以上	選択 LIN113	サンスクリット語Ⅰ A	1～4	1	1部開講
			選択 LIN114	サンスクリット語Ⅰ B	1～4	1	
			選択 LIN115	ヒンディー語 A	1～4	1	
			選択 LIN116	ヒンディー語 B	1～4	1	
			選択 JLT149	仏教漢文 A	1～4	1	
			選択 JLT150	仏教漢文 B	1～4	1	
			選択 KOR111	韓国語 A	1～4	1	
			選択 KOR112	韓国語 B	1～4	1	
			選択 LIN217	サンスクリット語Ⅱ A	2～4	1	
			選択 LIN218	サンスクリット語Ⅱ B	2～4	1	
			選択 LIN213	パーリ語 A	2～4	1	
			選択 LIN214	パーリ語 B	2～4	1	
			選択 LIN215	チベット語 A	2～4	1	
			選択 LIN216	チベット語 B	2～4	1	
		講義科目	選択 RES118	宗教学概論 A	1～4	2	いずれか
			選択 RES119	宗教学概論 B	1～4	2	
			選択 CIB152	東洋の身体論	1～4	2	
			選択 CIB153	近代化と東洋	1～4	2	
			選択 ARS134	韓国の文化と社会	1～4	2	
			選択 CHL211	世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 6単位以上	講義科目	選択	LIG118 比較文学Ⅰ	1～4	2	
			選択	LIG119 比較文学Ⅱ	1～4	2	
			選択	JLT135 日本文学文化概説A	1～4	2	
			選択	JLT136 日本文学文化概説B	1～4	2	
			選択	PHE133 哲学概論A	1～4	2	
			選択	PHE134 哲学概論B	1～4	2	
			選択	CIB154 イスラーム概論	1～4	2	1部開講
			選択	RES120 キリスト教概論	1～4	2	
			選択	SOC165 現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択	SOC166 現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択	CIB143 インド文化概論A	1～4	2	相互聴講
			選択	CIB144 インド文化概論B	1～4	2	
			選択	CIB141 インド思想史A	1～4	2	
			選択	CIB142 インド思想史B	1～4	2	
			選択	CIB145 仏教思想概論A	1～4	2	
			選択	CIB146 仏教思想概論B	1～4	2	
			選択	ASA110 インド・仏教の美術A	1～4	2	
			選択	ASA111 インド・仏教の美術B	1～4	2	
			選択	ASA113 中国の美術A	1～4	2	
			選択	ASA114 中国の美術B	1～4	2	
			選択	FAH108 日本美術の世界	1～4	2	
			選択	CIB155 インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択	CIB156 現代のインド	1～4	2	
			選択	HSG203 東西交渉史A	2～4	2	
			選択	HSG204 東西交渉史B	2～4	2	
			選択	CIB235 インド仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択	CIB236 インド仏教史B	2～4	2	
			選択	CIB250 チベット仏教史	2～4	2	
			選択	CIB247 中国仏教史A	2～4	2	
			選択	CIB248 中国仏教史B	2～4	2	
			選択	CIB249 韓国仏教史	2～4	2	いずれか
			選択	RES211 日本仏教史A	2～4	2	相互聴講
			選択	RES212 日本仏教史B	2～4	2	
			選択	HIT209 日本思想史概説A	2～4	2	
			選択	HIT210 日本思想史概説B	2～4	2	
			選択	RES217 宗教社会学A	2～4	2	
			選択	RES218 宗教社会学B	2～4	2	
			選択	CUA211 日本民俗学の諸問題	2～4	2	いずれか
			選択	CIB239 インド思想特講ⅠA	2～4	2	
			選択	CIB240 インド思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB241 インド思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択	CIB242 インド思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択	CIB243 仏教思想特講ⅠA	2～4	2	
			選択	CIB244 仏教思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB245 仏教思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択	CIB246 仏教思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択	ASA211 東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	
			選択	ASA212 東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択	ASA213 東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
			選択	ASA214 東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	
		実技講義科目	選択	CIB148 写経	1～4	2	
			選択	CIB149 ヨーガ	1～4	2	
			選択	CIB150 坐禅	1～4	2	
			選択	CIB151 仏教の芸能	1～4	2	
		海外研修	選択	ASA112 インド舞踊	1～4	2	
			選択	CIB253 海外文化研修Ⅰ	1～4	2	
			選択	CIB254 海外文化研修Ⅱ	1～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目
 1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目
 相互聴講・・・第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考			
東洋思想文化学科 仏教思想コース										
専門科目										
専門科目 74単位以上	必修科目 36単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM139	レポート・論文制作の技法	1	2	相互聴講		
			必修	CIB233	東洋思想文化演習Ⅰ A	2	1			
			必修	CIB234	東洋思想文化演習Ⅰ B	2	1			
			必修	CIB309	東洋思想文化演習Ⅱ A	3	1			
			必修	CIB310	東洋思想文化演習Ⅱ B	3	1			
			必修	THE458	卒論指導 A	4	1			
			必修	THE459	卒論指導 B	4	1			
		必修	THE460	卒業論文	4	6				
		コース別必修 22単位	必修	CIB145	仏教思想概論 A	1～4	2			
			必修	CIB146	仏教思想概論 B	1～4	2			
			必修	CIB141	インド思想史 A	1～4	2			
			必修	CIB142	インド思想史 B	1～4	2			
			必修	CIB235	インド仏教史 A	2～4	2			
			必修	CIB236	インド仏教史 B	2～4	2			
			必修	CIB247	中国仏教史 A	2～4	2			
			必修	CIB248	中国仏教史 B	2～4	2			
			必修	RES211	日本仏教史 A	2～4	2			
			必修	RES212	日本仏教史 B	2～4	2			
			必修	CIB250	チベット仏教史	2～4	2			
	選択必修科目Ⅰ 12単位以上		講義科目	選択	CIB243	仏教思想特講Ⅰ A	2～4	2	いずれか	
		選択		CIB244	仏教思想特講Ⅰ B	2～4	2			
		選択		CIB245	仏教思想特講Ⅱ A	2～4	2			
		選択		CIB246	仏教思想特講Ⅱ B	2～4	2			
		選択		HSG203	東西交渉史 A	2～4	2			
		選択		HSG204	東西交渉史 B	2～4	2			
		実技講義科目	選択	CIB148	写経	1～4	2			
			選択	CIB149	ヨーガ	1～4	2			
			選択	CIB150	坐禅	1～4	2			
			選択	CIB151	仏教の芸能	1～4	2			
			選択	ASA112	インド舞踊	1～4	2			
			語学科目	選択	CHI125	基礎中国語 A	1		1	いずれか
				選択	CHI126	基礎中国語 B	1		1	
				選択	CHI311	中国語学演習 A	3～4		1	
		選択		CHI312	中国語学演習 B	3～4	1			
		語学科目		選択	LIN113	サンスクリット語Ⅰ A	1～4	1	1部開講	
				選択	LIN114	サンスクリット語Ⅰ B	1～4	1		
				選択	LIN115	ヒンディー語 A	1～4	1		
			選択	LIN116	ヒンディー語 B	1～4	1			
			選択	JLT149	仏教漢文 A	1～4	1			
			選択	JLT150	仏教漢文 B	1～4	1			
選択	KOR111		韓国語 A	1～4	1					
選択	KOR112		韓国語 B	1～4	1					
選択	LIN217		サンスクリット語Ⅱ A	2～4	1					
選択	LIN218		サンスクリット語Ⅱ B	2～4	1					
選択	LIN213		パーリ語 A	2～4	1					
選択	LIN214		パーリ語 B	2～4	1					
選択	LIN215		チベット語 A	2～4	1					
選択	LIN216		チベット語 B	2～4	1					
選択	CHI254		中級中国語 A	2～4	1					
選択	CHI255		中級中国語 B	2～4	1					
選択	CHI256		上級中国語 A	2～4	1					
選択	CHI257		上級中国語 B	2～4	1					
講義科目	選択	RES118	宗教学概論 A	1～4	2	1部開講				
	選択	RES119	宗教学概論 B	1～4	2					
	選択	CIB152	東洋の身体論	1～4	2	いずれか				
	選択	CIB153	近代化と東洋	1～4	2					
	選択	ARS134	韓国の文化と社会	1～4	2					
	選択	CHL211	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2					
	選択	LIG118	比較文学Ⅰ	1～4	2					

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修／選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意／備考	
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	LIG119	比較文学Ⅱ	1～4	2	
			選択	JLT135	日本文学文化概説A	1～4	2	
			選択	JLT136	日本文学文化概説B	1～4	2	
			選択	PHE133	哲学概論A	1～4	2	
			選択	PHE134	哲学概論B	1～4	2	
			選択	CIB154	イスラーム概論	1～4	2	1部開講
			選択	RES120	キリスト教概論	1～4	2	
			選択	CIB155	インド現代思想	1～4	2	いずれか
			選択	CIB156	現代のインド	1～4	2	
			選択	SOC165	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
			選択	SOC166	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
			選択	CIB143	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講
			選択	CIB144	インド文化概論B	1～4	2	
			選択	ASA110	インド・仏教の美術A	1～4	2	
			選択	ASA111	インド・仏教の美術B	1～4	2	
			選択	ASA113	中国の美術A	1～4	2	
			選択	ASA114	中国の美術B	1～4	2	
			選択	FAH108	日本美術の世界	1～4	2	
			選択	CIB239	インド思想特講ⅠA	2～4	2	いずれか
			選択	CIB240	インド思想特講ⅠB	2～4	2	
			選択	CIB241	インド思想特講ⅡA	2～4	2	
			選択	CIB242	インド思想特講ⅡB	2～4	2	
			選択	ASA211	東洋芸術文化特講ⅠA	2～4	2	
			選択	ASA212	東洋芸術文化特講ⅠB	2～4	2	
			選択	ASA213	東洋芸術文化特講ⅡA	2～4	2	
			選択	ASA214	東洋芸術文化特講ⅡB	2～4	2	
			選択	CIB249	韓国仏教史	2～4	2	
			選択	HIT209	日本思想史概説A	2～4	2	
			選択	HIT210	日本思想史概説B	2～4	2	
			選択	RES217	宗教社会学A	2～4	2	
			選択	RES218	宗教社会学B	2～4	2	
			選択	CUA211	日本民俗学の諸問題	2～4	2	いずれか
			選択	CIB251	中国哲学講読A	2～4	1	相互聴講
			選択	CIB252	中国哲学講読B	2～4	1	
			選択	CHL207	中国文学講読A	2～4	1	
			選択	CHL208	中国文学講読B	2～4	1	
			選択	CIB159	中国学概論A	1	2	
			選択	CIB160	中国学概論B	1	2	
			選択	CIB161	中国史概説A	1～2	2	相互聴講
			選択	CIB162	中国史概説B	1～2	2	
			選択	CIB163	中国学研究法A	1	2	
			選択	CIB164	中国学研究法B	1	2	
			選択	CHL112	漢文訓読法	1	2	
			選択	CIB311	中国哲学特講A	3～4	2	相互聴講
			選択	CIB312	中国哲学特講B	3～4	2	
			選択	CHL309	中国文学特講A	3～4	2	
選択	CHL310	中国文学特講B	3～4	2				
選択	CIB313	中国哲学史A	3～4	2				
選択	CIB314	中国哲学史B	3～4	2				
選択	CHL311	中国文学史A	3～4	2				
選択	CHL312	中国文学史B	3～4	2				
選択	CHL313	中国現代文学史A	3～4	2	いずれか			
選択	CHL314	中国現代文学史B	3～4	2				
選択	JLT347	日本漢学A	3～4	2	相互聴講			
選択	JLT348	日本漢学B	3～4	2				
海外研修	選択	CIB253	海外文化研修Ⅰ	1～4	2			
	選択	CIB254	海外文化研修Ⅱ	1～4	2			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
教職科目								
教職科目		選択	HUG208	地誌学A	1～4	2	卒業単位に含めない科目	
		選択	HUG209	地誌学B	1～4	2		
		選択	GGR113	自然地理学A	1～4	2		
		選択	GGR114	自然地理学B	1～4	2		
		選択	HUG206	人文地理学A	1～4	2		
		選択	HUG207	人文地理学B	1～4	2		
		選択	ILA205	国際法A	2	2		
		選択	ILA206	国際法B	2	2		
		選択	POL211	政治学原論A	2	2		
		選択	POL212	政治学原論B	2	2		
		選択	ESS320	社会・地歴指導法Ⅰ	3	2		
		選択	ESS321	社会・地歴指導法Ⅱ	3	2		
		選択	ESS322	社会・公民指導法Ⅰ	3	2		
		選択	ESS323	社会・公民指導法Ⅱ	3	2		
	選択	ESS407	教職実践演習(中・高)	4	2			
東洋思想文化学科 東洋芸術文化コース								
専門科目								
専門科目 74単位以上	必修科目 14単位	各コース共通必修 14単位	必修	SEM139	レポート・論文制作の技法	1	2	
			必修	CIB233	東洋思想文化演習Ⅰ A	2	1	
			必修	CIB234	東洋思想文化演習Ⅰ B	2	1	
			必修	CIB309	東洋思想文化演習Ⅱ A	3	1	
			必修	CIB310	東洋思想文化演習Ⅱ B	3	1	
			必修	THE458	卒論指導A	4	1	
			必修	THE459	卒論指導B	4	1	
			必修	THE460	卒業論文	4	6	
	選択必修科目Ⅰ 24単位以上	講義科目	選択	CIB143	インド文化概論A	1～4	2	相互聴講
			選択	CIB144	インド文化概論B	1～4	2	
			選択	ASA110	インド・仏教の美術A	1～4	2	
			選択	ASA111	インド・仏教の美術B	1～4	2	
			選択	ASA113	中国の美術A	1～4	2	
			選択	ASA114	中国の美術B	1～4	2	
			選択	CIB141	インド思想史A	1～4	2	
			選択	CIB142	インド思想史B	1～4	2	
			選択	CIB145	仏教思想概論A	1～4	2	
			選択	CIB146	仏教思想概論B	1～4	2	
			選択	CIB250	チベット仏教史	2～4	2	
			選択	CIB313	中国哲学史A	3～4	2	
			選択	CIB314	中国哲学史B	3～4	2	
		実技講義科目	選択	ASA211	東洋芸術文化特講Ⅰ A	2～4	2	いずれか
			選択	ASA212	東洋芸術文化特講Ⅰ B	2～4	2	
			選択	ASA213	東洋芸術文化特講Ⅱ A	2～4	2	
			選択	ASA214	東洋芸術文化特講Ⅱ B	2～4	2	
			選択	CIB148	写経	1～4	2	
			選択	CIB149	ヨーガ	1～4	2	
			選択	CIB150	坐禅	1～4	2	
	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	語学科目	選択	CIB151	仏教の芸能	1～4	2	
			選択	ASA112	インド舞踊	1～4	2	
			選択	CHI125	基礎中国語A	1	1	
			選択	CHI126	基礎中国語B	1	1	
			選択	CHI311	中国語学演習A	3～4	1	いずれか
			選択	CHI312	中国語学演習B	3～4	1	
			選択	LIN113	サンスクリット語Ⅰ A	1～4	1	1部開講
			選択	LIN114	サンスクリット語Ⅰ B	1～4	1	
			選択	LIN115	ヒンディー語A	1～4	1	
			選択	LIN116	ヒンディー語B	1～4	1	
			選択	JLT149	仏教漢文A	1～4	1	
			選択	JLT150	仏教漢文B	1～4	1	
			選択	KOR111	韓国語A	1～4	1	
			選択	KOR112	韓国語B	1～4	1	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意/備考
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	語学科目	選択 LIN217	サンスクリット語Ⅱ A	2～4	1	1部開講
			選択 LIN218	サンスクリット語Ⅱ B	2～4	1	
			選択 LIN213	パーリ語 A	2～4	1	
			選択 LIN214	パーリ語 B	2～4	1	
			選択 LIN215	チベット語 A	2～4	1	
			選択 LIN216	チベット語 B	2～4	1	
			選択 CHI254	中級中国語 A	2～4	1	
			選択 CHI255	中級中国語 B	2～4	1	
			選択 CHI256	上級中国語 A	2～4	1	
			選択 CHI257	上級中国語 B	2～4	1	
		講義科目	選択 RES118	宗教学概論 A	1～4	2	1部開講
			選択 RES119	宗教学概論 B	1～4	2	
			選択 CIB152	東洋の身体論	1～4	2	
			選択 CIB153	近代化と東洋	1～4	2	いずれか
			選択 ARS134	韓国の文化と社会	1～4	2	
			選択 CHL211	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2	
			選択 LIG118	比較文学Ⅰ	1～4	2	
			選択 LIG119	比較文学Ⅱ	1～4	2	
			選択 JLT135	日本文学文化概説 A	1～4	2	1部開講
			選択 JLT136	日本文学文化概説 B	1～4	2	
			選択 PHE133	哲学概論 A	1～4	2	
			選択 PHE134	哲学概論 B	1～4	2	
			選択 CIB154	イスラーム概論	1～4	2	1部開講
			選択 RES120	キリスト教概論	1～4	2	
			選択 CIB155	インド現代思想	1～4	2	
			選択 CIB156	現代のインド	1～4	2	いずれか
			選択 SOC165	現代社会に生きる仏教 A	1～4	2	
			選択 SOC166	現代社会に生きる仏教 B	1～4	2	
			選択 FAH108	日本美術の世界	1～4	2	いずれか
			選択 CIB239	インド思想特講Ⅰ A	2～4	2	
			選択 CIB240	インド思想特講Ⅰ B	2～4	2	
			選択 CIB241	インド思想特講Ⅱ A	2～4	2	
			選択 CIB242	インド思想特講Ⅱ B	2～4	2	
			選択 CIB243	仏教思想特講Ⅰ A	2～4	2	
			選択 CIB244	仏教思想特講Ⅰ B	2～4	2	
			選択 CIB245	仏教思想特講Ⅱ A	2～4	2	
			選択 CIB246	仏教思想特講Ⅱ B	2～4	2	
			選択 HSG203	東西交渉史 A	2～4	2	相互聴講
			選択 HSG204	東西交渉史 B	2～4	2	
			選択 CIB235	インド仏教史 A	2～4	2	
			選択 CIB236	インド仏教史 B	2～4	2	
			選択 CIB247	中国仏教史 A	2～4	2	
			選択 CIB248	中国仏教史 B	2～4	2	いずれか
			選択 CIB249	韓国仏教史	2～4	2	
			選択 RES211	日本仏教史 A	2～4	2	相互聴講
			選択 RES212	日本仏教史 B	2～4	2	
			選択 HIT209	日本思想史概説 A	2～4	2	相互聴講
			選択 HIT210	日本思想史概説 B	2～4	2	
			選択 RES217	宗教社会学 A	2～4	2	いずれか
			選択 RES218	宗教社会学 B	2～4	2	
			選択 CUA211	日本民俗学の諸問題	2～4	2	相互聴講
			選択 CIB159	中国学概論 A	1	2	
			選択 CIB160	中国学概論 B	1	2	相互聴講
			選択 CIB161	中国史概説 A	1～2	2	
			選択 CIB162	中国史概説 B	1～2	2	相互聴講
			選択 CIB163	中国学研究法 A	1	2	
			選択 CIB164	中国学研究法 B	1	2	相互聴講
			選択 CHL112	漢文訓読法	1	2	
			選択 CIB311	中国哲学特講 A	3～4	2	相互聴講
			選択 CIB312	中国哲学特講 B	3～4	2	
			選択 CHL309	中国文学特講 A	3～4	2	
			選択 CHL310	中国文学特講 B	3～4	2	

セット…セット履修科目、隔年開講…隔年開講科目、いずれか…第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講…第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講…第1部・第2部相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分		必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目 74単位以上	選択必修科目Ⅱ 12単位以上	講義科目	選択	CHL311	中国文学史A	3～4	2	
			選択	CHL312	中国文学史B	3～4	2	
			選択	CHL313	中国現代文学史A	3～4	2	いずれか
			選択	CHL314	中国現代文学史B	3～4	2	
			選択	JLT347	日本漢学A	3～4	2	相互聴講
			選択	JLT348	日本漢学B	3～4	2	
			選択	CIB251	中国哲学講読A	2～4	1	
			選択	CIB252	中国哲学講読B	2～4	1	
			選択	CHL207	中国文学講読A	2～4	1	
			選択	CHL208	中国文学講読B	2～4	1	
	海外研修	選択	CIB253	海外文化研修Ⅰ	1～4	2		
		選択	CIB254	海外文化研修Ⅱ	1～4	2		

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

2020 年度第 2 部東洋思想文化学科 教育課程表

区 分	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年
文学部教育	東洋大学・井上仁了研究 (2) 伝統文化講座 (2)			
	生涯学習概論 I (2)	特別支援教育概論 I (2)		
文学部基礎 専門科目	世界の文学文化と日本 I (2) 伝統行事を学ぶ (2) 世界の文学文化と日本 II (2) 伝統芸能を学ぶ (2) 特別支援教育概論 II (2)	家族心理学 (2) 児童文化研究 (2) 心理学の研究と理論 (2)		
		日本の児童文学 (2)		
英語	英語 I AA (1) 英語 I AB (1) 英語 I BA (1) 英語 I BB (1)	英語 II AA (1) 英語 II AB (1) 英語 II BA (1) 英語 II BB (1)		
ドイツ語	ドイツ語 I AA (1) ドイツ語 I AB (1) ドイツ語 I BA (1) ドイツ語 I BB (1)	ドイツ語 II AA (1) ドイツ語 II AB (1) ドイツ語 II BA (1) ドイツ語 II BB (1)		
フランス語	フランス語 I AA (1) フランス語 I AB (1) フランス語 I BA (1) フランス語 I BB (1)	フランス語 II AA (1) フランス語 II AB (1) フランス語 II BA (1) フランス語 II BB (1)		
中国語	中国語 I AA (1) 中国語 I AB (1) 中国語 I BA (1) 中国語 I BB (1)	中国語 II AA (1) 中国語 II AB (1) 中国語 II BA (1) 中国語 II BB (1)		
	教育基礎論 (2) 教育制度論 (2)	社会教育実習 (1)		
諸資格関連科目	社会教育経営論 I (2) 生涯学習概論 I (2) 家庭教育論 (2) 図書館概論 (2) 図書館制度・経営論 (2) 図書館情報技術論 (2) 図書館サービス概論 (2) 学校経営と学校図書館 (2) 情報メディアの活用 (2)	社会教育経営論 II (2) 生涯学習支援論 I (2) グローバル化と学習 (2) 図書館情報資源概論 (2) 児童サービス論 (2) 情報サービス演習 A (1) 情報サービス演習 B (1) 学校図書館メディアの構成 (2)	視覚教育 (聴覚障害児) 実践 (2) 生涯学習支援論 II (2) 社会教育課題研究 I (2) 図書館情報資源概論 (2) 情報資源組織論 (2) 児童サービス演習 A (1) 情報サービス演習 B (1) 学習指導と学校図書館 (2)	女性問題と学習 (2) 社会教育課題研究 II (2) 図書館情報資源特論 (2) 図書・図書館史 (2) 読書と豊かな人間性 (2) インターンシップ (2) ボランティア活動 (2)
キャリア教育	キャリア支援 I (2) キャリア支援 II (2)	教員養成講座 I (2) 教員養成講座 II (2)	情報処理演習 A (1) 情報処理演習 B (1)	

文学部基礎科目 16 単位以上

インド思想コース

区分	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年
各コース 共通必修 14 単位	レポート・論文制作の技法 (2)	東洋思想文化演習 I A (1) 東洋思想文化演習 I B (1)	東洋思想文化演習 II A (1) 東洋思想文化演習 II B (1)	交換指導 A (1) 交換指導 B (1) 卒業論文 (6)
選択必修 科目 I 24 単位以上	インド思想史 A (2) インド思想史 B (2)	インド文化概論 A (2) インド文化概論 B (2) インド仏教史 A (2) インド仏教史 B (2)	仏教思想概論 A (2) 仏教思想概論 B (2)	インド・仏教の美術 A (2) インド・仏教の美術 B (2)
		インド思想特講 I A (2) インド思想特講 I B (2)	インド思想特講 II A (2) インド思想特講 II B (2)	
	写経 (2) インド舞踊 (2)	ヨーガ (2)	坐禅 (2)	仏教の芸能 (2)
	基礎中国語 A (1) 基礎中国語 B (1)		中国語学演習 A (1) 中国語学演習 B (1)	
語学科目	サンスクリット語 I A (1) サンスクリット語 I B (1)	ヒンディー語 A (1) ヒンディー語 B (1)	仏教漢文 A (1) 仏教漢文 B (1)	韓国語 A (1) 韓国語 B (1) 中級中国語 A (1) 中級中国語 B (1)
	パーリ語 A (1) パーリ語 B (1)	上級中国語 A (1) 上級中国語 B (1)	チベット語 A (1) チベット語 B (1) サンスクリット語 II A (1) サンスクリット語 II B (1)	
	宗教学概論 A (2) 宗教学概論 B (2) インド現代思想 (2) 現代のインド (2) 韓国の文化と社会 (2) 日本の文化と社会 (2) 哲学概論 A (2) 哲学概論 B (2)	東洋の身体論 (2) 近代化と東洋 (2) 日本文学文化概説 A (2) 日本文学文化概説 B (2) 中国の美術 A (2) 中国の美術 B (2)	現代社会に生きる仏教 A (2) 現代社会に生きる仏教 B (2) 世界の文学文化と日本 II (2) 比較文学 I (2) 比較文学 II (2)	キリスト教概論 (2) イスラーム概論 (2) 比較文学 I (2) 比較文学 II (2)
選択必修 科目 II 12 単位以上	中国学概論 A (2) 中国学概論 B (2) 中国学研究法 B (2) 漢文訓読法 (2)	仏教思想特講 I A (2) 仏教思想特講 I B (2) 東洋芸術文化特講 II A (2) 東洋芸術文化特講 II B (2) 韓国仏教史 (2) チベット仏教史 (2) 宗教社会学 A (2) 宗教社会学 B (2)	仏教思想特講 II A (2) 仏教思想特講 II B (2) 東西交渉史 A (2) 東西交渉史 B (2) 日本仏教史 A (2) 日本仏教史 B (2) 日本民俗学の諸問題 (2)	東洋芸術文化特講 I A (2) 東洋芸術文化特講 I B (2) 中国仏教史 A (2) 中国仏教史 B (2) 日本思想史概説 A (2) 日本思想史概説 B (2)
	中国史概説 A (2) 中国史概説 B (2)		中国文学特講 A (2) 中国文学特講 B (2) 中国哲学史 A (2) 中国哲学史 B (2) 中国現代文学史 A (2) 中国現代文学史 B (2)	中国哲学特講 A (2) 中国哲学特講 B (2) 中国文学史 A (2) 中国文学史 B (2) 日本漢学 A (2) 日本漢学 B (2)
海外研修	海外文化研修 I (2) 海外文化研修 II (2)	中国哲学講読 A (1) 中国哲学講読 B (1)	中国文学講読 A (1) 中国文学講読 B (1)	
他学部他学科開設科目	科目は別表に記載			

中国語・中国哲学文学コース

区分		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 46単位	各コース 共通必修 14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(6)
	基礎科目 12単位以上	基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)	中国文学講読A(1) 中国文学講読B(1)	中国哲学講読A(1) 中国哲学講読B(1)	
	コース別 必修 32単位		中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2)	
	選択必修科目 12単位以上	漢文訓詁法(2)	上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	上級中国語A(1) 上級中国語B(1)	
専門科目 74単位以上	講義科目 8単位以上	中国史概説A(2) 中国史概説B(2)		中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
	語学科目	サンスクリット語ⅠA(1)ヒンディー語A(1) サンスクリット語ⅠB(1)ヒンディー語B(1)	サンスクリット語ⅡA(1)パーリ語A(1) サンスクリット語ⅡB(1)パーリ語B(1)	サンスクリット語ⅢA(1)パーリ語A(1) サンスクリット語ⅢB(1)パーリ語B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1) チベット語A(1) チベット語B(1)
	講義科目	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) インド現代思想(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 哲学概論A(2) 哲学概論B(2)	東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド現代思想(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 哲学概論A(2) 哲学概論B(2)	イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) 仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2) 仏教漢文A(1) 仏教漢文B(1) チベット語A(1) チベット語B(1)
	講義科目	東西交渉史A(2) 東西交渉史B(2) チベット仏教史(2) 韓国仏教史(2) 宗教社会学A(2) 宗教社会学B(2) 仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2) 日本民俗学の諸問題(2)	インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 仏教思想特講ⅢA(2) 仏教思想特講ⅢB(2) 東洋芸術文化特講ⅣA(2) 東洋芸術文化特講ⅣB(2) 日本民俗学の諸問題(2)	インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2) 日本民俗学の諸問題(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2)
他学部他学科開放科目	実技講義 科目	写経(2)	インド舞踊(2)	坐禅(2)	仏教の芸能(2)
	海外研修 科目	海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2)			
	海外研修 科目	海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2)			
他学部他学科開放科目	教職科目	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)
	教職科目	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)
	他学部他学科開放科目	科目は別表に記載	科目は別表に記載	科目は別表に記載	科目は別表に記載

仏教思想コース

区分		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 36単位	各コース 共通必修 14単位	レポート・論文制作の技法(2)	東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(6)
	基礎科目 12単位以上	基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)	中国文学講読A(2) 中国文学講読B(2)	中国哲学講読A(1) 中国哲学講読B(1)	
	コース別 必修 22単位		インド思想史A(2) インド思想史B(2) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) チベット仏教史(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) チベット語A(1) チベット語B(1)	日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) チベット語A(1) チベット語B(1)
	選択必修科目 12単位以上	写経(2)	インド舞踊(2)	坐禅(2)	仏教の芸能(2)
専門科目 74単位以上	講義科目 8単位以上	中国史概説A(1) 中国史概説B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
	語学科目	サンスクリット語ⅠA(1)ヒンディー語A(1) サンスクリット語ⅠB(1)ヒンディー語B(1)	サンスクリット語ⅡA(1)パーリ語A(1) サンスクリット語ⅡB(1)パーリ語B(1)	サンスクリット語ⅢA(1)パーリ語A(1) サンスクリット語ⅢB(1)パーリ語B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1) チベット語A(1) チベット語B(1)
	講義科目	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) インド現代思想(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 哲学概論A(2) 哲学概論B(2)	東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド現代思想(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 哲学概論A(2) 哲学概論B(2)	イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2) 仏教漢文A(1) 仏教漢文B(1) チベット語A(1) チベット語B(1)
	講義科目	東西交渉史A(2) 東西交渉史B(2) チベット仏教史(2) 韓国仏教史(2) 宗教社会学A(2) 宗教社会学B(2) 仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2) 日本民俗学の諸問題(2)	インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 仏教思想特講ⅢA(2) 仏教思想特講ⅢB(2) 東洋芸術文化特講ⅣA(2) 東洋芸術文化特講ⅣB(2) 日本民俗学の諸問題(2)	インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2) インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2)
他学部他学科開放科目	実技講義 科目	写経(2)	インド舞踊(2)	坐禅(2)	仏教の芸能(2)
	海外研修 科目	海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2)			
	海外研修 科目	海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2)			
他学部他学科開放科目	教職科目	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)
	教職科目	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)	国際法A(2) 国際法B(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2)
	他学部他学科開放科目	科目は別表に記載	科目は別表に記載	科目は別表に記載	科目は別表に記載

東洋芸術文化コース

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 各コース 共通必修 14単位	レポート・論文制作の技法(2) 東洋思想文化演習ⅠA(1) 東洋思想文化演習ⅠB(1)	東洋思想文化特講ⅠA(2) 東洋思想文化特講ⅠB(2)	東洋思想文化演習ⅡA(1) 東洋思想文化演習ⅡB(1)	卒業指導A(1) 卒業指導B(1) 卒業論文(6)
選択必修科目Ⅰ 24 単位以上	インド文化概論A(2) インド文化概論B(2) 仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2)	インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 中国の美術A(2) 中国の美術B(2)	中国の美術A(2) 中国の美術B(2)	インド思想史A(2) インド思想史B(2)
	講義科目	チベット仏教史(2) 東洋芸術文化特講ⅠA(2) 東洋芸術文化特講ⅠB(2) 東洋芸術文化特講ⅡA(2) 東洋芸術文化特講ⅡB(2)	中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 坐禅(2)	仏教の芸能(2)
	実技講義 科目 インド舞踊(2)	ヨーガ(2)		
	基礎中国語A(1) 基礎中国語B(1)		中国語学演習A(1) 中国語学演習B(1)	
専門科目 74 単位以上	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1)	ヒンディー語A(1) ヒンディー語B(1)	仏教漢文A(1) 仏教漢文B(1)	韓国語A(1) 韓国語B(1)
	サンスクリット語ⅡA(1) サンスクリット語ⅡB(1)	パーリ語A(1) パーリ語B(1)	チベット語A(1) チベット語B(1)	
	中級中国語A(1) 中級中国語B(1)	上級中国語A(1) 上級中国語B(1)		
	宗教学概論A(2) 宗教学概論B(2) インド現代思想(2) 現代のインド(2) 日本美術の世界(2) 韓国の文化と社会(2)	東洋の身体論(2) 近代化と東洋(2) 日本文学文化概説A(2) 日本文学文化概説B(2)	現代社会に生きる仏教A(2) 現代社会に生きる仏教B(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	イスラーム概論(2) キリスト教概論(2) 比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 哲学概論A(2) 哲学概論B(2)
講義科目 選択必修科目Ⅱ 12 単位以上	中国学概論A(2) 中国学概論B(2) 中国学研究法A(2) 中国学研究法B(2) 漢文訓読法(2)	インド思想特講ⅠA(2) インド思想特講ⅠB(2) 東西交渉史A(2) 東西交渉史B(2) 仏教思想特講ⅡA(2) 仏教思想特講ⅡB(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 日本民俗学の諸問題(2) 日本思想史概説A(2) 日本思想史概説B(2)	インド思想特講ⅡA(2) インド思想特講ⅡB(2) 東西交渉史A(2) 東西交渉史B(2) 韓国仏教史(2) 日本民俗学の諸問題(2) 宗教社会学A(2) 宗教社会学B(2)	仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠB(2) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2)
	中国史概説A(2) 中国史概説B(2)		中国哲学特講A(2) 中国哲学特講B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2)	中国文学特講A(2) 中国文学特講B(2) 中国文学史A(2) 中国文学史B(2)
		中国哲学講義A(1) 中国哲学講義B(1)	中国文学講義A(1) 中国文学講義B(1)	
	海外研修 海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2)			
他学部他学科開放科目 科目は別表に記載				

◆◆東洋思想文化学科のコース分けについて◆◆

1. 各コースの概要とコース分けの年次

東洋思想文化学科には主たる学習内容別に4つのコースが設置されています。4コースの概要は以下の通りです。

コース名	概要
インド思想コース	古代から現代までのインドの思想・宗教を中心に学ぶコースであり、文献講読に必要なインド古典語のサンスクリット語や現代語のヒンディー語なども併せて学習する。
中国語・中国哲学文学コース	中国の古典から現代までの思想・文学あるいは文化事象を学ぶコースである。併せて文献講読に必要な漢文読解力や中国語の語学力を養成する。
仏教思想コース	インド、中国、日本を中心とした仏教の歴史的展開や思想内容を詳しく学ぶコースであり、仏教の理解に必要なサンスクリット語、パーリ語、チベット語、仏教漢文などの語学も学習する。
東洋芸術文化コース	インド、中国、日本などの美術を中心に建築、芸能、音楽などアジアの芸術、文化を総合的に学ぶコースである。併せてサンスクリット語、漢文、ヒンディー語などアジアの外国語も学習する。

1年次に開講される、各コースの概論科目を受講することを通して、2年次からのコース選択の参考としてください。コース選択の希望聴取は12月に行いますので、それまでに自分の進みたいコースを決めておいてください。2年次からは、自分の選択した各コースのカリキュラムにしたがって、コース別の専門科目の履修が本格的に始まります（ただし、コースごとに定員数が設定されているので、学科が選考する場合があります）。

2. コースに関連した履修上の注意

1年次に履修した専門科目について

1年次から履修できる専門科目のうち、選択した2年次からのコースの教育課程表に記載されていない科目は卒業単位になりません（自由科目として単位認定される）。

◆◆科目の履修上の注意◆◆

必修科目

卒業論文は必修であるため、1年次から計画を立て研究室等の指示に注意してください。

4年次の「卒業論文」の履修登録は、**第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限り**ます。

原級した場合の卒論指導の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「卒論指導A」「卒論指導B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論指導A」を秋学期に、「卒論指導B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

実技講義科目および海外研修

科目によっては集中講義となる場合や第1部時間帯のみ開講する場合、また別途費用が必要となる場合があるので、「シラバス（講義要項）」等で十分に確認したうえで履修してください。

東洋思想文化学科第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

東洋思想文化学科第1部・第2部間でのみ相互聴講を認めます。

履修条件は、以下の通りです。

- (1) 第1部東洋思想文化学科提供科目群のうち、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 科目提供主体（第1部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法
第1部提供科目の履修を希望する場合は、第2部の科目と同様に履修登録をしてください。
- (6) 対象科目（第1部東洋思想文化学科提供科目群）
教育課程表「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目。

◆文学部第2部東洋思想文化学科 カリキュラムマップ◆

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
第 1 セメスタ	第 2 セメスタ	第 3 セメスタ	第 4 セメスタ	第 5 セメスタ	第 6 セメスタ	第 7 セメスタ	第 8 セメスタ
入門				応用		完成	
サンスクリット語Ⅰ AB／ヒンディー語 AB 基礎中国語 AB／漢文訓読法 仏教漢文 AB		サンスクリット語Ⅱ AB パーリ語 AB／チベット語 AB 中級中国語 AB／上級中国語 AB／中国語学演習 AB 韓国語 AB／日本語文法 AB／日本語概説 AB					
中国史概説 A B		中国哲学史 A B／中国文学史 A B／中国現代文学史 A B／日本漢学 A B／中国哲学特講 A B／中国文学特講 A B					
中国学概論 A B／インド思想史 A B／インド文化概論 A B		インド思想特講Ⅰ A B／インド思想特講Ⅱ A B					
仏教思想概論 A B		仏教思想特講Ⅰ A B／仏教思想特講Ⅱ A B					
中国の美術 A B		東洋芸術文化特講Ⅰ A B／東洋芸術文化特講Ⅱ A B					
宗教学概論 A B／宗教学Ⅱ A B／東洋思想／アジアの文学／アジアの古典／キリスト教概論／イスラーム概論／神道史 A B／海外文化研修Ⅰ・Ⅱ／古文書学Ⅰ AB／心理学概論 AB／日本美術の世界／書道史／書論／日本民俗学の諸問題／日本語史 AB／古典籍に親しむ／哲学概論 AB／倫理学概論 AB／日本文学の歴史(上代・中古・中世・近世・近代・現代)		中国哲学講読 A B／中国文学講読 A B					
		インド現代思想／現代のインド 仏教と社会福祉／現代に生きる仏教 インド・仏教の美術 A B／世界の文学文化と日本Ⅲ 東洋の身体論／近代化と東洋／比較宗教 A B／宗教社会学 A B／総合Ⅷ A B／韓国の文化と社会／比較文学Ⅰ・Ⅱ／日本文学文化概説 AB					
中国学研究法 A B		卒業論文					
書道Ⅰ AB		ヨーガ／インド舞踊 写経／坐禅／仏教の芸能					
レポート・論文制作の技法		書道Ⅱ AB／書道Ⅲ AB 東洋思想文化演習Ⅰ AB 東洋思想文化演習Ⅱ AB 卒論指導 A B					
		分析・考察・表現 独自の視点からの分析と考察 自分の見解を論理的に表現					

語学

東洋の思想と文化を理解するのに役立つ語学

知識

東洋の思想と文化に対する豊富な知識

理解

東洋に特有の価値観や思考法への理解

分析・考察・表現

独自の視点からの分析と考察
自分の見解を論理的に表現

教育課程及び履修に際しての注意

第2部 日本文学文化学科

◆◆日本を知ろう！ 日本人を知ろう！◆◆

日本文学文化学科は、新しい時代に適合した研究と教育を目標としている。学祖、井上円了は、明治前半期の西洋第一主義の風潮への反省として「東洋を本とし日本を主」とする哲学館・東洋大学を開設した。

しかし、それは単なる狭い東洋主義ではなく、「東洋の学を主とし、西洋の学を客とし、彼我、主客を合わせて研究する主義」の提唱であり、教育であった。この主張は現代でも光を失わないものである。

現代日本社会が今後ますます国際化していく状況の中で、いずれの国家・民族にとっても、それぞれの固有の文化（アイデンティティ）をいかに確立継承し、創造するかということは、これからの新しい世紀に必須の課題となるに違いない。日本及び日本人を正しく知るとともに、伝統的な学問・日本文化を正しく継承し、新たに世界から日本を見るという視点を導入した日本文学文化学科の教育内容は、国際化時代にふさわしいものと言える。

◇教育課程（カリキュラム）の特色

日本文学文化学科のカリキュラムには、基盤教育科目と文学部基盤科目、専門科目、それに開放科目がある。基盤教育科目は、各分野に応じて広く文化を学び、考察するものである。文学部基盤科目には、図書館司書・学校図書館司書教諭に関する科目が用意されており、各自の目的によって選択できるようになっている。

専門科目は1年次の「初年次ゼミナール」「実践基礎ゼミナール」と、1・2年次の「日本文学文化概説A・B」「日本語概説A・B」が必修科目であり、2年次以降の専門的なゼミナールと「卒業論文」への足がかりとなる。

選択必修科目には、専攻分野別のゼミナールや多彩な講義等多くの科目群が用意されている。各科目群の指定がなされているものもあるが、学年に応じて選択できる。科目群と指定単位数に注意して選択すること。

ゼミナールは「ゼミナールⅠA・B」「ゼミナールⅡA・B」「ゼミナールⅢA・B」と専門性を深めて展開し、4年次の「卒論指導A・B」「卒業論文」へと結実していくことになる。ゼミナールの目的は、みずから考え、みずから課題を発見することにある。

これらのゼミナール科目は、日本文学文化学科のカリキュラムの中心である。2年次の「ゼミナールⅠ」の選択から、「日本語学」「古典文学文化」「近現代文学文化」「比較文学文化」という4つの専攻分野が設置されているので、各自の学習計画に即して選択すること。なお「ゼミナールⅢ」については3年次履修の専攻分野から選択することが望ましい。

選択科目には、国語科、書道科各教員免許状取得のための科目（教職科目）が用意されている。各自の目的に応じて選択できる。

選択必修科目にかかわる専攻分野間は自由に横断的な学習ができるようになっているので、専門性を深めながら、日本文学文化を総合的、包括的に学習できる。いわばフレキシブルな履修システムであるから、各自がそれぞれの明確な学習目標に応じた科目を履修することにより、主体的で個性あふれるカリキュラムを作成することが可能である。

開放科目は、他学部・他学科の開放科目であり、日本文学文化学科では、各自の考えにより広範囲な学問分野の学習ができるようになっている。

◆◆日本文学文化学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の養成に関する目的

国際化していく現代社会において、アイデンティティを確立することは重要な課題である。

日本文学文化学科では、日本・日本人を知り、伝統的な学問・日本文化を継承すると同時に、世界から日本を見るという視点を導入することで、新しい時代を切り拓く人材の育成を目標としている。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
カリキュラムの中心となるゼミナール科目では「日本語学分野」「古典文学文化分野」「近現代文学文化分野」「比較文学文化分野」という4つの専攻分野を設置し、専門的な探究を行っている。選択必修科目では専攻分野間の横断的な学習が可能で、日本文学文化を総合的・包括的に視野に収めていく。
3. その他の教育研究上の目的
国語科・書道科各教員免許状の取得や、図書館司書・学校図書館司書教諭の資格を取得する。

◆第2部日本文学文化学科（イブニングコース） 3つのポリシー◆

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学科では、卒業に必要な単位を履修し、以下に掲げる能力を修得した者に対して卒業を認め学位を授与する。

1. 主体的に獲得した日本の文学・文化に関する知見と論理的な考察をもとに、他者との協働をとおして様々な課題を解決できる。
2. 日本語、日本の文学・文化についての確かな知識と、日本語表現の適切なあり方を習得し、専門的な視点から探究することができる。
3. 日本の文学・文化を多面的かつ総合的に検証し、新たな日本文化像を創造することができる。
4. 世界から見た日本の文学・文化のあり方を理解し、グローバルな文脈における豊かな可能性を見出すことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、教育課程を通して、思考力と実践力を養い、日本語、日本文学、日本文化の専門的かつ総合的な知識と理解力を身に付けることを目指す。また、グローバルな現代社会の一員として活躍するための礎を築く。

1. 高い教養と豊かな創造力を養うため、「日本語学」「古典文学文化」「近現代文学文化」「比較文学文化」の4分野を設け、専門的かつ横断的な学習に取り組む。
2. 必要な知識と思考力を着実に獲得するため、1・2年次の基礎的、概説的な授業科目から、3・4年次の高度で専門的な授業科目へと、段階的かつ有機的に学習を進める。
3. 学問の探究をとおして総合的な力を身につけるため、1年次から4年次まで少人数のゼミナールに参加し、他者との協働をはじめとする多様な学びを実践する
4. 各自の興味・関心を伸ばし、その可能性を引き出すため、多彩な内容の専門科目を置くほか、諸資格（中学校国語科教諭、高等学校国語科・書道科教諭、図書館司書、司書教諭）の取得に関連する科目を設置している。
5. 各自の研究テーマに即した卒業論文の作成を必修とし、大学で培った知識、能力を応用しながら、研究の成果を主体的にまとめる。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学科が求める学生像は、日本の文学作品や文化事象に広い興味を持つ人、日本語に対する高い意識を持つ人、歴史や社会と文学・文化との連環に深い関心を持つ人、世界の文学・文化と日本の文学・文化との比較に強い意欲を持つ人などである。あわせて、文系の学問に偏ることなく、次のような幅広い学力を有する多様で優秀な学生を求めている。

1. 日本古典文学と日本近現代文学の知識と読解力、それらの根幹となる日本語の理解と表現力。
2. 日本の文学・文化を国際的な視点から理解するために欠かすことができない外国語（英語）の基本的な運用力。
3. 日本や世界の歴史、政治、経済、慣習・風土などへの探究力と現代社会の諸問題への解決力。
4. 学術的な文章を作り上げるための論理的な思考力とその基となる様々な情報の収集・分析力。

◆◆ 4つの専攻分野について ◆◆

専攻分野	概要
日本語学分野	日本語の過去から現在までの姿や仕組みなどについて根幹となる理論を習得する。その上で、言語学一般の学習や他言語との比較も行いながら、総合的多角的に分析、考察する。あわせて、日本語に対して深く適切な理解をもとにした実証的な研究姿勢を養う。
古典文学文化分野	古代から近世に至る古典文学を実証的な観点から考察し、そこに表れた日本人の心や文化のかたちを、より深くより豊かに理解していく。そして、日本の文化遺産である古典文学の価値を正しく継承し、さらに次代へ伝えていくことを使命とする。
近現代文学文化分野	明治期から今日に至るさまざまな文学作品について、多種多様な方法論による分析と考察を試み、その文学の特質や作家の本質を究明する。その過程で、近現代文学文化の問題点や思想性を汲み取り、これからの日本文学や日本人の可能性を模索していく。
比較文学文化分野	比較文学文化の概念や理念を学ぶとともに、「世界から日本を見る」という視点で、日本を相対化する姿勢を確立する。そして、既存の学問の枠にとらわれることなく、多様な「日本文学文化論」を展開し、国際社会における日本文学文化の意義や可能性を探る。

◆◆ 第2部 日本文学文化学科 卒業要件 ◆◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学習の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類	必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際	34 単位以上	
	英語特別教育科目		
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育	「哲学・思想」から 2 単位以上、「キャリア・市民形成」から 2 単位以上を含み、修得すること。	
専門科目	必修科目	18 単位	専門科目合計 74 単位以上
	選択必修科目Ⅰ	34 単位以上	
	選択必修科目Ⅱ	16 単位以上	
	選択科目		
教職科目		卒業単位に含めない科目	
他学部他学科開放科目			
卒業必要単位数合計		上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

◆◆ 2020 年度第 2 部日本文学文化学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修/選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
専門科目							
専門科目 74 単位以上	必修科目 18 単位	必修	JLT135	日本文学文化概説 A	1～2	2	相互聴講
		必修	JLT136	日本文学文化概説 B	1～2	2	
		必修	JLN107	日本語概説 A	1～2	2	
		必修	JLN108	日本語概説 B	1～2	2	
		必修	SEM135	初年次ゼミナール	1	2	
		必修	SEM136	実践基礎ゼミナール	1	2	
		必修	THE452	卒論指導 A	4	1	
		必修	THE453	卒論指導 B	4	1	
		必修	THE454	卒業論文	4	4	
	選択必修科目 I 34 単位以上	選択	JLN209	日本語学ゼミナール I A	2	2	2 科目 4 単位 選択必修
		選択	JLN210	日本語学ゼミナール I B	2	2	
		選択	JLT231	古典文学文化ゼミナール I A	2	2	
		選択	JLT232	古典文学文化ゼミナール I B	2	2	
		選択	JLT233	近現代文学文化ゼミナール I A	2	2	
		選択	JLT234	近現代文学文化ゼミナール I B	2	2	
		選択	JLT235	比較文学文化ゼミナール I A	2	2	
		選択	JLT236	比較文学文化ゼミナール I B	2	2	
		選択	JLN307	日本語学ゼミナール II A	3	2	2 科目 4 単位 選択必修
		選択	JLN308	日本語学ゼミナール II B	3	2	
		選択	JLT325	古典文学文化ゼミナール II A	3	2	
		選択	JLT326	古典文学文化ゼミナール II B	3	2	
		選択	JLT327	近現代文学文化ゼミナール II A	3	2	
		選択	JLT328	近現代文学文化ゼミナール II B	3	2	
		選択	JLT329	比較文学文化ゼミナール II A	3	2	
		選択	JLT330	比較文学文化ゼミナール II B	3	2	
		選択	JLN403	日本語学ゼミナール III A	4	2	2 科目 4 単位 選択必修
		選択	JLN404	日本語学ゼミナール III B	4	2	
		選択	JLT407	古典文学文化ゼミナール III A	4	2	
		選択	JLT408	古典文学文化ゼミナール III B	4	2	
		選択	JLT409	近現代文学文化ゼミナール III A	4	2	
		選択	JLT410	近現代文学文化ゼミナール III B	4	2	
		選択	JLT411	比較文学文化ゼミナール III A	4	2	
		選択	JLT412	比較文学文化ゼミナール III B	4	2	
		選択	JLN211	日本語史 A	2～4	2	2 科目 4 単位 以上選択必修
		選択	JLN212	日本語史 B	2～4	2	
		選択	JLN219	日本語文法 A	2～4	2	
		選択	JLN220	日本語文法 B	2～4	2	
		選択	JLT164	日本文学の歴史(上代)	1～3	2	3 科目 6 単位 以上選択必修
		選択	JLT165	日本文学の歴史(中古)	1～3	2	
		選択	JLT166	日本文学の歴史(中世)	1～3	2	
		選択	JLT167	日本文学の歴史(近世)	1～3	2	
		選択	JLT168	日本文学の歴史(近代)	1～3	2	
		選択	JLT169	日本文学の歴史(現代)	1～3	2	
		選択	JLN315	日本語学研究 I	3～4	2	
		選択	JLN316	日本語学研究 II	3～4	2	2 科目 4 単位 以上選択必修
		選択	JLT357	古典文学文化研究 I	3～4	2	
		選択	JLT358	古典文学文化研究 II	3～4	2	
		選択	JLT359	近現代文学文化研究 I	3～4	2	
		選択	JLT360	近現代文学文化研究 II	3～4	2	
		選択	JLT361	比較文学文化研究 I	3～4	2	
		選択	JLT362	比較文学文化研究 II	3～4	2	
		選択	JLT275	上代文学の探究	1～3	2	2 科目 4 単位 以上選択必修
		選択	JLT276	中古文学の探究	1～3	2	
		選択	JLT277	中世文学の探究	1～3	2	
		選択	JLT278	近世文学の探究	1～3	2	
		選択	JLT279	近現代文学の探究	1～3	2	相互聴講

セット … セット履修科目、隔年開講 … 隔年開講科目、いずれか … 第 1 部・第 2 部いずれかの時間帯で開講する科目

1 部開講 … 第 1 部時間帯のみで開講する科目

相互聴講 … 第 1 部・第 2 部間相互聴講制度による相互聴講科目(詳細は 163 ページ参照)

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考		
専門科目 74 単位以上	選択必修科目Ⅰ 34 単位以上	選択	LIG118	比較文学Ⅰ	1～2	2	2 科目 4 単位 以上選択 必修	相互聴講	
		選択	LIG119	比較文学Ⅱ	1～2	2			
		選択	LIE227	世界の文学文化と日本Ⅰ	1～4	2			
		選択	LIE228	世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2			
		選択	CHL211	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2			
	選択必修科目Ⅱ 16 単位以上	選択	CUA124	伝統行事を学ぶ	1～4	2	いずれか		
		選択	JLT170	伝統芸能を学ぶ	1～4	2			
		選択	JLN115	方言と文化	1～4	2			
		選択	FAH108	日本美術の世界	1～4	2		相互聴講	
		選択	ARL121	日本映画の世界	1～4	2		いずれか	
		選択	ARL122	マンガ文化研究	1～4	2		相互聴講	
		選択	LIG120	アニメーション文化研究	1～4	2			
		選択	ARS134	韓国の文化と社会	1～4	2		いずれか	
		選択	SOC162	日本の出版メディア	1～4	2			
		選択	CIB135	中国の古典(文学)	1～4	2		相互聴講	
		選択	CIB136	中国の古典(思想)	1～4	2			
		選択	CIB137	中国の古典(歴史)	1～4	2			
		選択	CIB138	中国の古典(哲学)	1～4	2			
		選択	JLT280	万葉文化の世界	2～4	2		いずれか	
		選択	JLT281	平安朝文化の世界	2～4	2			
		選択	JLT282	室町・戦国文化の世界	2～4	2			
		選択	JLT283	江戸文化の世界	2～4	2			
		選択	JLT284	近現代文化の諸問題	2～4	2		いずれか	
		選択	JLT285	古典籍に親しむ	2～4	2			
		選択	CUA211	日本民俗学の諸問題	2～4	2		相互聴講	
		選択	JLT286	日本の児童文学	2～4	2			
		選択科目	選択	RES211	日本仏教史 A	2～4	2		
			選択	RES212	日本仏教史 B	2～4	2		
	選択		ARL113	書道Ⅰ A	1	1			
	選択		ARL114	書道Ⅰ B	1	1			
	選択		ARL205	書道Ⅱ A	2～4	1		いずれか	
	選択		ARL206	書道Ⅱ B	2～4	1			
	選択		ARL207	書道Ⅲ A	2～4	1			
	選択		ARL208	書道Ⅲ B	2～4	1			
	選択		ARL123	書道史	1	2			
	選択		ARL214	書論	2～4	2			
	選択		JLT147	教職国語(古典)	1～3	2			
	選択		JLT148	教職国語(現代文)	1～3	2			
教職科目									
教職科目	選択	ESS228	国語科教育論Ⅰ		2	2	卒業単位に含めない 科目		
	選択	ESS229	国語科教育論Ⅱ		2	2			
	選択	ESS314	国語科指導法Ⅰ		3	2			
	選択	ESS315	国語科指導法Ⅱ		3	2			
	選択	ESS316	書道科指導法Ⅰ		3	2			
	選択	ESS317	書道科指導法Ⅱ		3	2			
	選択	ESS407	教職実践演習(中・高)		4	2			

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目(詳細は163ページ参照)

2020年度第2部日本文学文化学科 教育課程表

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
文学部教育	東洋大学・井上円了研究(2) 伝統文化講座(2)			
	中国文学概論A(2) 中国文学概論B(2)	生涯学習概論Ⅰ(2) 特別支援教育概論Ⅰ(2)	中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国国史A(2) 中国国史B(2)	中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 日本漢学A(2) 日本漢学B(2)
文学部基礎専門科目	中国文学概論A(2) 中国文学概論B(2)	インドム教史A(2) インドム教史B(2)	中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2)	
	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1)	インド仏教の美術A(2) インド現代思想(2) インド仏教の美術B(2) 現代のインド(2)		海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2)
	特別支援教育概論Ⅱ(2)	心理学的研究と理論(2) 家族心理学(2)		児童文化研究(2)
英語	英語ⅠA(1) 英語ⅠAB(1) 英語ⅠBA(1) 英語ⅠBB(1)	英語ⅠAA(1) 英語ⅠAB(1) 英語ⅠBA(1) 英語ⅠBB(1)		
ドイツ語	ドイツ語ⅠAA(1) ドイツ語ⅠAB(1) ドイツ語ⅠBA(1) ドイツ語ⅠBB(1)	ドイツ語ⅠAA(1) ドイツ語ⅠAB(1) ドイツ語ⅠBA(1) ドイツ語ⅠBB(1)		
フランス語	フランス語ⅠAA(1) フランス語ⅠAB(1) フランス語ⅠBA(1) フランス語ⅠBB(1)	フランス語ⅠAA(1) フランス語ⅠAB(1) フランス語ⅠBA(1) フランス語ⅠBB(1)		
中国語	中国語ⅠAA(1) 中国語ⅠAB(1) 中国語ⅠBA(1) 中国語ⅠBB(1)	中国語ⅠAA(1) 中国語ⅠAB(1) 中国語ⅠBA(1) 中国語ⅠBB(1)		
	教育基礎概論(2) 教育制義論(2)	社会教育実習(1)		
諸資格関連科目	社会教育経営論Ⅰ(2) 生涯学習概論Ⅱ(2) 家庭教育論(2) 図書情報学・経営論(2) 図書情報技術論(2) 図書館サービス概論(2)	社会教育経営論Ⅱ(2) 視覚情報デザイン概論(2) 生涯学習支援論Ⅰ(2) 生涯学習支援論Ⅱ(2) グローバル化と学習(2) 情報サービス論(2) 児童サービス論(2) 情報サービス実習A(1) 情報サービス実習B(1)	情報処理実習A(1) 情報処理実習B(1)	女性問題と学習(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 図書情報資源特論(2) 図書・図書館史(2) 情報資源組織実習A(1) 情報資源組織実習B(1)
キャリア教育	キャリア支援Ⅰ(2) キャリア支援Ⅱ(2)	教育養成講座Ⅰ(2) 教育養成講座Ⅱ(2)	情報処理実習A(1) 情報処理実習B(1)	インターンシップ(2) ボランティア活動(2)

※基礎教育と合わせて34単位以上修得すること。

区 分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 18単位	日本文学文化概説A(2) 日本文学文化概説B(2) 初年次ゼミナール(2) 実践基礎ゼミナール(2)	日本思想史A(2) 日本思想史B(2)		卒論指導A(1) 卒論指導B(1) 卒業論文(4)
			日本思想ゼミナールⅠA(2) 日本思想ゼミナールⅠB(2) 古典文学文化ゼミナールⅠA(2) 古典文学文化ゼミナールⅠB(2) 古典文学文化ゼミナールⅠA(2) 古典文学文化ゼミナールⅠB(2) 近現代文学文化ゼミナールⅠA(2) 近現代文学文化ゼミナールⅠB(2) 比較文学文化ゼミナールⅠA(2) 比較文学文化ゼミナールⅠB(2) 2科目4単位選択必修 日本思想A(2) 日本思想B(2)	日本思想ゼミナールⅡA(2) 日本思想ゼミナールⅡB(2) 古典文学文化ゼミナールⅡA(2) 古典文学文化ゼミナールⅡB(2) 古典文学文化ゼミナールⅡA(2) 古典文学文化ゼミナールⅡB(2) 近現代文学文化ゼミナールⅡA(2) 近現代文学文化ゼミナールⅡB(2) 比較文学文化ゼミナールⅡA(2) 比較文学文化ゼミナールⅡB(2) 2科目4単位選択必修 日本思想A(2) 日本思想B(2)
選択必修 科目Ⅰ 34単位 以上	日本文学の歴史(上代)(2) 日本文学の歴史(近世)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 上代文学の探究(2) 近世文学の探究(2)	日本文学の歴史(中古)(2) 日本文学の歴史(近代)(2) 中古文等の探究(2) 近現代文学の探究(2)	日本文学の歴史(中世)(2) 日本文学の歴史(現代)(2) 3科目6単位以上選択必修 中世文学の探究(2)	2科目4単位以上選択必修 2科目4単位以上選択必修
専門科目 74単位以上	比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	日本思想研究Ⅰ(2) 古典文学文化研究Ⅰ(2) 近現代文学文化研究Ⅰ(2) 比較文学文化研究Ⅰ(2)	2科目4単位以上選択必修 日本思想研究Ⅱ(2) 古典文学文化研究Ⅱ(2) 近現代文学文化研究Ⅱ(2) 比較文学文化研究Ⅱ(2)
選択必修 科目Ⅱ 16単位 以上	伝統芸能を学ぶ(2) 日本映画の世界(2) 中国の古典(文学)(2)	伝統芸能を学ぶ(2) マンガ文化研究(2) 中国の古典(歴史)(2) アニメーション文化研究(2) 万葉文化の世界(2) 江戸文化の世界(2) 日本民俗学の諸問題(2)	方言と文化(2) 韓国の文化と社会(2) 中国の古典(短編)(2) 平安朝文化の世界(2) 近現代文化の諸問題(2) 日本の児童文学(2) 書道ⅠA(1) 書道ⅠB(1) 書道ⅡA(1) 書道ⅡB(1) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2)	日本美術の世界(2) 日本の出版メディア(2) 中国の古典(哲学)(2) 室町・戦国文化の世界(2) 古典籍に親しむ(2) 書論(2)
選択科目	書道ⅠA(1) 書道ⅠB(1) 書道史(2)	書道ⅠA(1) 書道ⅠB(1) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2)	教職国語(現代文)(2)	教職実践演習(中・高)(2)
教職科目	教職国語(古典)(2)	教職国語(現代文)(2)	国語科指導法Ⅰ(2) 国語科指導法Ⅱ(2) 国語科教育論Ⅰ(2) 国語科教育論Ⅱ(2)	教職実践演習(中・高)(2)
他学部他学科 開放科目 7単位 (専門開放科目)	科目は別表に記載			

◆◆科目履修上の注意◆◆

必修科目

4年次の「卒業論文」の履修登録は、第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生を対象とします。

原級した場合の卒論指導の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「卒論指導 A」「卒論指導 B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「卒論指導 A」を秋学期に、「卒論指導 B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

日本文学文化学科第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

日本文学文化学科第1部・第2部間でのみ相互聴講を認めます。

履修条件は、以下の通りです。

- (1) 第1部日本文学文化学科提供科目のうち、卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 科目提供主体（第1部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法
第1部提供科目の履修を希望する場合は、第2部の科目と同様に履修登録をしてください。
- (6) 対象科目
教育課程表「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目です。

○第1部日本文学文化学科提供科目群

日本文学文化概説 A (2)	日本文学の歴史(現代) (2)	世界の文学文化と日本Ⅰ (2)
日本文学文化概説 B (2)	日本語学研究Ⅰ (2)	世界の文学文化と日本Ⅱ (2)
日本語概説 A (2)	古典文学文化研究Ⅰ (2)	世界の文学文化と日本Ⅲ (2)
日本語概説 B (2)	古典文学文化研究Ⅱ (2)	日本美術の世界 (2)
日本語史 A (2)	近現代文学文化研究Ⅰ (2)	マンガ文化研究 (2)
日本語史 B (2)	比較文学文化研究Ⅰ (2)	アニメーション文化研究 (2)
日本語文法 A (2)	上代文学の探究 (2)	中国の古典(文学) (2)
日本語文法 B (2)	中古文学の探究 (2)	中国の古典(思想) (2)
日本文学の歴史(上代) (2)	中世文学の探究 (2)	中国の古典(哲学) (2)
日本文学の歴史(中古) (2)	近世文学の探究 (2)	中国の古典(歴史) (2)
日本文学の歴史(中世) (2)	近現代文学の探究 (2)	日本民俗学の諸問題 (2)
日本文学の歴史(近世) (2)	比較文学Ⅰ (2)	日本の児童文学 (2)
日本文学の歴史(近代) (2)	比較文学Ⅱ (2)	

◆◆文学部 第2部 日本文学文化学科 カリキュラムマップ◆◆

[illegible]



教育課程及び履修に際しての注意

第2部 教育学科

◆◆明日のための教育学 ―ともに学び、ともに育つ―◆◆

教育学とは、人間が学び、生涯にわたって「よりよく生きる」ことを支える学問です。学校教育や特別支援教育、社会教育などの研究領域で、「人間にとって学びとは何か」「発達とは何か」「学びや発達をどう支えるか」など、さまざまな問いが立てられ、研究が進められています。

東洋大学文学部教育学科は、これまで「人間の発達」を生涯にわたるものとしてとらえ、人々の豊かな暮らしや住みよい社会の実現に貢献する学生を育ててきました。そして、現代社会が抱える諸問題の解決に他者と協働しながら創造的に取り組むことのできる21世紀のリーダーを送り出すため、充実した教育の実現を目指します。

◆◆教育学科教育研究上の目的◆◆

1. 人材の養成に関する目的

「生涯にわたる教育」の在り方を追究するなかで、「人間の発達」を総合的にとらえ、人間の発達と社会の発展に貢献できる21世紀のリーダーとなりうる人材の養成を目指す。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

「人間の発達」を、直線的な心身の成長だけではなく、生涯にわたる人間の変化そのものとしてとらえ、人や社会、文化に対する理解を深め、現代社会が直面する課題を主体的に解決することのできる「生涯学習基礎力」を修得させる。そのために、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域からなるカリキュラムにもとづいた専門的な力量を身につけさせる。

◆◆第2部教育学科（イブニングコース） 3つのポリシー◆◆

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

教育学科（イブニングコース）では、「人間の発達」を総合的にとらえ、人間の発達と社会の発展に貢献できる力量の形成をもって学位授与の基本方針とする。現代社会の課題を主体的に解決するための「生涯学習基礎力」を身につけさせる。そのために、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の各領域にかかわる専門的な力量の獲得を目指す。

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教育学科（イブニングコース）では、教育目標を実現するため、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。

- (1) 初年次教育の充実を図るため、少人数の「大学生として学ぶ」「教育学演習Ⅰ」を必修とする。
- (2) 学生の主体的な力量を育成するため、参加型授業を重視し、すべての学生が4年間にわたってゼミナールを履修する。
- (3) 教育という営みを総合的にとらえるため、「教育と現代社会」「心理学と発達臨床」「社会教育」「学校教育」「特別支援教育」の5領域を設定し、各領域の理論的・実践的課題について、基礎的知識の獲得と発展的研究をおこなう。
- (4) すべての学生に卒業論文執筆を課し、これをもって学士課程修了に十分な能力を獲得したかどうかの指針とする。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

教育学科（イブニングコース）では、学士課程教育を行うにあたり、次のような学生を求めている。

- (1) 現代社会が直面する課題の解決に自ら取り組もうとする主体性と学習意欲をもつ学生

- (2) 人間と社会について深い洞察力を持ち、柔軟な思考力と豊かな想像力に富む学生
 (3) 人間の成長・発達に深い関心を持ち、将来教え育てる実践を通して社会に貢献する意欲のある学生

特に教員を志望する場合には次のことが求められる。

- ①教員には広範な知識と教養、人間性が求められるため、教科の学習に限らず、社会的活動、文化・芸術活動などにも積極的に取り組むこと。
- ②国語、特に現代国語において、論説文などの論理的文章を十分に理解するとともに、自らの考えを論理的に表現できるようにしておくこと。
- ③政治・経済など、現代の広範な地球規模の社会事象について、歴史的観点も含めて、関心を持ち、基礎的な知識を獲得しておくこと。

◆第2部 教育学科 卒業要件◆

本学科で学位を得る（卒業する）には、4年以上在学し、定められた科目を履修・修得してください。各自の学習の目的や進路に合わせ、計画的に履修・修得し、次のセメスタに進む際には、計画に沿って修得できているか確認しましょう。

◎卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、合計 124 単位です。その内訳は次の通りです。

科目区分	分類		必要単位	
基盤教育	哲学・思想 学問の基礎 国際人の形成 キャリア・市民形成 総合・学際		16 単位以上 「哲学・思想」から 2 単位以上、「キャリア・市民形成」から 2 単位以上を修得すること。	
	英語特別教育科目			
文学部基盤科目	文学部教育 文学部基礎専門科目 国際コミュニケーション科目 諸資格関連科目 キャリア教育		16 単位以上 国際コミュニケーション科目 1 カ国語 4 単位以上を修得すること。	
専門科目	必修科目		32 単位	専門科目合計 74 単位以上
	選択科目	教育と現代社会 心理学と発達臨床 社会教育 学校教育 特別支援教育	42 単位以上	
教職科目			卒業単位に含めない科目	
他学部他学科開放科目				
卒業必要単位数合計			上記要件を満たし、合計 124 単位以上	

◆◆ 2020 年度第 2 部教育学科教育課程表 ◆◆

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考	
専門科目								
専門科目 74 単位以上	必修科目 32 単位	必修	EDU127	教育学概論	1～2	2	セット	
		必修	EDP107	教育心理学概論	1～2	2		
		必修	EDU128	生涯学習概論Ⅰ	1～2	2		
		必修	EDU129	教職論	1～2	2		
		必修	EDP108	生涯発達心理学	1～2	2		
		必修	SNE120	特別支援教育基礎論	1～2	2		
		必修	SEM137	大学生として学ぶ	1	2		
		必修	SEM138	教育学演習Ⅰ	1	2		
		必修	SEM238	教育学演習ⅡA	2	2		
		必修	SEM239	教育学演習ⅡB	2	2		
		必修	SEM337	教育学演習ⅢA	3	2		
		必修	SEM338	教育学演習ⅢB	3	2		
		必修	THE455	教育学卒論演習A	4	1		
必修	THE456	教育学卒論演習B	4	1				
必修	THE457	卒業論文	4	6				
専門科目 74 単位以上	選択科目 42 単位以上	教育と現代社会	選択	SOE106	教育の現代的課題	1～4	2	相互聴講
			選択	SOE202	教育とシチズンシップ	1～4	2	
			選択	JPH114	社会文化史(日本)	1～4	2	
			選択	HEA106	社会文化史(西洋)	1～4	2	
			選択	HUG107	文化地誌学	1～4	2	
			選択	EDU130	教育思想	1～4	2	
			選択	EDU131	比較政策論	1～4	2	
			選択	SOE107	学校教育社会学	1～4	2	
			選択	SOE108	比較社会論	1～4	2	
			選択	HIT104	アメリカ思想史	1～4	2	
			選択	SOE110	社会学	1～4	2	
			選択	ECO106	経済学	1～4	2	
			選択	ECO209	経済と教育	1～4	2	
			選択	PHE144	哲学概説	1～4	2	
			選択	PHE145	倫理学概説	1～4	2	
			選択	JPH131	日本史A	1～4	2	
			選択	JPH132	日本史B	1～4	2	
			選択	HSG130	外国史A	1～4	2	
			選択	HSG131	外国史B	1～4	2	
		心理学と発達臨床	選択	EDP109	家族心理学	1～4	2	
			選択	EDP209	教育相談の理論と方法	1～4	2	
			選択	PSY109	心理学の研究と理論	1～4	2	
			選択	CLI102	カウンセリングの理論と実際	1～4	2	
			選択	SNE113	発達障害児・者の心理	1～4	2	
		社会教育	選択	EDU132	生涯学習概論Ⅱ	1～4	2	相互聴講
			選択	EDU133	女性問題と学習	1～4	2	
			選択	EDU134	社会教育課題研究Ⅰ	1～4	2	
			選択	EDU135	社会教育課題研究Ⅱ	1～4	2	
			選択	EDU136	グローバル化と学習	1～4	2	
			選択	EDU137	家庭教育論	1～4	2	
			選択	EDU138	視聴覚教育(視聴覚メディア論を含む)	1～4	2	
			選択	EDU203	社会教育経営論Ⅰ	1～4	2	
			選択	EDU204	社会教育経営論Ⅱ	1～4	2	
			選択	EDU208	生涯学習支援論Ⅰ	1～4	2	
			選択	EDU209	生涯学習支援論Ⅱ	1～4	2	
			選択	EDU210	社会教育実習	2～4	1	
		学校教育	選択	EDU139	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	1～4	2	
			選択	EDU140	児童文化研究	1～4	2	
			選択	ESS236	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1～4	2	
			選択	EDU141	教育課程論	1～4	2	
		特別支援教育	選択	SNE112	特別支援教育概論Ⅰ	1～4	2	
			選択	SNE114	特別支援教育概論Ⅱ	1～4	2	
			選択	SNE115	知的障害教育論	1～4	2	
			選択	SNE116	肢体不自由教育論	1～4	2	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

卒業要件	区分	必修 / 選択	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位	履修上の注意 / 備考
教職科目							
教職科目		選択	POL211	政治学原論 A	2～4	2	卒業単位に 含めない科目
		選択	POL212	政治学原論 B	2～4	2	
		選択	ILA205	国際法 A	2～4	2	
		選択	ILA206	国際法 B	2～4	2	
		選択	CIL230	民法 A	1～2	2	
		選択	CIL231	民法 B	1～2	2	
		選択	HUG206	人文地理学 A	1～2	2	
		選択	HUG207	人文地理学 B	1～2	2	
		選択	GGR113	自然地理学 A	1～2	2	
		選択	GGR114	自然地理学 B	1～2	2	
		選択	HUG208	地誌学 A	1～2	2	
		選択	HUG209	地誌学 B	1～2	2	
		選択	ESS318	道德教育論	2～3	2	
		選択	ESS230	生徒指導論(進路指導論を含む)	1～2	2	
		選択	ESS407	教職実践演習(中・高)	4	2	
		選択	ESS408	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	
		選択	ESS409	教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	

セット・・・セット履修科目、隔年開講・・・隔年開講科目、いずれか・・・第1部・第2部いずれかの時間帯で開講する科目

1部開講・・・第1部時間帯のみで開講する科目

相互聴講・・・第1部・第2部間相互聴講制度による相互聴講科目

2020年度第2部教育学学科 教育課程表

区 分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
文学部教育	東洋大・井上正二研究(2) 伝統文化講座(2)			
		中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国現代文学史A(2) 中国現代文学史B(2) 中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2) 中国文学史A(2) 中国文学史B(2) 中国思想史A(2) 中国思想史B(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) 日本の児童文学(2)		
文学部基礎専門科目	中国学概論A(2) 中国学概論B(2)	比較文学Ⅰ(2) 比較文学Ⅱ(2) 日本仏教史A(2) 日本仏教史B(2) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 日本の児童文学(2)		
	サンスクリット語ⅠA(1) サンスクリット語ⅠB(1) 世界の文学文化と日本Ⅰ(2) 世界の文学文化と日本Ⅱ(2)	インド・仏教の美術A(2) インド・仏教の美術B(2) 現代のインド(2) 海外文化研修Ⅰ(2) 海外文化研修Ⅱ(2) 伝説行事を学ぶ(2) 韓国の文化と社会(2)		
英語	英語ⅠAA(1) 英語ⅠAB(1) 英語ⅠBA(1) 英語ⅠBB(1)	英語ⅡAA(1) 英語ⅡAB(1) 英語ⅡBA(1) 英語ⅡBB(1)		
ドイツ語	ドイツ語ⅠAA(1) ドイツ語ⅠAB(1) ドイツ語ⅠBA(1) ドイツ語ⅠBB(1)	ドイツ語ⅡAA(1) ドイツ語ⅡAB(1) ドイツ語ⅡBA(1) ドイツ語ⅡBB(1)		
フランス語	フランス語ⅠAA(1) フランス語ⅠAB(1) フランス語ⅠBA(1) フランス語ⅠBB(1)	フランス語ⅡAA(1) フランス語ⅡAB(1) フランス語ⅡBA(1) フランス語ⅡBB(1)		
中国語	中国語ⅠAA(1) 中国語ⅠAB(1) 中国語ⅠBA(1) 中国語ⅠBB(1)	中国語ⅡAA(1) 中国語ⅡAB(1) 中国語ⅡBA(1) 中国語ⅡBB(1)		
4外国語のうち1外国語4単位以上選択必修	図書館概論(2) 図書館サービス概論(2) 情報サービス演習A(1) 情報サービス演習B(1) 学習指導と学校図書館(2) 読書と豊かな人間性(2) キャリア支援Ⅰ(2)	情報サービス論(2) 図書館情報資源概論(2) 情報資源組織・演習A(1) 情報資源組織・演習B(1) 学校経営と学校図書館(2) 情報メディアの活用(2) 教員養成講座Ⅰ(2)	児童サービス論(2) 情報資源組織論(2) 図書館情報資源得論(2) 図書・図書館史(2) 学校図書館メディアの構成(2)	図書館制度・経営論(2) 図書館情報技術論(2)
諸資格関連科目				
キャリア教育			情報処理演習A(1) 情報処理演習B(1)	インターンシップ(2) ボランティア活動(2)

区 分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
必修科目 32単位	教育学概論(2) 教育心理学概論(2) 生涯学習概論Ⅰ(2) 教育論(2) 生涯発達心理学(2) 特別支援教育基礎論(2) 大學生として学ぶ(2) 教育学演習Ⅰ(2) 教育学演習ⅡA(2) 教育学演習ⅡB(2)	教育学の現代的課題(2) 教育とシナジーシップ(2) 社会文化史(日本)(2) 社会文化史(西洋)(2) 比較社会論(2) アメリカ思想史(2) 学校教育社会学(2)	文化地誌学(2) 教育思想(2) 経済と教育(2) 哲学概説(2) 倫理学概説(2) 日本史A(2) 日本史B(2) 外国史A(2) 外国史B(2)	教育学空論演習A(1) 教育学空論演習B(1) 卒業論文(6)
	心理学と 発達臨床	家族心理学(2) 心理学の研究と理論(2) 心理センシングの理論と実際(2) 発達障害児・者の心理(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 社会教育総論Ⅰ(2) 社会教育総論Ⅱ(2) 社会教育経営論Ⅰ(2) 社会教育経営論Ⅱ(2) 生涯学習支援論Ⅰ(2) 生涯学習支援論Ⅱ(2) 社会教育実習(1)	教育相談の理論と方法(2) カウンセリングの理論と実際(2) 発達障害児・者の心理(2)	
	選択科目 42単位 以上	生涯学習概論Ⅱ(2) 女性問題と学習(2) グローバル化と学習(2) 家庭教育論(2) 視覚障教育(情報障メディア論を含む)(2)		
学校教育 特別支援 教育	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)(2) 特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2) 知的障害教育論(2) 肢体不自由教育論(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2) 国際法A(2) 国際法B(2)	特別支援教育概論Ⅱ(2) 特別支援教育概論Ⅲ(2) 知的障害教育論(2) 肢体不自由教育論(2) 政治学原論A(2) 政治学原論B(2) 国際法A(2) 国際法B(2)	児童文化研究(1) 教育課程論(2)	
教職科目	人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 民法A(2) 民法B(2)	地誌学A(2) 地誌学B(2) 自然地理学A(2) 自然地理学B(2) 生徒指導論 (進路指導論を含む)(2)	教育実習Ⅰ (事前・事後指導を含む)(5) 教育実習Ⅱ (事前・事後指導を含む)(3) 教職実践演習(中・高)(2)	
他学部他学科 開放科目	科目は別表に記載			

◆◆ 科目の履修上の注意 ◆◆

必修科目

4年次の卒業論文の履修登録は、第7セメスタ終了時点で未修得単位数が24単位以下の卒業見込みの学生に限ります。

セット履修科目

教育課程表に「セット」とある科目は、同一名称の科目Aと科目Bをセットで履修することを原則とします。従って、春学期に科目Aを履修した場合は秋学期に同コースの科目Bを履修してください。

原級した場合の教育学卒論演習の履修について（第9セメスタ以降対象）

第9セメスタ以降の学生で「教育学卒論演習A」「教育学卒論演習B」のいずれか一方のみを未修得の卒業見込みの学生に限り、「教育学卒論演習A」を秋学期に、「教育学卒論演習B」を春学期に履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間までに学科の教員に申し出てください。

教職に関する科目の読替

下表の左欄の教育学科専門科目は、履修かつ修得した後、右欄の教職に関する科目に読み替えることができ、卒業単位としても認められます。

ただし、下表の右欄の教職に関する科目を履修かつ修得しても、左欄の教育学科専門科目に読み替えることはできません。また、卒業単位としても認められません。

教育学科の専門科目 (卒業単位に認められる)	単位数	読み替えとなる教職に関する科目 (卒業単位に認められない)	単位数
学校教育社会学	2	教育制度論	2
教育相談の理論と方法	2	教育相談	2

教育学科第1部・第2部相互聴講実施要領

以下の条件を満たす場合、第1部教育学科専門科目の履修を認めます。

- (1) 卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- (2) 第1部教育学科の教育課程表の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (3) 各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (4) 履修かつ修得した単位は、専門科目として、卒業単位に算入します。
- (5) 履修方法
第1部開講科目の履修を希望する場合は、第2部の科目と同様に、履修登録をしてください。
- (6) 対象科目
教育課程表の「履修上の注意／備考」欄に「相互聴講」とある科目。

◆◆文学部第2部教育学科 カリキュラムマップ◆◆

[illegible]



教育課程及び履修に際しての注意

第2部 他学部他学科開放科目

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修方法
文学部	東洋思想文化学科	CIB141	インド思想史A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB142	インド思想史B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB145	仏教思想概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB146	仏教思想概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	SOC165	現代社会に生きる仏教A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	SOC166	現代社会に生きる仏教B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT164	日本文学の歴史(上代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT165	日本文学の歴史(中古)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT166	日本文学の歴史(中世)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT167	日本文学の歴史(近世)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT168	日本文学の歴史(近代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT169	日本文学の歴史(現代)	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT280	万葉文化の世界	2～4	2	いずれか
文学部	日本文学文化学科	JLT281	平安朝文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT282	室町・戦国文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT283	江戸文化の世界	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT284	近現代文化の諸問題	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT285	古典籍に親しむ	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA211	日本民俗学の諸問題	2～4	2	
文学部	教育学科	JPH114	社会文化史(日本)	1～4	2	
文学部	教育学科	HEA106	社会文化史(西洋)	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU131	比較政策論	1～4	2	
文学部	教育学科	SOE108	比較社会論	1～4	2	
文学部	教育学科	HIT104	アメリカ思想史	1～4	2	
経済学部	経済学科	EDE205	経済哲学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	EDE206	経済哲学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP237	労働経済学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP238	労働経済学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP330	日本経済論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP331	日本経済論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP334	経済発展論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP335	経済発展論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	MOF315	国際金融論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	MOF316	国際金融論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	EPS210	エネルギー経済学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	EPS211	エネルギー経済学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP407	多国籍企業論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP408	多国籍企業論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	PFP324	地方財政論	3～4	2	
経済学部	経済学科	ECP122	海外経済研修Ⅰ	1～4	2	
経済学部	経済学科	ECP123	海外経済研修Ⅱ	1～4	2	
経済学部	経済学科	ECP124	海外経済研修Ⅲ	1～4	2	
経営学部	経営学科	MOF223	経営財務論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MOF224	投資決定論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN125	経営組織論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN126	組織行動論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN232	経営史A	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN233	経営史B	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN235	中小企業経営論A	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN236	中小企業経営論B	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN128	経営分析論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN149	海外経営研修	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL113	法制史(日本)A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL114	法制史(日本)B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL115	法制史(西洋)A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL116	法制史(西洋)B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL119	法哲学A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL120	法哲学B	1～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修方法
法学部	法律学科	POL211	政治学原論A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL212	政治学原論B	2～4	2	
法学部	法律学科	ILA205	国際法A	2～4	2	
法学部	法律学科	ILA206	国際法B	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL203	英米法A	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL204	英米法B	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL205	フランス法	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL206	ドイツ法	2～4	2	
法学部	法律学科	POL213	行政学A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL214	行政学B	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL207	労使関係法・労働市場法A	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL208	労使関係法・労働市場法B	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL205	雇用関係法A	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL206	雇用関係法B	2～4	2	
法学部	法律学科	CRL209	刑事政策A	2～4	2	
法学部	法律学科	CRL210	刑事政策B	2～4	2	
法学部	法律学科	LIN117	語学研修A	1～4	2	
法学部	法律学科	LIN118	語学研修B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC252	社会学史A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC253	社会学史B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC255	家族社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC256	家族社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC132	地域社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC133	地域社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC257	環境社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC258	環境社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	STS207	社会統計学	2～4	2	
社会学部	社会学科	SOC254	質的調査法	2～4	2	
社会学部	社会学科	SOC261	犯罪社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC262	犯罪社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	HIT303	社会文化思想史A	1～4	2	
社会学部	社会学科	HIT304	社会文化思想史B	1～4	2	
社会学部	社会学科	RES217	宗教社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	RES218	宗教社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC134	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC135	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	LIH141	情報学基礎論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	LIH142	情報学基礎論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC136	コミュニケーション論	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC137	情報倫理概論	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOP105	集合行動論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOP106	集合行動論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	CLI207	臨床心理学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	CLI208	臨床心理学B	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS118	社会福祉学概論A	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS119	社会福祉学概論B	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS122	高齢者福祉論	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS123	障害者福祉論	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS221	公的扶助論	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS124	児童福祉論	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS127	福祉行財政と福祉計画	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS125	地域福祉論	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS223	バリアフリー論	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS323	ジェンダーと福祉	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS324	子ども支援論	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS226	保健医療サービス論	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS326	ケアマネジメント論	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS229	権利擁護システム論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	SOC148	社会調査法	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ECT143	ミクロ経済学	1	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ECT144	マクロ経済学	1	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	CUA121	宗教と社会	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	SOC264	地域社会学Ⅱ	2～4	2	

学部	学科等	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修方法
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	CEE102	国際環境計画入門	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	NDD203	自然災害と防災	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	CEE202	環境管理適正技術論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	GGR202	都市地理学	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	GGR308	経済地理学	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	SWS231	社会政策論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	POL215	地方自治論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ABE303	まちづくり手法論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	SOC331	地域社会学Ⅰ	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ABE304	都市計画	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	INR119	国際政治学	1	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ECP241	アジア経済論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	PFP213	公共経済学	1～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	ENE106	エネルギー・資源論	1	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	NDD204	災害と復興	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	DEV203	環境システム論	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	DEV102	水資源と水環境	2～4	2	
国際学部	国際地域学科地域総合専攻	EPS302	Environmental Issues in Asia	2～4	2	



諸資格



諸資格について

社会教育主事になるための資格及び「社会教育士（養成課程）」の呼称

◆定義と業務について◆

社会教育主事は都道府県及び市町村の教育委員会の事務局におかれる専門的職員で、社会教育をおこなう者に対する専門的技術的な指導と助言を与えることを職務とします。さらに、近年の社会的な要請に応え、学校を始めNPO法人や企業等の多様な主体と連携・協働した社会教育事業の企画・実施による地域住民の学習活動の支援を通じ、人づくりや地域づくりにおいて中核的な役割を果たすことが期待されています。また、2018年の文部科学省令改正により、2020年からは社会教育主事養成課程の修了者は、社会教育主事となる資格を有するのみならず、「社会教育士（養成課程）」と称することができることになりました。

◆資格について（社会教育法 第9条4より）◆

*本学の場合は、第三号（アンダーラインつき）に該当します。

社会教育法第九条の四

（以下の一号から四号のうちのどれかひとつを充足すれば資格が得られる）

- 一 大学に2年以上在学して62単位を修得し、又は高等専門学校を卒業し、かつ、次に掲げる期間を通算した期間が3年以上になる者で、社会教育主事の講習を修了したもの
 - イ 社会教育主事補の職にあつた期間
 - ロ 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体における職で支所、学芸員その他の社会教育主事補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものにあつた期間
 - ハ 官公署、学校、社会教育関係施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であつて、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間（イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。）
- 二 教育職員の普通免許状を有し、かつ、5年以上文部科学大臣の指定する教育に関する職にあつた者で、次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの
- 三 大学に2年以上在学して、62単位以上修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で、第一号イからハまでに掲げる期間を通算した期間が1年以上になるもの
- 四 次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもので（第一号及び二号に掲げる者を除く。）で、社会教育に関する専門的事項について前三号に掲げる者に相当する教養と経験があると都道府県の教育委員会が認定したもの

◆社会教育主事になるためには◆

社会教育主事の資格を取得し、都道府県または市町村教育委員会から「社会教育主事」として発令されることが必要です。資格を有する人が必ず社会教育主事として発令されるものではないので、社会教育主事採用方法等については、都道府県または市町村教育委員会に問い合わせてください。

◆社会教育士（養成課程）の呼称について◆

2020年度入学者より、社会教育主事養成課程の科目を全て履修したものは、「社会教育士（養成課程）」と名乗ることができ、履歴書等への記載が正式に認められます。これは大学での単位修得証明書があれば可能です。

◆第1部・第2部相互聴講制度について◆

社会教育主事になるための資格及び社会教育士（養成課程）の呼称を得ることを希望する者は、以下の履修条件で、第1部・第2部間相互聴講制度を活用することができます。

○第1部・第2部間相互聴講制度の履修条件

- ①卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- ②各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- ③修得した単位は、それぞれの学科の課程表の分類に沿って卒業単位に算入されます。
- ④履修登録はそれぞれその科目が開講されている第1部または第2部で行います。

◆履修すべき科目と単位数◆

社会教育法の規定による、大学において修得すべき社会教育に関する科目（分野）および単位と、それに対応する本学開講科目および単位は下の表に掲げるものとし、各分野から合計24単位以上修得しなければなりません。

第1部・第2部「社会教育主事資格・社会教育士（養成課程）に関する科目」と単位数

2020年度第1部・第2部入学生用

省令により定められた科目	単位	本学開講科目	単位	学年	開講学部	備考	相互聴講
生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	2	1～2	文学部基盤	教育学科は専門	× ^{注1}
		生涯学習概論Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		生涯学習支援論Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		社会教育経営論Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
社会教育特講	8	女性問題と学習	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		家庭教育論	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		グローバル化と学習	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		特別支援教育概論Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	×
		視聴覚教育 (視聴覚メディア論を含む)	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		児童文化研究	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	×
		伝統行事を学ぶ	2	1～4	文学部基盤	日本文学文化学科は専門	×
		博物館教育論	2	2～4	文学部基盤	史学科は専門	× ^{注2}
社会教育実習	1	社会教育実習	1	2～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
社会教育実習、社会教育演習、社会教育課題研究のうち1科目以上	3	社会教育課題研究Ⅰ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
		社会教育課題研究Ⅱ	2	1～4	文学部基盤	教育学科は専門	○
合 計	24						

注) 1 「生涯学習概論Ⅰ」は第1部第2部相互聴講が認められていませんので、ご注意ください。

注) 2 「博物館教育論」は第1部のみ開講です。

※各科目の履修については、所属学科の履修方法に従ってください。



諸資格について 図書館司書

◆資格◆

図書館司書とは、図書資料の貸し出しや返却業務、利用者の相談に応じるレファレンスサービスや読書案内、資料の収集・分類・目録作成などを行う専門職です。司書になるための資格は、大学で学部の卒業に必要な単位を修得して学士の学位を取得し、さらに司書に関する専門科目についての単位を修得することによって取得できます。本学で開講している科目と単位数および配当学年は次頁の表のとおりです。

就職先の図書館は、公共図書館、大学図書館、企業図書館などがあります。司書として就職するためには、当該自治体の採用試験を受けて図書館に配属される必要があります。公立図書館の場合、地方公共団体が実施する地方公務員採用試験を受験し、図書館への勤務を希望することになります。

◆修得に必要な科目と単位数◆

①修得に必要な科目について

本学において司書資格の取得を希望する者は、次頁の表に示す本学開講科目の必修科目と、選択科目の「図書館情報資源特論」と「図書・図書館史」を履修かつ修得しなければなりません。

②「情報サービス演習 A」「情報サービス演習 B」の履修について

I. 「情報サービス演習 A・B」の配当学年は 1～4 年次のため、1 年次から履修が可能です。

しかし、「情報サービス演習 A・B」の履修には、前年度までに「図書館サービス概論」と「情報サービス論」を修得しておくか、履修年度に「図書館サービス概論」と「情報サービス論」を履修することが望ましいです。「情報サービス演習 A・B」は、「図書館サービス概論」と「情報サービス論」の内容を踏まえたうえで授業を行います。そのため、これらの科目が未履修だと、演習課題に取り組むことが困難で単位修得に支障をきたす可能性があります。履修時期については慎重に考えてください。

II. 「情報サービス演習 A」と「情報サービス演習 B」は通年履修、つまり、同年度に A と B をセットで履修することを原則とします。

③「情報資源組織演習 A」「情報資源組織演習 B」の履修について

I. 「情報資源組織演習 A・B」の配当学年は 1～4 年次のため、1 年次から履修が可能です。

しかし、「情報資源組織演習 A・B」の履修には、前年度までに「図書館情報資源概論」と「情報資源組織論」を修得しておくか、履修年度に「図書館情報資源概論」と「情報資源組織論」を履修することが望ましいです。「情報資源組織演習 A・B」は、「図書館情報資源概論」と「情報資源組織論」の内容を踏まえたうえで授業を行います。そのため、これらの科目が未履修だと、演習課題に取り組むことが困難で単位修得に支障をきたす可能性があります。履修時期については慎重に考えてください。

II. 「情報資源組織演習 A」と「情報資源組織演習 B」は通年履修、つまり、同年度に A と B をセットで履修することを原則とします。

◆ガイドンスについて◆

毎年4月初めに「図書館司書・学校図書館司書教諭ガイドンス」を開催して科目の履修方法などの説明を行います。**履修希望者は履修希望初年度に必ず出席してください。**

◆第1部・第2部間相互聴講制度について◆

図書館司書資格の取得を希望する者は、以下の履修条件で第1部・第2部間相互聴講制度を活用することができます。

○第1部・第2部間相互聴講制度の履修条件

- ①卒業までに30単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- ②各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24単位）に算入します。
- ③履修かつ修得した単位は、文学部基盤科目として、卒業単位に算入します。
- ④履修方法

第1部の学生が、第2部開講科目の履修を希望する場合には第1部の科目と同様に履修登録をしてください。第2部の学生が、第1部開講科目の履修を希望する場合も同様に履修登録を必要とします。

「生涯学習概論Ⅰ」は、第1部・第2部間相互聴講制度は適用されません。

2020年度第1部・第2部入学生用

	法令上の科目	群	単位	本学開講科目	単位	配当学年
必修	生涯学習概論	甲	2	生涯学習概論Ⅰ	2	1・2
	図書館概論	甲	2	図書館概論	2	1～4
	図書館制度・経営論	甲	2	図書館制度・経営論	2	1～4
	図書館情報技術論	甲	2	図書館情報技術論	2	1～4
	図書館サービス概論	甲	2	図書館サービス概論	2	1～4
	情報サービス論	甲	2	情報サービス論	2	1～4
	児童サービス論	甲	2	児童サービス論	2	1～4
	情報サービス演習	甲	2	情報サービス演習A	1	1～4
				情報サービス演習B	1	1～4
	図書館情報資源概論	甲	2	図書館情報資源概論	2	1～4
	情報資源組織論	甲	2	情報資源組織論	2	1～4
	情報資源組織演習	甲	2	情報資源組織演習A	1	1～4
				情報資源組織演習B	1	1～4
選択	図書館情報資源特論	乙	1	図書館情報資源特論	2	1～4
	図書・図書館史	乙	1	図書・図書館史	2	1～4
資格取得のための最低単位数			24		26	

※選択科目について

本学では、法令上の科目の乙群（選択科目）として「図書館情報資源特論」と「図書・図書館史」の2科目を開講しています。乙群（選択科目）からは2科目を修得することが必修となっています。そのため、本学では上記の表に記載するすべての科目を修得することが条件となりますので注意してください。



諸資格について

学校図書館司書教諭

◆◆資格および実務◆◆

「学校図書館法」に基づき学校図書館で専門的職務に従事する職員を「司書教諭」と称します。この資格を取得しようとする場合は、教職課程を履修し、教育職員免許状を取得することが前提となり、同時に文部科学省令に定められた司書教諭講習科目を履修して単位を修得すると、「学校図書館法施行規則」に規定される、司書教諭の資格が与えられます。

◆◆修得すべき科目と単位数◆◆

本学において司書教諭資格の取得を希望する者は、下記の表に示されている開講科目をすべて履修し、単位を修得すると同時に、教育職員免許状を取得しなければなりません。

※学校図書館には司書教諭のほかに司書（学校司書）として採用されることがありますが、この場合は図書館司書の資格が求められます。

2020 年度第 1 部・第 2 部入学生用

学校図書館司書教諭 講習規定における科目	単位	本学開講科目	単位	配当学年
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	1～4
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	1～4
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	1～4
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	1～4
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	1～4

◆◆申請資格◆◆

司書教諭の資格を取得するには、申請手続きが必要となります。不備がある場合には申請できませんので、以下の点に注意してください。

- ・ 司書教諭の資格に必要な単位（上記の全 5 科目 10 単位）を修得見込であること。
- ・ 3 年生は、62 単位以上を修得見込であること。
- ・ 4 年生は、教育職員免許状を取得見込または教育職員免許状取得者であること。

※ただし、申請年度の単位修得状況によっては、申請を取り下げます。

◆◆第 1 部・第 2 部間相互聴講制度について◆◆

学校図書館司書教諭資格の取得を希望する者は、以下の履修条件で第 1 部・第 2 部間相互聴講制度を活用することができます。

○第 1 部・第 2 部間相互聴講制度の履修条件

- ①卒業までに 30 単位を超えて履修かつ修得することはできません。
- ②各学期（セメスタ）の履修上限単位数（24 単位）に算入します。
- ③履修かつ修得した単位は、文学部基盤科目として、卒業単位に算入します。
- ④履修方法

第 1 部の学生が、第 2 部開講科目の履修を希望する場合には第 1 部の科目と同様に履修登録をしてください。第 2 部の学生が、第 1 部開講科目の履修を希望する場合も同様に履修登録を必要とします。

◆申請手続きとスケジュール◆

申請の手続方法とスケジュール詳細については、文学部掲示板および ToyoNet-G のお知らせで配信しますので、各自確認をしてください。なお、「学校図書館司書教諭講習修了証書」は申請手続から約 1 年後に文部科学省から交付されます。

3 年次に手続する場合 〈修了証書の発行は 4 年次 3 月〉	4 年次に手続する場合 〈修了証書の発行は卒業から 1 年後〉	手続き内容
—	7 月	教育職員免許状一括申請手続説明会
12 月	12 月	学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する掲示
—	12 月	教育職員免許状一括申請手続
1 月上旬	1 月上旬	学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する書類配布
1 月中旬	1 月中旬	学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する書類提出
3 月上旬	3 月上旬	学校図書館司書教諭講習修了証書申請手数料納入・署名
4 年次 3 月	卒業から 1 年後の 3 月	学校図書館司書教諭講習修了証書交付（本人宛郵送）

※文部科学省から「学校図書館司書教諭講習修了証書」が授与されても、教育職員免許状を取得し、「学校図書館司書教諭講習修了証書」と教育職員免許状の 2 つが揃った時点からその効力が生じるため、4 年次の教育職員免許状取得のための手続を怠らないでください。

※学校図書館司書教諭としての採用を目指す者は「学校図書館司書教諭講習修了証書」の交付年に気をつけてください。

※不明点は教務課窓口にお問い合わせください。

◆申請手続きチェックリスト◆

各自で手続を行ったら、チェック欄にチェックを入れましょう。

手続内容	チェック
教育職員免許状一括申請手続説明会に参加する。	
学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する掲示を確認する。	
教育職員免許状一括申請手続を行う。	
学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する書類を受け取る。	
学校図書館司書教諭講習修了証書申請手続に関する書類を提出する。	
学校図書館司書教諭講習修了証書申請手数料納入・署名。	
学校図書館司書教諭講習修了証書の受取。	



諸資格について

博物館学芸員〈第1部学生のみ対象〉

◆◆業務◆◆

博物館には狭義の博物館のほか、美術館、考古学・歴史関係史料館、郷土館、記念館、民芸館および科学博物館、動物園、水族館、科学館、天文館などが含まれます。これらは学校教育と並んで重要なものである社会教育のための機関であり、そこには専門職員として学芸員を置かなければならないことが法によって定められています（博物館法第4条第3項）。

学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的な事項をつかさどる、と定められています（博物館法第4条第4項）。

◆◆資格◆◆

学士の学位を有する者で大学において次の科目および単位を修得した者は、学芸員となる資格を有します。

◆◆修得すべき科目と単位数◆◆

博物館法第5条第1項第1号の規定による、大学において修得すべき博物館に関する科目および単位と、それに対応する本学開講科目および単位は次の表によります。

2020年度第1部入学生用

	法令上の科目	単位	本学開講科目	単位	学年	開講学科	備考
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論Ⅰ	2	1・2	教育学科	
	博物館概論	2	博物館概論	2	1・2	史学科	
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	2	史学科	
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	2	史学科	
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	3・4	史学科	
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	2～4	史学科	
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	1～4	史学科	
	博物館教育論	2	博物館教育論	2	2～4	史学科	
	博物館実習	3	博物館実習ⅠA	1	3	史学科	注)1を参照
			博物館実習ⅠB	1	3	史学科	注)1を参照
			博物館実習Ⅱ	1	4	史学科	
選択科目	文化史		伝統芸能を学ぶ	2	1～4	日本文学文化学科	
			伝統行事を学ぶ	2	1～4	日本文学文化学科	
			平安朝文化の世界	2	2～4	日本文学文化学科	
			室町・戦国文化の世界	2	2～4	日本文学文化学科	
			古典籍に親しむ	2	2～4	日本文学文化学科	
			古文書学ⅠA	2	1～4	史学科	
			古文書学ⅠB	2	1～4	史学科	
			古文書学ⅡA	2	1～4	史学科	
			古文書学ⅡB	2	1～4	史学科	
	美術史		日本美術の世界	2	1～4	日本文学文化学科	
	考古学		考古学研究A	2	2～4	史学科	
			考古学研究B	2	2～4	史学科	
	民俗学		日本民俗学の諸問題	2	2～4	日本文学文化学科	

注)1 実習のコースは2種類に分かれる。1コースは民俗・書誌、3コースは考古学・一般である(2コースは休講)。

◆学芸員資格取得にかかわる必修科目の位置づけについて◆

学芸員資格のための必修科目は、博物館法施行規則（文部科学省令 24 号）にもとづき、本学学則で定められたものです。このうち、「博物館実習」は博物館法に認められた博物館において行われるもので、学内実習はそれを補充するためのものです。したがって、実習は博物館業務の現場において、学外博物館の協力のもとで行われることが必要条件となっています。いわば現任の学芸員に準ずるような作業を行うこととなります。したがって、受講生は実習を受ける以前に、博物館学芸員としての基本教育（「博物館概論」「博物館経営論」「博物館展示論」「博物館資料論」）、学芸員の教育者としての基本教育（「博物館教育論」）、学芸員の社会教育者としての基本的教育（「生涯学習概論Ⅰ」）が行われていなければなりません。本学のカリキュラム構成もその原則を踏まえたものとなっています。

◆履修上の注意◆

- ①この資格を取得できるのは、**第1部の文学部・社会学部学生のみ**です。
- ②必修科目はすべて修得しなければなりません。
- ③「博物館実習ⅠA」「博物館実習ⅠB」の履修は、**2年次までの必修科目（「博物館概論」「博物館経営論」「博物館展示論」「博物館資料論」「生涯学習概論Ⅰ」）を全て修得していること**を条件とします。
※「博物館経営論」および「博物館展示論」は2年次配当科目のため、履修の際は特に注意してください。
- ④選択科目は、**法令上の科目2科目以上から12単位以上**を修得しなければなりません。
- ⑤「博物館実習ⅠB」の履修登録は「博物館実習ⅠA」を修得していることが条件です。
- ⑥4年次に配当されている「博物館実習Ⅱ」の履修登録は、下記の条件を満たしていることが条件です。
 - 〈1〉：「博物館実習ⅠA」「博物館実習ⅠB」の単位を修得していること。
 - 〈2〉：「博物館教育論」の単位を修得していること、または「博物館実習Ⅱ」の履修年度に「博物館教育論」を履修していること。
- ⑦上級学年に配当されている科目は履修できません。
※「博物館実習Ⅱ」の履修を希望する場合は、実習料（10,000 円）および学研災付帯賠償責任保険料を所定の期間に納入しなければなりません。一度納入した実習料等は、返金しないので特に注意してください。また、実習生への連絡は、**博物館実習室掲示板（白山キャンパス5号館地下1階5B11教室前）とToyoNet-G**で行います。

博物館実習スケジュール

月	3 年生	4 年生
4	博物館実習ⅠA履修許可者発表 履修登録 授業開始	博物館実習Ⅱ履修登録 実習料納入 授業開始
6		実習館決定
7～9	ガイダンス(第1回目)	館務実習
11～12	見学学習、ガイダンス(第2回目)	
1	次年度実習予定館内定	

※館務実習先は、原則として自己開拓し、約2週間行います。詳しくはガイダンス等で説明するので、必ず出席してください。



諸資格について 社会福祉主事

社会福祉主事は、福祉事務所の相談業務を担当する職員の資格ですが、下記の「社会福祉主事の資格に関する指定科目」のうちから「3科目以上を修得」した者に任用資格が認められています。しかし、地方公務員として採用されなければ、この資格を活かすことはできません。なお、この資格を基礎とし、実務経験を持てば、児童福祉司等に任用されます。また、民間福祉施設の職員採用条件として、社会福祉主事任用資格が求められることが多いです。

(1) 資格

大学において、社会福祉に関する科目を修めて卒業した者（社会福祉法第19条第1号）。

(2) 修得すべき科目

下記の社会福祉主事の資格に関する指定科目のうちから3科目以上を修得すること。

社会福祉主事の資格に関する指定科目における本学開講科目のうち、いずれか1科目修得することで、当該指定科目を修得したとみなされます。但し、]がついている科目はセットで履修・修得することで1科目としてみなされます。

社会福祉主事に関する科目〈第1部学生対象〉

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目	社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目
社会福祉概論	社会福祉学概論A 社会福祉学概論B	行政法	行政法ⅠA 行政法ⅠB 行政法ⅡA 行政法ⅡB
社会福祉事業史	社会福祉発達史A 社会福祉発達史B	経済学	経済学入門 経済学A 経済学B 経済学入門A 経済学入門B 国際公共経済A 国際公共経済B 経済学(マクロ) 経済学(ミクロ) 応用マクロ経済学 応用ミクロ経済学 経済原論A 経済原論B ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基盤と専門職A ソーシャルワークの基盤と専門職B ソーシャルワークの理論と方法A ソーシャルワークの理論と方法B ソーシャルワークの理論と方法C ソーシャルワークの理論と方法D	社会政策	社会政策論 社会政策A 社会政策B
社会福祉調査論	社会調査入門A 社会調査法	経済政策	経済政策A 経済政策B
社会福祉行政論	社会福祉法制行政	心理学	心理学概論 心理学A 心理学B
社会保障論	社会保障論 社会保障論A 社会保障論B	社会学	社会学A 社会学B 社会学概論A 社会学概論B
公的扶助論	公的扶助論	教育学	教育基礎論 教育学概論
児童福祉論	児童福祉論A 児童福祉論B	倫理学	倫理学基礎論A 倫理学基礎論B 応用倫理学A 応用倫理学B 倫理学概説A 倫理学概説B 倫理学概論A 倫理学概論B
身体障害者福祉論	障害者福祉論A 障害者福祉論B	医学一般	医学一般
老人福祉論	高齢者福祉論A 高齢者福祉論B	介護概論	介護概論
医療社会事業論	医療ソーシャルワーク論		
地域福祉論	地域福祉論 地域福祉論A 地域福祉論B		
法学	法学A 法学B		
民法	民法A 民法B 民法Ⅰ(総則)A 民法Ⅰ(総則)B 民法Ⅱ(物権)A 民法Ⅱ(物権)B 民法Ⅲ(債権総論)A 民法Ⅲ(債権総論)B 民法Ⅳ(債権各論)A 民法Ⅳ(債権各論)B 民法Ⅴ(親族・相続)A 民法Ⅴ(親族・相続)B 民法		

(注) 学科教育課程表および他学部他学科開放科目(専門開放科目)に掲載されていない本学開講科目は自由科目で履修してください。

社会福祉主事に関する科目〈第2部学生対象〉

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目	社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目
社会福祉概論	社会福祉学概論A 社会福祉学概論B	行政法	行政法ⅠA 行政法ⅠB 行政法ⅡA 行政法ⅡB
社会福祉事業史	社会福祉発達史A 社会福祉発達史B	経済学	経済学A 経済学B 経済学入門A 経済学入門B 経済原論A 経済原論B
社会福祉援助技術論	ソーシャルワーク論	社会政策	社会政策論 社会政策A 社会政策B
社会福祉調査論	社会調査入門A 社会調査法	経済政策	経済政策A 経済政策B
社会福祉行政論	福祉行政財政と福祉計画	心理学	心理学A 心理学B
社会保障論	社会保障論	社会学	社会学A 社会学B 社会学概論A 社会学概論B
公的扶助論	公的扶助論	教育学	教育基礎論 教育学概論
児童福祉論	児童福祉論	倫理学	倫理学A 倫理学B 倫理学概説A 倫理学概説B
身体障害者福祉論	障害者福祉論	医学一般	医学一般
老人福祉論	高齢者福祉論	介護概論	介護概論
地域福祉論	地域福祉論		
法学	法学 日本国憲法		
民法	民法A 民法B 民法Ⅰ(総則)A 民法Ⅰ(総則)B 民法Ⅱ(物権)A 民法Ⅱ(物権)B 民法Ⅲ(債権総論)A 民法Ⅲ(債権総論)B 民法Ⅳ(債権各論)A 民法Ⅳ(債権各論)B 民法Ⅴ(親族・相続)A 民法Ⅴ(親族・相続)B		

(注) 学科教育課程表および他学部他学科開放科目に掲載されていない本学開講科目は自由科目として履修してください。



諸資格について

日本語教員養成プログラム

◆◆業務◆◆

このプログラムは、日本語を外国語として教授する専門家を養成するためのプログラムです。将来的な勤務の場としては、国内では日本語学校のほか、各種学校、公共団体、自治体、企業の日本語教育現場が想定されます。海外では、各地の大学や初・中等教育機関、外国語学校があります。さらに国際交流基金、JICA（国際協力機構）等の日本の公的機関が海外に派遣する日本語教師として活動する道もあります。

◆◆資格◆◆

日本語教育に関する国家資格は目下のところ存在しませんが、本プログラムは、文化庁の『日本語教員養成において必要とされる教育内容』ガイドラインに沿い、日本語の教授に際して必要となる知識、技能を修得させるべく組み立てられており、所定の単位を取得した学生に対し、卒業時に「東洋大学文学部日本語教員養成プログラム修了証」を授与します。この修了証は、就職を保証するものではありません。

◆◆履修上の注意◆◆

- ・このプログラムを履修できるのは、文学部第1部の学生のみです。
- ・プログラム修了のためには、必修科目8科目16単位を含む、16科目32単位以上を履修・修得しなければなりません。
- ・必修科目のない領域の科目も、できるだけ履修するようにしてください。
- ・プログラム修了のためには、「日本語教育実習」の単位取得が不可欠ですが、同科目の履修には、下記のとおり、条件が設定されています。条件をよく読み、予め修得しておくべき科目については、対象学科や学年配当に注意して、1年次から計画的に履修することが必要です。

◆◆教育実習条件◆◆

- ・「日本語教育実習」を履修するためには、必修科目のうち、「日本語教育論A」「日本語教育論B」「日本語教授法A」「日本語教授法B」「現代日本語文法」を、いずれもすでに修得済でなければなりません。
- ・また、実習参加にあたっては、実習費（10,000円）を所定期間に納入することが義務づけられます。さらに、学研災付賠償責任保険（保険料210円）への加入も必要となります。なお、実習費、保険料ともに、金額は変更になる可能性があります。

◆◆実習のスケジュール◆◆

本プログラムでは、毎年度4月にガイダンスを実施します。日本語教育実習参加希望者は、実習年度の4月のガイダンスには特に留意し、掲示（文学部掲示板あるいは国際文化コミュニケーション学科掲示板）またはToyoNet（ACEあるいはG）を確認のうえ、必ず参加してください。

教育実習を行う場合は、学内の国際教育センター、国内の日本語学校、海外の日本語教育機関のいずれかとなります。また、受け入れ先の事情などから教育実習参加人数を制限する場合があります。詳細は、ガイダンスにて説明します。

◆◆修得すべき科目と単位数◆◆

2020 年度第 1 部入学生用

領域	必修	科目名	単位数	領域	必修	科目名	単位数
言語と教育	○	日本語教授法A	2	言語と社会		国際文化コミュニケーション概説A	2
	○	日本語教授法B	2			国際文化コミュニケーション概説B	2
	○	日本語教育論A	2		○	異文化交流論I A	2
	○	日本語教育論B	2			異文化交流論I B	2
	○	日本語教育実習	2			多文化共生論A	2
		教育基礎論	2			多文化共生論B	2
		視聴覚教育	2	社会・文化・地域	○	国際文化理解A	2
		生涯学習概論I	2			国際文化理解B	2
		情報化社会と人間	2			地域文化学入門	2
		コンピュータ・リテラシー	2			日本文化表象I A	2
		国際教育論A	2			ジャパニーズ・リテラチャーA	2
		国際教育論B	2			ジャパニーズ・リテラチャーB	2
言語		日本語概説	2			ジャパニーズ・アニメーションA	2
	○	現代日本語文法	2			ジャパニーズ・アニメーションB	2
		日本語史	2			ボランティア活動	2
		対照言語学	2			伝統芸能を学ぶ	2
		英語で学ぶ異文化交流I	2			伝統行事を学ぶ	2
		ドイツ語で学ぶ異文化交流I	2			日本美術の世界	2
		フランス語で学ぶ異文化交流I	2			日本史概説A	2
		言語論A	2			日本史概説B	2
		言語論B	2			日本文学文化と風土A	2
		ロジカルシンキング入門	2			日本文学文化と風土B	2
		クリティカルシンキング入門	2			人類学A	2
		論理学A	2			人類学B	2
		論理学B	2			国際関係入門	2
言語と心理		認知と言語	2	必要単位数合計		32 単位以上	
		心理学概論A	2				
		心理学概論B	2				
		心理学A	2				
		心理学B	2				



教育職員免許状

東洋大学教職センター

本学の学祖井上円了は哲学館の創設にあたり「諸学の基礎は哲学にあり」の理念の下、「先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方、論理的・体系的に深く考える人間」「社会の課題に自主的・主体的に取り組み、よき人間関係を築いていける人間」の育成をめざした。そして特に「教育家と宗教家」の養成に力を入れた。このように本学は創設以来、教員養成を重視し、この分野の伝統と実績を有する大学であり、多くの卒業生が教員として全国の学校で活躍している。

これから教職課程を履修し、教員免許状を取得して教員になろうと志す学生にはまずこのことをしっかりと自覚してほしい。

言うまでもなく、教員になるためには教員免許状の取得が必要である。免許状の取得に関する諸事項は教育職員免許法に定められており、本学もこれに基づいて教職課程教育を実施している。

教職課程に属する科目の多くは、各学科の卒業に必要な科目とは別に履修し単位を修得しなければならない。従って、教職課程を履修する学生は、他の学生よりも多くの科目を履修しなければならず、学修に費やす時間もそれだけ多くなる。1年次からの計画的な履修と学修が求められる。その詳細については、教職課程ガイダンスに参加して説明を聞くとともに、この「履修要覧」を熟読してほしい。教員になるためには、担当する教科に関する知識を豊富に持つことが必要になることは言うまでもない。しかしそれだけでは教員として十分とは言えない。教員は成長・発達の途上にある児童・生徒を指導し、ともに学ぶ存在である。教員の言動は、時として、子どもの将来を大きく左右することもある。その意味で教員というのは恐ろしい職業である。しかし同時に教員は子どもの成長を直接目にし、それを助け、ともに喜び合えるやりがいのある職業でもある。

ある教育学者が次のようなことを問うている。「あなた（教員）は何の権利があって他人の子どもを教育するなどという大それたことができるのか」。

この問いに答えることは簡単ではない。しかし「他人の子ども」を教育するという「大それたこと」を職業とすることを、子どもから、保護者から、そして社会から、許されるだけの準備を大学生活のなかでしておくことが、教員をめざす学生の最低限の義務である。

教員をめざす学生には、大学の授業で学ぶことはもちろん、サークル活動、ボランティア活動、趣味、アルバイトなど、さまざまな経験をしながら、自分自身を成長させることを期待したい。豊かな人間性を持った信頼に足る教員をめざしてほしい。

◆ ◆ 〈1〉 教育職員免許状について ◆ ◆

大学卒業後、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員になるためには教育職員免許状を取得しなければなりません。

各学科で取得できる教育職員免許状は次の表のとおりです。

学部学科(コース・専攻)		免許状の種類	小学校教諭 1 種免許状	中学校教諭 1 種免許状 (教科)	高等学校教諭 1 種免許状 (教科)
文	第 1 部	哲		社 会	地 理 歴 史・公 民
		東洋思想文化(仏教思想)		社 会	地 理 歴 史・公 民
		日 本 文 学 文 化		国 語	国 語・書 道
		英 米 文		英 語	英 語
		史		社 会	地 理 歴 史・公 民
		教 育 (人 間 発 達)		社 会	地 理 歴 史・公 民
		教 育 (初 等 教 育)	小学校教諭 1 種免許状	特別支援学校教諭 1 種免許状	
	第 2 部	国際文化コミュニケーション		英 語	英 語
		東洋思想文化(仏教思想)		社 会	地 理 歴 史・公 民
		日 本 文 学 文 化		国 語	国 語・書 道
		教 育		社 会	地 理 歴 史・公 民

◆ ◆ 〈2〉 教育職員免許状の取得条件について ◆ ◆

教育職員免許状を取得するためには、次頁の表にあるように基礎資格として「学士の学位を有すること」(卒業に必要な単位を修得すること)が要求されます。したがって、教育職員免許状取得のための単位は修得できたものの卒業ができなかったということにならないよう、4年間の履修計画を立ててください。本学では「教育職員免許法」及び同法施行規則に基づいて、教育職員免許状取得に必要な単位が修得できるよう科目を開設しています。

なお、特別支援学校教諭免許状を取得するためには小学校、中学校、高等学校または幼稚園のいずれかの免許状(基礎免許状)を取得した上に、さらに特別支援教育に関する科目の単位を修得することが必要となります。

○近年、教員採用試験等で中学校教諭・高等学校教諭両方の教育職員免許状を取得(見込)していることが採用試験受験の条件、または有利となる傾向があります。したがって、できる限り**中学校教諭・高等学校教諭両方の教育職員免許状を取得することが望ましい**と考えられます。

○教育職員免許状を取得するのに必要な科目は、4年間で履修かつ修得できるように配置されているため、4年間の履修計画を入念に立て、1年次より必要な科目を履修かつ修得してください。

※ **2年次ないし3年次から4年次終了(卒業)までに教育職員免許状を取得することは難しいので注意してください。**

○**第2部学生は授業時間数が少ないため、教育職員免許状の取得が第1部学生より難しいので注意してください。**

基礎資格と免許法における最低修得単位数

免許状の種類	基礎資格	免許法における最低修得単位数							
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	特別支援教育に関する科目	免許法施行規則第66条の6に定める科目	その他
幼稚園教諭 1 種免許状	学士の学位を有すること	16	10	4	7	14		8	
小学校教諭 1 種免許状		30	10	10	7	2		8	介護等体験 (詳細は P.204)
中学校教諭 1 種免許状		28	10	10	7	4		8	
高等学校教諭 1 種免許状		24	10	8	5	12		8	
特別支援学校教諭 1 種免許状	小学校、中学校、高等学校または幼稚園の免許状を有すること						26		

Check

上記の免許法における最低修得単位数と、本学における最低修得単位数は異なります。本学の学生は、本学における最低修得単位数を履修かつ修得しなければなりません。p.191 ~ p.203 <表 1> (学科等における「教科及び教職に関する科目」一覧表) 及び<表 2> (本学における「免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」一覧表) で確認してください。

◆ ◆ 〈3〉 教職課程登録料について ◆ ◆

本学では、通学課程の学部学生及び大学院生が教職課程の履修を希望する場合、教職課程登録料が必要となります。所定の期日までに指定された方法で納入してください。

なお、登録料の区分、徴収対象、徴収額および有効期間は以下のとおりとなります。

	区分	徴収対象	徴収額	有効期間
教職課程登録料	在籍生登録料	東洋大学教職課程の履修を希望する通学課程の学部生及び大学院生	30,000 円	・ 学部生は、納入時から卒業年度の 3 月 31 日 (秋学期卒業生を含む。ただし、春学期卒業生は 9 月 30 日) まで。 ・ 大学院生は、納入時から修了年度の 3 月 31 日 (秋学期修了生を含む。ただし、春学期修了生は 9 月 30 日) まで。
	卒業生等登録料	東洋大学の卒業生及び大学院修了生 (ただし、退学者及び除籍者を含む。) で、教職支援室の利用等 (教職に関するセミナー等への参加を含む。) を希望する者	5,000 円 (ただし、秋学期からの場合は当該年度のみ 2,500 円とする。)	納入年度の 3 月 31 日まで。

※文学部第 1 部教育学科初等教育専攻の学生は、在籍生登録料の納入は必要ありません。

※再入学した学生のうち、在籍時に教職課程登録料を納入している場合は、再度の納入は必要ありません。

◆ ◆ 〈4〉 教職科目の履修登録について ◆ ◆

教育職員免許状の取得のためには、卒業単位の充足のほかに、以下に定められた科目をそれぞれ履修し、単位を修得する必要があります。

- (1) 教科及び教科の指導法に関する科目 (<表 1> 参照)
- (2) 「教育の基礎的理解に関する科目」等 (<表 1> 参照)
- (3) 大学が独自に設定する科目 (<表 1> 参照)
- (4) 免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 (<表 2> 参照)

〈表１〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

哲学科（第１部） 2020年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	8単位	○日本思想史基礎概説A(2) ○日本思想史基礎概説B(2) ○西洋哲学史基礎概説A(2) ○西洋哲学史基礎概説B(2) ○古代中世哲学史概説A(2) ○古代中世哲学史概説B(2) ○近世近代哲学史概説A(2) ○近世近代哲学史概説B(2)	日本史	4単位	○日本思想史基礎概説A(2) ○日本思想史基礎概説B(2)		教科に関する専門的事項			
				外国史	4単位	○西洋哲学史基礎概説A(2) ○西洋哲学史基礎概説B(2) ○古代中世哲学史概説A(2) ○古代中世哲学史概説B(2) ○近世近代哲学史概説A(2) ○近世近代哲学史概説B(2)					
	地理学（地誌を含む。）	8単位	○地理学A(2) ○地理学B(2) ○地誌学A(2) ○地誌学B(2) ○人文地理学A(2) ○人文地理学B(2) ○自然地理学A(2) ○自然地理学B(2)	人文地理学・自然地理学	8単位	○人文地理学A(2) ○人文地理学B(2) ○自然地理学A(2) ○自然地理学B(2) ○地理学A(2) ○地理学B(2)					
	「法律学、政治学」	4単位	○政治哲学概論(2) ○法哲学概論(2)	地誌	4単位	○地誌学A(2) ○地誌学B(2)			「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	4単位	○政治哲学概論(2) ○法哲学概論(2)
	「社会学、経済学」	4単位	○社会学A(2) ○社会学B(2) ○経済学A(2) ○経済学B(2)								
	「哲学、倫理学、宗教学」	4単位	○倫理学概論A(2) ○倫理学概論B(2) ○哲学概論A(2) ○哲学概論B(2) ○宗教哲学特講A(2) ○宗教哲学特講B(2) ○心の哲学特講A(2) ○心の哲学特講B(2) ○論理学概論A(2) ○論理学概論B(2)						「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	4単位	○社会学A(2) ○社会学B(2) ○経済学A(2) ○経済学B(2)
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2) ○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3 3 3 3	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3 3	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3 3
小 計	36単位	①		小 計	24単位	①		小 計	24単位	①	

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1			○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1			○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2			○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1			○特別支援教育基礎論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○教育課程総論(2)	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○教育課程総論(2)	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○教育課程総論(2)	1
		○道徳教育論(2)	3			○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1			○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3			○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2			○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2			○教育相談(2)	2			○教育相談(2)	2
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3)	4
						○教職実践演習（中・高）(2)	4			○教職実践演習（中・高）(2)	4
小 計	29単位	②		小 計	25単位	②		小 計	25単位	②	

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4
小 計	—	③		小 計	—	③		小 計	—	③	

合 計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2	
-----	------	-------------------------	--	-----	------	-------------------------	--	-----	------	-------------------------	--

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

東洋思想文化学科（第1部）仏教思想コース 2020年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。

(注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）						
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目						
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目		配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目		配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目		配当学年
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	8単位	○日本思想史概説A(2) ○日本思想史概説B(2) ○東西交渉史A(2) ○東西交渉史B(2) ○インド仏教史A(2) ○インド仏教史B(2) ○中国仏教史A(2) ○中国仏教史B(2) ○チベット仏教史(2) ○中国史概説A(2) ○中国史概説B(2)		日本史	4単位	○日本思想史概説A(2) ○日本思想史概説B(2) ○東西交渉史A(2) ○東西交渉史B(2) ○インド仏教史A(2) ○インド仏教史B(2) ○中国仏教史A(2) ○中国仏教史B(2) ○チベット仏教史(2) ○中国史概説A(2) ○中国史概説B(2)							
			外国史	4単位										
	地理学（地誌を含む。）	8単位	○地理学A(2) ○地理学B(2) ○地誌学A(2) ○地誌学B(2) ○人文地理学A(2) ○人文地理学B(2) ○自然地理学A(2) ○自然地理学B(2)		人文地理学・自然地理学	8単位	○人文地理学A(2) ○人文地理学B(2) ○自然地理学A(2) ○自然地理学B(2) ○地理学A(2) ○地理学B(2)							
			地誌	4単位		○地誌学A(2) ○地誌学B(2)								
	「法学、政治学」	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) ○国際法ⅠA(2) ○国際法ⅠB(2)											
「社会学、経済学」	4単位	○現代社会に生きる仏教A(2) ○現代社会に生きる仏教B(2)												
「哲学、倫理学、宗教学」	4単位	○宗教学概論A(2) ○宗教学概論B(2) ○仏教思想概論A(2) ○仏教思想概論B(2) ○インド思想特講ⅠA(2) ○仏教思想特講ⅠA(2) ○仏教思想特講ⅡA(2) ○インド思想史A(2) ○インド思想史B(2) ○中国哲学史A(2) ○中国哲学史B(2)												
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2) ○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)		3 3 3 3	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2)		3 3	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) ○国際法ⅠA(2) ○国際法ⅠB(2) ○現代社会に生きる仏教A(2) ○現代社会に生きる仏教B(2) ○宗教学概論A(2) ○宗教学概論B(2) ○仏教思想概論A(2) ○仏教思想概論B(2) ○インド思想特講ⅠA(2) ○仏教思想特講ⅠA(2) ○仏教思想特講ⅡA(2) ○インド思想史A(2) ○インド思想史B(2) ○中国哲学史A(2) ○中国哲学史B(2)		3 3
小計	36単位	①			小計	24単位	①			小計	24単位	①		

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1
		○道徳教育論(2)	3			○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1			○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	2 2			○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	2 2			○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	2 2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1 △教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4 4	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2) ○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	1 3 2 2
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1 △教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4 4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1 △教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4 4
小計	29単位	②		小計	25単位	②		小計	25単位	②	

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3
小計	—	③		小計	—	③		小計	—	③	
合 計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2	

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

日本文学文化学科（第1部） 2020年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
(注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）				(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）				
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	
教科に関する専門的事項	4単位	○日本語概説A(2) ○日本語概説B(2) 日本語学研究Ⅰ(2) 日本語史A(2) 日本語史B(2) 日本語文法A(2) 日本語文法B(2)	4単位	教科に関する専門的事項	4単位	○日本語概説A(2) ○日本語概説B(2) 日本語学研究Ⅰ(2) 日本語史A(2) 日本語史B(2) 日本語文法A(2) 日本語文法B(2)	4単位	教科に関する専門的事項	6単位	○書道ⅠA(1) ○書道ⅠB(1) ○書道ⅡA(1) ○書道ⅡB(1) ○書道ⅢA(1) ○書道ⅢB(1)		
	国文学（国文学史を含む。）	4単位	○日本文学文化概説A(2) ○日本文学文化概説B(2) 日本文学の歴史（上代）(2) 日本文学の歴史（中古）(2) 日本文学の歴史（中世）(2) 日本文学の歴史（近世）(2) 日本文学の歴史（近代）(2) 日本文学の歴史（現代）(2) 上代文学の探究(2) 中古文学の探究(2) 中世文学の探究(2) 近世文学の探究(2) 近現代文学の探究(2) 古典文学文化研究Ⅰ(2) 古典文学文化研究Ⅱ(2) 近現代文学文化研究Ⅰ(2)		4単位	○日本文学文化概説A(2) ○日本文学文化概説B(2) 日本文学の歴史（上代）(2) 日本文学の歴史（中古）(2) 日本文学の歴史（中世）(2) 日本文学の歴史（近世）(2) 日本文学の歴史（近代）(2) 日本文学の歴史（現代）(2) 上代文学の探究(2) 中古文学の探究(2) 中世文学の探究(2) 近世文学の探究(2) 近現代文学の探究(2) 古典文学文化研究Ⅰ(2) 古典文学文化研究Ⅱ(2) 近現代文学文化研究Ⅰ(2)	4単位					
	漢文学	4単位	△中国の古典（文学）(2) △中国の古典（思想）(2) △中国の古典（哲学）(2) △中国の古典（歴史）(2)		4単位	△中国の古典（文学）(2) △中国の古典（思想）(2) △中国の古典（哲学）(2) △中国の古典（歴史）(2)	4単位				中国の古典（文学）(2) 中国の古典（思想）(2) 中国の古典（哲学）(2) 中国の古典（歴史）(2)	
	書道（書写を中心とする。）	2単位	○書道ⅠA(1) ○書道ⅠB(1) 書道ⅡA(1) 書道ⅡB(1) 書道ⅢA(1) 書道ⅢB(1)									
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○国語科教育論Ⅰ(2) ○国語科教育論Ⅱ(2) ○国語科指導法Ⅰ(2) ○国語科指導法Ⅱ(2)	2 2 3 3	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	国語科教育論Ⅰ(2) 国語科教育論Ⅱ(2) ○国語科指導法Ⅰ(2) ○国語科指導法Ⅱ(2)	2 2 3 3	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○書道科指導法Ⅰ(2) ○書道科指導法Ⅱ(2)	3 3	
小 計	28単位	①		小 計	24単位	①		小 計	24単位	①		

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）				(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1
		○道徳教育論(2)	3			○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1			○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3			○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	2 2			○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	2 2			○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	2 2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)	4	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4			△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4
小 計	29単位	②		小 計	25単位	②		小 計	25単位	②	

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）				(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）				(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3
小 計	—	③		小 計	—	③		小 計	—	③	
合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

英米文学科（第1部）2020年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。

(注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	英語学	○英語学概論A(2) ○英語学概論B(2) 英文法概説A(2) 英文法概説B(2) 英語史A(2) 英語史B(2) 英語音声学演習A(2) 英語音声学演習B(2)	
		○英語文学A(2) ○英語文学B(2) イギリス古典文学A(2) イギリス古典文学B(2)	
	英語コミュニケーション	○英会話ⅠA(2) ○英会話ⅠB(2) △ライティングA(2) △ライティングB(2) △英語講読演習A(2) △英語講読演習B(2)	2単位選択必修 2単位選択必修
	異文化理解	○英語圏の社会と文化ⅠA(2) ○英語圏の社会と文化ⅡA(2) 英語圏の社会と文化ⅠB(2) 英語圏の社会と文化ⅡB(2)	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○英語科教育論Ⅰ(2) ○英語科教育論Ⅱ(2) ○英語科指導法Ⅰ(2) ○英語科指導法Ⅱ(2)	2 2 3 3
小 計	28単位	①	

(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	英語学	○英語学概論A(2) ○英語学概論B(2) 英文法概説A(2) 英文法概説B(2) 英語史A(2) 英語史B(2) 英語音声学演習A(2) 英語音声学演習B(2)	
		○英語文学A(2) ○英語文学B(2) イギリス古典文学A(2) イギリス古典文学B(2)	
	英語コミュニケーション	○英会話ⅠA(2) ○英会話ⅠB(2) △ライティングA(2) △ライティングB(2) △英語講読演習A(2) △英語講読演習B(2)	2単位選択必修 2単位選択必修
	異文化理解	○英語圏の社会と文化ⅠA(2) ○英語圏の社会と文化ⅡA(2) 英語圏の社会と文化ⅠB(2) 英語圏の社会と文化ⅡB(2)	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	英語科教育論Ⅰ(2) 英語科教育論Ⅱ(2) ○英語科指導法Ⅰ(2) ○英語科指導法Ⅱ(2)	2 2 3 3
小 計	24単位	①	

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	3
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2
教育実践に関する科目	7単位	○教育実践Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4
小 計	29単位	②	

(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1
		○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2
		○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2
		○教育相談(2)	2
教育実践に関する科目	5単位	△教育実践Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4
		△教育実践Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4
小 計	25単位	②	

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）			
③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4
小 計	—	③	

(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）			
③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3
小 計	—	③	

合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2	
-----	------	-------------------------	--

合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2	
-----	------	-------------------------	--

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表１〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

史学科（第1部） 2020年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	8単位	○日本史A(2) ○日本史B(2) ○外国史A(2) ○外国史B(2) 日本史概説A(2) 日本史概説B(2) 東洋史概説A(2) 東洋史概説B(2) 西洋史概説A(2) 西洋史概説B(2)
		8単位	○地理学A(2) ○地理学B(2) ○地誌学A(2) ○地誌学B(2) 人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 自然地理学A(2) 自然地理学B(2)
	「法律学、政治学」	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) 国際法ⅠA(2) 国際法ⅠB(2)
	「社会学、経済学」	4単位	○世界経済史特講A(2) ○世界経済史特講B(2) 日本経済史特講A(2) 日本経済史特講B(2)
	「哲学、倫理学、宗教学」	4単位	○東西思想史特講A(2) ○東西思想史特講B(2) 東洋宗教史特講A(2) 東洋宗教史特講B(2) 西洋宗教史特講A(2) 西洋宗教史特講B(2) 日本宗教史演習A(1) 日本宗教史演習B(1) 西洋思想史演習A(1) 西洋思想史演習B(1)
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2) ○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3 3 3 3
小 計	36単位	①	

(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	日本史	4単位	○日本史A ○日本史B 日本史概説A 日本史概説B
	外国史	4単位	○外国史A ○外国史B 東洋史概説A 東洋史概説B 西洋史概説A 西洋史概説B
	人文地理学・自然地理学	8単位	○人文地理学A(2) ○人文地理学B(2) ○自然地理学A(2) ○自然地理学B(2) 地理学A(2) 地理学B(2)
	地誌	4単位	○地誌学A(2) ○地誌学B(2)
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3 3
小 計	24単位	①	

(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項			
	「法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む。）」	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) 国際法ⅠA(2) 国際法ⅠB(2)
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	4単位	○世界経済史特講A(2) ○世界経済史特講B(2) 日本経済史特講A(2) 日本経済史特講B(2)
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	4単位	○東西思想史特講A(2) ○東西思想史特講B(2) 東洋宗教史特講A(2) 東洋宗教史特講B(2) 西洋宗教史特講A(2) 西洋宗教史特講B(2) 日本宗教史演習A(1) 日本宗教史演習B(1) 西洋思想史演習A(1) 西洋思想史演習B(1)
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)
小 計	24単位	①	

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1
		○道徳教育論(2) ○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	3 1			○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2) ○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む）(2) ○教育相談(2)	1 3 2 2			○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2) ○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む）(2) ○教育相談(2)	1 3 2 2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む）(2) ○教育相談(2)	3 2 2	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1 △教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4 4	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1 △教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4 4
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4	教育実践に関する科目	5単位	○教職実践演習（中・高）(2)	4	教育実践に関する科目	5単位	○教職実践演習（中・高）(2)	4
小 計	29単位	②		小 計	25単位	②		小 計	25単位	②	

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3
小 計	—	③		小 計	—	③		小 計	—	③	
合 計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。 ※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

教育学科 人間発達専攻（第1部）2020年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目				① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分		最低修得単位数	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分		最低修得単位数	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分		最低修得単位数	配当学年
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	8単位	○日本史A(2) ○日本史B(2) 社会文化史（日本）(2) ○外国史A(2) ○外国史B(2) 社会文化史（西洋）(2) アメリカ思想史(2)	日本史	4単位	○日本史A(2) ○日本史B(2) 社会文化史（日本）(2)					
	地理学（地誌を含む。）	8単位	○地理学A(2) ○地理学B(2) ○地誌学A(2) ○地誌学B(2) 文化地誌学(2) 人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 自然地理学A(2) 自然地理学B(2)	外国史	4単位	○外国史A(2) ○外国史B(2) 社会文化史（西洋）(2) アメリカ思想史(2)					
				人文地理学・自然地理学	8単位	○人文地理学A(2) ○人文地理学B(2) ○自然地理学A(2) ○自然地理学B(2) 地理学A(2) 地理学B(2)					
	「法律学、政治学」	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) 比較政策論(2) 国際法ⅠA(2) 国際法ⅠB(2) 民法A(2) 民法B(2) 知的財産法A(2)	地誌	4単位	○地誌学A(2) ○地誌学B(2) 文化地誌学(2)					
	「社会学、経済学」	4単位	○社会学(2) ○経済学(2) 比較社会学(2) 経済と教育(2) 教育の現代的課題(2)								
	「哲学、倫理学、宗教学」	4単位	○哲学概説(2) ○倫理学概説(2) 教育とシチズンシップ(2)								
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		8単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2) ○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3 3	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3 3
小 計		36単位	①	小 計		24単位	①	小 計		24単位	①

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2
		○教職論(2)	1・2
		○学校教育社会学(2)	1~4
		○教育心理学概論(2)	1・2
		○特別支援教育基礎論(2)	1・2
		○教育課程論(2)	1~4
		○道徳教育論(2)	1~4
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1~4
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1~4
		○生徒指導・進路指導論(2)	1~4
		○教育相談の理論と方法(2)	1~4
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4
小 計	29単位	②	

(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2
		○教職論(2)	1・2
		○学校教育社会学(2)	1~4
		○教育心理学概論(2)	1・2
		○特別支援教育基礎論(2)	1・2
		○教育課程論(2)	1~4
		○道徳教育論(2)	1~4
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1~4
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1~4
		○生徒指導・進路指導論(2)	1~4
		○教育相談の理論と方法(2)	1~4
教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4
		△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4
小 計	25単位	②	

(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2
		○教職論(2)	1・2
		○学校教育社会学(2)	1~4
		○教育心理学概論(2)	1・2
		○特別支援教育基礎論(2)	1・2
		○教育課程論(2)	1~4
		○道徳教育論(2)	1~4
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1~4
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1~4
		○生徒指導・進路指導論(2)	1~4
		○教育相談の理論と方法(2)	1~4
教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4
		△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4
		○教職実践演習（中・高）(2)	4
小 計	25単位	②	

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）			
③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4
小 計	—	③	

(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）			
③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4
	—	道徳教育論(2)	1~4
	—	③	
小 計	—	③	

(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4
	—	道徳教育論(2)	1~4
	—	③	
小 計	—	③	

合 計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。 ※2
-----	------	--------------------------

合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2
-----	------	--------------------------

合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2
-----	------	--------------------------

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4
小計	—	—	③	小計	—	—	③	小計	—	—	③

合計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。 ※2	合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2	合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2
----	------	--------------------------	----	------	--------------------------	----	------	--------------------------

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

(4) 特別支援学校教諭一種免許状			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2単位	○特別支援教育概論Ⅰ(2)	
特別支援教育領域に関する科目	16単位以上	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ○知的障害児・者の心理と臨床 ○肢体不自由児・者の教育臨床 ○病弱児の病理と臨床	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 ○知的障害教育課程論 ○病弱児の指導法 △肢体不自由教育課程論 △肢体不自由児の指導法	
		・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 ○知的障害教育総論 ○肢体不自由教育総論	
免許状に定められることと教育領域以外の領域に関する科目	8単位	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 ○視覚障害教育総論 ○聴覚障害教育総論 ○特別支援教育概論Ⅱ ○発達障害児・者の心理	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	4単位	○特別支援学校教育実習Ⅰ（事前指導を含む） ○特別支援学校教育実習Ⅱ（事後指導を含む） [履修条件についてはP206を参照すること]	
計	30単位		

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

教育学科 初等教育専攻（第1部） 2020年度入学生用

（注） 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
（注） 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

小学校教諭一種免許状			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	
教科に関する専門的事項	14単位	国語（書写を含む。）	△初等科国語(2)
		社会	△初等科社会(2)
		算数	△初等科算数(2)
		理科	△初等科理科(2)
		生活	△初等科生活(2)
		音楽	△初等科音楽(2)
		図画工作	△初等科図画工作(2)
		家庭	△初等科家庭(2)
		体育	△初等科体育(2)
		外国語	△初等科英語(2)
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	2単位	国語（書写を含む。）	○初等教科教育法（国語）(2)
	2単位	社会	○初等教科教育法（社会）(2)
	2単位	算数	○初等教科教育法（算数）(2)
	2単位	理科	○初等教科教育法（理科）(2)
	2単位	生活	○初等教科教育法（生活）(2)
	2単位	音楽	○初等教科教育法（音楽）(2)
	2単位	図画工作	○初等教科教育法（図画工作）(2)
	2単位	家庭	○初等教科教育法（家庭）(2)
	2単位	体育	○初等教科教育法（体育）(2)
	2単位	外国語	○初等教科教育法（英語）(2)
小 計	34単位	①	

小学校教諭一種免許状			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2
		○教職論(2)	1・2
		○学校教育社会学(2)	1～4
		○教育心理学概論(2)	1・2
		○特別支援教育基礎論(2)	1・2
		○教育課程論(2)	1～4
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	1～4
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1～4
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	1～4
		教育評価論(2)	1～4
		授業論(2)	1～4
		○生徒指導・進路指導論(2)	1～4
教育実践に関する科目	7単位	○教育相談の理論と方法(2)	1～4
		○初等教育実習（事前・事後指導を含む。）(5)	4
		○教職実践演習（小学校）(2)	4
小 計	29単位	②	

合 計	63単位	①、②の合計で63単位を修得すること。※1
-----	------	-----------------------

※1 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

国際文化コミュニケーション学科（第1部） 2020年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
(注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○ 印は必修科目、△ 印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）					(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）				
① 教科及び教科の指導法に関する科目					① 教科及び教科の指導法に関する科目				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目		配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目		配当学年
教科に関する専門的事項	英語学	4単位	○英語学A(2) ○英語学B(2) 言語論A(2) 言語論B(2) 英語文体論A(2) 英語文体論B(2) 高等英文法A(2) 高等英文法B(2)		教科に関する専門的事項	英語学	4単位	○英語学A(2) ○英語学B(2) 言語論A(2) 言語論B(2) 英語文体論A(2) 英語文体論B(2) 高等英文法A(2) 高等英文法B(2)	
	英語文学	6単位	○アメリカ文化・文学研究A(2) ○イギリス文化・文学研究A(2) △アメリカ文化・文学研究B(2) △イギリス文化・文学研究B(2)			英語文学	6単位	○アメリカ文化・文学研究A(2) ○イギリス文化・文学研究A(2) △アメリカ文化・文学研究B(2) △イギリス文化・文学研究B(2)	
	英語コミュニケーション	6単位	○英語リーディングとライティングⅠA(2) ○英語リーディングとライティングⅡA(2) ○英語リスニングとスピーキングⅡB(2) 英語リーディングとライティングⅠB(2) 英語リーディングとライティングⅡB(2) 英語リスニングとスピーキングⅢA(2) Global Communication AA(1) Global Communication AB(1) Speech Communication A(1) Speech Communication B(1)			英語コミュニケーション	6単位	○英語リーディングとライティングⅠA(2) ○英語リーディングとライティングⅡA(2) ○英語リスニングとスピーキングⅡB(2) 英語リーディングとライティングⅠB(2) 英語リーディングとライティングⅡB(2) 英語リスニングとスピーキングⅢA(2) Global Communication AA(1) Global Communication AB(1) Speech Communication A(1) Speech Communication B(1)	
	異文化理解	4単位	○英語で学ぶ異文化交流Ⅰ(2) ○英語で学ぶ異文化交流Ⅱ(2)			異文化理解	4単位	○英語で学ぶ異文化交流Ⅰ(2) ○英語で学ぶ異文化交流Ⅱ(2)	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○英語科教育論Ⅰ(2) ○英語科教育論Ⅱ(2) ○英語科指導法Ⅰ(2) ○英語科指導法Ⅱ(2)	2 2 3 3		各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	英語科教育論Ⅰ(2) 英語科教育論Ⅱ(2) ○英語科指導法Ⅰ(2) ○英語科指導法Ⅱ(2)	2 2 3 3	
小 計	28単位	①			小 計	24単位	①		

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）					(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）				
② 教育の基礎的理解に関する科目等					② 教育の基礎的理解に関する科目等				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目		配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目		配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1		教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2)	1	
		○教職概論(2)	1				○教職概論(2)	1	
		○教育制度論(2)	1				○教育制度論(2)	1	
		○教育心理学(2)	2				○教育心理学(2)	2	
		○特別支援教育基礎論(2)	1				○特別支援教育基礎論(2)	1	
		○教育課程総論(2)	1				○教育課程総論(2)	1	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	3		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1	
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1				○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3	
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2)	3				○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2	
		○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2)	2				○教育相談(2)	2	
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)	4		教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1	4	
		○教職実践演習（中・高）(2)	4				△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3)	4	
							○教職実践演習（中・高）(2)	4	
小 計	29単位	②			小 計	25単位	②		

(1) 中学校教諭一種免許状（英語）					(2) 高等学校教諭一種免許状（英語）				
③ 大学が独自に設定する科目					③ 大学が独自に設定する科目				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目		配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目		配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4		大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 3	
小 計	—	③			小 計	—	③		

合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2			合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2		
-----	------	-------------------------	--	--	-----	------	-------------------------	--	--

- ※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

東洋思想文化学科（第2部）仏教思想コース 2020年度入学生用

(注) 下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 (注) 下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	8単位	○日本思想史概説A(2) ○日本思想史概説B(2) ○東西交渉史A(2) ○東西交渉史B(2) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) チベット仏教史(2) 中国史概説A(2) 中国史概説B(2)
	地理学（地誌を含む。）	8単位	○地理学A(2) ○地理学B(2) ○地誌学A(2) ○地誌学B(2) 人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 自然地理学A(2) 自然地理学B(2)
	「法学、政治学」	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) 国際法A(2) 国際法B(2)
	「社会学、経済学」	4単位	○現代社会に生きる仏教A(2) ○現代社会に生きる仏教B(2)
	「哲学、倫理学、宗教学」	4単位	○宗教学概論A(2) ○宗教学概論B(2) 仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2) インド思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅡA(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) 中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2)
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2) ○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3 3 3 3
小 計	36単位	①	

(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	日本史	4単位	○日本思想史概説A(2) ○日本思想史概説B(2) ○東西交渉史A(2) ○東西交渉史B(2) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) チベット仏教史(2) 中国史概説A(2) 中国史概説B(2)
	外国史	4単位	○東西交渉史A(2) ○東西交渉史B(2) インド仏教史A(2) インド仏教史B(2) 中国仏教史A(2) 中国仏教史B(2) チベット仏教史(2) 中国史概説A(2) 中国史概説B(2)
	人文地理学・自然地理学	8単位	○人文地理学A(2) ○人文地理学B(2) ○自然地理学A(2) ○自然地理学B(2) 地理学A(2) 地理学B(2)
	地誌	4単位	○地誌学A(2) ○地誌学B(2)
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3 3
小 計	24単位	①	

(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項		4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) 国際法A(2) 国際法B(2)
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	4単位	○現代社会に生きる仏教A(2) ○現代社会に生きる仏教B(2)
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	4単位	○宗教学概論A(2) ○宗教学概論B(2) 仏教思想概論A(2) 仏教思想概論B(2) インド思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅠA(2) 仏教思想特講ⅡA(2) インド思想史A(2) インド思想史B(2) 中国哲学史A(2) 中国哲学史B(2)
		4単位	○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)
		4単位	○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)
小 計	24単位	①	

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等				② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1	教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2) ○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2) ○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	2・3 1 2・3 1・2 1・2	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2) ○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	1 2・3 1・2 1・2	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2) ○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む。）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む。）(2) ○教育相談(2)	1 2・3 1・2 1・2
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1 △教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4 4	教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）(5)※1 △教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4 4
小 計	29単位	②		小 計	25単位	②		小 計	25単位	②	

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 2・3	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 2・3
小 計	—	③		小 計	—	③		小 計	—	③	

合 計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2		合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。※2	
-----	------	-------------------------	--	-----	------	-------------------------	--	-----	------	-------------------------	--

※1 「注意」高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

日本文学文化学科（第2部）2020年度入学生用

（注）下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
（注）下表の「本学開講科目」の授業科目に付している ○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）					(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）					(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）				
① 教科及び教科の指導法に関する科目					① 教科及び教科の指導法に関する科目					① 教科及び教科の指導法に関する科目				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	
教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4単位	○日本語概説A(2) ○日本語概説B(2) 日本語学研究Ⅰ(2) 日本語史A(2) 日本語史B(2) 日本語文法A(2) 日本語文法B(2)		教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4単位	○日本語概説A(2) ○日本語概説B(2) 日本語学研究Ⅰ(2) 日本語史A(2) 日本語史B(2) 日本語文法A(2) 日本語文法B(2)		教科に関する専門的事項	書道（書写を中心とする。）	6単位	○書道ⅠA(1) ○書道ⅠB(1) ○書道ⅡA(1) ○書道ⅡB(1) ○書道ⅢA(1) ○書道ⅢB(1)	
												書道史	2単位	○書道史(2)
	国文学（国文学史を含む。）	4単位	○日本文学文化概説A(2) ○日本文学文化概説B(2) 日本文学の歴史（上代）(2) 日本文学の歴史（中古）(2) 日本文学の歴史（中世）(2) 日本文学の歴史（近世）(2) 日本文学の歴史（近代）(2) 日本文学の歴史（現代）(2) 上代文学の探究(2) 中古文学の探究(2) 中世文学の探究(2) 近世文学の探究(2) 近現代文学の探究(2) 古典文学文化研究Ⅰ(2) 古典文学文化研究Ⅱ(2) 近現代文学文化研究Ⅰ(2)			国文学（国文学史を含む。）	4単位	○日本文学文化概説A(2) ○日本文学文化概説B(2) 日本文学の歴史（上代）(2) 日本文学の歴史（中古）(2) 日本文学の歴史（中世）(2) 日本文学の歴史（近世）(2) 日本文学の歴史（近代）(2) 日本文学の歴史（現代）(2) 上代文学の探究(2) 中古文学の探究(2) 中世文学の探究(2) 近世文学の探究(2) 近現代文学の探究(2) 古典文学文化研究Ⅰ(2) 古典文学文化研究Ⅱ(2) 近現代文学文化研究Ⅰ(2)			「国文学、漢文学」	4単位	○日本文学文化概説A(2) ○日本文学文化概説B(2) 日本文学の歴史（上代）(2) 日本文学の歴史（中古）(2) 日本文学の歴史（中世）(2) 日本文学の歴史（近世）(2) 日本文学の歴史（近代）(2) 日本文学の歴史（現代）(2) 上代文学の探究(2) 中古文学の探究(2) 中世文学の探究(2) 近世文学の探究(2) 近現代文学の探究(2) 古典文学文化研究Ⅰ(2) 古典文学文化研究Ⅱ(2) 近現代文学文化研究Ⅰ(2) 中国の古典（文学）(2) 中国の古典（思想）(2) 中国の古典（哲学）(2) 中国の古典（歴史）(2)	
		漢文学	4単位	△中国の古典（文学）(2) △中国の古典（思想）(2) △中国の古典（哲学）(2) △中国の古典（歴史）(2)			漢文学	4単位	△中国の古典（文学）(2) △中国の古典（思想）(2) △中国の古典（哲学）(2) △中国の古典（歴史）(2)					
	書道（書写を中心とする。）	2単位	○書道ⅠA(1) ○書道ⅠB(1) 書道ⅡA(1) 書道ⅡB(1) 書道ⅢA(1) 書道ⅢB(1)											
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○国語科教育論Ⅰ(2) ○国語科教育論Ⅱ(2) ○国語科指導法Ⅰ(2) ○国語科指導法Ⅱ(2)	2 2 3 3		各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	国語科教育論Ⅰ(2) 国語科教育論Ⅱ(2) ○国語科指導法Ⅰ(2) ○国語科指導法Ⅱ(2)	2 2 3 3		各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○書道科指導法Ⅰ(2) ○書道科指導法Ⅱ(2)	3 3	
小 計	28単位	①			小 計	24単位	①			小 計	24単位	①		

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）					(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）					(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）				
② 教育の基礎的理解に関する科目等					② 教育の基礎的理解に関する科目等					② 教育の基礎的理解に関する科目等				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1		教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1		教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育基礎論(2) ○教職概論(2) ○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○特別支援教育基礎論(2) ○教育課程総論(2)	1 1 1 2 1 1	
		○道徳教育論(2)	2・3				○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1				○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む）(2) ○教育相談(2)	2・3 1・2 1・2		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む）(2) ○教育相談(2)	2・3 1・2 1・2		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2) ○生徒指導論（進路指導論を含む）(2) ○教育相談(2)	2・3 1・2 1・2	
		○教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)	4				△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4				△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4	
教育実践に関する科目	7単位	○教職実践演習（中・高）(2)	4		教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4		教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3) ○教職実践演習（中・高）(2)	4 4	
小 計	29単位	②			小 計	25単位	②			小 計	25単位	②		

(1) 中学校教諭一種免許状（国語）					(2) 高等学校教諭一種免許状（国語）					(3) 高等学校教諭一種免許状（書道）				
③ 大学が独自に設定する科目					③ 大学が独自に設定する科目					③ 大学が独自に設定する科目				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4		大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 2・3		大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 2・3	
小 計	—	③			小 計	—	③			小 計	—	③		

合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2			合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2			合 計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2		
-----	------	--------------------------	--	--	-----	------	--------------------------	--	--	-----	------	--------------------------	--	--

- ※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
 ※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

教育学科（第2部）2020年度入学生用

（注）下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
（注）下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	8単位	○日本史A(2) ○日本史B(2) 社会文化史（日本）(2) ○外国史A(2) ○外国史B(2) 社会文化史（西洋）(2) アメリカ思想史(2)
	地理学（地誌を含む。）	8単位	○地理学A(2) ○地理学B(2) ○地誌学A(2) ○地誌学B(2) 文化地誌学(2) 人文地理学A(2) 人文地理学B(2) 自然地理学A(2) 自然地理学B(2)
	「法律学、政治学」	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) 比較政策論(2) 国際法A(2) 国際法B(2) 民法A(2) 民法B(2) 知的財産法A(2)
	「社会学、経済学」	4単位	○社会学(2) ○経済学(2) 比較社会論(2) 経済と教育(2) 教育の現代的課題(2)
「哲学、倫理学、宗教学」	4単位	○哲学概説(2) ○倫理学概説(2) 教育とシチズンシップ(2)	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2) ○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3 3 3 3
小 計	36単位	①	

(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）			
① 教科及び教科の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教科に関する専門的事項	日本史	4単位	○日本史A(2) ○日本史B(2) 社会文化史（日本）(2)
	外国史	4単位	○外国史A(2) ○外国史B(2) 社会文化史（西洋）(2) アメリカ思想史(2)
	人文地理学・自然地理学	8単位	○人文地理学A(2) ○人文地理学B(2) ○自然地理学A(2) ○自然地理学B(2) 地理学A(2) 地理学B(2)
地誌	4単位	○地誌学A(2) ○地誌学B(2) 文化地誌学(2)	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・地歴指導法Ⅰ(2) ○社会・地歴指導法Ⅱ(2)	3 3
小 計	24単位	①	

(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）				
① 教科及び教科の指導法に関する科目				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	
教科に関する専門的事項				
	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) 比較政策論(2) 国際法A(2) 国際法B(2) 民法A(2) 民法B(2) 知的財産法A(2)	
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	4単位	○社会学(2) ○経済学(2) 比較社会論(2) 経済と教育(2) 教育の現代的課題(2)	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	4単位	○哲学概説(2) ○倫理学概説(2) 教育とシチズンシップ(2) 心理学の研究と理論(2) 生涯発達心理学(2)	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4単位	○社会・公民指導法Ⅰ(2) ○社会・公民指導法Ⅱ(2)	3 3	
小 計	24単位	①		

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）			
② 教育の基礎的理解に関する科目等			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2
		○教職論(2)	1・2
		○学校教育社会学(2)	1~4
		○教育心理学概論(2)	1・2
		○特別支援教育基礎論(2)	1・2
		○教育課程論(2)	1~4
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○道徳教育論(2)	2・3
		○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1~4
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1~4
		○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	1・2
		○教育相談の理論と方法(2)	1~4
		教育実践に関する科目	7単位
○教職実践演習（中・高）(2)	4		
小 計	29単位		

(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）					
② 教育の基礎的理解に関する科目等					
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2		
		○教職論(2)	1・2		
		○学校教育社会学(2)	1~4		
		○教育心理学概論(2)	1・2		
		○特別支援教育基礎論(2)	1・2		
		○教育課程論(2)	1~4		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1~4		
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1~4		
		○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	1・2		
		○教育相談の理論と方法(2)	1~4		
		教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4
				△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4
○教職実践演習（中・高）(2)	4				
小 計	25単位	②			

(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）					
② 教育の基礎的理解に関する科目等					
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年		
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育学概論(2)	1・2		
		○教職論(2)	1・2		
		○学校教育社会学(2)	1~4		
		○教育心理学概論(2)	1・2		
		○特別支援教育基礎論(2)	1・2		
		○教育課程論(2)	1~4		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)	1~4		
		○教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）(2)	1~4		
		○生徒指導論（進路指導論を含む）(2)	1・2		
		○教育相談の理論と方法(2)	1~4		
		教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）(5)※1	4
				△教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）(3)	4
○教職実践演習（中・高）(2)	4				
小 計	25単位	②			

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）				(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）				(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）			
③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目				③ 大学が独自に設定する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年
大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2)	3・4	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 2・3	大学が独自に設定する科目	—	教育評価(2) 道徳教育論(2)	3・4 2・3
小計				小計				小計			
—				—				—			
合計				合計				合計			
65単位				59単位				59単位			

※1 【注意】高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請
※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表2〉「免許法施行規則第66条の6に定める科目」

下記の表にしたがい、「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のそれぞれの分野で2単位以上を修得しなければなりません。

学部		免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目区分	必 単 位 数	本学での開講科目	
文	第1部	日本国憲法	2単位	日本国憲法(2)	
		体育	2単位	スポーツ健康科学実技Ⅰ A(1) スポーツ健康科学実技Ⅰ B(1) スポーツ健康科学実技Ⅱ A(1) スポーツ健康科学実技Ⅱ B(1) スポーツ健康科学実技Ⅲ A(1) スポーツ健康科学実技Ⅲ B(1) スポーツ健康科学講義Ⅰ (2) スポーツ健康科学講義Ⅱ A(2) スポーツ健康科学講義Ⅱ B(2) ※上記科目のうち、2単位選択必修 ただし、スポーツ健康科学実技Ⅰ A、Ⅰ B、Ⅱ A、Ⅱ B、Ⅲ A、Ⅲ Bから必ず1単位を修得すること。	
		外国語コミュニケーション	2単位	学科名	科目名
				哲	英語Ⅰ A A(1)・英語Ⅰ A B(1)・ドイツ語Ⅰ A A(1)・ドイツ語Ⅰ A B(1)・フランス語Ⅰ A A(1)・フランス語Ⅰ A B(1)のうち1ヶ国語2科目選択必修
				東 洋 思 想 文 化 (仏 教 思 想)	英語Ⅰ A A(1)・英語Ⅰ A B(1)・ドイツ語Ⅰ A A(1)・ドイツ語Ⅰ A B(1)・フランス語Ⅰ A A(1)・フランス語Ⅰ A B(1)・中国語Ⅰ A A(1)・中国語Ⅰ A B(1)のうち1ヶ国語2科目選択必修
				日 本 文 学 文 化	英語Ⅰ A A(1)・英語Ⅰ A B(1)・ドイツ語Ⅰ A A(1)・ドイツ語Ⅰ A B(1)・フランス語Ⅰ A A(1)・フランス語Ⅰ A B(1)・中国語Ⅰ A A(1)・中国語Ⅰ A B(1)のうち1ヶ国語2科目選択必修
				英 米 文	英語Ⅰ A A(1)・英語Ⅰ A B(1)または英語Ⅰ B A(1)・英語Ⅰ B B(1)のうち2科目選択必修
				史	英語Ⅰ A A(1)・英語Ⅰ A B(1)または英語Ⅰ B A(1)・英語Ⅰ B B(1)のうち2科目選択必修
	教育(人間・初等)	英語Ⅰ A A(1)・英語Ⅰ A B(1)または英語Ⅰ B A(1)・英語Ⅰ B B(1)のうち2科目選択必修			
	国際文化コミュニケーション	Oral Communication A A(1) Oral Communication A B(1) Oral Communication B A(1) Oral Communication B B(1) のうち2単位選択必修			
情報機器の操作	2単位	コンピュータ・リテラシー(2) 情報処理演習A(1) 情報処理演習B(1)のうち2単位選択必修			
第2部	日本国憲法	2単位	日本国憲法(2)		
	体育	2単位	スポーツ健康科学実技A(1) スポーツ健康科学実技B(1) スポーツ健康科学講義Ⅰ (2) スポーツ健康科学講義Ⅱ A(2) スポーツ健康科学講義Ⅱ B(2) ※上記科目のうち、2単位選択必修 ただし、スポーツ健康科学実技A Bから必ず1単位を修得すること。		
	外国語コミュニケーション	2単位	英語Ⅰ A A(1)・英語Ⅰ A B(1) 英語Ⅰ B A(1)・英語Ⅰ B B(1) ドイツ語Ⅰ A A(1)・ドイツ語Ⅰ A B(1) ドイツ語Ⅰ B A(1)・ドイツ語Ⅰ B B(1) フランス語Ⅰ A A(1)・フランス語Ⅰ A B(1) フランス語Ⅰ B A(1)・フランス語Ⅰ B B(1) 中国語Ⅰ A A(1)・中国語Ⅰ A B(1) 中国語Ⅰ B A(1)・中国語Ⅰ B B(1) ※2単位選択必修		
	情報機器の操作	2単位	コンピュータ・リテラシーA(1) コンピュータ・リテラシーB(1) 情報処理演習A(1) 情報処理演習B(1) ※上記科目のうち、2単位選択必修		

◆ ◆ 〈5〉 介護等体験について ◆ ◆

小・中学校の免許取得希望者は、教職に必要な科目の修得、卒業要件の充足の他に、3年次に特別支援学校で2日間と社会福祉施設で5日間の計7日間、高齢者や障害者に対する介護、介助、交流等の体験を行い、受入先に体験を行った証明をいただく必要があります。

この体験を行うには、大学をとおして申し込みをしなければなりません。概要は以下のとおりです。

(1) 参加条件

以下の条件を全て満たさなければ、介護等体験に参加することはできません。

- ① 介護等体験に積極的に参加する意欲があること。
- ② 全2回の説明会に出席し、必要な書類を提出すること。
- ③ 実施年度の4月に大学の健康診断を受診し、異常なしと診断され、心身ともに健康であること。
- ④ 麻疹（はしか）の抗体検査・予防接種を行い、免疫があると認められていること。
- ⑤ 母体保護のため、体験開始日が妊娠中もしくは出産から8週間以内でないこと。
- ⑥ 介護等体験料（含む保険料）を所定の期日までに納入していること。
- ⑦ 指定された体験日程で介護等体験に参加できること。
- ⑧ その他、必要な手続きのすべてを完了していること。

(2) 体験日程・体験先

受入先の都合を考慮したうえ、東京都教育委員会および東京都社会福祉協議会が、希望者各人の日程と受入先を調整・決定します。個人的な事情や要望（サークル、アルバイト、海外留学、就職活動、仕事等）による**日程・受入先の指定や変更（また、このことに関する個人交渉）・辞退は一切できない**ので、参加を希望する者はこの点を了承し、自分の都合を調整したうえで体験に臨んでください。

① 日程

授業期間だけではなく、**夏季・冬季休暇期間・土・日・祝日を含む日程**で行います。

② 体験先

いずれも東京都に所在する学校・施設で行います。体験希望者が多いため、現住所に近い場所で行えるとは限りません。

< 特別支援学校 >

視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。）に対して、小中学校等に準ずる教育を行うとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする学校。在籍する児童生徒等に対する教育を行うほか、障害により教育上特別な支援を必要とする小中学校等の児童生徒等の教育に関し、必要な助言又は援助を行います。

< 社会福祉施設 >

- ・ 高齢者にかかわる施設
- ・ 児童福祉・障害児にかかわる施設
- ・ 障害者（身体、知的、精神障害者）にかかわる施設
- ・ 生活保護にかかわる施設

(3) 内容

- ・ 学校、施設の利用者の介護・介助（入浴・排泄等含む）
- ・ 学校、施設の利用者との交流（話し相手）、学習活動の指導・援助
- ・ 学校、施設が実施する行事（学園祭・バザー・遠足・サークル活動等）の補助
- ・ 学校、施設の掃除、洗濯等の作業

特別支援学校事例…授業参観、作業学習補助、学校行事補助等（プール実習・マラソン大会等）
社会福祉施設事例…車椅子補助、点字の勉強、送迎バスへの添乗、サークル活動の補助等

◆ ◆ 〈6〉 教育実習について ◆ ◆

教育実習は、大学で学んだ教育理論や技術をもとに、教育実習校（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）での実習を通じて、教育の意味や学校教育の全領域について学習するものです。「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」（3週間以上実習対象者）、「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」（2週間実習対象者）、「初等教育実習（事前・事後指導を含む）」、「特別支援学校教育実習Ⅰ（事前指導を含む）」、「特別支援学校教育実習Ⅱ（事後指導を含む）」は、4年次に履修します。4月から事前指導が行われ、ほとんどの学生が、5月頃から実際に学校現場に赴き、小学校教諭の免許状取得の場合には4週間、中学校教諭の免許状取得の場合には3週間、高等学校教諭・特別支援学校教諭の免許状取得の場合には2週間の教育実習を行います。教育実習終了後、教育実習事後指導として、学生の実習体験発表、実習感想文の提出、アンケート調査などによって、教育実習の成果を振り返り、教員として必要な資質能力が培えたかどうかを確認します。教育実習は勤務という形態で行われるので、実習期間中に就職活動をするような時間的・精神的余裕は全くありません。教職という仕事の重要性を認識し、実習期間中は就職活動などは中止し、実習に専念してください。

（1）「教育実習（事前・事後指導を含む）」の履修条件

◇「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」の履修条件
（第1部教育学科初等教育専攻以外）

履修条件を満たしているか、各自確認してください。

- ① 3年次終了の時点で、卒業に必要な単位数を第1部学生で **100 単位以上**、第2部学生で **90 単位以上**を修得していること。
- ② 3年次終了の時点で、次の2つの条件をともに満たしていること。

(i) 下表の各学科の条件を満たしていること。

- A：哲学科・東洋思想文化学科仏教思想コース（第1部・第2部）・史学科
B：日本文学文化学科（第1部・第2部）
C：英米文学科・国際文化コミュニケーション学科
D：第1部教育学科人間発達専攻
E：第2部教育学科

A	「教育基礎論」「教職概論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育基礎論」「教育課程総論」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導論（進路指導論を含む）」「教育相談」 上記 11 科目のうち 6 科目以上の単位を修得済みであること。
B	「教育基礎論」「教職概論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育基礎論」「教育課程総論」「国語科教育論Ⅰ」「国語科教育論Ⅱ」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導論（進路指導論を含む）」「教育相談」 上記 13 科目のうち 7 科目以上の単位を修得済みであること。
C	「教育基礎論」「教職概論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育基礎論」「教育課程総論」「英語科教育論Ⅰ」「英語科教育論Ⅱ」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導論（進路指導論を含む）」「教育相談」 上記 13 科目のうち 7 科目以上の単位を修得済みであること。
D	「教育学概論」「教職論」「学校教育社会学」「教育心理学概論」「特別支援教育基礎論」「教育課程論」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導・進路指導論」「教育相談の理論と方法」 上記 11 科目のうち 7 科目以上の単位を修得済みであること。
E	「教育学概論」「教職論」「学校教育社会学」「教育心理学概論」「特別支援教育基礎論」「教育課程論」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」「生徒指導論（進路指導論を含む）」「教育相談の理論と方法」 上記 11 科目のうち 7 科目以上の単位を修得済みであること。

(ii) 実習予定の「教科の指導法Ⅰ」「教科の指導法Ⅱ」を修得済みであること。

※教育実習での実習教科（地理歴史・公民）が実習校の都合で、自分が修得した「教科の指導法」と対応しない場合がある。その場合には教務担当窓口にご相談すること。

- ③ 4年次において、卒業に必要な科目（単位）および教育職員免許状を取得するために必要な科目（単位）を修得し終える見込みのある者。

◇「初等教育実習（事前・事後指導を含む）」の履修条件（第1部教育学科初等教育専攻のみ）

- ① 3年次終了の時点で、卒業に必要な単位数を **100 単位以上修得していること。**
 ② 3年次終了の時点で、下表の（i）（ii）（iii）の条件をすべて満たしていること。

(i)	「教育学概論」「教職論」「学校教育社会学」「教育心理学概論」「特別支援教育基礎論」「教育課程論」「道徳教育論」「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」「教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)」「生徒指導・進路指導論」「教育相談の理論と方法」 の 11 科目のうち 7 科目以上の単位を修得済みであること。
(ii)	「初等教科教育法(国語)」「初等教科教育法(社会)」「初等教科教育法(算数)」「初等教科教育法(理科)」「初等教科教育法(生活)」「初等教科教育法(家庭)」「初等教科教育法(音楽)」「初等教科教育法(図画工作)」「初等教科教育法(体育)」「初等教科教育法(英語)」 の 10 科目のうち 6 科目以上の単位を修得済みであること。
(iii)	「初等科国語」「初等科社会」「初等科算数」「初等科理科」「初等科生活」「初等科家庭」「初等科音楽」「初等科図画工作」「初等科体育」「初等科英語」 の 10 科目のうち 4 科目以上の単位を修得済みであること。

◇「特別支援学校教育実習Ⅰ（事前指導を含む）」、「特別支援学校教育実習Ⅱ（事後指導を含む）」の履修条件

- ① 特別支援学校教諭免許状を取得するために必要な基礎資格を満たしていること、もしくは当該年度に基礎資格を満たす見込みがあること。
 ② 「特別支援教育概論Ⅰ」を含み、特別支援学校教諭免許状を取得するために必要な科目を 10 科目以上修得していること。

(2) 参加条件

以下の条件を全て満たさなければ、教育実習に参加することはできません。

- ① 教壇に立って授業を行うために必要な学力を有すること。
 ② 実習校の教員の指導のもとに、教育実習生としてふさわしい行動のとれる人物であること。
 ③ 本学の規則に反し、または学生の本分に反する行為を行い、処分を受けたことがないこと。
 ④ 次の a b c を含む大学及び関係諸機関との手続きを不備なく行っていること。
 a. 実習前年度の 9 月までに、実習受入の内諾を受け大学に文書で通知がきていること、または実習の申請に必要な手続きを完了させていること。
 b. 大学指定の誓約書に署名・捺印のうえ所定の期日までに提出していること。
 c. 教育実習料（含む保険料）を所定の期日までに納入していること。
 ⑤ 教職パスポートを所定の期日までに提出をし、中間点検において確認印を受けていること。
 ⑥ 教育実習実施年度の 4 月に大学の健康診断を受診し、心身ともに健康であること。
 ⑦ 麻疹（はしか）の抗体検査・予防接種を行い、免疫があると認められていること。
 ⑧ 母体保護のため、実習開始日が妊娠中もしくは出産から 8 週間以内でないこと。
 ⑨ 実習校が所在する各都道府県教育委員会に、特別な定めがある場合は、それを満たしていること。

なお、特別支援学校の教育実習については、「特別支援学校教育実習生登録票」を提出していること（提出期限は「教育実習生登録票」の提出期間に準ずる）。

(3) 教育実習校について

<中学校・高等学校>

教育実習を希望する学生は、3年次に「教科の指導法Ⅰ」「教科の指導法Ⅱ」を履修、単位修得するとともに、教育実習事務手続説明会に必ず出席し、予定校確保（以下、内諾）の方法等について確認のうえ、各自が責任をもって実習校を開拓してください。

その後、東京都公立学校での教育実習希望者は、9月上旬までに「教育実習希望調書」を提出してください。なお、正式受入決定は12月上旬となります。

また、地方校（都内私立高校を含む）での教育実習希望者は、「教育実習受入内諾書」の記載をお願いした予定校から大学あてに回答が到着しているか、6月以降、確認を行ってください。

また4年次に「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」または「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」の履修登録をし、教育実習直前説明会に必ず出席してください。

<小学校>

◇往還型教育実習について

第1部教育学科初等教育専攻では、4年次の教育実習に向けて、4年間を通じて学校教育現場を体験する往還型教育実習を採用しています。これは、教師としての実践的指導力と高度の専門性を兼ね備えた小学校教員を養成するための基軸となるものです。具体的には、1年次に何回か学校を訪問することから始まり、2年次以降で「初等教育実践研究A」「初等教育実践研究B」を履修し、4年次に「初等教育実習（事前・事後指導を含む）」を履修します。

◇初等教育実習について

4年次に実施する教育実習に参加するには、3年次に行なわれる教育実習事務手続説明会に必ず出席し、予定校確保（以下、内諾）の方法等について確認のうえ、東京都公立学校での希望者は、「教育実習希望調書」を、地方校（都内私立校を含む）での教育実習希望者は「教育実習受入内諾書」を提出すること。また、教育実習校を、往還型教育実習以外の実習校で希望する場合は、内諾を取得する前（2年秋学期末）に学科専攻長の教員に相談してください。なお、東京都公立学校については正式受入決定が12月上旬となります。

また、4年次に「初等教育実習（事前・事後指導を含む）」を履修登録し、教育実習直前説明会に必ず参加してください。

<特別支援学校>※特別支援学校教諭免許状取得希望者のみ

特別支援学校教育実習を行う学校は、原則として東京都立の特別支援学校とし、大学が一括して東京都教育委員会に申請するので個人で開拓する必要はありません。特別支援学校教諭免許状の取得を希望する学生は、3年次教育実習事務手続説明会で指示された提出期間内に「特別支援学校教育実習登録票」を提出してください。未提出者は、申請の関係上、単位を修得していても特別支援学校の教育実習に参加できません。また、4年次の夏頃に特別支援学校教育実習説明会を行うので、必ず出席してください（詳細は教職課程掲示板に掲示します）。実習は9月～12月の間に2週間行われます。

◆ ◆ 〈7〉 教職実践演習について ◆ ◆

4年次の秋学期に必修科目として「教職実践演習」を履修して単位修得することが必要とされています。この科目は、教職に関する4年間の「学びの軌跡の集大成」と言えるものであり、学生が身に付けたものが教員として最小限必要な資質・能力の基礎として有機的に統合されたかを確認することを目的としています。しかし、この確認は4年次秋学期になってはじめて行うのではなく、1年次から継続的にくり返し、自らの教職への意思や適性を問いつづけるなかで達成されるものです。

したがって、教員をめざす学生は1年次から積極的・意欲的に教職課程の学びを継続し、学修の成果と課題を記録しておくことが求められます。本学では「教職パスポート」を用意してその一助としています。「教職パスポート」を活用して、4年間の学修の流れを継続的・系統的に、目に見えるかたちで記録していくことが求められます。「教職パスポート」を管理し活用していることは「教職実践演習」の履修条件のひとつとなるので、学生は大切に保管し活用してください。

なお、2年次終了時点で「教職パスポート」の中間点検を行い、必要に応じて指導・助言を行います。教職への適性が疑われる場合には進路の変更を促すこともありえます。

しっかりとした自覚をもって学修に取り組んでください。

◆◆ 〈8〉 教育職員免許状一括申請について ◆◆

教育職員免許状に必要な単位を修得または修得見込の学生は、教員免許状の取得が見込まれる年度に教育職員免許状の申請手続きをする必要があります。教育職員免許状の発行は東京都教育委員会が行いますが、卒業時に教育職員免許状を受領するための申請手続きは、通常、大学を通して行います（以下、一括申請）。

これらの手続きを怠った場合は、卒業時に教育職員免許状が授与されなくなるので注意してください。

◎個人申請について

大学で教育職員免許状の一括申請手続きを行わなかった場合でも、教育職員免許状に必要な単位を修得していれば、卒業後に個人で教育職員免許状を申請すること（個人申請）が可能です。ただし、個人申請を行う場合、免許状が授与される時期が卒業後（数ヵ月後）となる可能性がありますので注意してください。

個人で申請する際は、住民票をおいている都道府県の教育委員会へ各自で問い合わせてください。

◆ ◆ 〈9〉 教育職員免許状取得までの流れ ◆ ◆

月	内容	特記事項	免許種別
▶▶ 1年 ◀◀			
11月	教職課程説明会の掲示		小・中・高・特支
12月	教職課程説明会	参加必須	小・中・高・特支
秋学期	教職課程登録料納入（190 ページ参照）	納入必須	中・高・特支



▶▶ 2年 ◀◀			
11月	介護等体験第1回説明会の掲示		小・中
	教職パスポート中間点検説明会の掲示		小・中・高・特支
12月	教職パスポート中間点検説明会	参加必須	小・中・高・特支
	介護等体験第1回説明会 [体験概要、申込前の注意事項、今後の手続の説明、参加仮登録]	参加必須	小・中
1月	次年度教育実習事務手続説明会の掲示<注1>		小・中・高・特支
	教職パスポートの中間点検提出	締切厳守	小・中・高・特支
	介護等体験第2回説明会の掲示		小・中



▶▶ 3年 ◀◀			
3月～ 4月初旬	教育実習事務手続説明会 [次年度教育実習予定校確保（内諾）について、特別支援学校教育実習登録票の配布<注1>]	参加必須	小・中・高・特支
	介護等体験第2回説明会 [体験上の注意、申込方法の説明、申込と体験に必要な書類の配布]	参加必須	小・中
	介護等体験申込受付 [申込書類の提出及び体験費用の納入]	締切厳守	小・中
4月中旬	取得希望免許状及び内諾予定校の登録、教育実習登録票（コピー）の提出	締切厳守	小・中・高・特支
	特別支援学校教育実習登録票の提出	締切厳守	特支
	教育実習の履修条件を満たすための科目登録		小・中・高・特支
4月以降	教育実習校への内諾依頼（各自で次年度実習の依頼に行くこと）		中・高
	教育実習校への内諾依頼（各自次年度実習の依頼に行くこと。住 還型教育実習の実習校以外を希望する場合は学科教員に要相談）		小
7月上旬	介護等体験要項・受入連絡票配布 [体験日時および必要事項の確認]		小・中
7月以降	介護等体験準備及び体験（要項、受入連絡票を熟読の上、体験に 臨むこと）	参加必須	小・中
	介護等体験証明書受取（体験終了後）		小・中
	介護等体験日誌の提出（体験終了後2週間以内）	締切厳守	小・中
	教育実習受入内諾書の確認（地方校）		小・中・高
9月上旬	教育実習希望調書の提出（東京都公立学校）	締切厳守	小・中・高
12月	教育実習校の発表（東京都公立学校）（東京都公立学校での実習希 望者は掲示にて確認）		小・中・高
1月下旬	次年度教育実習直前説明会の掲示<注1>		小・中・高・特支





月	内容	特記事項	免許種別
▶▶ 4 年 ◀◀			
3月～ 4月初旬	教育実習直前説明会 [実習直前の心構え、実習上の注意事項、実習校持参書類の配布 特別支援学校教育実習振込用紙の配布<注 1>]	参加必須	小・中・高・特支
	教育実習参加条件充足者発表		小・中・高
4月中旬	教育実習料振込	締切厳守	中・高
	特別支援学校教育実習料振込<注 1>	締切厳守	特支
5月上旬	教育実習承諾書確認 [打合せ日、実習期間、教科等最終確認]		小・中・高
5月中旬	訪問指導校を掲示にて発表		小・中・高
5月以降	教育実習<注 2>	参加必須	小・中・高
6月上旬	教育職員免許状一括申請説明会の掲示		小・中・高・特支
7月上旬	特別支援学校教育実習説明会 [実習校及び訪問指導教員の発表、実習上の心構え、注意事項、実 習校持参書類配布、所定書類の提出 (印鑑を持参すること)]	参加必須	特支
	教育職員免許状一括申請説明会 [申請免許状の申込]	参加必須	小・中・高・特支
7月中旬	訪問指導教員及び実習決定校への挨拶		特支
9～11月	特別支援学校教育実習<注 2>	参加必須	特支
実習終了後 1ヵ月以内	教育実習日誌の提出	締切厳守	小・中・高・特支
12月上旬	免許状記載内容の最終確認、東京都教育委員会に提出する書類の 署名・捺印、申請料の納入	締切厳守	小・中・高・特支
3月中旬	教育職員免許状取得決定者発表		小・中・高・特支
卒業式日	教育職員免許状授与 (交付) <注 3>	参加必須	小・中・高・特支

<注 1>特別支援学校教諭 1 種免許状希望者で、すでに基礎免許状を取得しており、教育実習説明会および教育実習直前説明会(中・高)に出席する必要のない学生は、事前に指示を受けてください。

<注 2>教育実習の実習時期は各実習校によって異なるので、承諾書等で必ず各自確認してください。

<注 3>科目等履修生に教育職員免許状を授与(交付)する日程は、別途教職課程掲示板に掲示します。

※説明会を欠席したり、手続きを怠ると、教育実習・介護等体験に参加できなくなるので、教職課程掲示板および履修要覧をよく確認してください。

また、教育実習の内諾後のキャンセル・介護等体験の申し込み後のキャンセルや、一度納入した教職課程登録料、介護等体験実習料、教育実習料の返金は一切できないので注意してください。

※上表のスケジュールはあくまでも予定であり、時期が前後する場合があります。必ず教職課程掲示板を確認してください。

また、このスケジュールはモデルケースとなりますが、実習時期や教育職員免許状取得時期が遅れる場合は、事前に相談してください。

◆◆ 〈10〉 教職課程を履修する学生への連絡・伝達について ◆◆

教職に関する事項（各種説明会・手続き・発表・呼び出し等）は、すべて教職課程掲示板でお知らせします。登校時には必ず **1102 番教室（1 号館 1 階）** 横もしくは **6B12 番教室（6 号館地下 1 階）** 前の掲示を確認してください。（ToyoNet-G のお知らせでも確認することができますが、全ての掲示を Web 上で確認できるわけではありません。）

教職課程に関する窓口取り扱いは**教職支援課（5 号館 1 階）**で受け付けます。なお電話による問合せは一切受け付けません。直接窓口で問合せてください。

◆◆ 〈11〉 教員採用に関する支援について ◆◆

（1）教職支援室（3 号館 1 階）

- ・採用試験対策講座
- ・個別相談・模擬面接・模擬授業・場面指導・模擬試験関連情報提供
- ・専門スタッフによる教育職員への就職指導

※各講座の開催・申込時期等については教職支援室前の掲示板を確認してください。

（2）教職資料室（3 号館 1 階）

- ・教科書・参考書・学習指導案等の閲覧および貸し出し

※開室時間は教職支援室に準じます。

◆◆ 〈12〉 教員採用試験について ◆◆

教育職員免許状を取得した者が教員になるためには、教員採用試験に合格する必要があります。

出願期間・受験条件・試験日程・試験方法は教育委員会・学校によって異なります。教員採用試験の実施要綱の取り寄せと応募は各自で行ってください。

（1）公立学校の教員採用

公立学校の教員になるためには、各都道府県・指定都市教育委員会が実施する採用試験に合格し、採用候補者の名簿に登録される必要があります。名簿の中からその年度の欠員状況、教員組織の状況などを考慮して選定され、採用が決定します。

（2）私立学校の教員採用

各都県の私学協会等が実施する「私立学校教員適性検査」を基に採用を行う場合と、公募制による採用があります。

「私立学校教員適性検査」は採用試験ではなく、適性検査を受けた受検者の氏名と評価等が記載された名簿を基にして、教員の採用を行っていくものです。ただし、検査を実施する都県にある私立学校全てが「私立学校教員適性検査」の結果を基に教員採用を行っているとは限りません。

◆◆ 〈13〉 教員免許更新制について ◆◆

教員免許状には、免許状授与のための所要資格を得て（※）から 10 年後の年度末までの有効期間が付きます。免許状の有効期間を更新するためには、2 年間で 30 時間の免許状更新講習を受講・修了することが必要で、有効期間を更新した場合、次の有効期間は前の有効期間から 10 年後の年度末になります。

免許状更新制の導入は、教員として必要な知識技能が日々変化するため、その時々で必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけてもらうことを目的としています。教職を目指す学生の皆さんは、取得する教員免許状に有効期間が付されることを知っておく必要があります。

※「所要資格を得て」… 免許状の授与に必要な学位と単位を満たすこと。

◆◆ 〈14〉 長期間大学へ通学することができない場合について ◆◆

在学中に休学および留学等で長期間大学へ通学することができない場合は、教育実習、介護等体験等の実施時期や教育職員免許状の取得時期が通常の学生より 1～2 年遅くなることがあるので、必ず事前に相談してください。

◆ ◆ 〈15〉 編入生・転入生の教育職員免許状取得について ◆ ◆

教育職員免許状取得を希望する場合は、以下のことに留意のうえ、事前に相談に来てください。

- (1) 単位認定・時間割編成によっては卒業時までには教育職員免許状が取得できない場合があります。
- (2) 編・転入前の大学等で取得した教職科目等についてすべての科目を認定できるとは限りません。
- (3) 卒業単位に算入されない教職科目を個別で認定する場合は、卒業に必要な科目の認定単位数が減少する場合があるので注意してください。
- (4) 個別指導を受ける際は、編・転入前の大学等で該当教科の「学力に関する証明書」を入手し、指導を受けてください。

◆ ◆ 〈16〉 科目等履修生制度について ◆ ◆

将来、教員を目指す学生で、学部卒業までに教育職員免許状を取得するために必要な単位を修得できなかった場合や、すでに教育職員免許状を取得していて、卒業後、新たに別教科の教育職員免許状を取得したい場合は、科目等履修生として必要な単位を修得し教育職員免許状を取得することができます。募集要件・履修できる科目等について、必ず当該年度の各募集要項を確認のうえ出願してください。なお、本学で取得可能な教育職員免許状に必要な科目がすべて科目等履修生に開講しているとは限らないので注意してください。概要は、以下のとおりです。

科目等履修生に関するスケジュール（詳細は当該年度の募集要項で確認してください）

1月下旬～2月上旬	科目等履修生募集要項ダウンロード開始
▼	
2月上旬～	履修科目の相談（教務課）
▼	
3月上旬～中旬	出願
▼	
3月下旬	試験・合格発表
▼	
4月上旬	就学手続

※募集要項は東洋大学 Web サイトで確認できます。

出願にあたっての履修科目については、事前に相談してください。

※介護等体験のみの履修はできません。

国際交流・国際教育プログラム

国際交流・国際教育プログラムの内容や募集に関する情報は、
ToyoNet-ACE「TOYO GLOBAL DIAMONDS（国際交流情報）」
コースで確認してください。

URL:https://www.ace.toyo.ac.jp/ct/course_1324577





国際交流プログラム

Toyo Global Leader (TGL) プログラム

TGL プログラムは、東洋大学生が国内外で活躍できるグローバル人財となるために、「異文化環境における英語運用表現能力」、「多文化共生社会における価値創造能力」、「異文化環境における課題解決能力」の3要素を強化することを目的としています。これらの目的に沿って、「Gold」「Silver」「Bronze」のランクごとに7つの認定要件を定め、各要件を満たした学生を Toyo Global Leader として認定します。

◆認定要件◆

下記のとおり、ランクごとに認定要件が設定されています。

認定要件	TGL Gold	TGL Silver	TGL Bronze
(1) 英語能力 (TOEIC® L&R)	730 点	590 点	—
(2) 外国語による授業科目の修得	40 単位	20 単位	10 単位
(3) 外国語による卒業論文等執筆	必須	—	—
(4) 海外留学・インターンシップ	必須	どちらかを 必須	—
(5) 海外アクティビティ	必須		—
(6) 東洋グローバルリーダー(TGL)キャンプ	必須(運営)	必須(参加)	必須(参加)
(7) Toyo Global(TG)ポイント	30 ポイント	20 ポイント	10 ポイント

◆認定要件について◆

(1) 英語能力

英語資格試験のスコアにより認定します。TOEIC® L&R（公開テストおよび IP テスト）のほか、TOEFL iBT®, TOEFL ITP®, IELTS™ のスコアを TOEIC® L&R スコアに換算します。なお、スコアは在学中に受験したものに限りします。

(2) 外国語による授業科目の修得

語学科目や開講言語が外国語の授業科目および英語特別教育科目の修得単位数を加算していきます。また、海外留学や海外インターンシップ等により認定された科目の単位数も加算できます。さらに、卒業論文等を外国語で執筆した場合、卒業論文の科目の単位数も加算します。

(3) 外国語による卒業論文等執筆

下記 a.b.c. のいずれかに当てはまる論文等を執筆し、a.b. については、指導教員の確認書と共に提出することで認定されます。

- 言語を問わず執筆した卒業論文等の英文要旨もしくは英語で執筆した卒業論文等
- 授業内で各言語（日本語を除く）により作成し提出された論文等
※外国人留学生については日本語（ネイティブ言語以外）での執筆も認める。
- 国際教育センターで設定したテーマに基づいた英語の課題論文

(4) 海外留学・インターンシップ

海外での活動が連続で 3 週間（現地入国から出国までが 21 日間）以上^(※)の留学やインターンシップを対象とします。大学で開催しているプログラムのほか、学外機関が主催するプログラムも活動内容等により対象となります。なお、単位認定の有無は問いません。

※海外での活動が 4 週間（28 日間）以上であれば〔(5) 海外アクティビティ〕の要件と合わせて達成となります。

(5) 海外アクティビティ

上記(4)に該当しない、海外での活動が連続で1週間（現地入国から出国までが7日間）以上の留学、研修、インターンシップ、ボランティア等の活動を対象とします。大学で開催しているプログラムのほか、学外機関が主催するプログラムも活動内容等により対象となります。なお、単位認定の有無は問いません。

(6) 東洋グローバルリーダー（TGL）キャンプ

本学で実施する「東洋グローバルリーダー（TGL）キャンプ（ワークショップ）」への参加（または運営チームとしての参加）により認められます。

(7) Toyo Global(TG) ポイント

国内外の国際交流活動（海外留学、インターンシップ、ボランティア、国際シンポジウム等）および課外語学講座等への参加がポイントの対象となります。ポイントは各活動期間に応じて付与します。

◆ TGL プログラムの仕組み ◆

一度の取り組みで複数の認定要件に当てはまる場合があります。

<例>

東洋グローバルリーダー（TGL）キャンプに参加した。

認定要件	結果
(6) 東洋グローバルリーダー（TGL）キャンプ	⇒ 認定（参加）
(7)Toyo Global（TG）ポイント	⇒ 1ポイント付与（半日のプログラム） 2ポイント付与（1日のプログラム）

<例>

交換留学で1年間海外渡航（TOEFL ITP[®] 550点を保有）。

留学先で英語による専門科目5科目を修得、東洋大学で5科目×2単位=10単位が認定された。

また、留学中1週間のボランティア活動に従事し、「短期海外実習Ⅰ」（1単位）が認定された。

認定要件	結果
(1) 英語能力	⇒ 認定（TOEIC [®] L&R 730点に換算）
(2) 外国語による授業科目の修得	⇒ 11単位加算
(4) 海外留学・インターンシップ	⇒ 要件クリア
(5) 海外アクティビティ	⇒ 要件クリア
(7)Toyo Global（TG）ポイント	⇒ 35ポイント付与

プログラムの詳細は ToyoNet-ACE「TOYO GLOBAL DIAMONDS(国際交流情報)」

コース内、「東洋グローバルリーダー（TGL）プログラム」を確認してください。

https://www.ace.toyo.ac.jp/ct/course_1324577



・ TGL プログラム問い合わせ先

国際部〔国際教育センター〕（白山キャンパス 8号館 1階）

Tel：03-3945-4357

Email：ml-tgl@toyo.jp



◆海外留学・研修プログラムの概要◆

本学では、休学することなく参加できる海外留学・研修プログラムを豊富に用意しています。

プログラム名	① 交換留学	② 認定留学	③ 協定校 語学留学	④ 語学 セミナー	⑤ 海外インターンシップ・ ボランティア	⑥ 国連ユース ボランティア・ ワシントンセンター	⑦ Diversity Voyage
留学形態	学部留学* ¹		語学留学* ²		—	—	—
期間	1 学期または 1 年* ³		3 ～ 6 ヶ月	3 ～ 4 週間	2 ～ 6 週間	3 ～ 5 ヶ月	約 10 日間
出発時期	第Ⅰ期：2～3月 第Ⅱ期：8～9月	留学先大学により 異なる	春学期：2～5月 秋学期：8～10月	夏季および 春季休暇中		8～9月	夏季および 春季休暇中
語学条件	あり		なし		あり		なし
単位	単位認定申請可* ⁴				履修登録対象* ⁵	単位認定申請可* ⁴	履修登録対象* ⁵
東洋大学留学 奨学金(給付型)	あり			なし			
東洋大学海外留学 促進奨学金(給付型)	トップ大学型 グローバルリーダー型		アクティブ型	チャレンジ型		アクティブ型	なし

プログラムの内容等は変更になる場合があります。

*1 学部留学

現地で正規課程の科目を履修及び修得することを目的とする留学

*2 語学留学

海外の大学附属の語学学校で語学を集中的に学ぶ留学

*3 1 年

留学先機関によって学期制度や学期の日程が異なるため、トータルで1年間の留学期間を指す言葉として使用しています。

*4 単位認定申請可

留学先大学等で修得した単位に関し、本学開講科目の単位として認定を申請できます。

*5 履修登録対象

該当する本学の開講科目を履修登録できます。

◆各種海外留学・研修プログラムの詳細◆

① 交換留学

本学が学生交換協定を締結している協定校あるいは海外学生交換コンソーシアム (ISEP・UMAP 等) に加盟する大学へ、1 学期間または 1 年間留学するプログラムです。留学先の大学では正規課程の科目を履修及び修得することを目的とします。東洋大学を休学することなく留学できます。原則、留学先大学の授業料は免除となり、留学期間に応じて奨学金が給付されます。

② 認定留学

本学協定校の他、学位授与権のある大学へ 1 学期間または 1 年間留学するプログラムで、留学先の大学では正規課程の科目を履修及び修得することを目的とします。国や地域は問いません。東洋大学を休学することなく留学できます。原則、留学先の授業料は自己負担となりますが、留学期間に応じて奨学金が給付されます。

大学への出願・入学手続きは原則各自で行うため、留学に先立って自ら十分な情報を収集し、綿密な計画を立てることが重要です。

③ 協定校語学留学

本学の海外協定校附属の語学学校へ、3 ヶ月から 6 ヶ月間留学するプログラムです。語学力の向上

を目的とし、語学を学びながら様々なアクティビティやホームステイ等を通じた異文化体験をします。原則留学先の授業料は自己負担となりますが、条件を満たした場合奨学金が給付されます。また、東洋大学を休学することなく留学できます。

④ 語学セミナー

夏季および春季休暇を利用した短期語学研修プログラムです。語学研修、アクティビティ、ホームステイ等を通じた語学力の向上と異文化理解を目的としています。

⑤ 海外インターンシップ・ボランティア

グローバル企業で活躍するために必要となる英語力・異文化理解力・社会人マナーなどの社会人基礎力を育成し、世界に羽ばたく学生を育てることを目的としたプログラムです。夏季および春季休暇を利用し、2～6週間研修を行います。語学力の向上に加え、各国の経済状況や文化風習の違いを“働く”という社会生活を通じて体験し、今後の学生生活とキャリア形成に生かすことができます。

⑥ 国連ユースボランティア (UNYV)・ワシントンセンター (TWC)

・国連ユースボランティア (UNYV)

国連ボランティア計画 (UNV) のコーディネートの下、開発途上国の国連事務所や政府機関でユースボランティアとして、約5ヶ月間働く長期インターンシップです。現地国連スタッフと共に広報活動やフィールドワーク等の業務に携わりながら、高度なキャリア意識やリーダーシップを養うプログラムです。本プログラムは2021年度派遣にて終了予定です。

・ワシントンセンター (TWC)

アメリカの首都であるワシントン DC 周辺の公的機関、NPO、企業などで15週間の就労体験と夜間に行われる授業を通じ国際的感覚を身につけ、将来のグローバルリーダーを育てるプログラムです。

⑦ Diversity Voyage

一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GiFT) が行う、夏季および春季休暇を利用した短期間の海外研修です。海外で現地学生等と英語でコミュニケーションを取りながら共創・協働することで、語学力のみならず「多様性適応力」を育みます。

○各プログラムの詳細は大学 HP を確認してください。

国際交流「海外留学を希望する方へ」

<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/>



海外留学・研修プログラム向け 給付型奨学金

東洋大学では、多くの学生が海外留学・研修プログラムに参加できるよう、充実した奨学金を用意しています。(プログラムや語学スコアに応じ7～300万円を給付)

ー東洋大学留学奨学金

ー東洋大学海外留学促進奨学金

その他、民間団体などによる奨学金もあります。

各奨学金の要件や金額は変更になる可能性があります。

詳細や最新情報は国際教育センターホームページで確認してください。

<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/scholarship/>



◆単位認定・履修登録について◆

①交換留学 ②認定留学 ③協定校語学留学

留学期間中に修得した単位は留学終了後、所属学科の教育課程表に照らし、科目の履修内容・条件等に適合した場合は、卒業単位（上限 48 単位、卒業論文は除く）に認定されます。詳細は各学科の留学担当の教員に確認してください。

Column

～在籍中に単位認定できる上限単位数について～

各種様々な単位認定制度がありますが、在籍中に単位認定できる単位数は、学則第 43 条および第 44 条において、合計 60 単位が上限と定められています。

この合計 60 単位には、以下の制度が対象となります。

- ①交換留学 ②認定留学 ③協定校語学留学 ④語学セミナー
- ⑤英語単位認定 ⑥簿記原理単位認定 ⑦経営統計単位認定
- ⑧東洋大学・龍谷大学相互学生交流プログラム
- ⑨東洋大学・文京学院大学相互単位互換制度
- ⑩東京外国語大学単位互換制度 ⑪放送大学単位互換制度
- ⑫休学中の留学による単位認定

<単位認定までの流れ>

(1) 帰国後に、下記の必要書類を揃え、教務課窓口へ提出する。

必要書類
A：単位認定願 B：留学先大学発行の成績証明書
C：シラバス等留学先大学発行の科目・時間・単位数の説明書
D：教科書、ノート等授業内容がわかる資料

(2) 留学担当教員と面談を行う。

(3) 学部教授会で審議される。

(4) 単位認定について ToyoNet-G のお知らせ機能で通知される。

(5) 単位認定の結果（認定：T）が成績表に反映される。

<教務課での事前相談について>



交換留学、認定留学および協定校語学留学に出願する学生は、留学終了（帰国）後に最短で卒業および諸資格取得を可能にするため、不明な点がある場合は必ず留学出願前に教務課窓口で相談してください。

また、帰国後の手続き等についての詳細は、ToyoNet-G の「学生へのお知らせ」で配信されますので、各自必ず確認し、不明点がある場合は教務課窓口で相談してください。

④ 語学セミナー

語学セミナーに参加し、条件を満たすことにより、下表の国際コミュニケーション科目の中から1科目単位を認定します。

＜手続き方法＞

定められた期間内に「文学部語学セミナー単位認定希望科目申請書」を教務課窓口へ提出してください。

単位認定が承認され次第、学内掲示および ToyoNet-G にてお知らせします。

＜単位認定対象科目＞

単位認定可能科目		哲	東洋思想文化 (1部・2部)	日本文学文化 (1部・2部)	英米文	史	教 育 (1部・2部)	国際文化コミュ ニケーション
春季語学セミナー 参加者認定科目	夏季語学セミナー 参加者認定科目							
英語 I AA	英語 I AB	○	○	○	○	○	○	-
英語 I BA	英語 I BB	○	○	○	○	○	○	-
英語 II AA	英語 II AB	○	○	○	○	○	○	-
英語 II BA	英語 II BB	○	○	○	○	○	○	-
中国語 I AA	中国語 I AB	○	○	○	○	○	○	○
中国語 I BA	中国語 I BB	○	○	○	○	○	○	○
中国語 II AA	中国語 II AB	○	○	○	○	○	○	○
中国語 II BA	中国語 II BB	○	○	○	○	○	○	○
フランス語 I AA	フランス語 I AB	○	○	○	○	○	○	○
フランス語 I BA	フランス語 I BB	○	○	○	○	○	○	○
フランス語 II AA	フランス語 II AB	○	○	○	○	○	○	○
フランス語 II BA	フランス語 II BB	○	○	○	○	○	○	○
Oral Communication AA	Oral Communication AB	-	-	-	-	-	-	○
Oral Communication BA	Oral Communication BB	-	-	-	-	-	-	○
Global Communication AA	Global Communication AB	-	-	-	-	-	-	○
Global Communication BA	Global Communication BB	-	-	-	-	-	-	○

⑤ 海外インターンシップ・ボランティア

本プログラムは、基盤教育科目「海外研修」「短期海外研修」「海外実習」「短期海外実習」の履修登録対象プログラムです。履修には事前の申請が必要ですので、申込後の案内にしたがって手続きを行ってください。

⑥ 国連ユースボランティア・ワシントンセンター

詳細は、所属学部教務課窓口へお問い合わせください。

⑦ Diversity Voyage

本プログラムは、基盤教育科目「短期海外研修」の履修登録対象プログラムです。履修には事前の申請が必要ですので、申込後の案内にしたがって手続きを行ってください。

- ・ 海外留学・研修プログラムについての問い合わせ先
国際部〔国際教育センター〕(8号館1階)
E-mail : mlryugaku@toyo.jp TEL : 03-3945-8593
- ・ 学籍・履修・単位についての問い合わせ先
教務課窓口 (6号館1階)

本学を休学して外国の大学等へ留学した場合の単位認定について

本学を休学して外国の大学等に留学した場合、留学先で修得した単位を本学の単位として認定することができます。単位認定を希望する場合は、事前に所定の手続きを行う必要があります。

◆◆ 単位認定の対象となる機関 ◆◆

学位授与権を持つ大学（学部生徒のみ2年制大学及び附属語学学校を含む。以下同じ）および附属学校。

◆◆ 留学期間 ◆◆

休学期間を超えない範囲とする。

※原則として連続する2セメスタ（1年間）を超えて休学することはできません。

◆◆ 必要な手続 ◆◆

休学手続きを行う前に、国際教育センターへ留学機関等に関する届出を行う必要があります。手続きの詳細については、本学ホームページを参照してください。

<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/kyugaku-ryugaku/>





国際教育プログラム

英語特別教育科目 LEAPプログラム

LEAP (Learning English for Academic Purposes) プログラムは将来海外留学を目指す学生や、英語力を高めたいと希望する学生を対象とした学術英語プログラムです。英語力のみならず、大学レベルの授業を英語で受けるのに対応できるだけの学習スキルの習得も目指します。LEAP の授業は英語で行われるため、内容を理解し、課題などをこなしていくためには基礎的な英語力が必要となります。修得した単位は卒業単位として認められます (グローバル・イノベーション学科除く)。

LEAP は、英語力 (TOEFL ITP[®]スコア) に応じて EAP I、EAP II、PSA の3段階に分かれています。

EAP (大学レベル英語) I (中級): TOEFL ITP[®] 400-470 点程度未満の学生が対象

EAP (大学レベル英語) II (上級): TOEFL ITP[®] 470-499 点程度の学生が対象

PSA (留学準備コース): TOEFL ITP[®] 500 点程度以上の学生が対象 (白山キャンパスでのみ開講)

※上記の基準スコアは受講者数やスコア分布により変動する場合があります。

※朝霞・川越・板倉・赤羽台キャンパスにおいては、EAP が週2コマ用意されており、受講希望者がクラス上限人数 30 名を上回らない限りは、上記のようなスコア制限はありません。但し、TOEFL ITP[®] 500 点程度以上を取得している場合は、白山キャンパスに通学できる事を条件に PSA を受講することができます。

EAP I と EAP II には次の2つの科目が用意されています。1科目のみ、または両方履修することができます。

A 科目 (週2回・2単位) … **Listening と Speaking** に特化した科目

B 科目 (週2回・2単位) … **Reading と Writing** に特化した科目

PSA は次の3科目 (それぞれ週1回・1単位) から成ります。

Basic Academic Writing (**BAW**) … 英語で論文を書くための基礎を学習。

Academic Essay Writing (**AEW**) … BAW 修了生対象で、より高度な論文作成スキルを学習。

College Study Skills (**CSS**) … 留学してからの受講スキルを学習。

<申込・お問合せ>

プログラムの詳細は Toyonet-ACE 「LEAP」コースをご確認下さい。

(春学期履修の案内は前年11月頃、秋学期履修の案内は5～6月頃配信予定)

・LEAPプログラムについての問い合わせ先

LEAPオフィス (白山キャンパス 8号館2階)

Tel : 03-3945-7341

Email : mlleapoffice@toyo.jp



他にも国際部 [国際教育センター] では、外国語資格試験の団体受験や受験料補助、全キャンパスにて英会話講座、語学試験対策講座及びランゲージセンターによる英語ライティング指導を実施しています。各プログラムの詳細は ToyoNet-ACE 「TOYO GLOBAL DIAMONDS (国際交流情報)」コースをご確認下さい。

・外国語資格試験、ランゲージセンター、課外英語講座についての問い合わせ先

国際部 [国際教育センター] (白山キャンパス8号館1階)

Tel : 03-3945-8172

Email : ml_lc_global@toyo.jp



外部検定試験による単位認定制度

外部団体の試験を受験し所定の成績を収めた者に対し、基準に従って単位認定を行います。

認定基準

	レベル	A	B	C	D
	認定単位数	2単位まで	4単位まで	6単位まで	8単位まで
英語	実用英語技能検定	2級 (2143～)	準1級 (～2467)	準1級 (2468～)	1級
	TOEIC® (L&R)	668～	785～	866～	945～
	TOEFL iTP®	487～	533～	563～	587～
	TOEFL iBT®	57～	72～	84～	95～
	IELTS™	4.5～	5.5～	6.5～	7.0～
ドイツ語	レベル	A	B	C	
	認定単位数	2単位まで	4単位まで	6単位まで	
	ドイツ語技能検定試験	4級	3級	2級以上	
フランス語	ゲーテ・インスティテュートドイツ語検定試験	A1	A2	B1以上	
	レベル	A	B	C	
	認定単位数	2単位まで	4単位まで	6単位まで	
	実用フランス語技能検定	4級	3級・準2級	2級以上	
中国語	DELF/DALF (フランス国民教育省)	A1	A2	B1以上	
	TCF (フランス国民教育省)	100～	200～	300～	
	レベル	A	B	C	
中国語	認定単位数	3単位まで	6単位まで	8単位まで	
	中国語検定	4級	3級	2級	
	HSK (筆記)	3級 (180～)	4級 (180～)	5級 (180～)	

認定対象科目

	科目名	単位数	A	B	C	D
英語	英語Ⅱ A A	1	○	○	○	○
	英語Ⅱ A B	1	○	○	○	○
	英語Ⅱ B A	1	○	○	○	○
	英語Ⅱ B B	1	○	○	○	○
	検定英語 A	2		○	○	○
	検定英語 B	2		○	○	○
	Practical Writing A	2		○	○	○
	Practical Writing B	2		○	○	○
	英会話Ⅱ A ※1	2		○	○	○
	英会話Ⅱ B ※1	2		○	○	○
	Business English A	1			○	○
	Business English B	1			○	○
	Media English A	1			○	○
	Media English B	1			○	○
	Global Communication AA ※2	1	○	○	○	○
	Global Communication BA ※2	1	○	○	○	○
	英語リスニングとスピーキングⅡ A ※2	2	○	○	○	○
	資格検定英語 A ※2	2	○	○	○	○
	Global Communication AB ※2	1		○	○	○
	Global Communication BB ※2	1		○	○	○
	英語リーディングとライティングⅡ B ※2	2		○	○	○
	英語リスニングとスピーキングⅡ B ※2	2		○	○	○
	資格検定英語 B ※2	2		○	○	○
	Speech Communication A ※2	1			○	○
	Speech Communication B ※2	1			○	○
	英語リーディングとライティングⅢ A ※2	2			○	○
	英語リーディングとライティングⅢ B ※2	2			○	○
	英語リスニングとスピーキングⅢ A ※2	2			○	○
	放送英語 A ※2	2			○	○
	放送英語 B ※2	2			○	○
ドイツ語	ドイツ語Ⅰ A B	1	○	○	○	
	ドイツ語Ⅰ B B	1	○	○	○	
	ドイツ語Ⅱ A B	1		○	○	
	ドイツ語Ⅱ B B	1		○	○	
	ドイツ語講読と文化 B	1			○	
	ドイツ語コミュニケーションと文化 B	1			○	
フランス語	フランス語Ⅰ A B	1	○	○	○	
	フランス語Ⅰ B B	1	○	○	○	
	フランス語Ⅱ A B	1		○	○	
	フランス語Ⅱ B B	1		○	○	
	フランス語講読と文化 B	1			○	
	フランス語コミュニケーションと文化 B	1			○	
中国語	中国語Ⅰ A A	1	○	○	○	
	中国語Ⅰ B A	1	○	○	○	
	基礎中国語 A ※3	1	○	○	○	
	中国語Ⅰ A B	1		○	○	
	中国語Ⅰ B B	1		○	○	
	基礎中国語 B ※3	1		○	○	
	中国語Ⅱ A A	1			○	
	中国語Ⅱ A B	1			○	
	中国語Ⅱ B A	1			○	
	中国語Ⅱ B B	1			○	

※1…英米文学科専門科目

※2…国際文化コミュニケーション学科科目

※3…東洋思想文化学科専門科目

手続きの流れ

＜英語＞

1. 【前年度1月ごろ】
該当するスコアまたは級の取得者は、単位認定を希望する前年度に所属学科共同研究室へ申請書類を提出する。
2. 【履修登録期間】
認定を希望する科目以外を履修登録をする。認定希望科目も履修上限単位数に含まれるので、履修単位数に注意すること。
3. 【授業実施最終週まで】
申請した科目が履修科目として追加登録されていることを確認する。
4. 【成績発表時】
認定された科目に「S」評価が付与されているか確認する。

＜ドイツ語・フランス語＞

1. 【履修登録期間】
認定を希望する科目を履修登録期間に履修登録する。または、事前登録科目として登録されていることを確認する。事前登録科目は学科ごとに異なりますので「履修登録のしおり」等で確認すること。
2. 【1月ごろ】
該当するスコアまたは級の取得者は所属学科共同研究室へ申請書類を提出する。
3. 【成績発表時】
認定された科目に「S」評価が付与されているか確認する。

＜中国語＞

1. 【履修登録期間】
認定を希望する科目を履修登録期間に履修登録する。または、事前登録科目として登録されていることを確認する。事前登録科目は学科ごとに異なりますので「履修登録のしおり」等で確認すること。
2. 【4月ごろ・9月ごろ】
該当するスコアまたは級の取得者は所属学科共同研究室へ申請書類を提出する。
3. 【成績発表時】
認定された科目に「S」評価が付与されているか確認する。

申請・認定上の注意

- (1) 具体的な申請時期、申請書類提出方法などについては、すべて各学科掲示板等の指示に従ってください。
- (2) 使用するスコアまたは級は、大学在籍中に取得したものを有効とします。ただし、中国語は入学前2年間に取得したものの有効とします。
- (3) 申請は複数回できますが、2回目以降はレベルが上がらない限り認められません。2回目以降の申請で認められる単位数は、「新たに申請するレベルの認定単位数－旧レベルの認定単位数」です。（例：AレベルからBレベルになった場合、「4単位－2単位」であり、追加の認定単位は2単位になります）
ただし、隔年開講等のため当該年度に開講されていない場合には、上記によらず、別途申請時に申し出てください。
- (4) 認定対象科目は所属学科の教育課程表に記載されているものに限りです。
- (5) 単位認定年次に配当学年に達していない上位学年の科目は申請できません。
- (6) 東洋思想文化学科学生が中国語の認定を申請する場合には、中国語Ⅰ AA・Ⅰ AB・Ⅰ BA・Ⅰ BB、基礎中国語 A・B は1年次にのみ、中国語Ⅱ AA・Ⅱ AB・Ⅱ BA・Ⅱ BB は2年次にのみ申請でき、配当学年を終了しての申請は認められません。ただし、留学等やむを得ない事情によって配当学年での申請ができない場合は、翌年の申請を認めます。
- (7) 一度単位修得した科目について認定を受けることはできません。
- (8) 在学期間を通して語学検定試験の成績により認定できる単位の上限は以下のとおりです。
 - ・英語 8単位まで
 - ・ドイツ語・フランス語 1カ国語につき6単位まで
 - ・中国語 8単位まで
 - ・全語学を合わせて合計14単位まで
- (9) 留学、語学研修などと合わせて、在学中に認定を受けられる単位数の上限は60単位までです。



文学研究科先行履修について

先行履修とは、東洋大学大学院文学研究科博士前期課程で開講される授業科目を学部在学中に履修することのできる制度です。

先行履修の要件

先行履修を希望する場合は下記の要件を全て満たす必要があります。

- ①文学部3年次及び4年次在学中で、本学大学院文学研究科への進学を希望する者。
- ②先行履修希望時の成績が大学院の前年度の学内推薦基準を満たす者。
- ③卒業論文を提出する意思のある者。
- ④履修希望科目の担当者と学科長もしくは卒業論文指導教員の許可を受けた者。

履修について

履修登録について詳細は履修登録期間にToyoNet-Gにてお知らせしますので、所定の手続に則って履修登録を行ってください。

科目及び単位の取り扱い・注意事項

- ・大学院生の履修者がいない科目は履修出来ません。
- ・先行履修を希望する場合、その単位数の合計と各学期履修単位の合計が、文学部の「各学期履修上限単位数」を超えることはできません。また、先行履修で修得した授業科目の単位数は、**学部の卒業要件単位に含まれません**。
- ・先行履修した授業科目は、試験等の結果に基づいて、大学院生と同一の基準で成績評価されます。
- ・本制度により修得した単位について、大学院進学後に単位認定をしなかった場合には、当該科目を再度履修することができます。この場合、成績はあらためて評価されます。
- ・文学部哲学科の4年次に開講される大学院科目の「哲学特別研究」は卒業要件単位数に算入されるため、同一科目を先行履修することはできません。

履修単位数の上限

本制度で履修できる単位数は **10単位以内** です。

単位認定

- ・本制度により修得した単位は、文学研究科博士前期課程に進学した後、最初のセメスタにおける履修登録期間に申請することにより、文学研究科委員会の議を経て、修了要件の単位として認定されます。
- ・カリキュラムの改廃等の理由により修了要件の単位とならないことがあります。

東洋大学と東京外国語大学の単位互換制度について

東洋大学では語学科目を中心とした多様な学習機会を拡充することを目的として、2018年度より、東京外国語大学との間において単位互換協定を締結しました。これに伴い、東京外国語大学の授業の一部を履修することが可能になりました。

ここでは、東京外国語大学の科目を履修するにあたっての条件、履修方法などを規定しています。詳細は、東京外国語大学の履修要覧・シラバスを参照するとともに、所属学部教務担当課までお問合せください。

●● 関連 HP <https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx> ●●

◆履修申請要領等◆

対象学生

学部2年次以上（ただし、原則、卒業予定の学期の履修はできません。）

履修可能単位数

学期の履修単位数の制限内かつ、卒業までに東洋大学以外の大学等で取得可能な単位数上限は60単位（入学前の単位認定も含む）。

学籍の取扱い

東京外国語大学では「特別聴講学生」として在籍することになります。

開講キャンパス

東京外国語大学府中キャンパス（所在地：〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1）

履修可能科目

所属学部教務担当課で確認してください。ただし、都合によって履修可能科目が変更になることがあります。また、本学と東京外国語大学双方の曜日時限が重複する科目や移動時間も含めて授業開始時刻に間に合わない科目を履修することはできません。

履修手続

- ①「特別聴講学生願書」を所属学部教務担当課窓口で受け取り、所定の期間内に所属学部教務担当課窓口へ提出してください。
- ②提出された「特別聴講学生願書」をもとに、東京外国語大学が受講の可否を決定します。
- ③第1回目の講義に出席し、東京外国語大学の授業担当教員へ東洋大学の学生であり、聴講申請手続き中である旨、申し出てください。
- ④受講の正式な可否については、ToyoNet-Gにてお知らせを配信しますので、確認のうえ、受講可の学生は東京外国語大学で所定の手続を行ってください。

試験

東京外国語大学の制度によります。追・再試験は原則行いません。

単位認定

東京外国語大学からの成績到着後、当該科目の単位の認定を希望する場合は、所属学部教務担当課窓口まで、「単位認定申請書」を提出してください。単位認定の可否については、教授会での審議を経て決定されます。申請が認められる場合は「T」評価として認定します。

※「T」はGPA制度の対象にはなりません。



東京外国語大学入構時には本学の「学生証」を必ず携帯し、東洋大学の学生であることを示すこと。その他、東京外国語大学の学則に従い、規律ある行動をとること。

学則

学則（学籍および単位認定に関する事項の抜粋）

2020 年 4 月 1 日現在
最新の学則および別表はホームページを確認してください。

第 3 章 修学等

第 1 節 修業年限 (在学年限)

第 20 条 卒業に必要な単位を修得するために在学できる年数（以下「在学年数」という。）は、通算して 8 年を限度とする。この場合において、休学年数は在学年数に算入しない。

2 再入学又は編入学をした者の在学年数は、前項の在学年数から再入学又は編入学までの通常の在学の年数を控除した年数とする。

第 4 章 入学、退学、休学、除籍等

第 1 節 入学、留学等 (入学の時期)

第 24 条 入学期は、学期の初日から 30 日以内とする。

(入学資格)

第 25 条 学部第 1 年次に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣が指定した者
- (6) 大学入学資格検定（平成 17 年 1 月 31 日規程廃止）に合格した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (8) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

(入学の志願及び選考)

第 26 条 入学志願者は、所定の書式による入学願書を提出し、別表第 1 に定める入学検定料を納入し、かつ、選考試験を受けなければならない。

(入学の手続)

第 27 条 入学を許可された者は、入学金を納入し、所定の書式により誓約書を提出しなければならない。

(保証人)

第 28 条 保証人は、父、母又はその他の成人者で独立の生計を営む者でなければならない。

2 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負う。

3 学生は、保証人を変更し、又はその氏名若しくは居住地に変更があったときは、速やかに変更届を提出しなければならない。

(学生証)

第 29 条 入学手続を終えた者には、学生証を交付する。

(編入学)

第 30 条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者が本学に編入学を希望するときは、選考のうえ、編入学を許可することができる。

- (1) 短期大学を卒業した者
- (2) 大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程（文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

2 編入学に関する規程は、別に定める。

(転入学)

第 31 条 学長は、他の大学の学生が、その大学の許可を得て本学に転入学を願い出たときは、選考のうえ、転入学を認めることができる。

2 転入学に関する規程は、別に定める。

(転部・転科)

第 32 条 学長は、学生が学部の他の部へ、又は他の学部及び学科又は専攻へ転部及び転科を願い出たときは、選考のうえ、これを許可することができる。

2 転部・転科に関する規程は、別に定める。

(留学)

第 33 条 学長は、学生が外国の大学で学修することを願い出たときは、教授会の意見を聴いて留学を許可することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、在学年数に算入する。

(二重学籍の禁止)

第 34 条 学生は、他の学部学科又は他の大学と併せて在学することはできない。ただし、本学と本学の協定大学の間で実施されるダブル・ディグリー・プログラム及びジョイント・ディグリー・プログラムへの参加者には適用しない。

第 2 節 休学、退学、転学及び除籍

(休学)

第 35 条 引続き 3 カ月以上修学できない学生が休学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

2 休学は、連続する 2 学期限りとする。ただし、特別の事情がある場合は、学長は教授会の意見を聴いて、2 学期を超える期間の休学を許可することができる。

3 休学の期間は、通算して 8 学期を超えることはできない。

4 願いにより休学した者が、休学の期間が満了した場合又は休学期間中に休学の理由が消滅した場合において、復学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(退学)

第 36 条 学生が理由を明確にして退学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

2 願いにより退学した者が、再入学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(転学)

第 37 条 学生が転学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(除籍)

第 38 条 次に掲げる各号のいずれかに該当する者は、所定の手続を経て、除籍する。

(1) 授業料その他の学費を所定の期日までに納入しない者

(2) 第 20 条に規定する在学年数を超えた者

(3) 第 35 条第 2 項に規定する休学期間を超えた者

(4) 新入生で指定された期限までに履修登録を行わないこと、その他本学において修学の

意思がないと認められる者

(5) 外国人留学生で出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格の入国査証の発給が拒否された者

2 学生は、除籍されることにより、学生の身分を失う。

3 第 1 項の規定（第 2 号及び第 3 号に掲げる者を除く。）により除籍された者が、再入学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

第 5 章 教育課程及び履修方法

(他の大学の授業科目の履修)

第 43 条 教育上有益と認めるときは、他の大学との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目の単位については、学長は教授会の意見を聴いて、60 単位を限度に卒業所要単位として認めることができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 43 条の 2 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。

2 前項により認めることができる単位数は、前条により本学において修得したものと認める単位数と合わせて、60 単位を超えないものとする。

(留学の場合の準用)

第 44 条 第 43 条第 2 項の規定は、学生が外国の大学に留学する場合について準用する。

第 8 章 賞罰及び奨学

(懲戒)

第 57 条 学長は、本学の学則その他の規程に反し、又は学生の本分に反する行為があった学生に対し、教授会の意見を聴いて、行為の軽重と教育上の必要とを考慮して、譴責、停学又は退学の処分をすることができる。

2 退学処分は、次の各号のいずれかに該当する者以外には、これを行うことはできない。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由なくして出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者



東洋大学文学部規程

2020年4月1日現在

別表および最新の学部規程はホームページを確認してください。

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学学則（以下「学則」という。）に基づき、文学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 文学部は、学則第4条の2に基づき、学部及び各学科又は専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第1のとおり定める。

(卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 文学部は、学則第4条の3に基づき、学部及び各学科又は専攻の卒業の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を、別表第2のとおり定める。

(教育課程)

第4条 文学部は、学則第39条第1項第1号から第5号に基づき、各学科又は専攻の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第3のとおり定める。

(卒業に必要な単位等)

第5条 文学部は、学則第52条に基づき、各学科又は専攻の卒業に必要な単位等を、別表第4のとおり定める。

(履修上限単位数)

第6条 文学部は、学則第42条第3項に基づき、各学科又は専攻の卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を、24単位とする。

(教育職員その他資格)

第7条 学則第45条に基づき、文学部で取得できる資格は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育職員となる資格
- (2) 博物館学芸員となる資格（第1部学生のみ）
- (3) 社会教育士（養成課程）となる資格
- (4) 図書館司書となる資格
- (5) 社会福祉主事となる資格
- (6) 学校図書館司書教諭となる資格

- 2 前項第1号の資格において、文学部で取得することができる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

学科及び専攻等		免許状の種類及び教科		
		小学校教諭1種免許状	中学校教諭1種免許状	高等学校教諭1種免許状
第1部	哲学科		社会	地理歴史・公民
	東洋思想文化学科 (仏教思想コース)		社会	地理歴史・公民
	日本文学文化学科		国語	国語・書道
	英米文学科		英語	英語
	史学科		社会	地理歴史・公民
	教育学科人間発達専攻		社会	地理歴史・公民
	教育学科初等教育専攻		特別支援学校教諭1種免許状	
	国際文化コミュニケーション学科	小学校教諭1種免許状		
			英語	英語
第2部	東洋思想文化学科 (仏教思想コース)		社会	地理歴史・公民
	日本文学文化学科		国語	国語・書道
	教育学科		社会	地理歴史・公民

(資格取得のための授業科目及び単位数)

第8条 学則第45条第2項に基づき、文学部で資格を取得しようとする者は、次の各号に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 教育職員の資格 別表第5に掲げる授業科目の単位を修得
- (2) 博物館学芸員の資格 別表第6に掲げる授業科目の単位を修得
- (3) 社会教育士(養成課程)の資格 別表第7に掲げる授業科目の単位を修得
- (4) 図書館司書の資格 別表第8に掲げる授業科目の単位を修得
- (5) 社会福祉主事の資格 別表第9に掲げる授業科目の単位を修得
- (6) 学校図書館司書教諭の資格 別表第10に掲げる授業科目の単位を修得

(改正)

第9条 この規程の改正は、学長が文学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

附 則 (略)



建学の理念と教育方針

建学の理念

◆◆ 建学の精神 ◆◆

「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」

◆◆ 東洋大学の教育理念 ◆◆

【自分の哲学を持つ】

多様な価値観を学習し理解するとともに、自己の哲学（人生観・世界観）を持つ人間を育成する。

【本質に迫って深く考える】

先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方で、論理的・体系的に深く考える人間を育成する。

【主体的に社会の課題に取り組む】

社会の課題に自主的・主体的に取組み、よき人間関係を築いていける人間を育成する。

◆◆ 東洋大学の心 ◆◆

【他者のために自己を磨く】

自分を磨くのは、人々のためにはたらくことができるようになるためであり、そのことを自覚して学業に励むのが東洋大学の心である。

【活動の中で奮闘する】

現実社会における活動の中にどこまでも前進してやまないのが、東洋大学の心である。

◆◆ 創立者 井上円了と東洋大学 ◆◆

東洋大学は、明治 20（1887）年、哲学者・井上円了が創立した「私立哲学館」によってその歴史が始まりました。円了は幕末の安政 5（1858）年、越後国長岡藩西組浦村（現在の新潟県長岡市浦）のお寺の長男として生まれ、明治 14 年、設立間もない東京大学文学部哲学科にただひとりの 1 年生として入学しました。勉学を通して「洋の東西を問わず、真理は哲学にあり」と確信します。当時のわが国は欧米文化至上主義の時代で、円了は西洋化に踊らされる日本を憂えていたと思われます。ここでいう哲学とは、「万物の原理を探り、その原理を定める学問」であり、それは観念的演繹的な哲学ではなく、事実と実証に基づく哲学であるという点が強調されました。

円了は創立前に「哲学はあらゆる事物の原理を定める学問であります。政治、法律はもとより科学や芸術まで、その根底には哲学がなくてはなりません」と述べています。この考えから明治 20 年「私立哲学館」という哲学専修の私立学校を創立しました。これが現在の東洋大学の前身にあたります。

円了が教育で目指した哲学は、いわゆる「哲学者」の養成ではなく、思想や精神を錬磨する術（すべ）であり、他に応用する能力も身につけなければならないものであると説いています。

哲学という言葉が初めて使われた明治時代から、哲学の欠如が問われている現在までの 130 年にわたり、東洋大学も激動の歴史を歩みながら、創立者井上円了の教育理念を継承してきました。

哲学館創立以降に、円了は「余資なく、優暇なき者」のために「社会教育」と「開かれた大学」を目指して活動を開始しました。その一つに、学校開設の翌年から『哲学館講義録』を発行して、通学できない者にも勉学の機会を与えました。これは当時としては画期的なことであり、この精神は現在の通信教育部に受け継がれています。

さらに、円了は 30 代から生涯続けることになる全国巡講を始めています。統計に残っている明治 39 年から大正 7 年までの 13 年間で、全国 60 市、2198 町村において 5291 回の講演を行い、「社会教育」に力を入れました。明治の日本に新しい教育の扉を開こうとした円了の情熱がうかがえます。この心を引き継いで現在の東洋大学では「開かれた大学」を目指し、講師派遣事業や公開講座など、地域のみならず全国の人々に生涯学習の場を提供しています。

2020 年 3 月 印刷
2020 年 4 月 発行

編集
発行

東洋大学文学部

<https://www.toyo.ac.jp/academics/faculty/lit>
〒 112-8606 東京都文京区白山 5 丁目 28 番 20 号

2020年度入学生 履修要覧 文学部

学籍番号

諸注意

- この「履修要覧」は、2020年度入学生に適用されるものであり、2019年度以前の入学生には適用されません。
- この「履修要覧」は、卒業時まで使用します。再配付しませんので、大切に使用してください。講義内容に関しては、「シラバス（講義要項）」に掲載されています。
- 記載内容の変更等については、掲示にてお知らせいたします。